

# 取扱説明書

よくお読みになってご使用ください。

取扱説明書は車の中に保管しましょう。

1 安全・安心のために

お客様に必ずお読みいただきたいこと

2 メーターの見方

メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など

3 各部の操作

ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など

4 運転

運転に必要な操作やアドバイス

5 室内装備・機能

室内装備の使い方など

6 お手入れのしかた

車のお手入れ・メンテナンスの方法

7 万一の場合には

故障したときや、緊急時などの対処

8 車両情報

車の仕様や好みに合わせて選べる機能の情報など

さくいん

症状から検索

音から検索

アルファベットで検索

五十音で検索

知っておいていただきたいこと .....	6
本書の見方 .....	14
検索のしかた .....	15
イラスト目次 .....	16

## 1 安全・安心のために

<b>1-1. 安全に お使いいただくために</b>	
運転する前に .....	30
安全なドライブのために .....	32
シートベルト .....	34
SRS エアバッグ .....	39
ポップアップフード .....	48
排気ガスに対する注意 .....	51
<b>1-2. お子さまの安全</b>	
お子さまを乗せるときは .....	52
チャイルドシート .....	53
<b>1-3. ハイブリッドシステム</b>	
ハイブリッドシステムの 特徴 .....	73
ハイブリッドシステムの 注意 .....	77
<b>1-4. 盗難防止装置</b>	
イモビライザーシステム .....	83

## 2 メーターの見方

<b>2. 計器の見方</b>	
警告灯／表示灯 .....	86
計器類 .....	93
マルチインフォメーション ディスプレイ .....	101
エネルギーモニター／ 燃費画面 .....	110

## 3 各部の操作

<b>3-1. キー</b>	
キー .....	116
<b>3-2. ドアの開閉、 ロックのしかた</b>	
ドア .....	120
トランク .....	131
スマートエントリー＆ スタートシステム .....	139
<b>3-3. シートの調整</b>	
フロントシート .....	147
リヤシート .....	155
パワーイージーアクセス システム／マイコンプ リセットドライビング ポジションシステム／ メモリーコール機能 .....	161
リヤシートポジション メモリー .....	166
ヘッドラスト .....	168
<b>3-4. ハンドル位置・ミラー</b>	
ハンドル .....	170
インナーミラー .....	172
ドアミラー .....	174
<b>3-5. ドアガラスの開閉</b>	
パワーウィンドウ .....	177
<b>3-6. お好み設定</b>	
マイセッティング .....	181

## 4 運転

### 4-1. 運転にあたって

運転にあたって .....	184
荷物を積むときの注意 .....	194

### 4-2. 運転のしかた

パワー (イグニッション)	
スイッチ .....	195
EV ドライブモード .....	201
トランスマッision .....	204
方向指示レバー .....	209
パーキングブレーキ .....	210
ブレーキホールド .....	215

### 4-3. ランプのつけ方・ ワイパーの使い方

ランプスイッチ .....	218
AHS (アダプティブ ハイビームシステム) .....	222
AHB (オートマチック ハイビーム) .....	226
フォグラランプスイッチ .....	230
ワイパー & ウオッシャー .....	232
ヘッドランプクリーナー .....	238

### 4-4. 給油のしかた

給油口の開け方 .....	239
---------------	-----

### 4-5. 運転支援装置について

ソフトウェアアップデートを 確認する (Toyota Safety Sense) .....	243
Toyota Safety Sense .....	246
PCS (プリクラッシュ セーフティ) .....	256
LTA (レントレーシング アシスト) .....	270

LDA (レーンディバーチャー  
アラート) ..... 276

PDA (プロアクティブ  
ドライビングアシスト) ..... 283

発進遅れ告知機能 ..... 290

RSA (ロードサイン  
アシスト) ..... 292

レーダークルーズ  
コントロール ..... 297

クルーズコントロール ..... 309

ドライバー異常時対応  
システム ..... 315

BSM (ブラインド  
スポットモニター) ..... 319

後方車両への接近警報 ..... 326

安心降車アシスト ..... 329

クリアランスソナー ..... 335

RCTA (リヤクロス  
トラフィックアラート) ..... 344

PKSB (パーキング  
サポートブレーキ) ..... 352

パーキングサポートブレーキ  
(前後方静止物) ..... 357

パーキングサポートブレーキ  
(後方接近車両) ..... 361

ドライブモードセレクト ..... 363

電子制御エア  
サスペンション ..... 365

運転を補助する装置 ..... 367

プラスサポート  
(販売店装着オプション) .... 377

### 4-6. 運転のアドバイス

ハイブリッド車運転の  
アドバイス ..... 384

寒冷時の運転 ..... 386

## 5 室内装備・機能

5-1. リヤマルチオペレーションパネル	
リヤマルチオペレーションパネル	392
5-2. エアコンの使い方	
フロントオートエアコン	397
リヤオートエアコン	408
ステアリングヒーター／シートヒーター／シートベンチレーター	412
5-3. 室内灯のつけ方	
室内灯一覧	418
・インテリアランプ	419
・パーソナルランプ	420
・読書灯	420
5-4. 収納装備	
収納装備一覧	422
・グローブボックス	423
・コインホルダー	423
・コンソールボックス	424
・ドアポケット (フロント席)	425
・カップホルダー	426
・小物入れ	427
トランク内装備	429

## 5-5. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備	433
・サンバイザー	433
・バニティミラー	433
・アクセサリーソケット	434
・アクセサリー	
コンセント	435
・充電用 USB 端子	436
・時計	438
・シートバックポケット (運転席側のみ)	438
・リヤアームレスト	438
・ライティングテーブル	439
・マガジンラック	439
・リヤドアカーテン	440
・電動リヤカーテン	441
・コートフック	444
・靴べら差し	444

## 6 お手入れのしかた

### 6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ	446
内装の手入れ	451

### 6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット	461
ガレージジャッキ	464
エンジンルームカバー	465
ウォッシャー液の補充	467
タイヤについて	468
タイヤ空気圧について	487
エアコンフィルターの 交換	489
電子キーの電池交換	492
ヒューズの点検・交換	495
電球（バルブ）の交換	499

## 7 万一の場合には

### 7-1. まず初めに

故障したときは	502
非常点滅灯 (ハザードランプ)	503
発炎筒	504
車両を緊急停止するには	506
水没・冠水したときは	507
車中泊が必要なときは	508

### 7-2. 緊急時の対処法

けん引について	509
警告灯がついたときは	516
警告メッセージが 表示されたときは	524
パンクしたときは (タイヤパンク応急 修理キット装着車)	536
パンクしたときは (スペアタイヤ装着車)	551
ハイブリッドシステムが 始動できないときは	561
電子キーが正常に 働かないときは	563
補機バッテリーが あがったときは	567
オーバーヒートした ときは	573
スタックしたときは	579

## 8 車両情報

### 8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ (指定燃料・ オイル量など)	582
--------------------------------	-----

### 8-2. カスタマイズ機能

ユーザー カスタマイズ機能 一覧	586
---------------------	-----

### 8-3. 初期設定

初期設定が必要な項目	600
------------	-----

### 8-4. フリー／オープンソース ソフトウェア

フリー／オープンソース ソフトウェア情報	601
-------------------------	-----

## さくいん

こんなときは (症状別さくいん)	604
車から音が鳴ったときは (音さくいん)	607
アルファベット順さくいん	609
五十音順さくいん	612

次の装備は、別冊「マルチメディア取扱説明書」をお読みください。

- ・ナビゲーション
- ・オーディオ&ビジュアル
- ・音声操作システム
- ・バックガイドモニター
- ・ETCシステム／ETC2.0システム
- ・ハンズフリー
- ・T-Connect

# 知っておいていただきたいこと

## 本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

## 不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適さない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
  - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換  
異なる種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおぼしたり、不正改造になることがあります。
  - ・ 電装品・無線機の取り付け・取りはずし  
電子機器部品に悪影響をおぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。  
RF 送信機の取り付けについては、P. 11 も参照してください。
- フロントウインドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

## サイバー攻撃のリスクについて

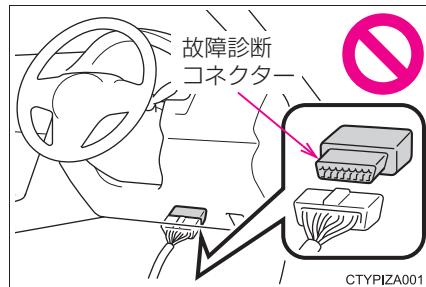
電子機器や無線機を取り付けると、装着された部品を通じてサイバー攻撃のリスクを高め、思わぬ事故や個人情報の流出などにつながるおそれがあります。

トヨタ純正品以外を取り付けたことに起因する問題に関してトヨタは保証いたしません。

## 故障診断コネクターなどへの電装品取り付けについて

故障診断コネクターなどに、点検整備用の故障診断装置以外の電装品を取り付けないでください。

電子機器に悪影響をおよぼしたり、バッテリーがあがったりするなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。



CTYPIZA001

## 車両データの記録

本車両には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが装着されています。

### ■ コンピュータに記録されるデータ ※1

※1 グレード／オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。

各機能の作動時や操作状況により、主に次のようなデータを記録します。

- 車両の挙動に関する基本的なデータ（エンジン回転数／電気モーター回転数・アクセルペダルの操作状況・ブレーキペダルの操作状況・車速など）
- 運転支援システムの作動状況（システムの作動に付随して記録される車両の挙動に関する基本的なデータも含みます）
- 運転支援システムのセンサーのデータ
- 画像データ（前方・後方・周辺カメラの画像）※2

※2 車両には複数のカメラが付いています。どのカメラが画像を記録しているかはトヨタ販売店にお問い合わせください。

### ● 位置情報

コンピューターは会話などの音声や車内の映像は記録しません。

また、お客様個人を特定できる種類のデータ（氏名・性別・年齢など）は車両に記録されません。

## ■ Toyota Safety Sense によるデータの記録・個人情報の取り扱いについて

トヨタ自動車は Toyota Safety Sense により車両に記録された各システムの作動状況・各センサーのデータ・画像データ（前方・後方カメラの画像）・位置情報を次の場合に該当するときに限り、お客様が販売店に入庫されたときに取得するほか、トヨタ自動車のサーバーに送信する形で取得します。

- 一定の衝突や衝突に近い状態などが発生した場合
- 渋滞や悪路、悪天候などの特定の交通環境にある道路を走行している場合
- 新規開通道路、拡張された道路などの特定の道路を走行している場合
- ハイブリッドシステム始動後の一定のタイミング

Toyota Safety Sense によって記録され、トヨタ自動車が取得したデータの取り扱いについての詳細は、T-Connect ご契約時にご署名いただいた留意事項説明をご覧ください。

## ■ データの利用目的と第三者提供について

コンピューターに記録されたデータは、事故解析・故障診断、自動運転・先進安全・地図関連技術のための研究開発（技術・商品開発、品質向上など）、データを利用した商品・サービス（自動運転・先進安全技術用の地図の提供、走行状況の分析・道路インフラなど走行環境の分析・交通状況の配信などがあります。以下、これらを「個別サービス」といいます）および事故に関するお客様対応、事故の解決のための協議を目的に利用することがあります。

なお、次の場合に、トヨタ自動車は、取得したデータを第三者へ開示または提供することがあります。

- お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- 警察／裁判所／政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- トヨタ自動車が訴訟で使用する場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

Toyota Safety Sense によって記録され、トヨタ自動車が取得したデータについては、上記に加え、次の場合に第三者に提供することがあります。

- お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合。トヨタ以外の第三者が提供する車両記録データを利用する個別サービスに申し込みされた場合などであって、第三者がトヨタに代わり、トヨタから第三者へのデータの提供についてお客様の同意を取得した場合も含みます。
- 自動運転・先進安全・地図関連技術のための研究開発（技術／商品開発／品質向上など）の目的で、自動運転ソフトウェア関連の会社などの第三者に提供する場合
- 地図関連技術のための研究開発の目的で、地図作成会社などの第三者に画像データと位置情報を提供する場合
- 道路整備などの目的で、地方自治体などの第三者に画像データと位置情報を提供する場合
- 交通状況配信などの個別サービスの申込者に対して、画像データと位置情報を加工した情報を提供する場合
- トヨタと別途契約を締結した各自治体の消防組織に対して、火災発生時または救急出動時に、現場付近の画像データを提供する場合

## 知識

車両に記録されている画像情報は、トヨタ販売店にて、消去することが可能です。また、画像情報を記録する機能を停止することも可能ですが、ただし、機能を停止するとシステム作動時のデータは残りません。

Toyota Safety Senseによって研究開発、および個別サービスの提供を目的としてトヨタのサーバーに送信する形で取得しているデータの取得と利用を停止したい場合は、My TOYOTAより停止いただけます。詳細は、My TOYOTAのマイページをご覧ください。

## T-Connectによるデータの取り扱いについて

お客様がT-Connectをご利用の場合、記録データとその使用について、T-Connect利用規約をご覧ください。

## イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDRは、一定の衝突や衝突に近い状態（SRS エアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。

EDRは車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するようになっています。ただし、衝突の程度と形態によっては、データが記録されない場合があります。

EDRは次のようなデータを記録します。

- ・車両の各システムの作動状況
- ・アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDRは衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータとEDRデータを組み合わせて使用することがあります。EDRで記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両またはEDRへ接続する必要があります。トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両またはEDRに接続した場合でも情報を読み出すことができます。

### ● EDRデータの情報開示

次の場合を除き、トヨタはEDRで記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは

- ・データを車両安全性能の研究に使用することができます。
- ・使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することができます。

## RF 送信機の取り付けについて

お車へ RF 送信機を取り付けると、次のようなシステムに影響をおよぼす可能性があります。

- ハイブリッドシステム
- EFI コンピュータ
- Toyota Safety Sense
- ABS (アンチロックブレーキシステム)
- VDIM (ピークルダイナミクスインテグレイティッドマネージメント)
- SRS エアバッグ
- シートベルトプリテンショナー

悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ずトヨタ販売店にお問い合わせください。

ご希望により、RF 送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）をトヨタ販売店にてご提供します。

高電圧部位や高電圧配線は、電磁シールド構造になっています。従来の車や家電製品と比べて、電磁波が多いということはありません。アマチュア無線の一部（遠距離通信）において、受信時に雑音が混入する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

## プラスサポートについて

トヨタ販売店で専用の電子キーをご購入し、ご使用いただくことで、プラスサポート（→ P. 377）の機能が利用可能になります。詳細については、トヨタ販売店にお問い合わせください。

## アクセサリーパーツ・用品について

下記サイトより取扱説明書（デジタル配信）をご確認いただけます。ご購入いただきましたアクセサリーパーツの取扱説明書をご使用前にお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。商品の使用方法や安全にお使いいただく上での注意点を記載しております。なお、デジタル配信により印刷や輸送にともなう CO<sub>2</sub> 排出量の低減が見込まれます。持続可能な社会を構築するためにトヨタはこれからも取扱説明書のあり方を見直してまいります。

アクセサリーパーツ取扱説明書掲載サイト：

お持ちのスマートフォンやタブレット、携帯電話等にて QR コードを読み取りいただくか、URL より閲覧してください。

URL : <https://manual-accessories.toyota/CAWeb/index.html>



QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

なお、紙面で必要な場合はサイトより印刷いただくか、トヨタ販売店にご相談ください。

## 高電圧部位に貼り付けられている記号について

パワーコントロールユニットなどの高電圧部位には、取り扱いに注意することを示すラベルが貼付されている場合があります。

記号の示す意味は次のとおりです。

記号	意味
	危険であることを示しています。
	高電圧部位であることを示しています。
	手で触れてはいけない部位であることを示しています。
	高温部位であることを示しています。

## 本書の見方

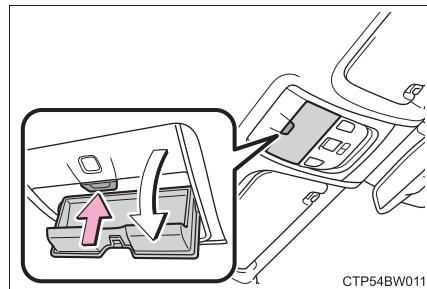
**⚠ 警告** お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。

**⚠ 注意** お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。

**1 2 3**… 操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

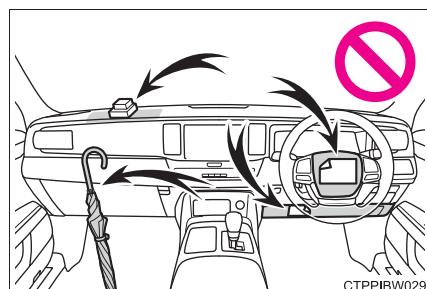
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

➡ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

🚫 “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。

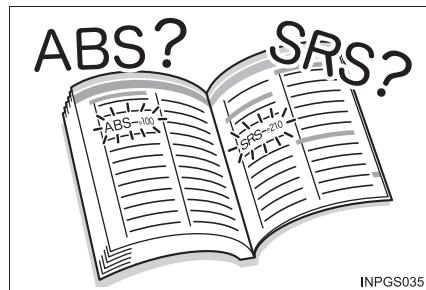


**□ 知識** 機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

# 検索のしかた

## ■ 名称から探す

- ・五十音順さくいん ..... 612
- ・アルファベット順  
さくいん ..... 609



INPGS035

## ■ 取り付け位置から探す

- ・イラスト目次 ..... 16



INPGS037

## ■ 症状や音から探す

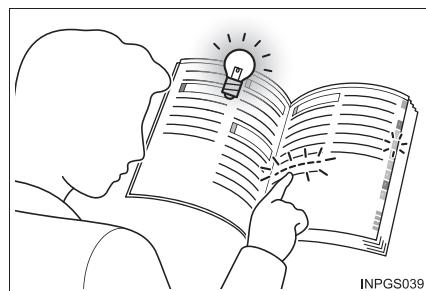
- ・こんなときは  
(症状別さくいん) ..... 604
- ・車から音が鳴ったときは  
(音さくいん) ..... 607



INPGS038

## ■ タイトルから探す

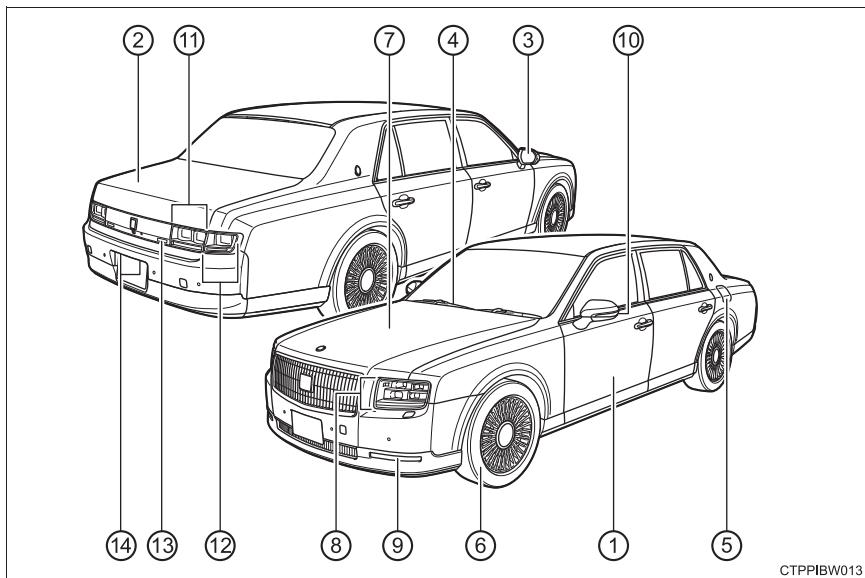
- ・目次 ..... 2



INPGS039

# イラスト目次

## ■外観



<b>① ドア</b>	<b>P. 120</b>
施錠／解錠	P. 120, 124
ドアガラスの開閉	P. 177
メカニカルキーでの施錠／解錠	P. 563
<b>② トランク</b>	<b>P. 131</b>
車内から開ける	P. 131
車外から開ける	P. 131
メカニカルキーで開ける	P. 564
<b>③ ドアミラー</b>	<b>P. 174</b>
鏡面の角度調整	P. 174
ミラーの格納	P. 174
調整位置の登録	P. 161
曇りを取る（ミラーヒーター）	P. 399

④ ワイパー .....	P. 232
冬季の注意 .....	P. 386
凍結防止（フロントワイパーデアイサー）★ .....	P. 399
洗車時の注意 .....	P. 448
⑤ 給油口 .....	P. 239
給油方法 .....	P. 241
燃料の種類・燃料タンク容量 .....	P. 582
⑥ タイヤ .....	P. 468
サイズ・空気圧 .....	P. 585
冬用タイヤ・タイヤチェーン .....	P. 386
点検・ローテーション・空気圧警報システム .....	P. 468
パンク時の対処 .....	P. 536, 551
⑦ ボンネット .....	P. 461
開け方 .....	P. 461
エンジンルームカバー .....	P. 465
エンジンオイル .....	P. 582
オーバーヒート時の対処 .....	P. 573

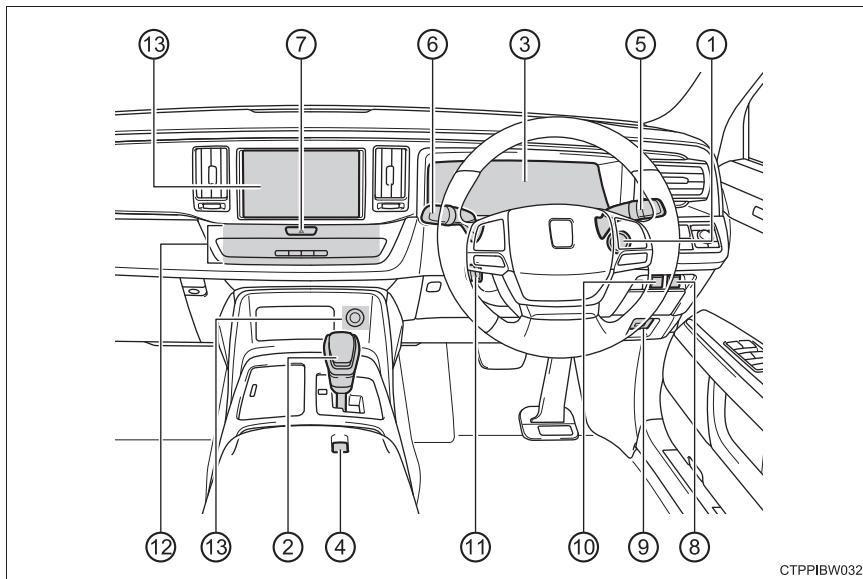
### 走行に関わる外装のランプバルブ

(交換要領：P. 499)

⑧ ヘッドライト・方向指示灯・LED デイライト・コーナリングランプ・車幅灯 .....	P. 209, 218
⑨ フロントフォグランプ .....	P. 230
⑩ 方向指示灯 .....	P. 209
⑪ 尾灯・制動灯・リヤフォグランプ★ .....	P. 218, 230
⑫ 尾灯・制動灯・方向指示灯 .....	P. 209, 218
⑬ 後退灯 シフトポジションを R にする .....	P. 204
⑭ 番号灯 .....	P. 218

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■インストルメントパネル



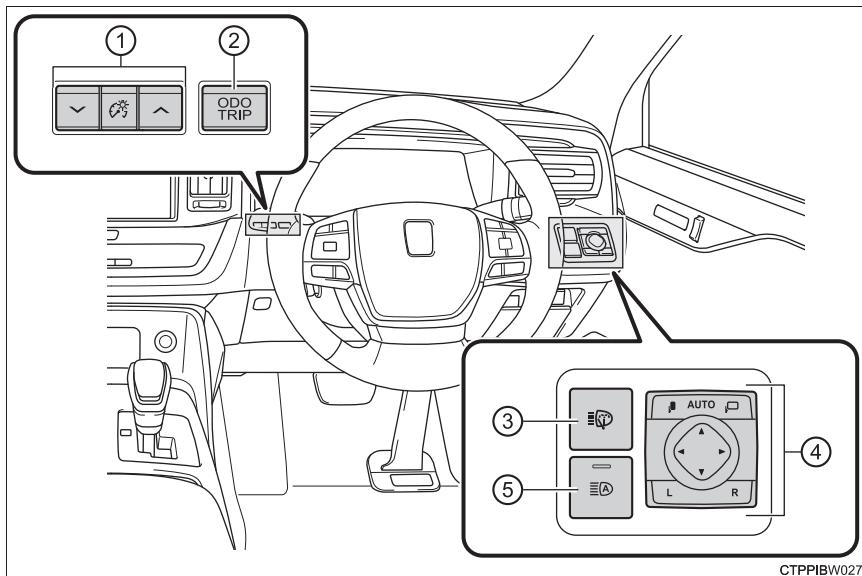
CTPP1BW032

<b>① パワースイッチ</b>	<b>P. 195</b>
ハイブリッドシステムの始動・モード切りかえ	P. 195
ハイブリッドシステムの緊急停止	P. 506
ハイブリッドシステムが始動できないときの対処	P. 561
<b>② シフトレバー</b>	<b>P. 204</b>
シフトポジションの切りかえ	P. 204
けん引時の注意	P. 509
シフトレバーが動かないときの対処	P. 207
<b>③ メーター</b>	<b>P. 93</b>
見方・明るさの調整	P. 100
警告灯／表示灯	P. 86
警告灯点灯時の対処	P. 516
マルチインフォメーションディスプレイ	P. 101
表示内容	P. 101
エネルギーモニター	P. 110
警告メッセージ表示時の対処	P. 524

④	パーキングブレーキスイッチ	.....	P. 210
	かける・解除する	.....	P. 210
	冬季の注意	.....	P. 387
	警告ブザー・警告メッセージ	.....	P. 213, 524
⑤	方向指示レバー	.....	P. 209
	ランプスイッチ	.....	P. 218
	ヘッドライト・車幅灯・尾灯・番号灯・LED デイライト	.....	P. 218
	フロントフォグランプ・リヤフォグランプ★	.....	P. 230
⑥	ワイパー＆ウォッシャースイッチ	.....	P. 232
	使い方	.....	P. 232
	ウォッシャー液の補充	.....	P. 467
⑦	非常点滅灯スイッチ	.....	P. 503
⑧	トランクオープナースイッチ	.....	P. 131
⑨	ボンネット解除レバー	.....	P. 461
⑩	給油扉オープナースイッチ	.....	P. 241
⑪	ハンドル位置調整スイッチ	.....	P. 170
⑫	オートエアコン	.....	P. 397, 408
	操作方法	.....	P. 397, 408
	リヤウインドウの曇り取り		
	(リヤウインドウデフォッガー)	.....	P. 399
	フロントワイパーデアイサー★	.....	P. 399
⑬	オーディオ*		
	音楽を聞く*		
	電話をかける・受ける（ハンズフリー）*		

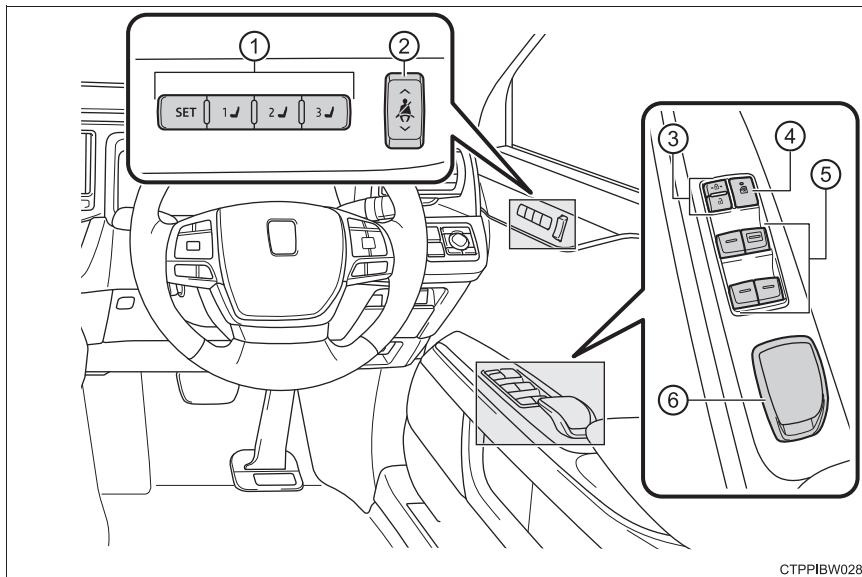
\* : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

\* : 別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

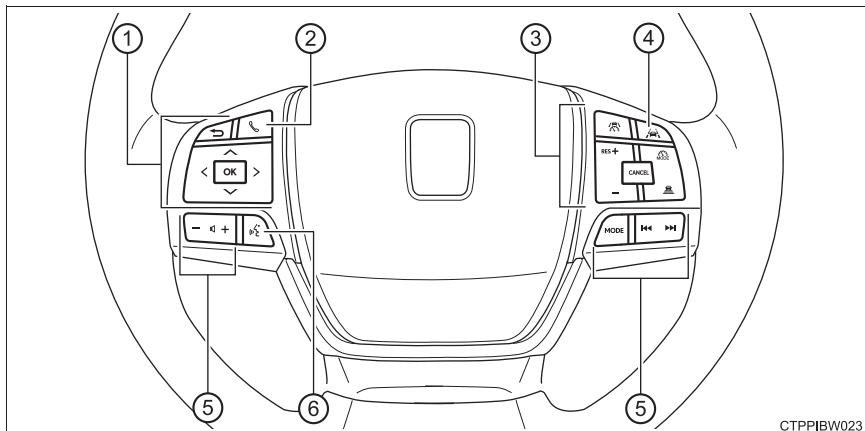
**■スイッチ類**

CTPPIBW027

- ① インストルメントパネル照度調整スイッチ ..... P. 100
- ② ODO/TRIP スイッチ ..... P. 99
- ③ ヘッドランプクリーナースイッチ ..... P. 238
- ④ ドアミラースイッチ ..... P. 174
- ⑤ アダブティブハイビームシステムスイッチ ..... P. 222

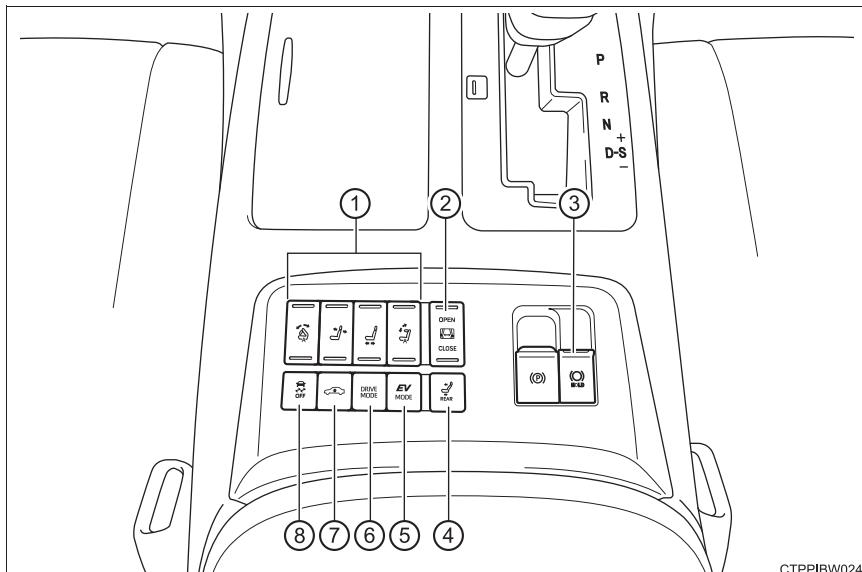


- ① マイコンプリセットドライビングポジションシステム  
スイッチ ..... P. 161
- ② シートベルト高さ調整スイッチ ..... P. 35
- ③ ドアロックスイッチ ..... P. 124
- ④ ウィンドウロックスイッチ ..... P. 178
- ⑤ パワーウィンドウスイッチ ..... P. 177
- ⑥ ドアハンドル ..... P. 125



CTPPIBW023

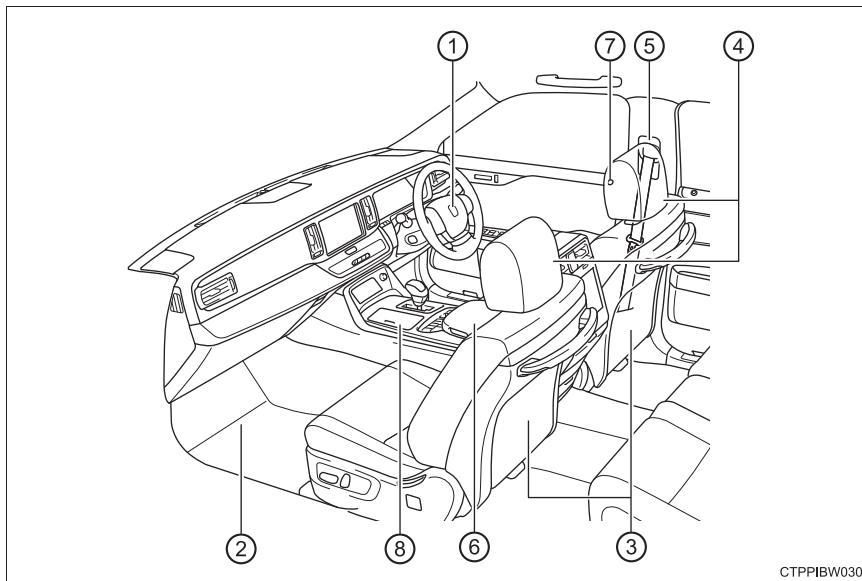
- ① メーター操作スイッチ ..... P. 102  
② 電話スイッチ \*  
③ クルーズコントロールスイッチ  
    レーダークルーズコントロール ..... P. 300  
    クルーズコントロール ..... P. 310  
④ LTA (レーントレーシングアシスト) スイッチ ..... P. 274  
⑤ オーディオスイッチ \*  
⑥ トーカスイッチ \*



CTPP1BW024

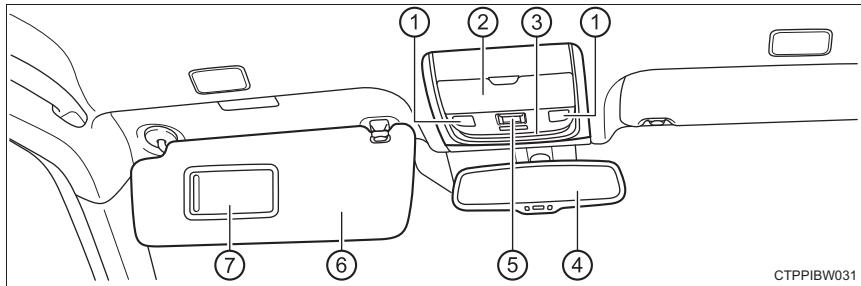
- |                             |        |
|-----------------------------|--------|
| ① 助手席パワーシートスイッチ.....        | P. 148 |
| ② 電動リヤカーテンスイッチ★.....        | P. 441 |
| ③ ブレーキホールドスイッチ .....        | P. 215 |
| ④ リヤシート／オットマン位置もどしスイッチ..... | P. 158 |
| ⑤ EV ドライブモードスイッチ .....      | P. 201 |
| ⑥ ドライブモードセレクトスイッチ .....     | P. 363 |
| ⑦ 車高選択スイッチ .....            | P. 365 |
| ⑧ VSC OFF スイッチ .....        | P. 370 |

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。  
※：別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

**■ フロント席**

CTPPIBW030

- |                   |        |
|-------------------|--------|
| ① SRS エアバッグ ..... | P. 39  |
| ② フロアマット .....    | P. 30  |
| ③ フロントシート .....   | P. 147 |
| ④ ヘッドレスト .....    | P. 168 |
| ⑤ シートベルト .....    | P. 34  |
| ⑥ コンソールボックス ..... | P. 424 |
| ⑦ ドアロックボタン .....  | P. 124 |
| ⑧ カップホルダー .....   | P. 426 |



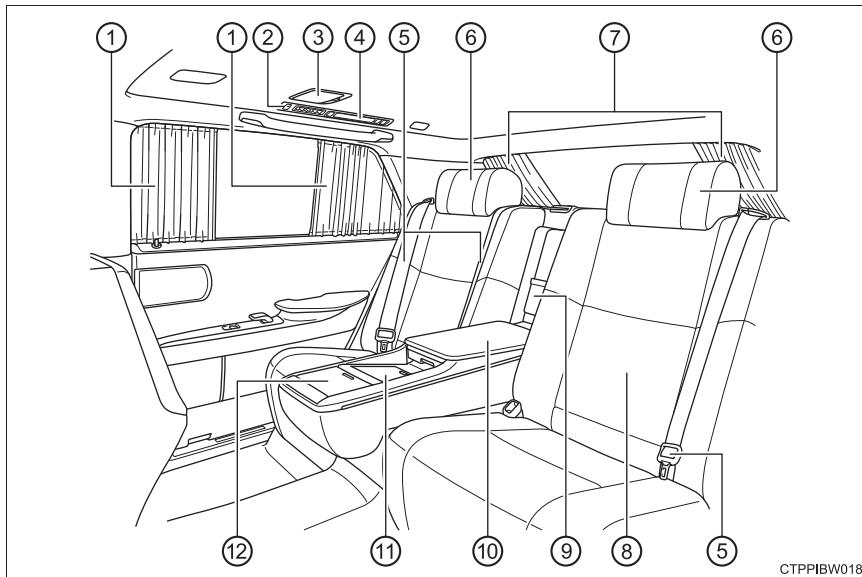
- |                    |        |
|--------------------|--------|
| ① パーソナルランプ .....   | P. 420 |
| ② 小物入れ .....       | P. 427 |
| ③ インテリアランプ .....   | P. 419 |
| ④ インナーミラー .....    | P. 172 |
| ⑤ ヘルプネットスイッチパネル *1 |        |
| ⑥ サンバイザー *2 .....  | P. 433 |
| ⑦ バニティミラー .....    | P. 433 |

\*1：別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

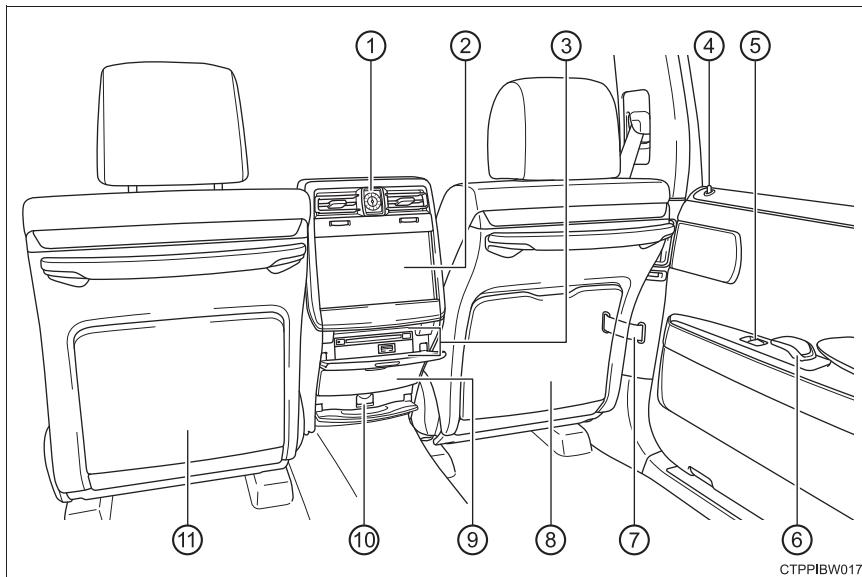
\*2：やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。（→ P. 56）



## ■リヤ席



① リヤドアカーテン★.....	P. 440
② コートフック .....	P. 444
③ バニティミラー.....	P. 433
④ インテリアランプ 読書灯.....	P. 419 P. 420
⑤ シートベルト .....	P. 34
⑥ ヘッドレスト .....	P. 168
⑦ 電動リヤカーテン★.....	P. 441
⑧ リヤシート .....	P. 155
⑨ マガジンラック .....	P. 439
⑩ アームレスト .....	P. 438
ライティングテーブル.....	P. 439
小物入れ.....	P. 427
充電用 USB 端子 .....	P. 436
HDMI 端子※	
ヘッドフォンジャック ※	
⑪ リヤマルチオペレーションパネル .....	P. 392
⑫ カップホルダー.....	P. 426



① 時計 .....	P. 438
② 後席ディスプレイ*	
③ 後席ブルーレイディスク™(BD)/DVD プレーヤー*	
④ ドアロックボタン .....	P. 124
⑤ パワーウィンドウスイッチ .....	P. 177
⑥ ドアハンドル .....	P. 125
⑦ 靴べら差し .....	P. 444
⑧ シートバックポケット .....	P. 438
⑨ 小物入れ .....	P. 427
⑩ アクセサリーコンセント .....	P. 435
⑪ オットマン .....	P. 152

\* : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。  
\*: 別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。



# 安全・安心のために ～必ずお読みください～

1

1-1. 安全に お使いいただくために	
運転する前に.....	30
安全なドライブのために .....	32
シートベルト.....	34
SRS エアバッグ.....	39
ポップアップフード .....	48
排気ガスに対する注意 .....	51
1-2. お子さまの安全	
お子さまを乗せるときは .....	52
チャイルドシート .....	53
1-3. ハイブリッドシステム	
ハイブリッドシステムの 特徴 .....	73
ハイブリッドシステムの 注意 .....	77
1-4. 盗難防止装置	
イモビライザーシステム .....	83

## 運転する前に

### 点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、車に異常がないことを確認してください。

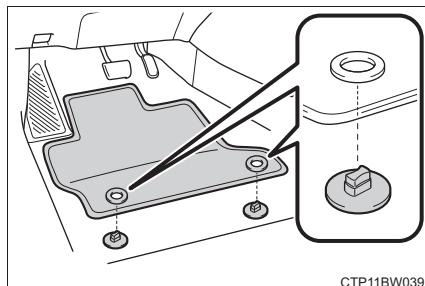
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

### フロアマット

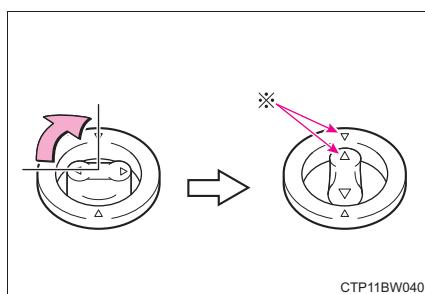
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

- 1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む**



- 2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する**

\* △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

## ⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

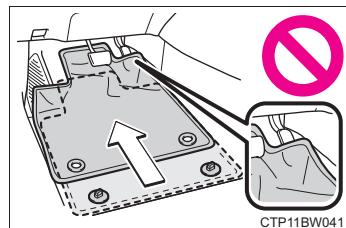
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、事故の原因になり重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ 運転席にフロアマットを敷くとき

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

### ■ 運転する前に

- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的に確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- ハイブリッドシステム停止およびシフトレバーが P の状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する

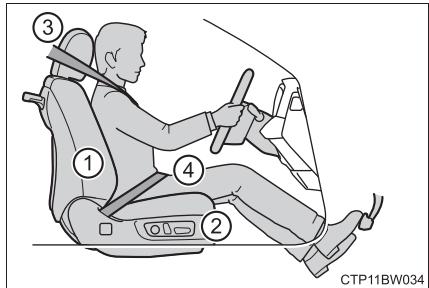


## 安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

### 正しい運転姿勢について

- ① まっすぐ座り、運転操作時に体が背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する  
(→ P. 147)
- ② ペダルがしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする  
(→ P. 147)
- ③ ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする  
(→ P. 169)
- ④ シートベルトを正しく着用する (→ P. 34)



### シートベルトを正しく着用する

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。  
(→ P. 34)

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご用意ください。  
(→ P. 53)

### ミラーを調整する

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・ドアミラーを正しく調整してください。  
(→ P. 172, 174)

## ⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 走行中は運転席の調整をしないでください。  
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。  
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシートの下にものを置かないでください。  
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- 公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。  
また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

## シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

### 正しく着用する

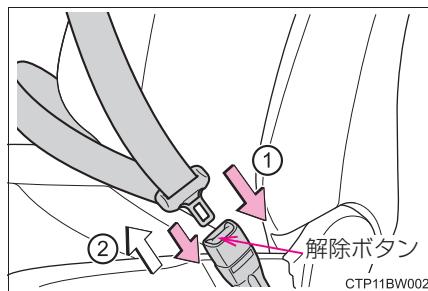
- 肩部ベルトを肩に十分かける  
首にかかったり、肩からはずれないようしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



CTP11BW001

### 着け方・はずし方

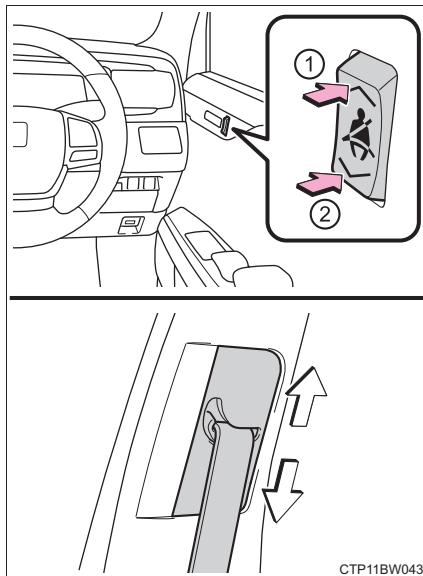
- ① ベルトを固定するには、“カチッ”  
と音がするまでプレートをバックルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタン  
を押す



CTP11BW002

## シートベルトの高さ調節（フロント席）

- ① アジャスターを上げる
- ② アジャスターを下げる



CTP11BW043

## シートベルトプリテンショナー（フロント席・リヤ外側席）

前方・側方から強い衝撃を受けたとき、フロント席・リヤ外側席のシートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

前方・側方からの衝撃が弱いときや、うしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。

## □ 知識

### ■ シートベルトロックの解除方法

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

### ■ お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

- シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合ったチャイルドシートを使用してください。(→ P. 53)
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。(→ P. 34)

### ■ シートベルトプリテンショナーについて

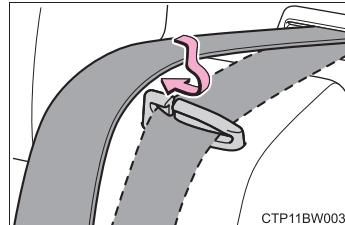
シートベルトプリテンショナーは、一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

### ■ 予防連携機能について

ブリクラッシュセーフティによって車両との衝突の可能性が高いと判断されたとき、シートベルトプリテンショナーの作動準備を整えます。

### ■ リヤ席シートベルトについて

シートベルトがガイドからはずれた場合には、ガイドに通してから使用してください。



## ⚠ 警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかない場合、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■シートベルトの着用について

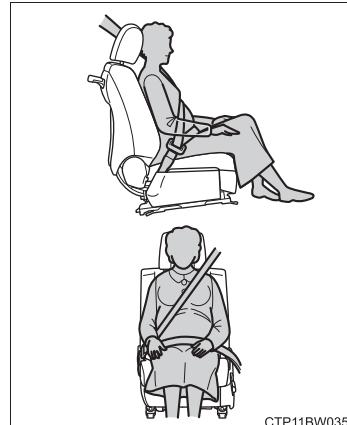
- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する  
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤ席に座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する
- リヤシートベルトを使用するときは、シートベルトがガイドに通っていることを確認する

### ■妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→P. 34)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



CTP11BW035

### ■疾患のある方の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

 **警告****■お子さまを乗せるとき**

→ P. 68

**■プリテンショナー付きシートベルトについて**

シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合はシートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

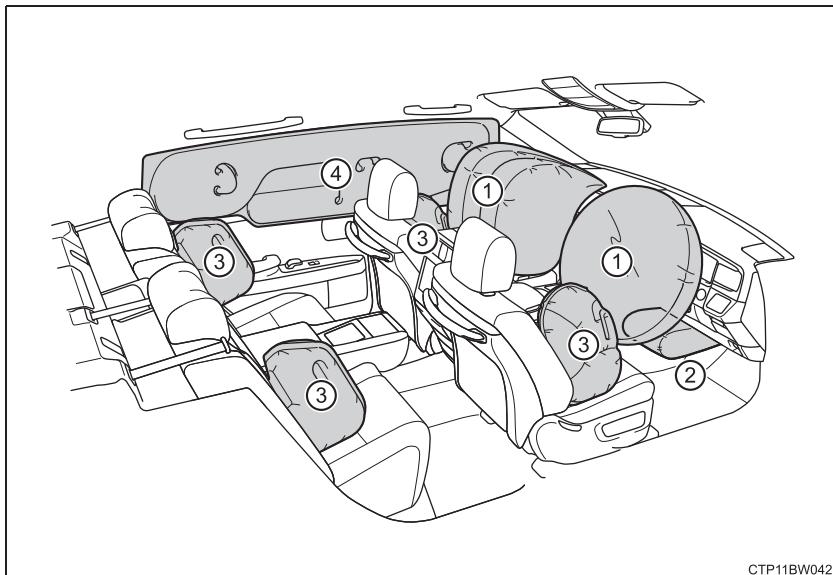
**■シートベルトの損傷・故障について**

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていなかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート、シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付きシートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。  
不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

## SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。

### SRS エアバッグ



CTP11BW042

- ① フロント SRS エアバッグ（運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ）
 

運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和
- ② SRS ニーエアバッグ
 

運転者の衝撃緩和を補助
- ③ SRS サイドエアバッグ
  - フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和
  - リヤ外側席乗員の胸などへの衝撃を緩和
- ④ SRS カーテンシールドエアバッグ
 

フロント席とりや外側席乗員の主に頭部への衝撃を緩和



## 知識

### ■SRS エアバッグが作動すると

- SRS エアバッグは高温のガスにより非常に速い速度でふくらむため、すり傷・やけど・打撲などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- エアバッグ近辺の部品の一部分などだけでなくエアバッグ構成部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。
- ハイブリッドシステムと燃料供給を停止します。（→ P. 78）
- すべてのドアが解錠されます。（→ P. 128）
- 自動的にブレーキと制動灯を制御します。（→ P. 369）
- 室内灯が自動で点灯します。（→ P. 420）
- 非常点滅灯が自動で点滅します。（→ P. 503）
- T-Connect の契約期間内は、次の場合、自動的に緊急通報がヘルプネットセンターに送信されます。
  - ・ SRS エアバッグが作動した
  - ・ シートベルトプリテンショナーが作動した
  - ・ 車両に一定以上の衝撃を受けた

オペレーターからの呼びかけに応答がなくても、緊急車両などを手配することができます。詳しくは「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

### ■正面からの衝撃でSRSエアバッグが作動するとき

- 次のエアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もない固定された壁に、車速約20～30km/hで正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。

- ・フロントSRSエアバッグ
- ・SRSニーエアバッグ

- 次の場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。

- ・駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
- ・もぐり込むような衝突の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）

- 衝突条件によっては次の部品のみが作動する場合があります。

- ・シートベルトプリテンショナー

- 前面衝突時でも、特に衝撃が大きい場合は左右のSRSカーテンシールドエアバッグが作動する場合があります。

### ■側面からの衝撃でSRSエアバッグが作動するとき

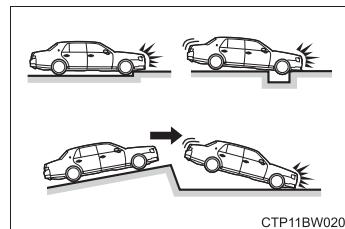
- 次のSRSエアバッグは、衝撃の強さが設定値（約1.5tの車両が、約20～30km/hの速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。

- ・SRSサイドエアバッグ
- ・SRSカーテンシールドエアバッグ

### ■車両下部からの衝撃でSRSエアバッグが作動するとき

- 次のSRSエアバッグは、車両下部が固いものにぶつかったときなどの状況で作動する場合があります。

- ・フロントSRSエアバッグ
- ・SRSニーエアバッグ
- ・SRSサイドエアバッグ
- ・SRSカーテンシールドエアバッグ

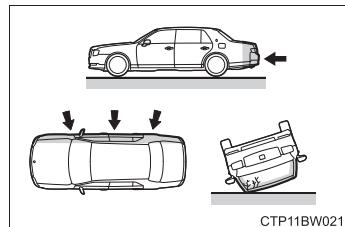


CTP11BW020

### ■SRSエアバッグが作動しないとき

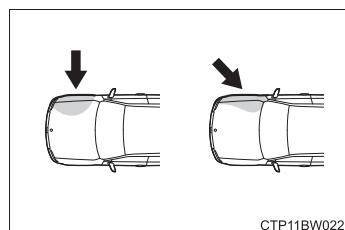
- 次のSRSエアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転・または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、作動することがあります。

- ・フロントSRSエアバッグ
- ・SRSニーエアバッグ



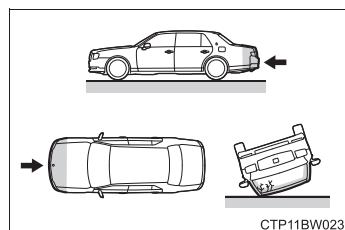
- 次のSRSエアバッグは、斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときに作動しない場合があります。

- ・SRSサイドエアバッグ
- ・SRSカーテンシールドエアバッグ



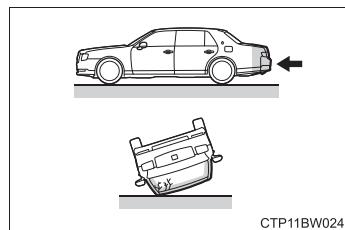
- 次のエアバッグは、前方や後方からの衝撃・横転・または低速での側面からの衝撃では、通常は作動しません。

- ・SRSサイドエアバッグ



- 次のエアバッグは、後方からの衝撃・横転・または低速での前方や側面からの衝撃では、通常は作動しません。

- ・SRSカーテンシールドエアバッグ



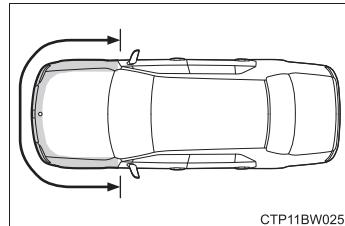
## ■ トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、点検・修理が必要になります。できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき

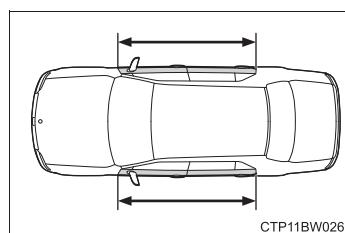
- 次のエアバッグはふくらまなかつたが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき

- ・ フロント SRS エアバッグ
- ・ SRS ニーエアバッグ



- 次のエアバッグはふくらまなかつたが、事故でドアおよびその周辺部分を衝突したとき、または破損・変形・穴あきなどがあるとき

- ・ SRS サイドエアバッグ
- ・ SRS カーテンシールドエアバッグ



- ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席 SRS エアバッグ付近・インストルメントパネル下部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき

- SRS サイドエアバッグが内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき

- SRS カーテンシールドエアバッグが内蔵されているフロントピラー・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき

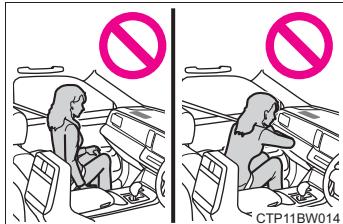
## ⚠️ 警告

### ■ SRS エアバッグについて

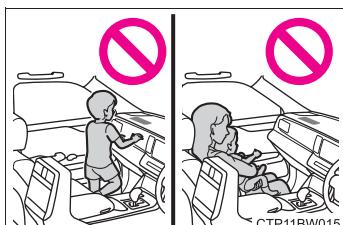
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。  
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、特に乗員がエアバッグに近付きすぎると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。乗員が SRS エアバッグのふくらむ場所に近い場合は特に危険です。シートの背もたれを調整して、シートができるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまがシートにしっかり座っていないと、SRS エアバッグのふくらむ衝撃で重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。  
お子さまはリヤ席に乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめします。 (→ P. 53)
- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



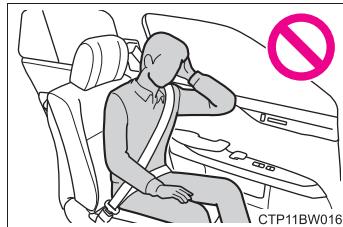
- お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



**⚠ 警告**

■ SRS エアバッグについて

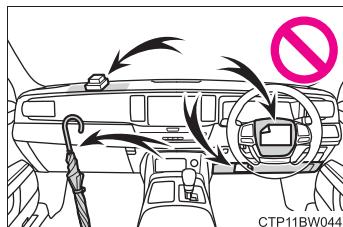
- ドアやフロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りかからない



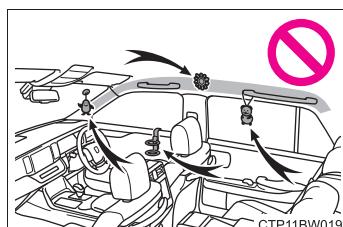
- ドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



- ダッシュボード・ハンドルのパッド部分・インストルメントパネル下部などには何も取り付けたり、置いたりしない



- ドア・フロントウインドウガラス・ドアガラス・フロントピラーおよびリヤピラー・ルーフサイドレール・アシストグリップなどには何も取り付けない  
(速度制限ラベルを除く : → P. 543)



- コートフックにハンガーなどの硬いものをかけないでください。  
SRS カーテンシールドエアバッグが作動したときに投げ出されて重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**⚠ 警告****■SRS エアバッグについて**

- SRS ニーエアバッグがふくらむ場所にビニールカバーが付いている場合は、取り除いてください。
- エアバッグがふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。エアバッグが作動する際、アクセサリーが干渉するおそれがあります。そのようなアクセサリーがエアバッグが正常に作動するのをさまたげ、システムを不能にしたり、またはエアバッグが誤って作動したりして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺およびフロントドアの周辺は、強くたたくなど過度の力を加えないでください。  
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS エアバッグが収納されている部分に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

## ⚠️ 警告

### ■ 改造・廃棄について

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。

SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理

- 次の部品周辺の修理・取りはずし・改造

- ・ ハンドル
- ・ インストルメントパネル
- ・ ダッシュボード
- ・ シート
- ・ シート表皮
- ・ フロントピラー
- ・ センターピラー
- ・ リヤピラー
- ・ ルーフサイドレール
- ・ フロントドアパネル
- ・ フロントドアトリム
- ・ フロントドアスピーカー

- フロントドアパネルの穴あけなどの改造

- 次の部品やその周辺の修理・改造

- ・ フロントフェンダー
- ・ フロントバンパー
- ・ 車内側面部

- 次の部品、または装置の取り付け

- ・ グリルガード
- ・ 除雪装置
- ・ ウインチ

- サスペンションの改造

- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

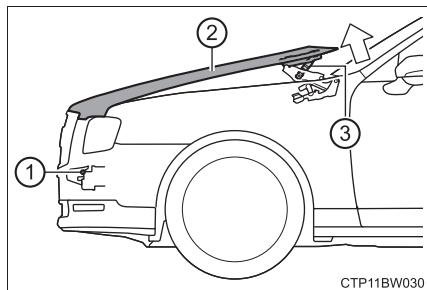
## ポップアップフード

ポップアップフードは前方方向からの衝突時にボンネットの後方を持ち上げ、エンジンルーム内の空間を確保し、歩行者の頭部への衝撃を緩和させます。

作動速度範囲での走行時に歩行者やその他の物体との衝突により、フロントバンパー裏にあるセンサーが一定以上の衝撃を感じると、システムが作動し、ボンネットが持ち上がります。

### システムの構成部品

- ① センサー
- ② ボンネット
- ③ リフター





## 知識

### ■ ポップアップフードについて

- 廃車するときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- ポップアップフードは、一度作動すると再使用できません。トヨタ販売店で交換してください。

### ■ ポップアップフードが作動するとき

次のような衝撃を受けたときに作動します。

- 作動速度範囲（約 25 ~ 55km/h）での走行時、フロントバンパーに歩行者と同等、もしくはそれ以上の衝撃を正面から受けたとき。（衝突したときにフロントバンパーに痕跡が残らないような場合でも、一定以上の衝撃が加われば作動します。また、軽いもの・小さな動物や他の小さな物体でも衝突の状況、速度によっては作動することがあります）
- その他に、次のような車両下部やフロントバンパーに衝撃を受けたときも作動することがあります。
  - ・ 縁石に衝突したとき
  - ・ 深い溝や穴に落ち込んだとき
  - ・ ジャンプして地面にぶつけたとき
  - ・ 駐車場のスロープ・うねりのある道路・突起物や落下物などにぶつけたとき

### ■ ポップアップフードが作動しにくいとき

- 走行中、フロントバンパーの左右の角や側面に歩行者がぶつかったときは、衝撃を検知しにくいため、作動しないことがあります。  
また、歩行者の衝撃によっては作動しにくい場合があります。
- 車両が横すべりするなどして、車速が正しく検知できないときは正常に作動しないことがあります。

### ■ ポップアップフードが作動しないとき

次のようなときは作動しません

- 横たわっている歩行者に衝突したとき
- 作動速度範囲外での走行時にフロントバンパーが衝撃を受けたとき
- 横方向や後部から衝撃を受けたとき
- 横転、転覆したとき（事故の状況、形態によっては、ポップアップフードが作動することがあります。）

### ■ 予防連携機能について

プリクラッシュセーフティによって歩行者・自転車運転者との衝突の可能性が高いと判断されたとき、ポップアップフードの作動準備を整えます。

## ⚠️ 警告

### ■ ポップアップフードが作動したとき

- ボンネット解除レバーを引かないでください。ポップアップフードが作動したあとにボンネット解除レバーを引くと、さらにボンネットが上がり、思わぬけがをするおそれがあり危険です。また、ボンネットが上がったまま走行すると視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ボンネットを無理に押しもどさないでください。作動したボンネットは手動では下げることができないため、ボンネットが変形したり、思わぬ傷害につながるおそれがあり危険です。
- ポップアップフードが作動したあとは、トヨタ販売店で交換してください。なお、車両の移動は安全な場所までにとどめ、販売店に連絡してください。
- ポップアップフードが作動した直後は、リフターにふれないでください。作動直後はリフターが熱くなっているため、やけどをするおそれがあります。

## ⚠️ 注意

### ■ ポップアップフードについて

- ボンネットが完全に閉まっていないと、正常に作動しないおそれがあります。走行前に必ず確認してください。
- 4輪とも指定されたサイズのタイヤを指定空気圧(→P. 585)で使用してください。異なるサイズのタイヤを使用すると、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- フロントバンパー周辺に何かがぶつかったときは、ポップアップフードが作動していないくとも、センサーが損傷しているおそれがあります。必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。
- ポップアップフードの部品や配線などを取りはずしたり修理しないでください。誤って作動したり、正常に作動しなくなるおそれがあります。修理や交換作業が必要なときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- フロントバンパー・ボンネット・サスペンションなどを純正品以外のものに交換しないでください。また、取りはずしたりしないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- フロントバンパーやボンネットにものを取り付けないでください。衝撃を正しく検知できず、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、リフターに荷重を加えないでください。リフターが損傷し、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- サスペンションを改造しないでください。車高がかわると、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

## 排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

### ⚠ 警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■走行中の留意事項

トランクを閉じてください。

トランクが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

#### ■駐車するとき

●車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、ハイブリッドシステムを停止してください。

●長時間ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。

やむを得ないときは、開かれた場所に車を停め、排気ガスが車内に入ってこないことを確認してください。

●降雪時や雪が積もった場所では、ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

#### ■排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

## お子さまを乗せるときは

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切なチャイルドシートをご用意ください。(→ P. 53)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウィンドウを誤操作したりしないように、チャイルドプロテクター (→ P. 126)・ウインドウロックスイッチ (→ P. 178) をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウィンドウ・ボンネット・トランクやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

### !**警告**

- お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた P. 53 を参照してください。

## チャイルドシート

ここでは、お車にチャイルドシートを取り付ける前にお守りいただきたいことや、チャイルドシートの種類および取り付け方法などを記載しています。

- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。  
取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書に必ず従ってください。
- トヨタでは、より安全にお使いいただくために、トヨタ純正チャイルドシートの使用を推奨しています。  
トヨタ純正チャイルドシートは、トヨタ車のために作られたチャイルドシートです。トヨタ販売店で購入することができます。

### 目次

知っておいていただきたいこと ······	P. 53
チャイルドシートを使用するときは ······	P. 55
シート位置別チャイルドシートの適合性について ······	P. 58
チャイルドシートの取り付け方法 ······	P. 66
・ シートベルトで固定する ······	P. 67
・ ISOFIX ロアアンカレッジで固定する ······	P. 69
・ トップテザーアンカレッジを使用する ······	P. 71

### 知っておいていただきたいこと

- チャイルドシートに関する注意事項および法規について、優先してお守りください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまではチャイルドシートを使用してください。
- お子さまの年齢・体格に合わせて、適切なチャイルドシートをお選びください。
- すべてのチャイルドシートがすべての車両に適合するわけではありません。チャイルドシートの使用・購入の際は、あらかじめ取り付けるシート位置との適合性を確認してください。 (→ P. 58)

## ⚠️ 警告

### ■ お子さまを乗せるときは

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ず正しく取り付けられたチャイルドシートを使用して、しっかりと体を固定してください。お子さまに最適なチャイルドシートについては、チャイルドシート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- トヨタでは、お子さまの年齢や体の大きさに合った適切なチャイルドシートをリヤシートに取り付けることを推奨します。事故統計によると、フロントシートよりリヤシートに適切に取り付けるほうがより安全です。
- お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントウインドウガラスや乗員、車内の装備にぶつかるおそれがあります。

### ■ チャイルドシートについて

次のことをお守りいただかないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときに飛ばされるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれが強いため、再使用しないでください。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。その場合は、車への取り付けに適したチャイルドシートであるか確認ください。(→ P. 58) 本書のチャイルドシート固定方法およびチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。
- チャイルドシートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- チャイルドシートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、トランク内に容易に動かないように収納してください。

## チャイルドシートを使用するときは

### ■ 助手席にチャイルドシートを取り付けるとき

お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、チャイルドシートを取り付けてください。

- シートをいちばんうしろに下げる

- 背もたれとチャイルドシートの間にすき間がある場合は、背もたれとチャイルドシートのすき間が少なくなるように背もたれを調整する

- クッション前端をいちばん下に下げる

- シートの高さをいちばん高い位置まで上げる

- シートベルトの高さをいちばん下に下げる (→ P. 35)

- ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、ヘッドレストを取りはずす  
取りはずしができない場合は、ヘッドレストをいちばん上まで上げる

### ■ リヤシートにチャイルドシートを取り付けるとき

リヤシートを次のように調整し、チャイルドシートを取り付けてください。

- シートをいちばんうしろに下げる

- 背もたれをいちばんうしろに倒す

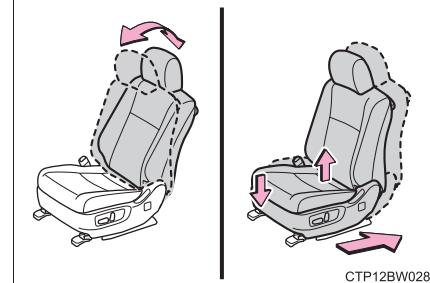
- ヘッドレストをいちばん低くし、いちばんうしろにする

- ランバーサポートをいちばんうしろに下げる

- 助手席の背もたれにあるオットマンを格納する

ドア連動シートリターン機能を OFF にしてください。 (→ P. 393)

リヤシート／オットマン位置もどしスイッチを押さないでください。 (→ P. 158)



CTP12BW028



CTP12BW018

## ⚠ 警告

### ■ チャイルドシートを使用するとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。

うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

助手席側のサンバイザーに、同内容のラベルが貼られています。併せて参照してください。



- やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろに下げて取り付けてください。

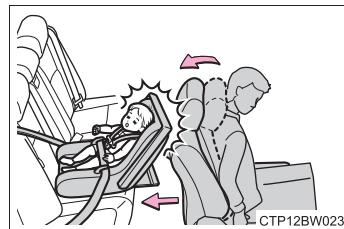
助手席SRS エアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



## ⚠️ 警告

### ■ チャイルドシートを使用するとき

- チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分も、もたれかけないようにしてください。SRS エアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。
- 運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてください。
- 助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。



## シート位置別チャイルドシートの適合性について

### ■ シート位置別チャイルドシートの適合性について

シート位置別チャイルドシートの適合性（→ P. 60）は、使用可能なチャイルドシートの種類や取り付け可能な座席位置を記号で表しています。また、お子さまに合った推奨チャイルドシートについても選択することができます。

推奨チャイルドシートについては、「推奨チャイルドシートと適合性一覧表」を確認してください。（→ P. 64）

次に記載されている、「シート位置別チャイルドシートの適合性を確認する前に」も併せて確認してください。

### ■ シート位置別チャイルドシートの適合性を確認する前に

#### ① チャイルドシートの規格を確認する

UN (ECE) R44<sup>\*1</sup> または、UN (ECE) R129<sup>\*1</sup> に適合したチャイルドシートを使用してください。

適合したチャイルドシートには、次の認可マークが表示されています。

チャイルドシートに付いている認可マークを確認してください。

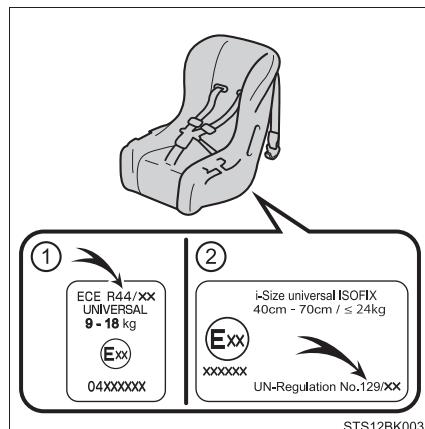
法規番号の表示例

① UN (ECE) R44 認可マーク<sup>\*2</sup>

対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。

② UN (ECE) R129 認可マーク<sup>\*2</sup>

対象となるお子さまの身長の範囲および使用可能な体重が記載されています。



STS12BK003

<sup>\*1</sup> UN (ECE) R44、UN (ECE) R129 は、チャイルドシートに関する国連法規です。

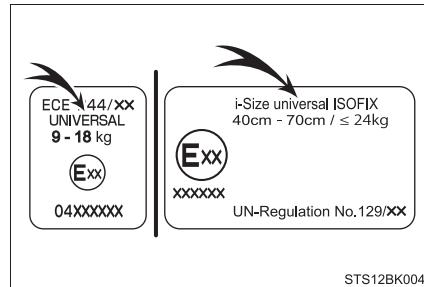
<sup>\*2</sup> 表示されているマークは、商品により異なります。

**2 チャイルドシートのカテゴリーを確認する**

チャイルドシートのカテゴリーが次のどのカテゴリーに該当するのか、チャイルドシートの認可マークを確認ください。

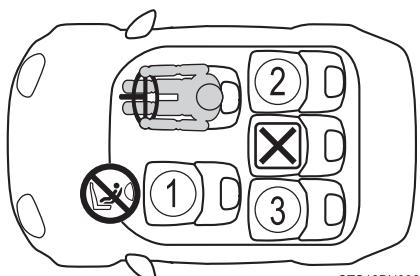
また、ご不明な場合はチャイルドシートに付属の取扱説明書を確認頂くか、または販売業者へ確認してください。

- ・ユニバーサル「universal  
(汎用)」
- ・セミユニバーサル  
「semi-universal(準汎用)」
- ・リストリクティッド  
「restricted(限定)」
- ・ビークルスペシフィック  
「vehicle specific(特定車両)」



STS12BK004

## ■ シート位置別チャイルドシートの適合性



※1,2,3 ①	UF
※1,2,5 ②	U L
※1,2,5 ③	U L



車両のシートベルトで固定するタイプのユニバーサル（汎用）カテゴリーのチャイルドシートに適しています。



車両のシートベルトで固定するタイプの前向きに取付けるユニバーサル（汎用）カテゴリーのチャイルドシートに適しています。



推奨チャイルドシートと適合性一覧表（→ P. 64）に記載されたチャイルドシートに適しています。



i-Size チャイルドシートおよび ISOFIX チャイルドシートに適しています。



トップテザーアンカレッジが装備されています。



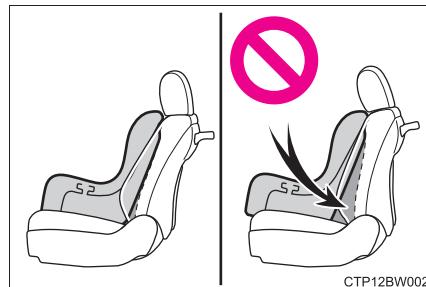
チャイルドシートの取り付けに適していません。



やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。

\*<sup>1</sup> シートをいちばんうしろに下げた状態で取り付けてください。シートの高さ調整ができる場合は、いちばん高い位置に調整してください。

\*<sup>2</sup> 前向きにチャイルドシートを取り付けるときに、背もたれとチャイルドシートの間にすき間がある場合は、背もたれとチャイルドシートのすき間が少なくなるように背もたれを調整してください。



\*<sup>3</sup> ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取り付けられない場合、ヘッドレストの取りはずしが可能なときは、ヘッドレストを取りはずしてください。

取りはずしができない場合は、ヘッドレストをいちばん上まで上げてください。

\*<sup>4</sup> チャイルドシートを必ず、前向きで使用してください。

\*<sup>5</sup> ヘッドレストをいちばん低くし、いちばんうしろにしてください。

### ■ チャイルドシート取り付けに関する詳細情報

着座位置			
シート位置の番号	①	②	③
ユニバーサル（汎用）ベルト式が搭載可能な着座位置（有／無）	有 前向きのみ	有	有
アイサイズ着座位置（有／無）	無	有	有
搭載可能な横向きチャイルドシート着座位置の治具（L1／L2）	×	×	×
搭載可能なうしろ向きチャイルドシートの治具（R1／R2X／R2）	×	R1、R2、 R2X	R1、R2、 R2X
搭載可能な前向きチャイルドシートの治具（F2X／F2／F3）	×	F2X、F2、 F3	F2X、F2、 F3
搭載可能なジュニアシートの治具（B2／B3）	×	B2、B3	B2、B3

ISOFIX チャイルドシートはいくつかの「治具」に分かれています。上記の表に示す「治具」の着座位置でチャイルドシートを使用することができます。「治具」の種類は、次の表を確認ください。

チャイルドシートの「治具」の種類を確認するために、チャイルドシートに付属の取扱説明書を確認してください。お手持ちのチャイルドシートに「治具」の種類がない（または必要な情報が表の中にはない）場合は、チャイルドシートの「車種別適合リスト」を参照するか、販売業者へお問い合わせの上、適合性を確認してください。

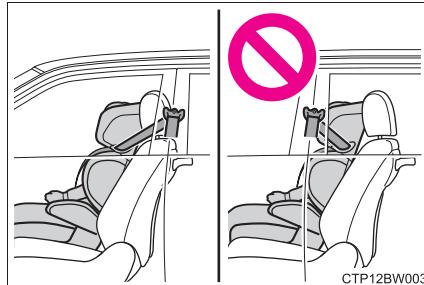
治具	使用の向き・形状・大きさ
F3	全高前向きチャイルドシート
F2	低型前向きチャイルドシート
F2X	低型前向きチャイルドシート
R2	小型うしろ向きチャイルドシート
R2X	小型うしろ向きチャイルドシート
R1	うしろ向きチャイルドシート
L1	左向き寝台式チャイルドシート
L2	右向き寝台式チャイルドシート
B2	ジュニアシート
B3	ジュニアシート

### ■ 推奨チャイルドシートと適合性一覧表

推奨チャイルドシート	適応範囲	搭載する向き	着座位置		
			①	②	③
トヨタ純正 NEO G-Child i-Size	身長：～83cm (体重：～13kg)	うしろ向き	×	○	○
	月齢 15か月以上かつ、 身長：76～100cm (体重：～18kg)	前向き	×	○	○
トヨタ純正 NEO G-Child Junior	身長：100～150cm (体重：15～36kg)	前向きのみ	×	○	○

チャイルドシートの隣の席を使用するときは、肩部ベルトが確実に肩を通り、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置に密着することを確認してください。チャイルドシートの隣の席に座ったときに、チャイルドシートの種類によっては、乗員の体またはシートベルトがチャイルドシートと干渉するためシートベルトが正しく着用できず、十分な効果を発揮できない場合があります。その場合は、他の席を使用してください。  
お守りいただかない場合、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

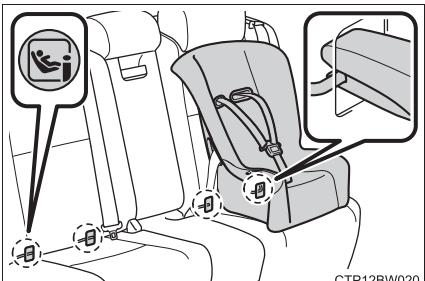
- リヤシートにチャイルドシートを取り付けるときは、お子様やチャイルドシートがフロントシートと干渉しないようにフロントシートを調整してください。
- サポートベース付きのチャイルドシートを取り付けるときに、チャイルドシートをサポートベースへ固定する際にチャイルドシートが背もたれと干渉する場合は、チャイルドシートが干渉しなくなるまで背もたれを調整してください。
- シートベルトのショルダーアンカーがチャイルドシートベルトガイドより前にある場合は、シートを前方に動かします。



- ジュニアシートを取り付けるときに、お子様がかなり直立した姿勢になる場合は、背もたれの角度を最も快適な位置に調整します。また、シートベルトのショルダーアンカーがチャイルドシートベルトガイドより前にある場合は、シートを前方に移動します。

## チャイルドシートの取り付け方法

チャイルドシートのご使用については、チャイルドシートに付属の取扱説明書を確認してください。

固定方法	ページ
シートベルトで固定する	 CTP12BW019
ISOFIX ロアアンカレッジで固定する	 CTP12BW020
テザーベルトを固定する	 CTP12BW006

## チャイルドシートをシートベルトで固定する

### ■ シートベルトで固定する

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってチャイルドシートを取り付けてください。

お手持ちのチャイルドシートが「ユニバーサル」カテゴリーでない（または必要な情報が表の中にはない）場合は、チャイルドシートメーカーが提供する「車種別適合リスト」を参照するか、販売業者へお問い合わせの上、適合性を確認してください。（→ P. 59, 60）

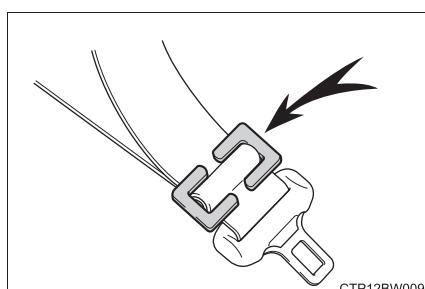
- 1** やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合は、助手席シートを正しく調整してください。（→ P. 55）
- 2** リヤシートを正しく調整する（→ P. 55）
- 3** チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートをバックルに“力チッ”と音がするまで挿し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。



CTP12BW021

- 4** チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロッキングクリップ（別売）を使用して固定する  
ロッキングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。（ロッキングクリップ品番：73119-22010）



CTP12BW009

- 5** 取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認してください。（→ P. 68）

## ■ チャイルドシートの取りはずし

バックルの解除ボタンを押し、シートベルトをチャイルドシートから取りはずす

バックル解除時に、シートクッションの反発により、チャイルドシートが跳ね上ることがあります。

チャイルドシートを抑えながらバックルの解除をしてください。

シートベルトは自動的に巻き取られますので、ゆっくり戻してください。



### 警告

#### ■ チャイルドシートを取り付けるとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

●シートベルトのプレートとバックルがしっかりと固定されて、ベルトがねじれていなか確認してください。

●チャイルドシートを前後左右にゆすって、しっかりと固定されているか確認してください。

●チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。

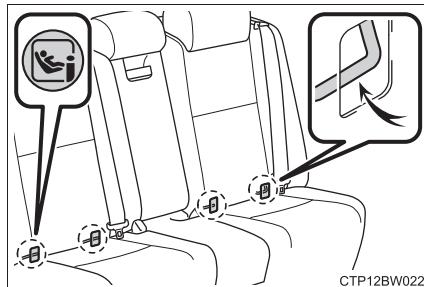
●ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。

●必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。

## チャイルドシートを ISOFIX ロアアンカレッジで固定する

### ■ ISOFIX ロアアンカレッジについて

この車はリヤ外側席に ISOFIX ロアアンカレッジが装備されています。(ロアアンカレッジが装備されていることを示すマークがシートに付いています)

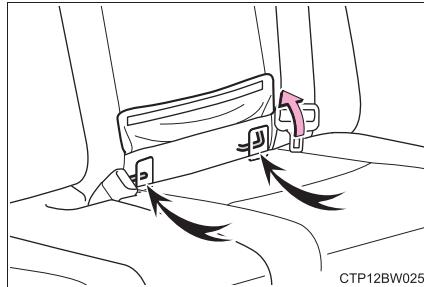


### ■ ISOFIX ロアアンカレッジで固定する

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってチャイルドシートを取り付けてください。

お手持ちのチャイルドシートが「ユニバーサル」カテゴリーでない(または必要な情報が表の中にはない)場合は、チャイルドシートメーカーが提供する「車種別適合リスト」を参照するか、販売業者へお問い合わせの上、適合性を確認してください。(→ P. 59, 60)

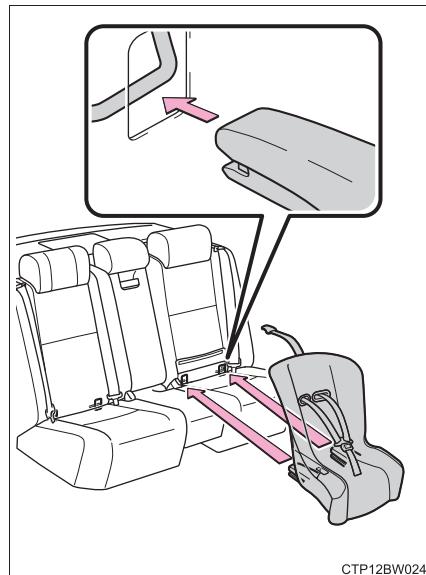
- 1 リヤシートを正しく調整する (→ P. 55)
- 2 カバーをめくり、ISOFIX ロアアンカレッジの位置を確認する



**3 チャイルドシートを取り付ける**

チャイルドシートのコネクタ（取り付け金具）をロアアンカレッジに取り付けます。

取り付け方法は、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



CTP12BW024

**4 取り付けたチャイルドシートを前後左右にゆすり、固定されていることを確認する（→ P. 68）**

**警告**

**■ チャイルドシートを取り付けるとき**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

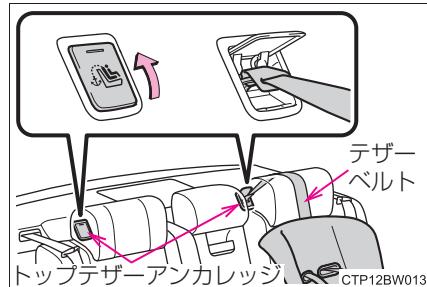
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。
- ISOFIX ロアアンカレッジを使用するときは、周辺に障害物がないか、シートベルトが挟まっていないなどを確認してください。
- 必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。

## トップテザーアンカレッジを使用する

### ■ トップテザーアンカレッジについて

この車はリヤ外側席にトップテザーアンカレッジが装備されています。

テザーベルトを固定するときに使います。



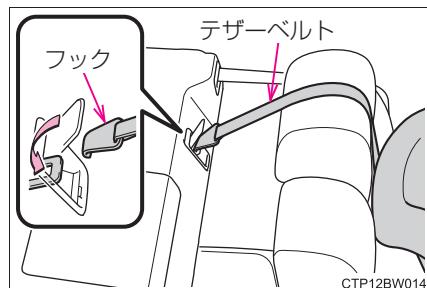
### ■ テザーベルトをトップテザーアンカレッジに固定する

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってチャイルドシートを取り付けてください。

**1** リヤシートを正しく調整する (→ P. 55)

**2** フタを開けてトップテザーアンカレッジにフックを固定し、テザーベルトを締める

テザーベルトをピンと張り、フックがしっかりと固定されていることを確認します。 (→ P. 68)



**⚠ 警告****■ チャイルドシートを取り付けるとき**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

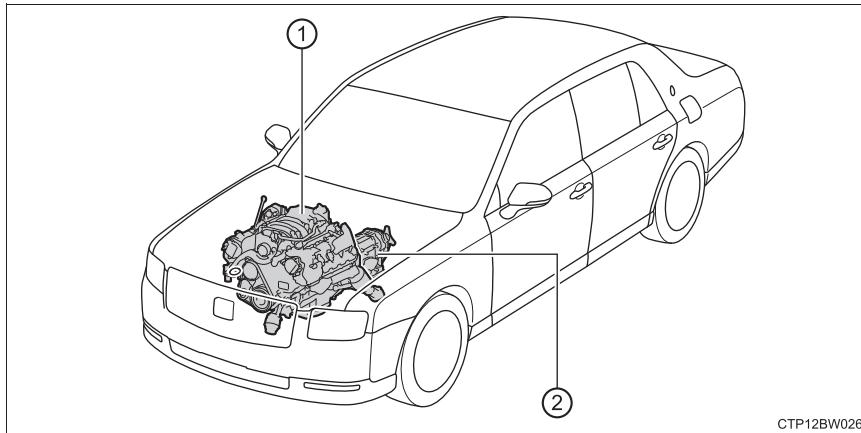
- テザーベルトがしっかりと固定されて、ベルトがねじれていなか確認してください。
- テザーベルトはトップテザーアンカレッジ以外に掛けないでください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。
- 必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。

**⚠ 注意****■ トップテザーアンカレッジについて**

使用しないときはフタを確実に閉めてください。開けたままにしておくとフタが破損するおそれがあります。

## ハイブリッドシステムの特徴

ハイブリッドシステムは、電気モーターとガソリンエンジンという2つのパワーのシナジー（相乗）効果により、優れた動力性能と低燃費化の両立を高い次元で実現したシステムです。さらに、排出ガスを低減、クリーン化した環境に配慮した技術となっています。



CTP12BW026

イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

- ① ガソリンエンジン
- ② 電気モーター

### ◆ 停車時・発進時・低速走行時

停車中はガソリンエンジンを停止※します。

発進時は電気モーターを使って発進します。

低速走行時や下り坂走行時もガソリンエンジンを停止※し、電気モーターを使って走行します。

シフトレバーが N にあるときは駆動用電池への充電が行われません。

\* 駆動用電池の充電が必要なときやエンジン暖機中など、ガソリンエンジンが自動停止しないことがあります。（→ P. 75）

### ◆ 通常走行時

主にガソリンエンジンを使用して走行します。

必要に応じて電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

### ◆ 急加速時

アクセルペダルを強く踏み込むと、ガソリンエンジンに加え、駆動用電池からも電気モーターに電力を供給し、電気モーターの出力を上げ、力強く加速します。

### ◆ 減速時・制動時（回生ブレーキ）

車輪が電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

## 車両接近通報装置

ガソリンエンジンが停止した状態での走行時、車両の接近を周囲の人間に知らせるため、車速に応じた音階で音を鳴らします。車速が約 25km/h をこえると消音します。

## 知識

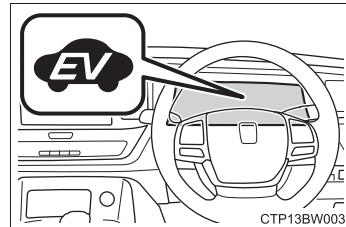
### ■回生ブレーキについて

次の場合、車の運動エネルギーを電気エネルギーに変換し、駆動用電池へ充電すると共に減速力を得ることができます。

- シフトレバーが D または S で走行中に、アクセルペダルから足を離したとき
- シフトレバーが D または S で走行中に、ブレーキペダルを踏んだとき

### ■EV インジケーターについて

ガソリンエンジン停止中や、電気モーターのみで走行しているときに、EV インジケーターが点灯します。



### ■ガソリンエンジンの自動停止について

車両状態に応じて、ガソリンエンジンは自動的に始動・停止します。

ただし、次のいずれかの状態では自動停止しないことがあります、燃費が低下する場合があります。※

- ガソリンエンジン暖機中
- 駆動用電池充電時
- 駆動用電池の温度が高いとき、または低いとき
- 暖房をかけているとき
- 急加速・急減速をくり返したとき
- 長時間のハイブリッドシステム作動をくり返したとき
- 長い下り坂を走行したとき

※ 状況により、上記の他にもガソリンエンジンが自動停止しない場合があります。

### ■駆動用電池の充電について

ガソリンエンジンの動力による充電や回生ブレーキにより、駆動用電池が充電されるため、車外からの充電は必要ありません。しかし、車両を長時間放置すると、少しずつ放電します。そのため少なくとも、2~3ヶ月に一度、約30分間または16kmほど運転してください。

万一、駆動用電池が完全に放電し、ハイブリッドシステムを始動できないときはトヨタ販売店にご連絡ください。

### ■補機バッテリーの充電について

→ P. 569

**■補機バッテリーあがり発生後や、交換などでターミナルを脱着したとき**

ガソリンエンジンの自動停止が行われないことがあります。

自動停止しない状態が2～3日続く場合は、トヨタ販売店へご連絡ください。

**■ハイブリッド車特有の音と振動について**

ハイブリッド車は、READY インジケーターが点灯し、走行可能な状態でも、通常の車のように、エンジン音や振動がないことがあるため、走行可能な状態であることに気が付かない場合があります。安全のため、駐車時は確実にシフトレバーをPにして、パーキングブレーキをかけてください。

ハイブリッドシステム始動後は、次のような音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

- エンジンルームからのモーター音
- ハイブリッドシステム始動時や停止時に聞こえる車両後方および駆動用電池からの音
- ハイブリッドシステム始動時および停止時に車両後方から聞こえる“コトン”、“カチッ”などの高電圧リレーの音
- トランクを開けたときに聞こえる作動音
- ガソリンエンジンの始動・停止時や低速走行時、およびアイドリング中にトランスミッション付近から聞こえる音
- 急加速時のエンジン音
- ブレーキペダルを踏んだときや、アクセルペダルをゆるめたときに聞こえる回生ブレーキの音
- ガソリンエンジンの始動・停止による振動
- 駆動用電池冷却用吸入口(→P. 78)から聞こえるファンの音

**■車両接近通報装置について**

次のような場合は、周囲の人に通報音が聞こえにくくなることがあります。

- 周囲の騒音が大きい場合
- 雨または強風の場合

また、車両接近通報装置は車両前側にあるので、車両前方と比較して、車両後方は聞こえにくくなることがあります。

**■マルチインフォメーションディスプレイに“車両接近通報装置 故障 販売店で点検を受けてください”が表示されたとき**

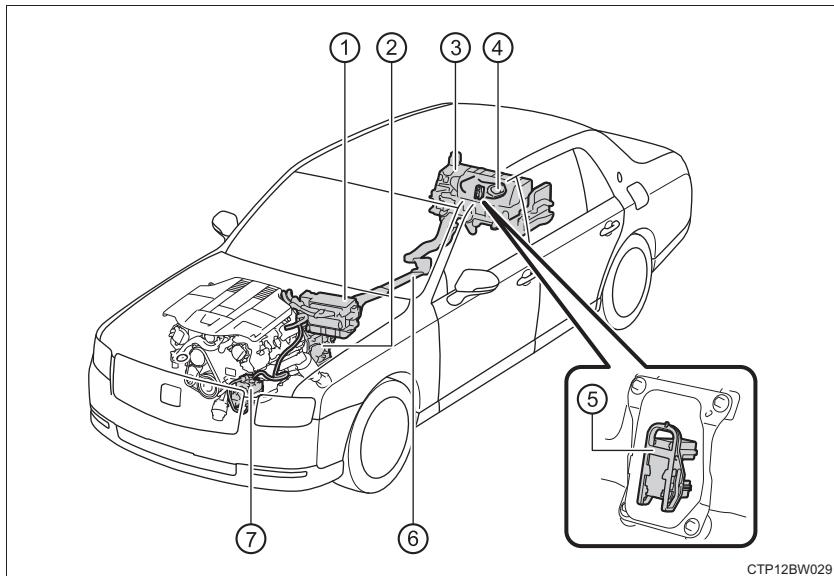
車両接近通報装置に異常があるおそれがあります。トヨタ販売店に連絡してください。

**■メンテナンスや修理・廃車について**

お車のメンテナンスや修理・廃車の際は必ずトヨタ販売店をご相談ください。特に廃車する場合は、トヨタ販売店を通じて駆動用電池の回収を行っていますので、ご協力ください。

## ハイブリッドシステムの注意

ハイブリッドシステムには、駆動用電池・パワーコントロールユニット・オレンジ色の高圧ケーブル・電気モーターなどの高電圧部位（最高約650V）や、冷却用ラジエーターなどの高温部位がありますので、ご注意ください。ご使用前に、ここで説明している内容をよくお読みいただき、正しく取り扱ってください。なお、高電圧部位には、取り扱い上の注意喚起のため△表示を含んだラベルが貼付されています。

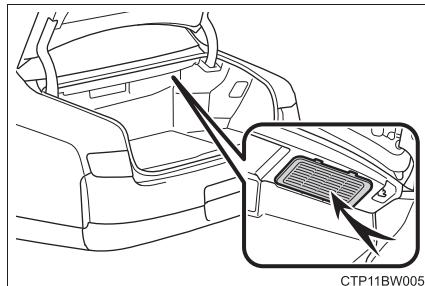


イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| ① パワーコントロールユニット | ⑤ サービスプラグ        |
| ② 電気モーター        | ⑥ 高電圧ケーブル（オレンジ色） |
| ③ 駆動用電池         | ⑦ エアコンコンプレッサー    |
| ④ DC/DC コンバーター  |                  |

### 駆動用電池冷却用吸入口

トランク内部には、駆動用電池冷却用の吸入口があります。吸入口をふさいだりすると、駆動用電池の出入力に制限がかかる原因になります。



### 緊急停止システム

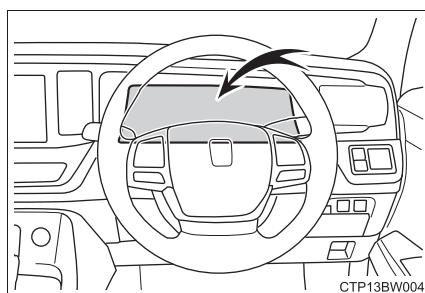
事故により衝撃を受けたときなどは、ハイブリッドシステムを停止して高電圧を遮断します。また、フューエルポンプ制御により燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。  
この場合、ハイブリッドシステムを再始動させることができなくなるためトヨタ販売店へご連絡ください。

### 警告メッセージ

ハイブリッドシステムの異常やお知らせしたい事項が発生すると自動で表示されます。

警告メッセージは、マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

表示された画面の指示に従ってください。(→ P. 524)



 知識**■警告灯が点灯したときや、警告メッセージが表示されたとき、または補機バッテリーとの接続が断たれたとき**

ハイブリッドシステムを再始動できないおそれがあります。

もう一度始動操作をしてもREADYインジケーターが点灯しない場合はトヨタ販売店にご連絡ください。

**■ガス欠になったとき**

ガス欠でハイブリッドシステムが始動できないときは、燃料残量警告灯(→ P. 518)が消灯するまで給油してから再始動してください。少量の給油では始動できない場合があります。(給油量の目安は車両水平状態で約13L以上です。車両の傾きによって給油量はかわります。傾いているときは、少し多めに給油してください)

**■電磁波について**

- 高電圧部位や高電圧配線は、電磁シールド構造になっています。従来の車や家電製品と比べて、電磁波が多いということはありません。
- アマチュア無線の一部（遠距離通信）において、受信時に雑音が混入する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**■駆動用電池について**

駆動用電池には寿命があります。寿命は車の使い方、走行条件により異なります。

**■適合宣言**

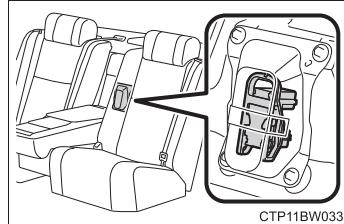
この車両は、ECE100（バッテリー電気車両安全）に基づいた水素排出量に適合しています。

**⚠ 警告****■高電圧・高温について**

この車は、高電圧システムを使用しています。

次のことをお守りいただかないと、やけどや感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 高電圧部位・高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクターの取りはずし・分解などは絶対に行わないでください。
- 高電圧部位にふれないでください。特に走行後は高温になっており危険です。
- サービスプラグがリヤシート奥に設置してあります。サービスプラグは絶対にさわらないでください。サービスプラグは、トヨタ販売店での車両の修理時などに、駆動用電池の高電圧を遮断するためのものです。



CTP11BW033

## ⚠️ 警告

### ■事故が発生したとき

次のことをお守りいただかない場合、感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合は死亡につながるおそれがあります。

- 続発事故防止のため安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P に入れ、ハイブリッドシステムを停止する
- 高電圧部位・高電圧配線（オレンジ色）などには、絶対にさわらない
- 車室内および車室外に、はみ出している電気配線には絶対さわらない
- 液体の付着やもれがある場合は絶対にさわらない  
駆動用電池の電解液（強アルカリ性）が目や皮膚にふれると失明や皮膚傷害のおそれがあり危険です。万一、目や皮膚に付着した場合はただちに多量の水で洗い流し、早急に医師の診察を受けてください。
- 駆動用電池の電解液がもれている場合は、車両に近付かない  
万一、駆動用電池が破損しても、電池内部の構造により大量に電解液が流出することはありませんが、流出すると蒸気を発生します。蒸気は目や皮膚に刺激性があり、吸引すると急性中毒を起こすおそれがあり危険です。
- 万一、車両火災が発生したときは、ABC 消火器を使用して消火する水をかける場合は、消火栓などから大量にかけてください。
- 後輪が接地した状態でけん引しない  
電気モーターから発電され、破損の状態によっては、火災のおそれがあり危険です。（→ P. 509）
- 車の下の路面などを確認し、液体のもの（エアコンの水以外）が見つかった場合、燃料系統が損傷している可能性があります。そのままハイブリッドシステムを始動すると燃料に引火するおそれがあり危険ですので、始動しないでください。  
この場合は、トヨタ販売店に状況を連絡するときに併せてお伝えください。

## ⚠ 警告

### ■ 駆動用電池について

- 絶対に転売・譲渡・改造などをしないでください。廃車から取りはずされた駆動用電池は事故防止のため、トヨタ販売店を通じて回収を行っていますので、ご協力ください。  
適切に回収されないと、次のようなことがおこり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・ 不法投棄または放置され、環境汚染となるばかりか、第三者が高電圧部位に触れてしまい、感電事故が発生する
  - ・ 装備された車両以外で駆動用電池を使用（改造などを含む）し、感電事故、発熱・発煙・発火・爆発事故、電解液漏出事故などが発生する特に、転売・譲渡などを行うと、相手にこれらの危険性が認識されず、事故につながるおそれがあります。
- 駆動用電池を取りはずさないままでお車を廃棄された場合、高電圧部品・ケーブル・それらのコネクターにふれると、深刻な感電の危険があります。お車を廃棄するときには、トヨタ販売店で駆動用電池を廃棄してください。駆動用電池は適切に廃棄しないと、感電を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

### ■ 駆動用電池冷却用の吸入口について

- 吸入口をふさぐように荷物などを置かないでください。  
吸入口がふさがれると駆動用電池の入出力に制限がかかる原因になります。
- 吸入口に水や異物を入れないでください。  
駆動用電池を損傷するおそれがあります。
- 駆動用電池周辺に多量の水をこぼさないよう注意してください。  
誤ってこぼしてしまったときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

## イモビライザーシステム

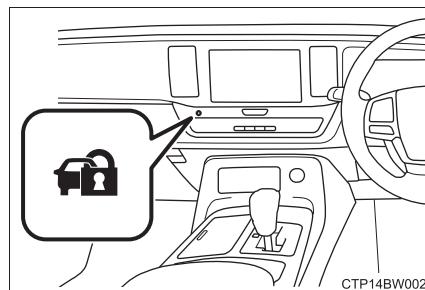
キーに信号発信機が内蔵してあり、あらかじめ登録されたキー以外ではハイブリッドシステムを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

パワースイッチをOFFになると、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

登録されたキーを携帯し、パワースイッチをアクセサリーモードまたはONモードになるとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。



### □ 知識

#### ■メンテナンスについて

イモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

#### ■システムが正常に作動しないとき

- キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
- キーが他の車両のセキュリティシステム用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

### ⚠ 注意

#### ■イモビライザーシステムを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。システムが正常に作動しないことがあります。



## メーターの見方

# 2

### 2. 計器の見方

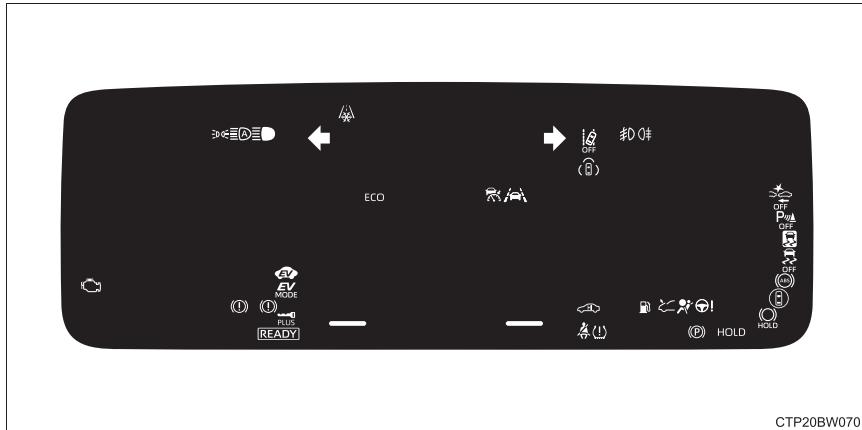
警告灯／表示灯.....	86
計器類 .....	93
マルチインフォメーション ディスプレイ .....	101
エネルギーモニター／ 燃費画面.....	110

## 警告灯／表示灯

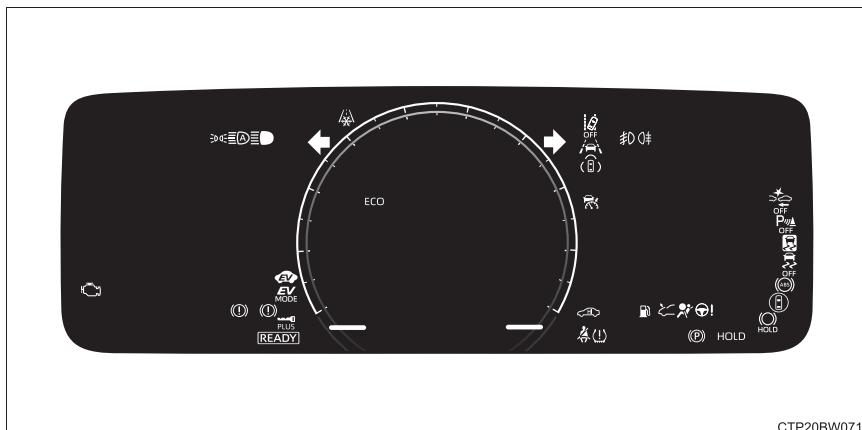
メーター・センターパネル・ドアミラーの警告灯／表示灯でお車の状況をお知らせします。

次のイラストは、説明のためすべての警告灯／表示灯を示しています。

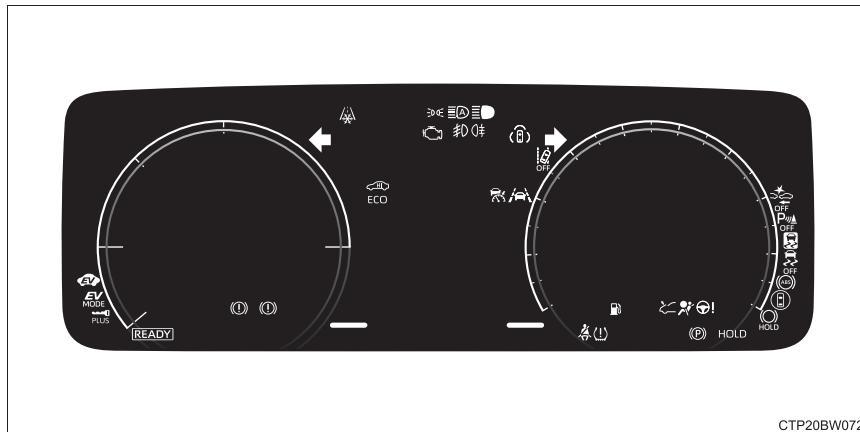
### ▶ 表示タイプ 1



### ▶ 表示タイプ 2



## ▶ 表示タイプ3



## 警告灯一覧

万一のシステム異常などを警告します。

※1  (赤色)	ブレーキ警告灯 (→ P. 516)	※1  ABS & ブレーキアシスト警 告灯 (→ P. 517)
※1  (黄色)	電子制御ブレーキ警告灯 (→ P. 516)	※2  ブレーキオーバーライドシ ステム／ドライブスタート コントロール警告灯 (→ P. 517)
※2 	ハイブリッドシステム過熱 灯 (→ P. 516)	※1  (赤色) パワーステアリング警告灯 (→ P. 518)
※2 	高水温警告灯 (→ P. 516)	※1  (黄色) パワーステアリング警告灯 (→ P. 518)
※2 	充電警告灯 (→ P. 516)	 燃料残量警告灯 (→ P. 518)
※2 	油圧警告灯 (→ P. 516)	 運転席・助手席シートベル ト非着用警告灯 (→ P. 518)
※1 	エンジン警告灯 (→ P. 517)	※1  タイヤ空気圧警告灯 (→ P. 518)
※1 	SRSエアバッグ／ プリテンショナー警告灯 (→ P. 517)	 (黄色) LDA表示灯 (→ P. 519)
※1 	ポップアップフード警告灯 (→ P. 517)	※1  クリアランスソナーOFF表 示灯 (→ P. 518)



PCS 警告灯 (→ P. 519)  
(点滅または  
点灯)



運転支援情報表示灯  
(→ P. 520)



LTA 表示灯 (→ P. 519)  
(黄色)



スリップ表示灯  
(→ P. 520)



レーダークルーズコントロール表示灯 (→ P. 519)  
(黄色)



パーキングブレーキ表示灯  
(→ P. 520)  
(点滅)



クルーズコントロール表示灯 (→ P. 519)  
(黄色)



ブレーキホールド作動表示灯 (→ P. 520)  
(点滅)



PDA 表示灯 (→ P. 519)  
(黄色)

2

メーターの見方

\*<sup>1</sup> 作動確認のためにパワースイッチを ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

\*<sup>2</sup> マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

## 表示灯一覧

システムの作動状況を表示します。



方向指示表示灯  
(→ P. 209)



レーダークルーズコントロール表示灯 (→ P. 300)  
(緑色)



尾灯表示灯 (→ P. 218)



LTA 表示灯 (→ P. 275)



ハイビーム表示灯  
(→ P. 219)



LTA 表示灯 (→ P. 275)  
(緑色)



AHS 表示灯 (→ P. 222)  
AHB 表示灯 (→ P. 226)  
(緑色)



LTA 表示灯 (→ P. 275)  
(黄色)  
[点滅]



フロントフォグランプ表示灯 (→ P. 230)



LDA 表示灯 (→ P. 282)  
(緑色)



リヤフォグランプ表示灯★  
(→ P. 230)



LDA 表示灯 (→ P. 282)  
(黄色)  
[点滅]



PCS 警告灯 (→ P. 256)



LDA OFF 表示灯  
(→ P. 282)  
(黄色)



クルーズコントロール表示灯 (→ P. 310)  
(白色)



※3 BSM ドアミラーインジケーター (→ P. 319)  
(オレンジ)



クルーズコントロール表示灯 (→ P. 310)  
(緑色)



※1, 2 クリアランスソナー OFF 表示灯 (→ P. 336)  
(オフ)



レーダークルーズコントロール表示灯 (→ P. 300)  
(白色)



クリアランスソナー検知表示灯★ (→ P. 335)

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

	※1, 2 運転支援情報表示灯 (→ P. 319, 329, 344, 352)		EV インジケーター (→ P. 75)
	※2 スリップ表示灯 (→ P. 370)		※4 低温表示灯 (→ P. 93)
	※1, 2 VSC OFF 表示灯 (→ P. 371)		※5 セキュリティ表示灯 (→ P. 83)
	エアサスペンション HIGH モード表示灯 (→ P. 365)		プラスサポート表示灯★ (→ P. 377)
	READY インジケーター (→ P. 195)		PDA 表示灯 (→ P. 288) (白色)
	EV ドライブモード表示灯 (→ P. 201)		PDA 表示灯 (→ P. 288) (緑色)
	パーキングブレーキ表示灯 (→ P. 210)		エコドライブモード表示灯 (→ P. 363)
	※2 ブレーキホールドスタンバイ表示灯 (→ P. 215)		スポーツモード表示灯 (→ P. 363)
	※2 ブレーキホールド作動表示灯 (→ P. 215)		

※1 システムが OFF のときに点灯します。

※2 作動確認のためにパワースイッチを ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

※3 ドアミラーに表示されます。

※4 外気温が約 3 ℃以下のとき、約 10 秒間点滅後に点灯します。

※5 センターパネルに表示されます。

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

## ■ クリアランスソナー OFF 表示灯について

クリアランスソナー検知表示灯がある車両 (→ P. 335) は、クリアランスソナー機能の ON / OFF の状態に関わらずシフトポジションを R にすると消灯します。

 警告

## ■ 安全装置の警告灯が点灯しないとき

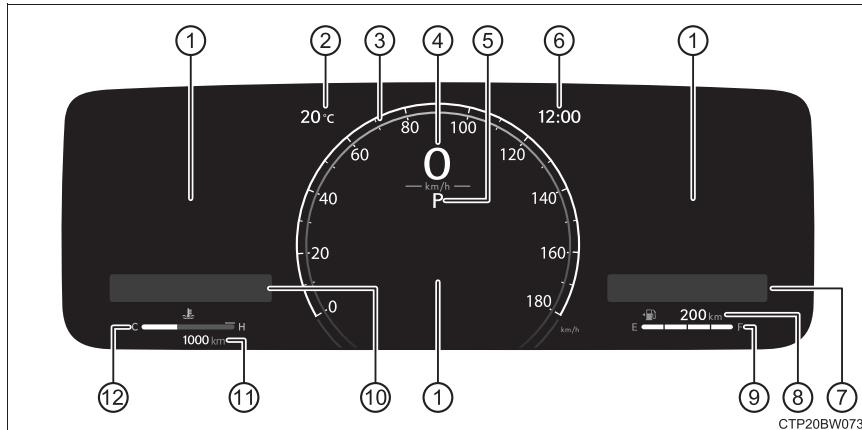
ABS や SRS エアバッグなど安全装置の警告灯がパワースイッチを ON モードにしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

# 計器類

## メーターの表示について

### ■ 計器類の位置

► 表示タイプ 1／表示タイプ 2



2

メーターの見方

#### ① マルチインフォメーションディスプレイ

車両に関するさまざまな情報を表示します。([→ P. 101](#))

車両に異常が発生したときは警告メッセージを表示します。([→ P. 524](#))

#### ② 外気温

外気温度を -40 °C～60 °C のあいだで表示します。

#### ③ アナログメーター（表示タイプ 2 のみ）

お好みのメーターに変更することができます。([→ P. 104](#))

アナログスピードメーター：車両の走行速度を示します。

タコメーター：毎分のエンジン回転数を示します。

ハイブリッドシステムインジケーター：ハイブリッドシステムの出力や回生レベルを示します。([→ P. 96](#))

#### ④ デジタルスピードメーター

#### ⑤ シフトポジション／シフトレンジ表示

#### ⑥ 時計

GPS の時刻情報（GPS 時計）を利用して、時刻を自動で調整します。詳しくは別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

**⑦ ウィジェット（オーディオシステム連携表示）**

オーディオシステム連携表示の一部を簡易表示します。（→ P. 106）

コンテンツ一覧が表示されているときは、ウィジェットが非表示になります。

**⑧ 航続可能距離**

現在の燃料残量で走行可能なおよその距離を表示します。

**⑨ 燃料計**

燃料残量を示します。次の場合、実際の燃料残量が正しく表示されないことがあります。

- ・ 少量給油（約 15L 以下）を行ったとき
- ・ 坂道など傾いた場所に停車したとき
- ・ 坂道やカーブを走行したとき

**⑩ ウィジェット（燃費グラフ）**

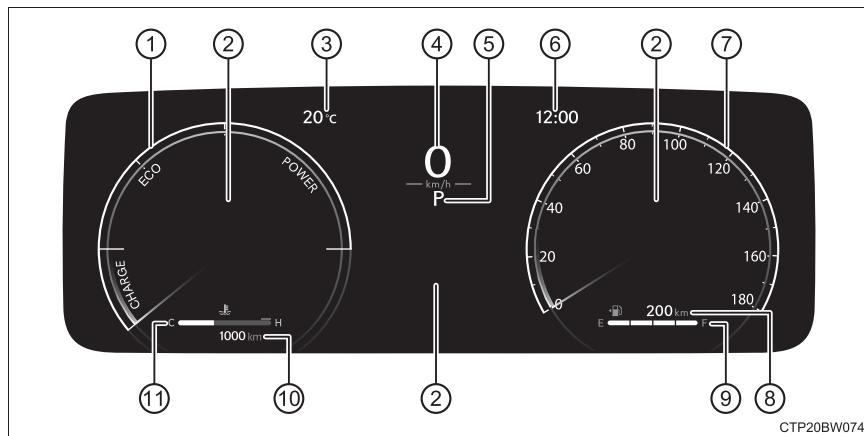
燃費グラフの一部を簡易表示します。（→ P. 106）

コンテンツ一覧が表示されているときは、ウィジェットが非表示になります。

**⑪ オドメーター／トリップメーターディスプレイ（→ P. 99）****⑫ 水温計**

エンジン冷却水の温度を示します。

## ▶ 表示タイプ3



## ① アナログメーター

お好みのメーターに変更することができます。([→ P. 104](#))

ハイブリッドシステムインジケーター：ハイブリッドシステムの出力や回生レベルを表示します。([→ P. 96](#))

タコメーター：毎分のエンジン回転数を表示します。

## ② マルチインフォメーションディスプレイ

車両に関するさまざまな情報を表示します。([→ P. 101](#))

車両に異常が発生したときは警告メッセージを表示します。([→ P. 524](#))

## ③ 外気温

外気温度を  $-40^{\circ}\text{C}$  ~  $60^{\circ}\text{C}$  のあいだで表示します。

## ④ デジタルスピードメーター

## ⑤ シフトポジション／シフトレンジ表示

## ⑥ 時計

GPS の時刻情報 (GPS 時計) を利用して、時刻を自動で調整します。詳しくは別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

## ⑦ アナログスピードメーター

## ⑧ 航続可能距離

現在の燃料残量で走行可能なおよその距離を表示します。

### ⑨ 燃料計

燃料残量を示します。次の場合、実際の燃料残量が正しく表示されないことがあります。

- ・ 少量給油（約 15L 以下）を行ったとき
- ・ 坂道など傾いた場所に停車したとき
- ・ 坂道やカーブを走行したとき

### ⑩ オドメーター／トリップメーターディスプレイ（→ P. 99）

### ⑪ 水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

## ■ ハイブリッドシステムインジケーター

### ① チャージエリア

回生<sup>\*</sup> ブレーキ機能により、エネルギーを回収している状態を示します。

回生した電力は、駆動用電池を充電します。

### ② エコエリア

エコ運転（環境に配慮した走行）をしている状態を示します。

インジケーターのバー表示をエコエリアに保つことで、エコ運転が可能です。

### ③ パワーエリア

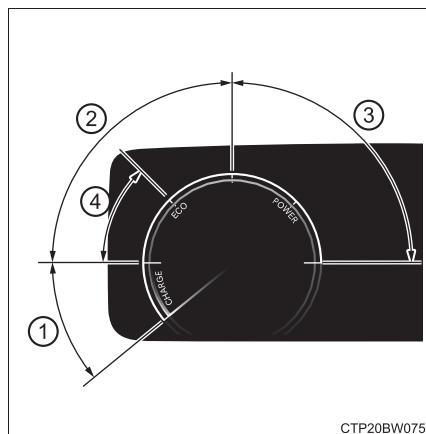
全開走行時など、エコ運転の範囲を超えている状態を示します。

### ④ ハイブリッドエコエリア

ガソリンエンジンの動力を使用しない状況を多く含む状態を示します。

ガソリンエンジンは、各種の条件により自動的に停止・再始動します。

\* ここで回生の意味は、運動エネルギーを電気エネルギーに変換することです。



CTP20BW075

## 知識

### ■ メーター・ディスプレイの作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

### ■ エンジン回転数について

ハイブリッド車のエンジン回転数は、燃費の向上や排気ガス低減などのため、ち密に制御されています。走行条件や運転条件が同じでも、エンジン回転数が異なる場合があります。

### ■ 外気温表示について

- 次の場合は、正しい外気温度が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- ・ 停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下）のとき
- ・ 外気温度が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）
- “--” または “E” が表示されたときは、システム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■ 燃料計と航続可能距離について

燃料計と航続可能距離は連動しています。少量給油後に燃料計と航続可能距離の表示が更新されない場合、次の操作を行うことで表示を更新することができます。

#### ① 車両を平坦な場所に停車させる

燃料タンク内の燃料の動きがおさまるまで、しばらくお待ちください。

#### ② ODO/TRIP スイッチを押してオドメーター／トリップメーターの表示をオドメーター (ODO) に切りかえる

#### ③ パワースイッチを OFF にする

#### ④ ODO/TRIP スイッチを押したまま、パワースイッチを ON モードにする

#### ⑤ そのまま約 5 秒間 ODO/TRIP スイッチを押し続け、オドメーター (ODO) が点滅を開始したら手をはなす

オドメーター (ODO) が約 5 秒間点滅したあと、通常の表示にもどれば、更新は終了です。

### ■ 航続可能距離について

- 運転履歴から学習した燃費と現在の燃料残量から算出した走行可能な距離を表示します。使用環境（気象、渋滞など）や運転方法（急発進、エアコンの使用など）に応じて燃費がかわるため、実際に走行できる距離とは異なります。
- 燃料給油量が少量のとき、表示が更新されないことがあります。この場合、燃料計の表示と共に更新することができます。（→ P. 97）

### ■液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象でそのまま使用しても問題ありません。

### ■カスタマイズ機能

マルチインフォメーションディスプレイの⚙️で、計器類の表示を変更できます。  
(→ P. 104)



### 警告

#### ■低温時の画面表示について

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車室内を暖めてからご使用ください。

例えばシフトレンジ表示を使用した場合、シフト操作をしてもすぐにギヤ段の表示が切りかわらないことで運転者がダウンシフトしなかったと誤解し、再度ダウンシフトすることによって急激に過度のエンジンブレーキがかかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



### 注意

#### ■ハイブリッドシステムや構成部品への損傷を防ぐために

- タコメーターが表示されているときは、タコメーターの表示がレッドゾーン（エンジンの許容回転数をこえている範囲）に入らないようにしてください。
- “エンジン冷却水高温 安全な場所に停車して 取扱書を確認してください”または “ハイブリッドシステム 高温出力制限中です” が表示されたときは、オーバーヒートのおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してください。完全に冷えたあと、エンジンを確認してください。(→ P. 573)

## オドメーター／トリップメーターディスプレイ

### ■ 表示項目

#### ● オドメーター

走行した総距離を表示します。

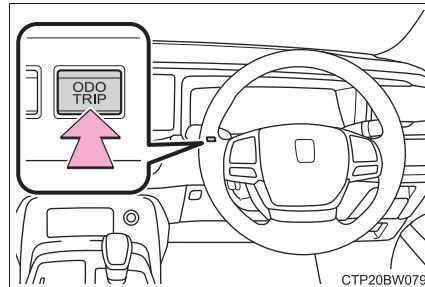
#### ● トリップメーター A／トリップメーター B

リセットしてからの走行距離を表示します。トリップ A・トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。

リセットするには、リセットしたい方のトリップメーターを表示中にスイッチを長押しします。

### ■ 表示の切りかえ

スイッチを押すごとに表示が切りかわります。また、トリップメーター表示中にスイッチを押し続けると、走行距離を 0 にすることができます。



### □ 知識

#### ■ 音声対話サービスでの操作★

音声対話サービスを使用してオドメーター／トリップメーターを表示することができます。

音声対話サービスについては、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

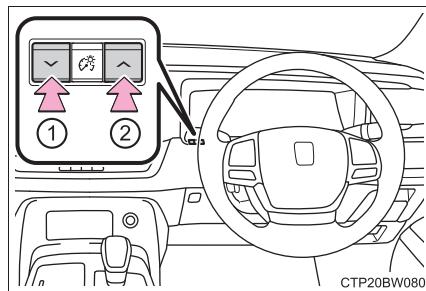
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### インストルメントパネル照明の明るさを調整するには

インストルメントパネル照明の明るさを調整できます。

車幅灯消灯時と点灯時それぞれの明るさのレベルを調節することができます。

- ① 暗くする
- ② 明るくする



# マルチインフォメーションディスプレイ

## 機能概要

マルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示したり、設定を切りかえることができます。

### ① コンテンツ表示エリア

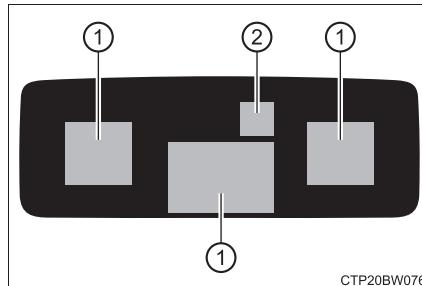
走行に関するさまざまな情報を表示したり、車両設定を変更することができます。

また、状況に応じて注意喚起やアドバイスなどを割り込み表示します。

### ② 走行支援システム表示エリア

コンテンツ表示エリアで運転支援システム情報を表示していないときに運転支援システムが作動していると、システムの作動状況を表示します。

- ・ PCS（プリクラッシュセーフティ）（→ P. 256）
- ・ LTA（レーントレーシングアシスト）（→ P. 270）
- ・ LDA（レーンディパーチャーアラート）（→ P. 276）
- ・ レーダークルーズコントロール（→ P. 297）
- ・ クルーズコントロール（→ P. 309）
- ・ PDA（プロアクティブドライビングアシスト）（→ P. 283）



CTP20BW076

## 知識

### ■ 液晶ディスプレイについて

→ P. 98

## 警告

### ■ 運転中の使用について

- マルチインフォメーションディスプレイを操作する時は、周囲の安全に十分注意してください。
- マルチインフォメーションディスプレイを見続けないでください。前方の歩行者、障害物などを見落とすおそれがあり危険です。

### ■ 低温時の画面表示について

→ P. 98

## 操作方法

### ◆ コンテンツ表示エリアの操作方法

メーター操作スイッチを使って次のように操作します。

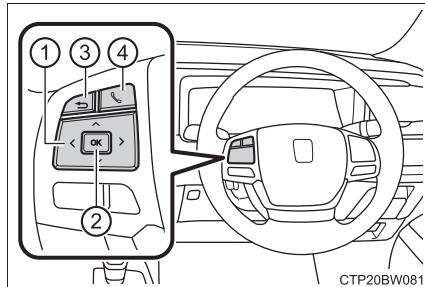
- ① < / > : マルチインフォ  
メーションディスプレイの切りかえ

▲ / ▼ : 表示項目の切りかえ・ページ送り・カーソル移動

- ② 短押し : 決定  
長押し : リセット・詳細項目表示・ページ送り

- ③ ひとつ前の画面にもどる  
④ 電話の発着信・履歴表示

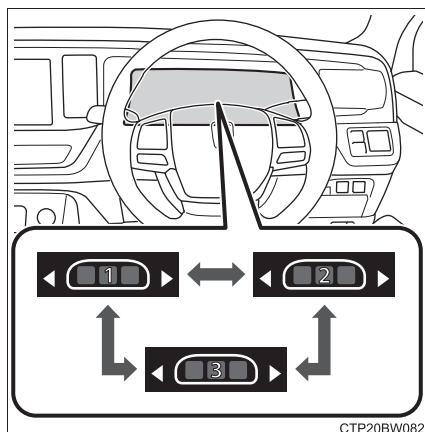
ハンズフリーシステムと連携して、発着信の表示や操作を行うことができます。  
ハンズフリーシステムについて詳しくは、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。



CTP20BW081

### ◆ メーターのページ切りかえ

メーター操作スイッチの < または > を押してページを切りかえる



CTP20BW082

## マルチインフォメーションディスプレイの表示項目について（中央画面）

### ■ 表示項目

- ブランク（非表示）
- 運転支援システム情報
- ナビゲーションシステム連携表示
- 設定
- 警告メッセージ（→ P. 524）

### ■ ページ内の表示項目の切りかえ

ページ内の設定モード画面から表示させる項目を選択します。

- 1** メーター操作スイッチの < または > を押してページを選択する  
（→ P. 102）
- 2** OK を長押しして設定モード画面にする
- 3** メーター操作スイッチの < または > を押して変更する表示画面を選択する
- 4** メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して表示項目を選択する
- 5** 設定完了後、➡ を押す

### ■ 運転支援機能情報表示について

次のシステムの作動状況を表示します。

- PCS（プリクラッシュセーフティ）（→ P. 256）
- LTA（レントレーシングアシスト）（→ P. 270）
- LDA（レーンディパーチャーアラート）（→ P. 276）
- レーダークルーズコントロール（→ P. 297）
- クルーズコントロール（→ P. 309）
- PDA（プロアクティブドライビングアシスト）（→ P. 283）

### ■ ナビゲーションシステム連携表示

マルチインフォメーションディスプレイに次の情報を表示します。

- 目的地案内
- コンパス

## ■ 変更できる項目（メーター表示）

メーター表示の設定を  から変更することができます。

### ● 言語

表示される言語を選択することができます。

### ● 単位

電費／燃費表示の単位を選択することができます。

### ● メータータイプ

メーター表示のタイプを変更することができます。

### ● メーターデザイン

メーター表示のデザインを変更することができます。

### ● アナログメーター

アナログメーターに表示する項目を選択することができます。

### ● EV インジケーター

EV インジケーターの作動／非作動を変更することができます。

### ● 燃費グラフ

燃費情報の表示を変更することができます。

### ● ドライブインフォタイプ

1 行目と 2 行目の項目を別々に、平均車速／走行距離／走行時間から選択することができます。

### ● TRIP A/B の表示項目

TRIP A/B のドライブインフォ情報を変更することができます。

### ● 割り込み表示

割り込み表示される項目の表示・非表示を、項目ごとに変更することができます。

### ● 初期化

メーターの表示設定をもとにもどすことができます。

## ■ 変更できる項目（機能の切り替え・車両設定）

→ P. 586

## マルチインフォメーションディスプレイの表示項目について（サイド画面）

### ■ 表示項目

- ブランク（非表示）
- 燃費グラフ
- 始動後走行時間／EV 走行比率
- 運転支援システム情報（→ P. 103）
- ナビゲーションシステム連携表示
- オーディオシステム連携表示
- ドライブインフォメーション
- TRIP A/B のドライブインフォメーション情報
- エネルギーモニター（→ P. 110）
- タイヤ空気圧（→ P. 472）

### ■ ページ内の表示項目の切り替え

→ P. 103

### ■ サイド画面に表示させる項目の変更

- ① メーター操作スイッチの < または > を押してページを選択する
- ② OK を長押しして設定モード画面にする
- ③ メーター操作スイッチの < または > を押して変更する表示画面を選択する
- ④ ③が表示されている画面でメーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押すと、各項目の表示・非表示を選択できる画面に移動します。
- ⑤ メーター操作スイッチの < または > を押して表示させる項目を選択し OK を押す

## ■ 燃費グラフ

### ● 瞬間燃費

現在の瞬間燃費を表示します。

### ● 平均燃費

始動後・リセット後のうち、いずれかの平均燃費を表示します。

表示される平均燃費は  で変更することができます。( $\rightarrow$  P. 104)

## ■ 始動後走行時間／EV 走行比率

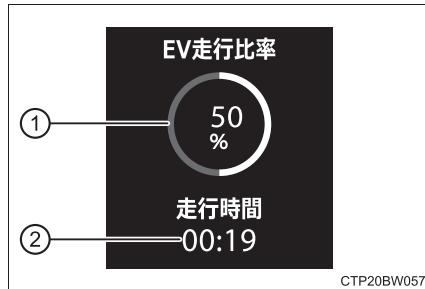
### ① 始動後 EV 走行比率

ハイブリッドシステムを始動してから現在までに EV 走行できた割合をグラフ表示します。※

### ② 始動後走行時間

ハイブリッドシステムを始動してから現在までの走行時間を表示します。※

\* ハイブリッドシステムを始動するたびに、表示がリセットされます。



## ■ ナビゲーションシステム連携表示

マルチインフォメーションディスプレイに次の情報を表示します。

### ● 目的地案内

### ● コンパス

## ■ オーディオシステム連携表示について

オーディオシステムの作動状況をマルチインフォメーションディスプレイに表示できます。

## ■ ドライブインフォメーション

### ① ドライブインフォメーション

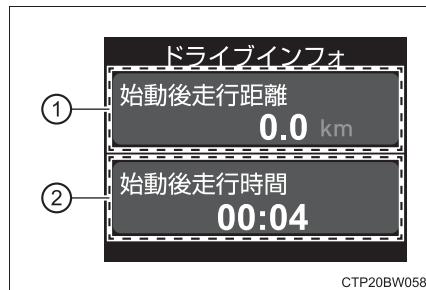
1

### ② ドライブインフォメーション

2

ドライブインフォタイプとドライブインフォ項目の組み合わせを  から選択して表示させることができます。( $\rightarrow$  P. 104)

- 平均車速：ハイブリッドシステムの平均車速を表示
- 走行距離：ハイブリッドシステムの走行距離を表示
- 走行時間：ハイブリッドシステムの経過時間を表示



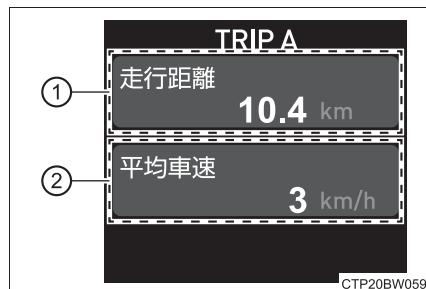
## ■ TRIP A/B のドライブインフォメーション

### ① TRIP A/B 1 のドライブインフォメーション

### ② TRIP A/B 2 のドライブインフォメーション

ドライブインフォタイプとドライブインフォ項目の組み合わせを  から選択して表示させることができます。( $\rightarrow$  P. 104)

- 平均車速：TRIP A/B の平均車速を表示
- 走行距離：TRIP A/B の走行距離を表示
- 走行時間：TRIP A/B の経過時間を表示



## ■ 設定について

### ■ 変更できる項目（機能の切りかえ・車両設定）

→ P. 586

### ■ 変更できる項目（メーター表示）

→ P. 104

## □ 知識

### ■ 設定画面の操作について

- 一部の項目を除き、車両走行中は設定画面を操作することができません。設定を変更するときは、安全な場所に停車して操作してください。
- 警告メッセージが表示されたときは、設定画面の操作が一時中断されます。

## ▲ 警告

### ■ ディスプレイの設定を変更するとき

ハイブリッドシステムが作動している状態で操作を行う場合、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## △ 注意

### ■ ディスプレイの設定を変更するとき

補機バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にハイブリッドシステムが作動している状態で実施してください。

## 提案サービス機能

状況に応じて運転者に提案メッセージを表示する機能です。提案メッセージが表示されたときにメーター操作スイッチを操作することで、提案された内容を直接操作することができます。

### ■ 窓閉め提案（ワイパー運動）

雨が車内に入ることを防ぐために、ドアガラスが開いている状態でワイパーが動き始めるとドアガラスを閉める提案メッセージを表示します。

このとき“はい”を選択すると、開いているすべてのドアガラスが閉まります。

### ■ 窓閉め提案（高速走行時）

ドアガラスが開いている状態で一定以上の車速になると、ドアガラスを閉める提案メッセージを表示します。

このとき“はい”を選択すると、開いているすべてのドアガラスが閉まります。

## □ 知識

### ■ カスタマイズ機能

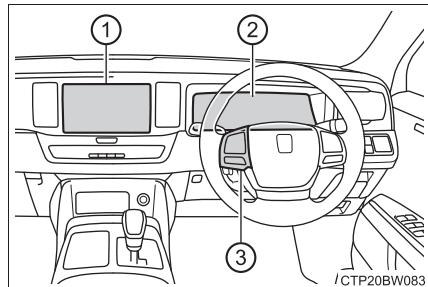
機能の一部は、設定を変更することができます。（→ P. 586）

## エネルギーモニター／燃費画面

ハイブリッドシステムの状態を、マルチインフォメーションディスプレイおよびマルチメディアディスプレイに表示します。

### システムの構成部品

- ① マルチメディアディスプレイ
- ② マルチインフォメーションディスプレイ
- ③ メーター操作スイッチ



/CTP20BW083

### エネルギーモニターの見方

車両の駆動状況、ハイブリッドシステムの作動状況、およびエネルギーの回収状況を確認できます。

#### ■ 表示のしかた

##### ▶ マルチインフォメーションディスプレイ

メーター操作スイッチを使用してマルチインフォメーションディスプレイにエネルギーモニターを表示させる

マルチインフォメーションディスプレイのコンテンツ表示エリア（左／右）に表示させることができます。

マルチインフォメーションディスプレイの操作方法については、P. 102 を参照してください。

##### ▶ マルチメディアディスプレイ

**1** メインメニューの  を選択する

**2** “エネルギーフロー” を選択する

## ■ 表示について

エネルギーの流れに応じて矢印が表示されます。エネルギーの流れがないときは、矢印は表示されません。

矢印の色は次のように変化します。

青：電気エネルギーを回収・充電しているとき

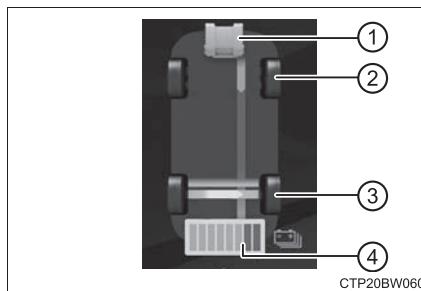
黄：電気エネルギーを使用しているとき

赤：ガソリンエンジンの動力を使用しているとき

### ▶ マルチインフォメーションディスプレイ

- ① エンジン
- ② フロントタイヤ
- ③ リヤタイヤ
- ④ 駆動用電池

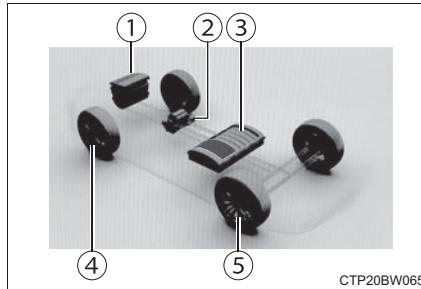
図は説明のためにすべての矢印を掲載しており、実際の表示内容とは異なります。



### ▶ マルチメディアディスプレイ

- ① エンジン
- ② フロントモーター
- ③ 駆動用電池
- ④ フロントタイヤ
- ⑤ リヤタイヤ

図は説明のためにすべての矢印を掲載しており、実際の表示内容とは異なります。



 知識**■マルチメディアディスプレイ上の駆動用電池の表示について**

駆動用電池に充電しているときは緑色に、駆動用電池の電力が使用されているときは黄色に、それぞれ表示色がかわります。

**■駆動用電池の残量警告について**

- シフトポジションが N で、駆動用電池の充電ができない状態が継続、もしくは、駆動用電池の残量が一定未満まで低下すると、ブザーが断続的に吹鳴します。その後、さらに残量が低下したときは、ブザー音が断続から連続にかわります。
- マルチインフォメーションディスプレイのメッセージとブザー音で警告されたときは、画面の指示に従って対処してください。

**■マルチメディアディスプレイ上のエンジンの表示について**

ガソリンエンジンの暖気中はガソリンエンジンのイメージが青色で表示され、暖気が終了すると赤色にかわります。

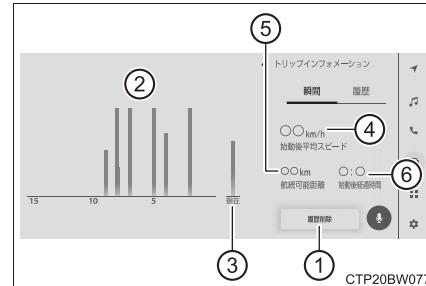
## 燃費画面の見方

### ■ 瞬間燃費画面

- ① メインメニューの  を選択する
- ② “トリップインフォメーション” を選択する

燃費履歴画面が表示されたときは、“瞬間”を選択します。

- ① 履歴消去
- ② 過去 15 分間の 1 分ごとの燃費（平均燃費）
- ③ 瞬間燃費
- ④ ハイブリッドシステム始動後平均車速
- ⑤ 航続可能距離
- ⑥ ハイブリッドシステム始動後経過時間



表示される平均燃費は、参考として利用してください。

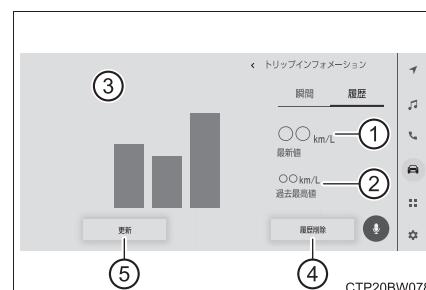
表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。

### ■ 燃費履歴画面

- ① メインメニューの  を選択する
- ② “トリップインフォメーション” を選択する

瞬間燃費画面が表示されたときは、“履歴”を選択します。

- ① 最新値表示
- ② 過去最高値表示
- ③ 過去平均燃費表示
- ④ 履歴削除
- ⑤ 最新値更新



表示される平均燃費は、参考として利用してください。

表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。

 知識**■ 過去の区間平均燃費の記録を更新するには**

燃費履歴画面で “更新” を選択すると、平均燃費の値とグラフが更新され、新たに平均燃費の記録を開始します。

**■ 燃費データをリセットするには**

“履歴削除” を選択すると、燃費データがリセットされます。

**■ 航続可能距離について**

現在の燃料残量で走行できるおよその距離を示します。

表示される距離は、過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。

**各部の操作****3****3-1. キー**

キー .....	116
----------	-----

**3-2. ドアの開閉、  
ロックのしかた**

ドア .....	120
----------	-----

トランク .....	131
------------	-----

スマートエントリー& スタートシステム .....	139
------------------------------	-----

**3-3. シートの調整**

フロントシート .....	147
---------------	-----

リヤシート .....	155
-------------	-----

パワーイージーアクセス システム／マイコンプ リセットドライビング ポジションシステム／ メモリーコール機能 .....	161
--	-----

リヤシートポジション メモリー .....	166
--------------------------	-----

ヘッドレスト .....	168
--------------	-----

**3-4. ハンドル位置・ミラー**

ハンドル .....	170
------------	-----

インナーミラー .....	172
---------------	-----

ドアミラー .....	174
-------------	-----

**3-5. ドアガラスの開閉**

パワーウィンドウ .....	177
----------------	-----

**3-6. 好み設定**

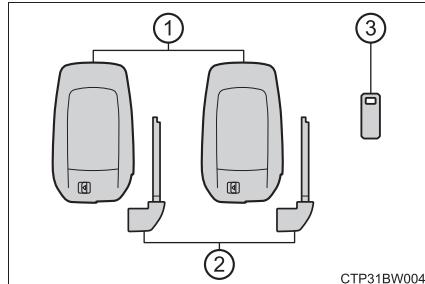
マイセッティング .....	181
----------------	-----

## キー

### キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

- ① 電子キー
  - ・スマートエントリー＆スタートシステムの作動 (→ P. 139)
  - ・ワイヤレス機能の作動 (→ P. 116)
- ② メカニカルキー
- ③ キーナンバープレート



CTP31BW004

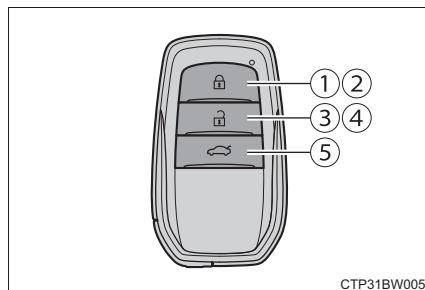
### ワイヤレスリモコン

- ① 全ドアを施錠する (→ P. 120)

必ず施錠されたことを確認してください。

- ② ドアガラスを閉める \*
- ③ 全ドアを解錠する (→ P. 120)
- ④ ドアガラスを開く \*
- ⑤ トランクを開ける (→ P. 131)

\* トヨタ販売店での設定変更が必要です。 (→ P. 586)



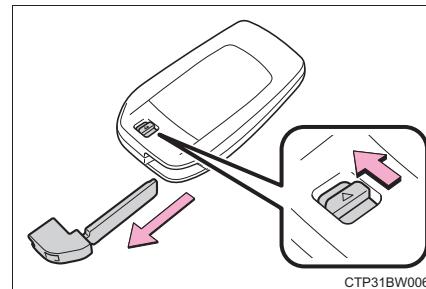
CTP31BW005

## メカニカルキーを使うには

メカニカルキーを取り出すには、解除レバーをスライドさせてキーを取り出してください

メカニカルキーは挿し込み方向に指定のある片溝キーです。キーシリンダーに挿し込めないとときは、キー溝面の向きをかえて挿し込んでください。

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときやスマートエントリー＆スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。( $\rightarrow$  P. 563)



CTP31BW006

## □ 知識

### ■ 駐車場などでキーを預けるときは

必要に応じてトランクオープナーメインスイッチを OFF にして、グローブボックスを施錠します。( $\rightarrow$  P. 133, 423) メカニカルキーを取り出し、電子キーのみを渡してください。

### ■ メカニカルキーを紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのメカニカルキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいメカニカルキーを作ることができます。キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。

### ■ 航空機に乗るとき

航空機に電子キーを持ち込む場合は、航空機内で電子キーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

## ■電池の消耗について

- 電池の標準的な寿命は1～2年です。
- 電池残量が少なくなると、ハイブリッドシステムを停止した際に車内から警告音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
- 長時間使用しない電子キーの電池消耗を抑えることができます。（→P. 141）
- 電子キーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。
  - ・スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコンが作動しない
  - ・作動範囲が狭くなった
  - ・電子キーのLEDが点灯しない
- 電池はお客様自身で交換することができます（→P. 492）が、交換の際にキーが破損するおそれがあるため、トヨタ販売店での交換をおすすめします。
- 電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の1m以内に電子キーを保管しないでください。
  - ・TV
  - ・パソコン
  - ・携帯電話やコードレス電話機、および充電器
  - ・電気スタンド
  - ・電磁調理器
- スマートエントリー＆スタートシステムによる操作をしなくても、車両周辺に長時間いると、電池の消耗は早くなります。操作をしない場合は、車両周辺に長時間いないことをおすすめします。
- 電池の消耗を抑えるため、車両周辺に長時間いるときは、降車オートロック機能を一時的に非作動にすることをおすすめします。（→P. 492）

## ■電池の交換方法

→ P. 492

## ■キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはトヨタ販売店へご相談ください。

## ■不正キーの使用について

指定のメカニカルキー以外のキーを使用すると、キーシリンダーが空まわりして解錠できません。

■マルチインフォメーションディスプレイに “新しいキーが登録されました 詳しくは販売店に問い合わせください”と表示されたときは

追加で新しく電子キーが登録された場合、車外から解錠して運転席ドアを開けたときにメッセージが表示されることが1週間程度続きます。電子キーの登録をした覚えがないにも関わらずメッセージが表示されたときは、お持ちの電子キー以外に登録されている電子キーがないかをトヨタ販売店で確認してください。

## 注意

### ■キーの故障を防ぐために

- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- 温度の高いところに長時間放置しない
- ぬらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- 分解しない
- 電子キー表面にシールなどを貼らない
- テレビやオーディオ、電磁調理器などの磁気を帯びた製品の近くに置かない
- 電気医療機器（マイクロ波治療器や低周波治療器など）の近くに置いたり、身につけたまま治療を受けない

### ■電子キー取り扱いの注意

JP

電子キーは電波法の認証に適合しています。

必ず以下のことをお守り下さい。

- ・電池交換時以外は、不用意に分解しないで下さい。分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- ・必ず日本国内でご使用下さい。

00

### ■キーを携帯するときは

電源を入れた状態の電化製品とは10cm以上離して携帯してください。10cm以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

### ■スマートエントリー＆スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくときは

車両に付属しているすべての電子キーをお持ちください。

### ■電子キーを紛失したときは

電子キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りの電子キーをすべてお持ちのうえ、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

# ドア

## 車外からの解錠・施錠

### ◆ スマートエントリー＆スタートシステム

電子キーを携帯して操作します。

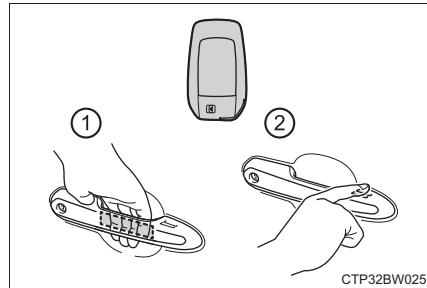
- ① フロント席のドアハンドルを握って解錠する

ハンドル裏面のセンサー部に確実に触れてください。

施錠操作後 3 秒間は解錠できません。

- ② ドアハンドル上側のロックセンサー部（ハンドルのくぼみ部）にふれ施錠する

必ず施錠されたことを確認してください。



CTP32BW025

### ◆ ワイヤレスリモコン

- ① 全ドアを施錠する

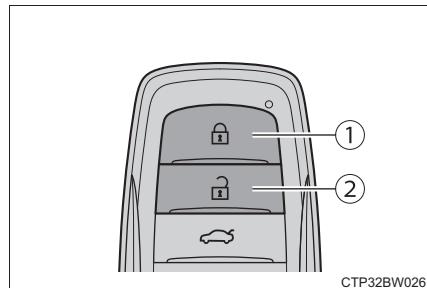
必ず施錠されたことを確認してください。

押し続けるとドアガラスが閉まります。※

- ② 全ドアを解錠する

押し続けるとドアガラスが開きます。※

\* トヨタ販売店での設定変更が必要です。（→ P. 586）



CTP32BW026



## 知識

### ■ 降車オートロック機能 ※

※ トヨタ販売店での設定変更が必要です。

次の手順で車から離れることで、自動で施錠することができます。

- ① 電子キーを携帯して降車し、すべてのドアを閉める

車内に電子キーがあると施錠できません。車内にあるすべての電子キーを携帯してください。

- ② 電子キーの作動範囲内(→ P. 140)でブザーが“ピピッ”と鳴るまで待機する  
降車オートロック待機状態になります。

- ③ 降車オートロック待機状態になったら、電子キーの作動範囲から離れる  
すべてのドアが施錠され、作動の合図でお知らせします。(→ P. 122)

約1分間電子キーの作動範囲から離れなかったときは、警告ブザーが鳴り、降車オートロック待機状態が解除されます。この場合は、ドアを開閉することで降車オートロック待機状態にもどります。

### ■ 降車オートロック機能を一時的に非作動にするには

降車オートロック待機状態のときに電子キーを携帯し、ブザーが“ピッピー”と鳴るまでドアハンドルを握り続けることで、降車オートロック機能を非作動にすることができます。

降車オートロック機能を一時的に非作動にした場合、次の操作のあとドアを開閉することで作動可能状態にもどります。

- ドアを施錠・解錠する
- ハイブリッドシステムを始動する

### ■ 接近時オートアンロック機能 ※

※ トヨタ販売店での設定変更が必要です。

次の条件を満たしているときに、電子キーの作動範囲内に電子キーがあるとドアを解錠することができます。

- すべてのドアが閉まっている
- すべてのドアが施錠されている

### ■ 接近時オートアンロック機能を一時的に非作動にするには

すべてのドアが閉まっている状態のときに電子キーを携帯し、ブザーが“ピッピー”と鳴るまでドアハンドル表面のロックセンサー部にふれ続けることで、接近時オートアンロック機能を非作動にすることができます。

接近時オートアンロック機能を一時的に非作動にした場合、ハイブリッドシステムを始動することで作動可能状態にもどります。

### ■作動の合図

ドア：

ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。  
(施錠は1回、解錠は2回)

トランク：

ブザーで知らせます。

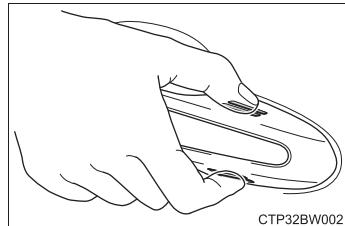
### ■解錠操作のセキュリティ機能

解錠操作後、約30秒以内にドアを開けなかったときは盗難防止のため、自動的に施錠されます。

### ■ドアハンドル上側のロックセンサーで施錠できないとき

ドアハンドル上側のロックセンサーに指でふれても施錠できないときは、上下のロックセンサー部に同時にふれてください。

手袋を着用しているときは、手袋をはずしてください。



CTP32BW002

### ■半ドア警告ブザー

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとすると、ブザーが鳴ります。ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

### ■スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき

メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→ P. 563)

電子キーの電池が消耗しているときは、電池を交換してください。(→ P. 492)

### ■補機バッテリーがあがつたときは

スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコンでドアを、施錠・解錠することはできません。

メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠をしてください (→ P. 563)

## ■リヤシートリマインダー機能

リヤシートへの荷物の置き忘れなどを防止するため、次の操作を行ってからパワースイッチを OFF になるとブザーが鳴り、約 6 秒間マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

- リヤドアを開閉したあと約 10 分以内にハイブリッドシステムを始動した
- ハイブリッドシステムが作動している状態でリヤドアを開閉した

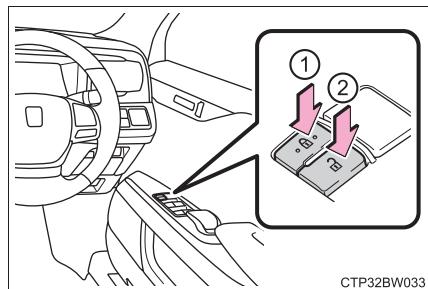
ただし、リヤドアを開けてから約 2 秒以内にリヤドアを閉めたときは、リヤシートリマインダー機能は作動しません。

リヤシートリマインダー機能は、リヤドアの開閉によりリヤシートに荷物などを載せたと判断します。そのため、使い方によってはリヤシートに荷物を置き忘れていてもリヤシートリマインダー機能が作動しないなど、実際の状況とは異なる作動をする場合があります。

### 車内からの施錠／解錠

#### ◆ ドアロックスイッチ（施錠／解錠）

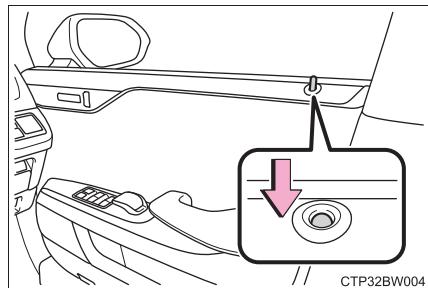
- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する



#### ◆ ドアロックボタン（施錠）

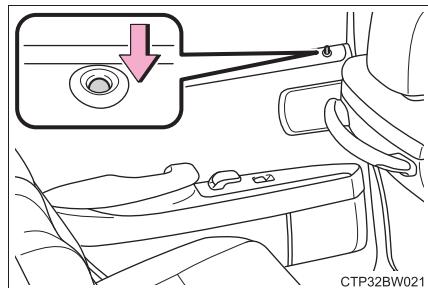
##### ▶ フロント席

ロックボタンを押し下げて、ドアを施錠する



##### ▶ リヤ席

ロックボタンを押し下げて、ドアを施錠する

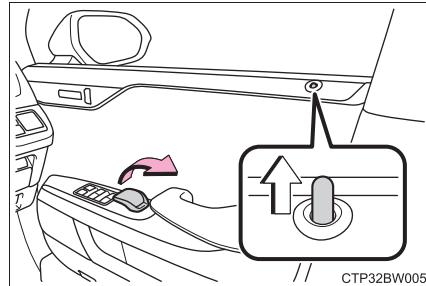


## ◆ ドアハンドル（解錠）

### ▶ 運転席ドア

ドアハンドルを引くとドアが解錠され、ドアが開きます。

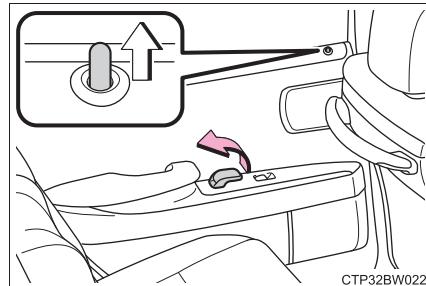
ドアが解錠されると、ロックボタンが上がります。



### ▶ 運転席以外のドア

ドアハンドルを引くとドアが解錠され、再度ドアハンドルを引くとドアが開きます。

ドアが解錠されると、ロックボタンが上がります。



**キーを使わずに外側からドアを施錠するときは**

▶ フロント席ドア

**①** ロックボタンを押し下げる

**②** ドアハンドルを引いたままドアを閉める

パワースイッチがアクセサリーモードまたはONモードのときや、車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。ただし、キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

▶ リヤ席ドア

**①** ロックボタンを押し下げる

**②** ドアを閉める

車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。ただし、キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

**チャイルドプロテクター**

施錠側にすると、リヤ席ドアが車内から開かなくなります。

**①** 解錠

**②** 施錠

お子さまが車内からリヤ席ドアを開けられないようにできます。両側のリヤ席ドアを施錠側にしてください。



CTP32BW006

## オートドアロック・アンロック機能

次の機能を設定・解除することができます。

設定一覧については、P. 586 を参照してください。

機能	作動内容
車速感応オートドアロック	速度が約 20km/h 以上になると全ドアが施錠されます。
シフト操作連動ドアロック	ハイブリッドシステムが作動中にシフトレバーを P から動かすと全ドアが施錠されます。
シフト操作連動アンロック	シフトレバーを P に入れると全ドアが解錠されます。
運転席ドア開連動アンロック	パワースイッチを OFF にしてから 45 秒以内に運転席ドアを開けると全ドアが解錠されます。

## 知識

### ■解錠ドアの切りかえ機能

ワイヤレスリモコンを使用して、スマートエントリー＆スタートシステムで解錠できるドアの設定を切りかえることができます。

① パワースイッチを OFF にする

② キー表面のインジケーターが消灯しているときに、 と同時に、 または  のいずれかを約 5 秒間押し続ける

操作を行うごとに次のように設定が切りかわります。（続けて切りかえ操作を行う場合は、ボタンから手を離したあと、5 秒以上間隔をあけてから手順②を行ってください）

マルチインフォメーションディスプレイ表示	解錠できるドア	ブザー音
	運転席のドアハンドルを握ると運転席のみ解錠	車外：“ピピッ”（3 回） 車内：“ポーン”（1 回）
	助手席のドアハンドルを握ると全席解錠	
	いずれかのドアハンドルを握ると全席解錠	車外：“ピピッ”（2 回） 車内：“ポーン”（1 回）

### ■衝撃感知ドアロック解除システム

車両が前後左右から強い衝撃を受けると、すべてのドアが解錠されます。衝撃の度合いや事故の状況によっては作動しないことがあります。

### ■メカニカルキーでの施錠・解錠

メカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。（→ P. 563）

### ■チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合はドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

## ■イージークローザー

ドアが半ドア状態になったとき、イージークローザーが作動し自動で完全に閉まります。

- パワースイッチがOFFになっていても、イージークローザーは作動します。
- 車内のドアハンドルや車外のドアハンドルを引いたままドアを閉めるときは、イージークローザーは作動しません。
- イージークローザーが作動中でも、車内のドアハンドルや車外のドアハンドルを引いてドアを開けることができます。(ドアロックボタンやチャイルドプロテクターが施錠側のときを除く)
- イージークローザーでドアが閉まったあと数秒間モーター音が聞こえますが、異常ではありません。

## ■半ドア走行時警告ブザー

いずれかのドア・トランクが確実に閉まっていない状態のまま、車速が約5km/hをこえると警告ブザーが鳴ります。

開いているドア・トランクまたはボンネットがマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

## ■スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に働かないおそれのある状況

→ P. 142

## ■カスタマイズ機能

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。

(→ P. 586)



### 警告

#### ■事故を防ぐために

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き車外に放り出されるなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中はドア内側のドアハンドルを引かない  
特に、運転席はドアロックボタンが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。
- お子さまをリヤ席に乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用して車内からドアが開かないようにする

## ⚠ 警告

### ■ ドアを開閉するときの留意事項

傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

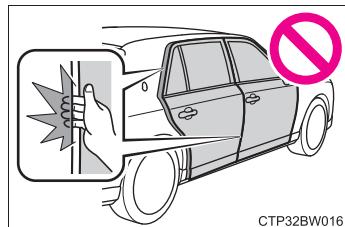
### ■ ワイヤレスリモコンを使ってドアガラスを操作するとき

ドアガラスに人が挟まれるおそれがないことを確認してから操作してください。またお子さまには、ワイヤレスリモコンによる操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

### ■ イージークローザーについて

ドアが半ドア状態になったとき、イージークローザーが働き完全に自動で閉まります。また、作動し始めるまでに数秒かかります。指などをドアのあいだに挟まないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

チャイルドプロテクターが施錠側になっているドアは、車内のドアハンドルを引いてもイージークローザーの作動を停止できないため、特にご注意ください。



CTP32BW016

## ⚠ 注意

### ■ イージークローザーの故障を防ぐために

ひんぱんにドアの開閉を繰り返したり、イージークローザーの作動中にドアに無理な力をかけたりしないでください。

## トランク

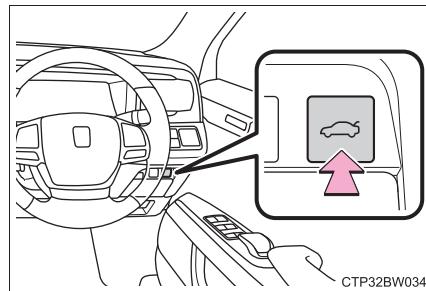
トランクオープナーやスマートエントリー＆スタートシステム、ワイヤレスリモコンを使って開けることができます。

トランククローザーで閉めることもできます。

### 車内からトランクを開ける

トランクオープナースイッチを押す

自動で全開します。



### 車外からトランクを開ける

#### ◆ スマートエントリー＆スタートシステム

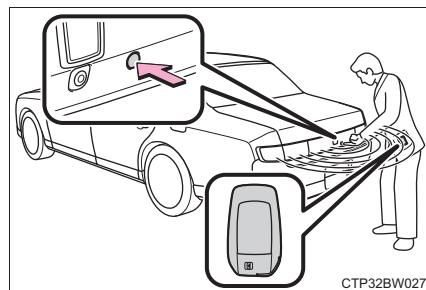
電子キーを携帯し、トランクのスイッチを押す

自動で全開します。

トランクが開く途中でスイッチを押すと、作動を停止します。

次のいずれかの方法ですべてのドアを解錠したときは、電子キーを携帯しなくてもトランクを開けることができます。

- ・スマートエントリー＆スタートシステム
- ・ワイヤレス機能
- ・ドアロックスイッチ
- ・メカニカルキー
- ・オートドアアンロック機能

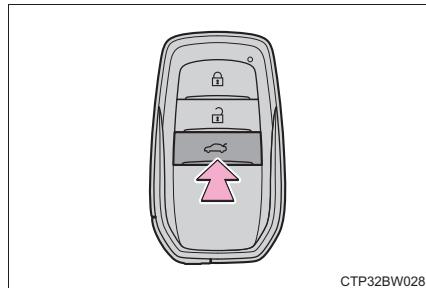


### ◆ ワイヤレスリモコン

ブザーが鳴るまでスイッチを押し続ける

自動で全開します。

トランクが開く途中でスイッチを押すと、作動が停止します。

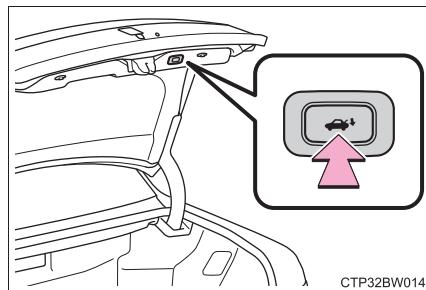


### トランククローザースイッチを使用して閉じる

スイッチを押す

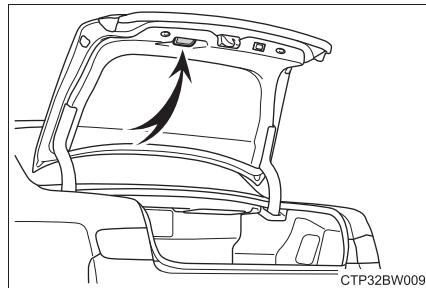
ブザーが鳴り、トランクが自動で閉まります。

トランクが閉まる途中でスイッチを押すと、トランクが再び開きます。



### トランクグリップを使用して閉じる

トランクグリップを持って、横方向に力をかけないようにトランクを引き下げ、外から押して閉めてください。



## 荷物の盗難防止などのために

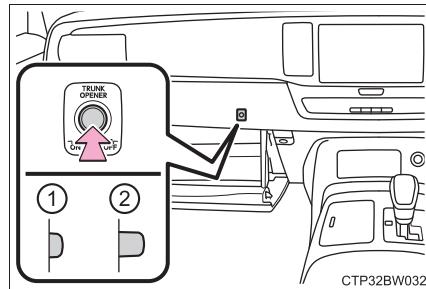
トランクに積んだ荷物の盗難防止などのために、トランクオープナースイッチを一時的に無効にすることができます。

グローブボックス内のメインスイッチを OFF にする

① ON

② OFF

ワイヤレスリモコン・スマートエントリー＆スタートシステムでもトランクを開けられなくなります。



## 知識

### ■ トランクリッドランプ／トランクランプ

- トランクを開けたとき、トランクリッドランプ／トランクランプが点灯します。
- パワースイッチが OFF の場合、トランクリッドランプ／トランクランプが点灯したままのときは、約 20 分後に自動消灯します。

### ■ イージークローザー

トランクが半ドア状態になったとき、イージークローザーが働き自動で閉まります。

- パワースイッチが OFF になっていても、イージークローザーは作動します。
- イージークローザーが作動しないときには、いったんトランクを半分以上開けてから、再度閉めてください。

### ■ トランク内キー閉じ込み防止機能について

- すべてのドアが施錠されている場合、トランク内に電子キーを置いたままトランクを閉めると、警告音が鳴ります。この場合、車外にあるトランクオープニングスイッチで開けられます。
- すべてのドアが施錠されている状態で、予備のキーをトランクに入れたときも、キー閉じ込み防止機能が働き、トランクを開けることができます。盗難防止のため、車から離れるときは必ずすべての電子キーを携帯してください。
- すべてのドアが施錠されている状態でトランク内に電子キーを置いても、電子キーが置かれた場所や、周囲の電波状況によっては、トランク内の電子キーを検知できないことがあります。この場合は、キー閉じ込み防止機能が働かず、トランクを閉めたときに施錠されてしまいます。トランクを閉めるときには、必ず電子キーの所在を確認してください。
- ドアがひとつでも解錠されている場合は、キー閉じ込み防止機能は働きません。この場合は、車内のトランクオープナーでトランクを開けてください。

**■過負荷防止機構**

トランクリッドの上に無理な力がかかるとパワートランクリッドは作動しません。

**■落下防止機構**

トランクリッドが自動で開くときに無理な力がかかると、トランクリッドが急激に落下しないようにブレーキをかけます。

**■挟み込み防止機構**

トランクリッドが自動で閉まる途中で異物を挟むと、作動が停止し開きます。

**■半ドア走行時警告ブザー**

→ P. 129

**■メカニカルキーについて**

トランクはメカニカルキーを使用して開けることもできます。(→ P. 564)

トランクをメカニカルキーで開けたときは、パワートランクリッドとイージークローザーは作動しません。作動させるには、手動でトランクを全閉にしてから操作してください。

**■スマートエントリー & スタートシステムやワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき**

メカニカルキーを使ってトランクを開けることができます。(→ P. 564)

電子キーの電池が消耗しているときは、電池を交換してください。(→ P. 492)

**■カスタマイズ機能**

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。

(→ P. 586)

## ⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■走行する前に

- 走行前にトランクが閉まっていることを必ず確認してください。

完全に閉まっていると走行中に突然開き、車外のものにあたったり、荷物が投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

- トランクの中でお子さまを遊ばせないでください。

誤って閉じ込められた場合、熱射病や窒息などを引き起こすおそれがあります。

- お子さまにはトランクの開閉操作をさせないでください。

不意にトランクリッドが開いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

### ■走行中の留意事項

トランク内には絶対に人を乗せないでください。

急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

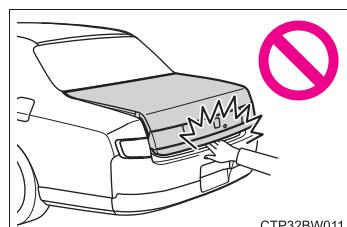
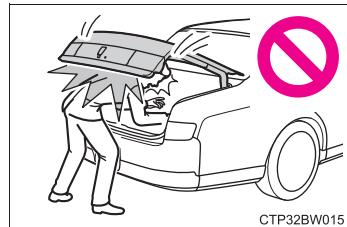
**⚠ 警告**

■トランクの使用にあたって

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあります。

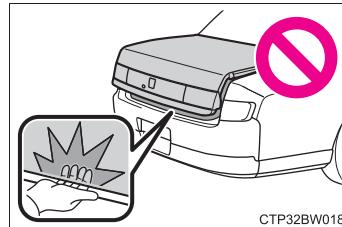
- トランクを開ける前に、トランクリッド上の雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでトランクリッドが突然閉じるおそれがあります。
- トランクを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。  
トランクリッドが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。
- 半開状態で使用すると、トランクリッドが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもトランクの開閉がしにくく、急にトランクが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずトランクが全開で静止していることを確認して使用してください。
- トランクを閉めるときは、トランクリッドで指などを挟まないよう十分注意してください。
- トランクは必ず外からトランクリッド上面を軽く押して閉めてください。トランクリップで直接トランクを閉めると、手や腕を挟むおそれがあります。
- トランクリッドにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品を取り付けないでください。トランクリッドの重量が重くなると、開いたあとに突然閉じるおそれがあります。



## ⚠ 警告

### ■イージークローザーについて

トランクが半ドア状態になったとき、イージークローザーが働き完全に自動で閉まります。また、作動し始めるまでに数秒かかります。指などをトランクのあいだに挟まないように注意してください。骨折など重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



### ■パワートランクリッドについて

パワートランクリッドの操作時は、次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- 周囲の安全を確かめ、障害物がないか、身のまわりの品が挟み込まれる危険がないか確認してください。
- 人がいるときは、作動させる前に安全を確認し、動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- トランクリッドが自動で開いている途中でパワートランクリッドスイッチを押すと、作動が停止します。坂道などの傾斜地では、停止させたとき急に開いたり閉じたりするおそれがあるため、十分注意してください。
- 傾斜した場所では、自動で開いたあとにトランクリッドが突然閉じる場合があります。トランクは必ず全開で静止していることを確認して使用してください。
- 次のような場合、システムが異常と判断し自動動作が停止することがあります。手動作動に切りかわり、急にトランクリッドが閉じるなどして思わぬ事故につながるおそれがあるため、十分に注意してください。
  - ・自動動作中、障害物に干渉したとき
  - ・ハイブリッドシステム停止時でパワートランクリッドが自動動作しているときに、パワースイッチをONモードにしたりハイブリッドシステムを始動したりして、補機バッテリー電圧が急に低下したとき
- トランクリッドにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品を取り付けないでください。自動で作動できずにパワートランクリッドが故障したり、開いたあとに突然閉じるおそれがあります。

## ⚠ 警告

### ■ 挟み込み防止機能

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- 挟み込み防止機能を故意に作動させようとして、体の一部を挟んだりしないでください。

- 挟み込み防止機能は、トランクが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

- 挟み込み防止機能は、挟まれるもの形状や挟まれかたによっては作動しない場合があります。指などを挟まないように注意してください。

## ⚠ 注意

### ■ イージークローザーの故障を防ぐために

イージークローザーの作動中は、トランクに無理な力をかけないでください。

### ■ パワートランクリッドの故障を防ぐために

- パワートランクリッドを作動させる前に、トランクリッドの上に雪や荷物などが載っていないことを確認してください。また、凍結によるトランクの貼り付きがないことを確認してください。トランクリッドに無理な力がかかっている状態で作動させると、故障の原因になります。

- パワートランクリッドの作動中は、トランクリッドに無理な力をかけないでください。

## スマートエントリー＆スタートシステム

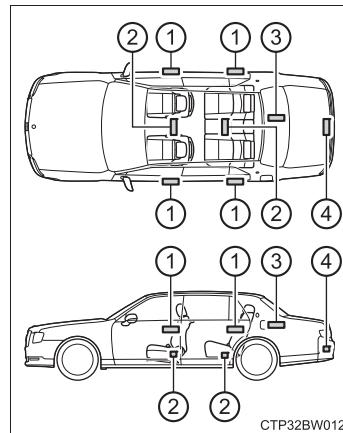
電子キーをポケットなどに携帯していると、次の操作が行えます。  
必ず運転者が携帯してください。

- ドアを施錠・解錠する (→ P. 120)
- トランクを開ける (→ P. 131)
- ハイブリッドシステムを始動する (→ P. 195)

### □ 知識

#### ■ アンテナの位置

- ① 車外アンテナ
- ② 車室内アンテナ
- ③ トランク内アンテナ
- ④ トランク外アンテナ

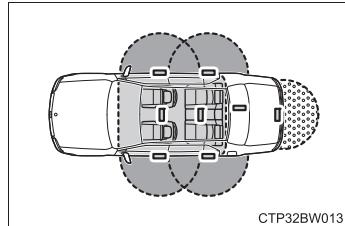


### ■作動範囲（電子キーの検知エリア）

● : ドアの施錠・解錠時

ドアハンドルから周囲約 70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。（電子キーを検知しているドアハンドルのみ作動します）

● : トランクの解錠時



トランクオープنسイッチから周囲約 70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。

● : ハイブリッドシステム始動時またはパワースイッチ切りかえ時

車内で電子キーを携帯している場合に作動します。

### ■警告音と警告表示について

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、車内や車外で警告音が鳴ったり、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されることがあります。マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されたときは、ディスプレイの表示をもとに適切に対処してください。（→ P. 524）

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次のようになります。

警告音	状況	対処方法
車外から “ピー” と 5秒間鳴る	いずれかのドアが開いているときにスマートエンタリー＆スタートシステムで施錠しようとした	全ドアを閉めたあと、再度施錠してください。
	全ドアが施錠されている状態で電子キーをトランク内に置いたままトランクを閉めた	トランク内から電子キーを取り出したあと、トランクを閉めてください。
車内から “ポーン” 、“ポーン” と鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態でパワースイッチをアクセサリーモードにした（パワースイッチがアクセサリーモードのとき運転席ドアを開いた）	パワースイッチを OFF にしたあと、運転席ドアを閉めてください。
	運転席ドアが開いている状態でパワースイッチを OFF にした	運転席ドアを閉めてください。

## ■マルチインフォメーションディスプレイに“車室内にキーがあります”と表示されたとき

車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー＆スタートシステムでドアを施錠しようとすると、警告メッセージが表示されます。車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠してください。

## ■節電機能

長期駐車時に電子キーの電池と車両の補機バッテリーあがりを防止するため、節電機能が働きます。

- 次の状況では、スマートエントリー＆スタートシステムによる解錠に時間がかかる場合があります。またイルミネーテッドライトが点灯しない、接近時オートアンロック機能による解錠が作動しない場合があります。

- ・車の周辺に電子キーを一定時間以上放置した。
- ・5日間以上スマートエントリー＆スタートシステムを使用しなかった

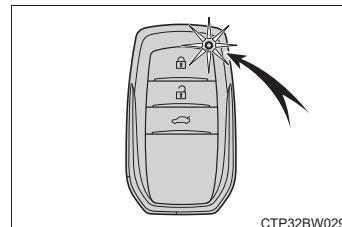
- 14日間以上スマートエントリー＆スタートシステムを使用しなかった場合、運転席以外での解錠ができなくなります。この場合は、運転席のドアハンドルを握る、もしくは、ワイヤレス機能、メカニカルキーで解錠してください。

## ■電子キーの節電モードについて

節電モードに設定すると、電子キーによる、電波の受信待機を停止し、電子キーの電池の消耗を抑えることができます。

電子キーの①を押しながら、②を2回押し、電子キーのインジケータが4回光ることを確認してください。

節電モード中は、スマートエントリー＆スタートシステムを使用できません。節電モードを解除するには、電子キーのいずれかのスイッチを押してください。



## ■電子キーの機能が停止するとき

電子キーを置いたままにするなど、一定時間電子キーの位置に変化がなかった場合、電池の消耗を抑えるために電子キーの機能が停止します。

この場合は、電子キーを持ち上げるなどして位置を動かすことで、自動的に復帰します。

### ■機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー＆スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー＆スタートシステムやワイヤレスリモコン、イモビライザーシステムが正常に作動しない場合があります。（対処方法：→ P. 563）

- 電子キーの電池が消耗しているとき
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 電子キーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
  - ・アルミ箔などの金属の貼られたカード
  - ・アルミ箔を使用したタバコの箱
  - ・金属製の財布やかばん
  - ・小銭
  - ・カイロ
  - ・CD や DVD などのメディア
- 近くで他の電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき
- 電子キーを、次のような電波を発信する製品と一緒に携帯しているとき
  - ・無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器
  - ・他の電子キー、電波式ワイヤレスリモコン
  - ・パソコンや携帯情報端末（PDA など）
  - ・デジタルオーディオプレーヤー
  - ・ポータブルゲーム機器
- リヤウインドウガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき
- 充電器など電子機器の近くに電子キーを置いたとき
- コインパーキングに駐車しているとき

スマートエントリー＆スタートシステムでドアを施錠・解錠できない場合は、次の方法を試してください。

- ドアハンドルに電子キーを近付けて操作する
- ワイヤレス機能を使用する

上記の方法でも施錠・解錠できない場合は、メカニカルキーを使用してください。  
(→ P. 563)

また、スマートエントリー＆スタートシステムでハイブリッドシステムが始動できない場合は、P. 565 を参照してください。

## ■ご留意いただきたいこと

- 電子キーが作動範囲内（検知エリア内）にあっても、次のような場合は正しく作動しないことがあります。
  - ・ ドアの施錠・解錠時に電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎる、または地面の近くや高い場所にある
  - ・ トランクの解錠時に電子キーが地面の近くや高い場所にある、またはリヤバンパー中央に近付きすぎている
  - ・ ハイブリッドシステム始動時やパワースイッチの切りかえ時に、電子キーがインストルメントパネルやフロア上・リヤシート後方のパッケージトレイ上・ドアポケット・またはグローブボックス内などに置かれていた
  - ・ ドア解錠時に電子キーと車両との間を体でさえぎっている
- インストルメントパネル上面やドアポケット付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知され車外から施錠でき、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあります。
- 電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、電子キーを検知しているドア以外は解錠しません。
- 車外でも電子キーがドアガラスに近づいていると、ハイブリッドシステムを始動することができます。
- 電子キーが作動範囲内にあるとき、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水かかると、ドアが施錠・解錠することがあります。（ドアの開閉操作がなければ、解錠されても約30秒後に自動で施錠します）
- ワイヤレスリモコンなどの施錠時に電子キーが車両の近くにあると、スマートエントリー＆スタートシステムでの解錠ができないことがあります。（ワイヤレスリモコンを使用すると解錠できます）
- 手袋を着用していると施錠・解錠しないことがあります。
- ロック操作は、連続で2回まで有効です。3回目以降はロック動作しません。※
- 電子キーを携帯したまま洗車をすると、水がドアハンドルにかかったときに施錠・解錠をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をしてください。
  - ・ 電子キーを車両から約2m以上離れた場所に置く（盗難に注意し保管してください）
  - ・ 電子キーを節電モードに設定してスマートエントリー＆スタートシステムの作動を停止する（→P.141）
- 洗車機での洗車中にキーが車内にあると、水がドアハンドルにかかったときに、マルチインフォメーションディスプレイに警報が表示され車外のブザーが吹鳴することがあります。全てのドアを施錠すると警報は止まります。
- ロックセンサーの表面に氷や雪、泥が付着すると、センサーが反応しないことがあります。その場合は氷や雪、泥を取り除いて再度操作するか、ハンドル下部のロックセンサーを使って操作してください。

- すばやいドアハンドル操作や、車外アンテナの作動範囲内へ入ってすぐのドアハンドル操作では、解錠しないことがあります。センサーにふれ解錠したことを探してからドアハンドルを引いてください。
- 作動範囲内に他の電子キーがあると、解錠に時間がかかることがあります。  
※ トヨタ販売店での設定変更が可能です。

#### ■ 降車オートロック機能<sup>※1</sup>についてご留意いただきたいこと

- 車内に人が乗っている場合でも、車内に電子キーがないときは降車オートロック機能が作動します。施錠したくないときは、降車オートロック機能を非作動にしてください。(→ P. 121)
- 洗車機などの大きな金属物が動くような場所では、電子キーの位置が正しく検知されないおそれがあります。降車オートロック機能の誤作動を防ぐために、車から離れるときは車内に電子キーを残さないでください。
- 全てのドアを閉めたあとに次の操作をすると、降車オートロック機能が解除されます。
  - ・ ブレーキペダルを踏んだとき
  - ・ パワースイッチを押したとき
  - ・ 降車オートロック機能以外で施錠・解錠したとき

降車オートロック機能を作動させるには、いずれかのドアを開閉してください。

- 電子キーのスイッチを押し続けている場合、降車オートロック機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 降車オートロック待機状態のときにいずれかのドアを開けると、降車オートロック機能が解除されます。
- すべてのドアが閉じたときに電子キーが作動範囲内にない場合でも、一定時間内に電子キーが作動範囲内に入ると降車オートロック機能が作動します。
- 電池残量が少ないときは、降車オートロック機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 降車オートロック機能を一時的に非作動にする(→ P. 121)とき、ブザーが2回鳴る前に次の操作をすると、降車オートロック機能は非作動になりません。
  - ・ いずれかのドアを開けたとき
  - ・ ブレーキペダルを踏んだとき
  - ・ パワースイッチを押したとき
- 降車オートロック機能を一時的に非作動にするには、いずれかのドアを開閉したあと、操作をやり直してください。
- 降車オートロック機能を一時的に非作動にする(→ P. 121)ときは、施錠されていないドアのドアハンドルを握ってください。
- 降車オートロック機能を一時的に非作動にする(→ P. 121)ときにブザーが鳴らない場合は、電子キーの位置を確認してから再度ドアハンドルを握ってください。

※ トヨタ販売店での設定変更が必要です。

### ■長期間運転しないとき

- 盗難防止のため、電子キーを車両から約 2m 以上離しておいてください。
- あらかじめスマートエントリー＆スタートシステムを非作動にすることができます。（→ P. 586）
- 長時間使用しない電子キーの電池消耗を抑えることができます。（→ P. 141）

### ■システムを正しく作動させるために

- 電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。  
作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。（誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります）
- トランク内に電子キーを置かないでください。  
電子キーの場所（スペアタイヤ★付近、トランク内側の端）、状況（金属製のかばんの中、金属製のものの付近など）、または周辺の電波環境によっては、キー閉じ込み防止機能が作動しない場合があります。（→ P. 133）

### ■スマートエントリー＆スタートシステムが正常に作動しないとき

- ドア・トランクの施錠・解錠：→ P. 563
- ハイブリッドシステムの始動：→ P. 565

### ■カスタマイズ機能

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。  
(→ P. 586)

### ■カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムをキャンセルしたときは

- ドア・トランクの施錠・解錠：ワイヤレス機能、またはメカニカルキーを使ってドア・トランクの施錠・解錠ができます。（→ P. 120, 132, 563）
- ハイブリッドシステムの始動・パワースイッチのモード切り替え：→ P. 565
- ハイブリッドシステムの停止：→ P. 196

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 **警告****■電波がおよぼす影響について（スマートエントリー&スタートシステムアンテナ）**

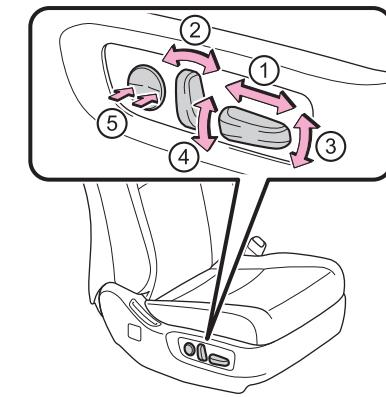
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器を装着されている方は、アンテナ（→P. 139）から約22cm以内に近付かないようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認ください。電波が医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることもできます。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

## フロントシート

### 調整のしかた

- ① 前後位置調整
- ② リクライニング調整
- ③ クッション前端の上下調整
- ④ シート全体の上下調整
- ⑤ 腰部調整(ランバーサポート)(運転席のみ)

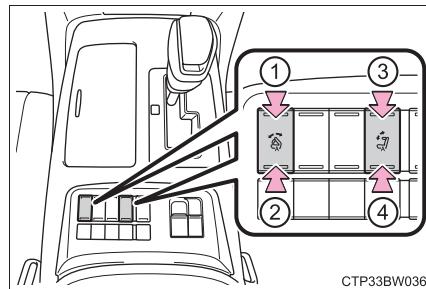


CTP33BW004

## 運転席からの助手席操作について

### ■ オート作動での操作

- ① 背もたれとヘッドレストを前倒し、シートを前方に動かす
- ② 背もたれとヘッドレストを起こし、シートを中立位置に戻す  
リヤ席が中立位置でないときは、リヤ席が中立位置まで作動したあと、助手席が中立位置にもどります。
- ③ ヘッドレストを前倒しにする
- ④ ヘッドレストを中立位置に戻す



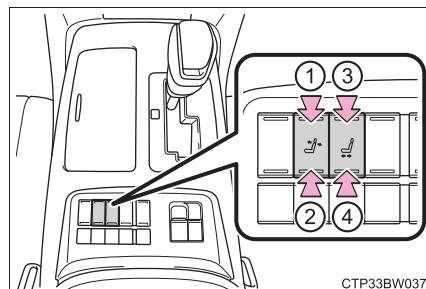
CTP33BW036

作動条件を満たさないときは、ボタンを押しても作動しません。

### ■ マニュアル作動での操作

- ① 背もたれを前に傾ける
- ② 背もたれをうしろに傾ける
- ③ シートを前方に移動する
- ④ シートを後方に移動する

操作スイッチを押しているあいだ、助手席シートを調整することができます。



CTP33BW037

## リヤ席からの助手席操作について

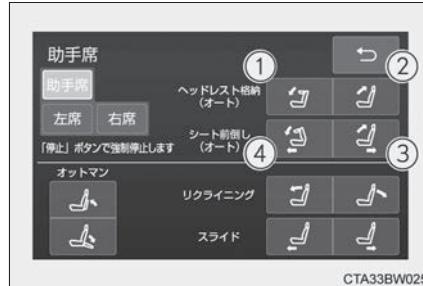
### ■ オートでの作動

- ① リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「シート」をタッチする (→ P. 392)
- ② 「助手席」をタッチする
- ③ 操作スイッチをタッチする

作動条件を満たしていないときは、操作スイッチがグレー表示になります。

途中で停止するときは、「停止」をタッチします。

- ① ヘッドレストを前倒しにする



- ② ヘッドレスト中立位置に戻す

- ③ 背もたれとヘッドレストを起こし、シートを後方に動かす

リヤ席が中立位置でないときは、リヤ席が中立位置まで作動したあと、助手席が中立位置にもどります。

- ④ 背もたれとヘッドレストを前倒しにし、シートを前方に動かす

### ■ マニュアル作動での操作

- ① リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「シート」をタッチする (→ P. 392)
- ② 「助手席」をタッチする
- ③ 操作スイッチをタッチする

操作スイッチをタッチしているあいだ、助手席シートを調整することができます。

- ① 背もたれを前に傾ける
- ② 背もたれをうしろに傾ける
- ③ シートを後方に移動する
- ④ シートを前方に移動する



 知識**■シートの調整について**

- 天井との干渉を回避するため、シートの作動を制限することや、調整している部位以外が作動することがあります。
- 助手席とリヤ席の距離が近いと、作動が制限されることがあります。

**■助手席を前倒しにしたとき**

助手席のヘッドレストを前倒しにすることで、リヤ席からの車両前方視界をより広くすることができます。

**■助手席シートの可倒式ヘッドレストについて**

助手席のヘッドレストを前倒しにしたとき、助手席側のドアを開けて、助手席シート調整スイッチで助手席位置を後方に調整、またはリクライニングを後方に倒すと、スイッチを離したあと、ヘッドレストが中立位置にまでもどります。

**■助手席シートの操作について**

次のときは、シート操作スイッチを操作しても、ヘッドレストを前倒しまたは中立位置にできません。

- パワースイッチがアクセサリーまたはOFFのとき
  - 助手席に乗員がいるときや重い荷物を載せているときなど、シートが重量を検知しているとき\*
  - 助手席シートベルトがバックルに留められているとき
  - 助手席ドアが開いているとき
- \* 一度シートが重量を検知すると、助手席ドアを開閉するか、パワースイッチをOFFにするまで、検知状態が継続します。

## 警告

### ■シートを調整するとき

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。  
指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 足元のスペースを確保し足を挟まないように注意してください。

### ■リクライニング調整について

背もたれは必要以上に倒さないでください。

必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■運転席またはリヤ席からの助手席操作について

助手席に乗員がいるときは操作をしないでください。また、操作中やヘッドレストが前倒しになっているときは、助手席に座らないでください。

足や頭を挟むなどして助手席乗員がけがをするおそれがあります。

### ■助手席を前倒しにしたとき

運転席からドアミラーが見えにくい場合は、助手席の位置を調整してください。運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■可倒式ヘッドレストについて

ヘッドレストを前倒しにしたまま、助手席に人を乗せないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。人を乗せるときは、必ず走行前にヘッドレストを引き起こして正しい位置に調整してください。

## 注意

### ■運転席またはリヤ席からの助手席操作について

操作するときは助手席の上や足元に作動をさまたげるものがないことを確認してください。シートに無理な力がかかり故障するおそれがあります。

### オットマンを展開／格納するには

① リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「シート」をタッチする (→ P. 392)

② 「左席」または「助手席」をタッチする

▶ 「左席」をタッチしたとき

③ ①をタッチし、操作スイッチ  
②、③で調整する

操作スイッチをタッチしているあいだ、オットマンを調整することができます。

完全に格納されると、ブザーが鳴ります。

② 格納する

③ 展開する

▶ 「助手席」をタッチしたとき

③ 操作スイッチをタッチして調整する

操作スイッチをタッチしているあいだ、オットマンを調整することができます。

完全に格納されると、ブザーが鳴ります。

① 格納する

② 展開する



CTA33BW027

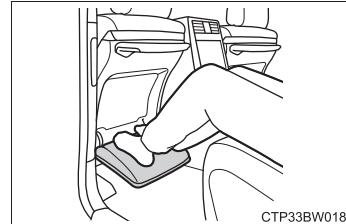


CTA33BW026

## 知識

### ■ オットマンについて

- 助手席の背もたれを前に傾けた状態で展開すると、オットマンとして使用できます。
- 助手席の背もたれをうしろに傾けた状態で展開すると、フットレストとして使用できます。
- フロント席からもオットマンを格納することができます。( $\rightarrow$  P. 158)



### ■ オットマンが展開できないときは

オットマンを使用できる十分なスペースが確保されていません。次の手順でスペースを確保してください。

- ① オットマンを完全に格納する
- ② 助手席と左側リヤ席を操作して、スペースを確保する

オットマンが完全に格納されていないと、リヤ席の調整が制限される場合があります。

## 警告

### ■ オットマンの使用について

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

- オットマン部分に座らない
- 車を乗り降りする際はオットマンを格納する
- 展開するときにフロアとオットマンの間に手や足を入れない
- 格納するときにシートとオットマンの間に手や足を入れない
- オットマンを使用中に助手席の調整をしない

 注意

## ■ オットマンの故障を防ぐために

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、部品が故障または破損するおそれがあります。

- 足元のスペースを確保し、オットマンの作動をさまたげない
- オットマンに無理な力をかけない
- オットマン部分に重たいものを載せない
- オットマン部分にものを載せたまま格納しない

# リヤシート

## 調整するには

### ■ オート作動での操作

シートをあらかじめ登録された位置にすることができます。

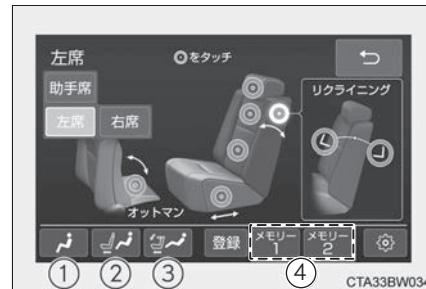
- ① リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「シート」をタッチする (→ P. 392)
- ② 「左席」または「右席」をタッチする
- ③ 操作スイッチをタッチする

途中で停止するときは、「停止」をタッチします。

- ① 中立位置にする
- ② 背もたれが少し倒れる位置にする※  
助手席を前方に移動します。
- ③ 背もたれが大きく倒れる位置にする※  
助手席を前方に移動し、背もたれとヘッドレストを前倒しにします。

- ④ 登録した位置を呼び出す (→ P. 166)

\*「左席」をタッチしたときのみ表示されます。



**■ マニュアル作動での操作**

**1** リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「シート」をタッチする (→ P. 392)

**2** 「左席」または「右席」をタッチする

**3** 調整したい部位をタッチする

① ヘッドレストの調整  
(→ P. 168)

② 肩部調整（ショルダーサポート）

③ 腰部調整（ランバーサポート）

④ リクライニング調整

⑤ シートクッションの前後調整

⑥ オットマン（フットレスト）調整※ (→ P. 152)

※「左席」をタッチしたときのみ表示されます。

**4** 表示された操作スイッチをタッチして調整する

操作スイッチをタッチしているあいだ、シートを調整することができます。





## 知識

### ■シートの調整について

フロントシートとの距離が近いとき、およびオットマンを展開しているときは、リヤシートの作動が制限されることがあります。

### ■オートでの作動条件（左側リヤ席）

次のときは、・を選択できません。

- パワースイッチがアクセサリーモードまたはOFFのとき
- 助手席に乗員がいるときや重い荷物を載せているときなど、シートが重量を検知したとき

一度シートが重量を検知すると、助手席ドアを開閉するか、パワースイッチをOFFにするまで、検知状態が継続します。

- 助手席シートベルトがバックルに留められているとき
- 助手席ドアが開いているとき

### ■助手席を前倒しにしたとき

→ P. 150

### ■カスタマイズ機能

機能の一部は、設定を変更することができます。（→ P. 586）



## 警告

### ■シートを調整するとき

シートの下や動いている部分に手を近づけないでください。  
指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあります。

### ■リクライニング調整について

背もたれは必要以上に倒さないでください。

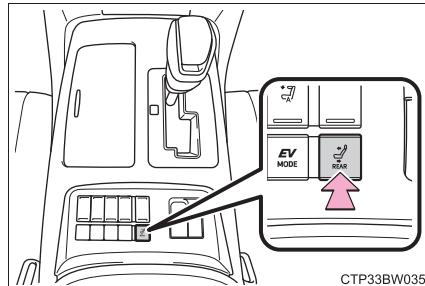
必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## フロント席からリヤ席を戻すには

スイッチを押す

スイッチを押しているあいだ、リヤシートを中立位置に戻すことができます。

オットマンが展開しているときは、リヤシートが中立位置に戻ったあともスイッチを押しつづけると、オットマンを格納することができます。



### 警告

#### ■ フロント席からリヤ席を戻すとき

シートの動いている部分で指や手を挟み、けがをするおそれがあるため、操作前に「声かけ」をしてください。

## リヤシートリフレッシュシステム

左側リヤ席には、エアーの作動による押圧機能を備えたリフレッシュシステムが装備されています。リフレッシュシステム操作画面でコースや作動の強さなどを好みにより調整することができます。

リフレッシュシステム操作画面を表示するには、リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「リフレッシュ」をタッチします。

#### ① コースの選択

コースをタッチすると作動が開始します。

#### ② 作動の強さ

5段階で調整することができます。

#### ③ 作動の停止



シートに乗員がないときは、リフレッシュシステムを使用しないでください。

 知識

## ■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

## ■リヤシートリフレッシュシステムの作動について

次のとき、リヤシートリフレッシュシステムが停止します。

- 作動開始から約 15 分経過したとき
- 左側のリヤ席ドアを開けたとき
- リヤシート／オットマン位置もどしスイッチを押したとき

 警告

## ■リヤシートリフレッシュシステムのご使用について

- 妊娠中のかた、出産直後のかた、静養を要する疾患（心臓疾患）のあるかたは、使用する前に必ず医師に相談してください。
- お子さまは使用しないでください。
- 食後や飲酒後、または長時間の使用は避けてください。
- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を止めてください。

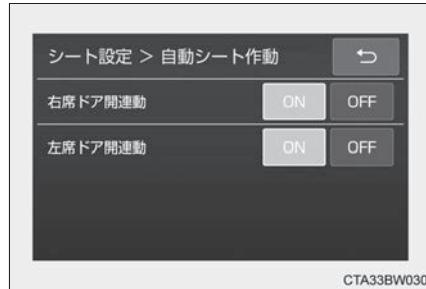
## ドア運動シートリターン機能

リヤ席ドアを開けると自動的にリヤ席が中立位置に戻り、乗り降りしやすくなります。

### ■ 設定変更のしかた

リヤマルチオペレーションパネルを使って設定を変更することができます。

- 1 リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「シート」をタッチする (→ P. 392)
- 2 「左席」または「右席」をタッチする
- 3  をタッチする
- 4 ボタンをタッチして設定を変更する



## パワーアクセスシステム／マイコンプリセットドライビングポジションシステム／メモリーコール機能

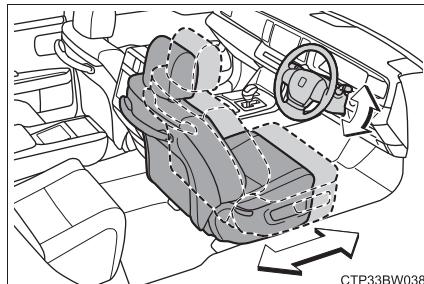
自動で運転席・ハンドル・ドアミラーを動かし、乗り降りしやすい位置に調整したり、お好みのドライビングポジションに調整します。

### パワーアクセスシステム（運転席のみ）

乗降時に運転者が乗り降りしやすいよう、シートやハンドルが自動で動きます。

次のすべての操作を行ったとき、シートとハンドルが乗り降りしやすい位置に自動で調整されます。

- ・シフトレバーを P に入れる
- ・パワースイッチを OFF にする
- ・シートベルトをはずす



3

各部の操作

次のいずれかの操作を行ったとき、シートとハンドルがもとの位置にもどります。

- ・パワースイッチをアクセサリーモード、または ON モードにする
- ・シートベルトを着用する

### 知識

#### パワーアクセスシステムの作動について

- 降車時に、シートの位置が最後方にあるときやリヤ席に近いときは、パワーアクセスシステムが作動しない場合があります。
- パワーアクセスシステム作動中にシート位置を調整すると、作動が停止しマニュアル調整になります。（腰部調整を除く）
- 降車時、パワーアクセスシステム作動中または作動後にシート位置を調整すると、乗車時にパワーアクセスシステムは作動しません。

#### カスタマイズ機能

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。  
（→ P. 586）

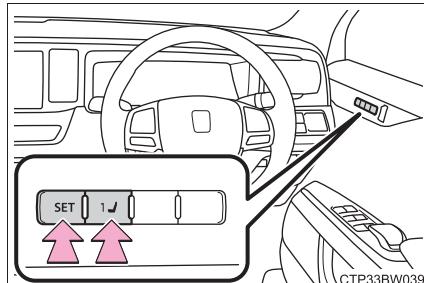
## マイコンプリセットドライビングポジションシステム

お好みのドライビングポジション（シートの位置・ハンドルの位置・ドアミラーの角度）を登録して、ワンタッチで呼び出すことができます。ドライビングポジションは、3パターンまで登録できます。

### ■ 登録方法

- 1 パワースイッチを ON モードにする
- 2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 3 運転席・ハンドル・ドアミラー角度をお好みの位置に調整する
- 4 SET ボタンを押しながら、または SET ボタンを押したあと 3 秒以内に 1 ~ 3 のうち登録したいボタンをブザーが鳴るまで押す

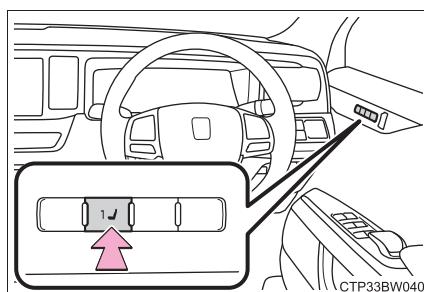
すでに同じボタンに登録されている場合は、上書きされます。



助手席側を登録するときは、助手席をお好みの位置に調整し、助手席側のボタンで手順④の操作を行うと、助手席シート位置が登録できます。

### ■ 呼び出し方法

- 1 パワースイッチを ON モードにする
- 2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 3 1 ~ 3 のうち呼び出したいポジションのボタンをブザーが鳴るまで押す



## 知識

### ■ ドライビングポジションシステムを正しくお使いいただくために

登録位置がシート各調整位置の最端部にある状態で、さらに同じ方向に操作をすると、呼び出し位置にずれが生じことがあります。

### ■ ポジションの呼び出し作動を途中で止めたいとき

次のいずれかの操作をします。

- SET ボタンを押す
  - 1 ~ 3 のボタンを押す
  - シート調整スイッチ<sup>※</sup> のいずれかを操作する（シートのみ作動停止）
- <sup>※</sup> 腰部調整を除く
- ハンドル位置調整スイッチを操作する（ハンドルのみ作動停止）

### ■ ポジション呼び出し作動について

リヤ席乗員のスペースが保たれていない場合、シートの作動が停止し、登録したポジションまで作動しないことがあります。

### ■ 助手席のポジションの呼び出し作動について

次のときは、助手席の登録したポジションを呼び出すことができません。

- オットマンが展開しているとき
- 背もたれとヘッドレストが前倒しになっているとき

### ■ 登録できるシート位置（→ P. 147）

腰部調整以外の位置が登録できます。

### ■ パワースイッチ OFF 後の作動

運転席ドアを開けて 180 秒以内、または運転席ドアを閉め 60 秒以内に呼び出したいポジションのボタンを押すと、シートの位置が調整されます。ハンドルの位置は、パワースイッチを押すと調整されます。

### ■ 登録したシート位置が呼び出せないとき

シート位置を特定の範囲内に登録した場合、状況によってはシート位置を呼び出せないことがあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

### ■ 音声対話サービスでの操作について★

音声対話サービスを使用して次の操作することができます。

- ドライビングポジションの登録
- ドライビングポジションの呼び出し  
(シフトレバーが P の位置にあるときのみ操作可能)

音声対話サービスについては、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## メモリーコール機能（運転席のみ）

お好みのドライビングポジションに電子キーを登録することで、電子キーごとにお好みのドライビングポジションを自動で呼び出すことができます。

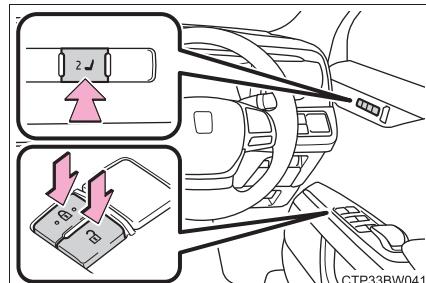
### ■ 登録方法

お好みのドライビングポジションをあらかじめ 1～3 のいずれかのボタンに登録しておきます。

登録させたいキーのみ携帯して、運転席ドアを閉めてください。  
車内にキーが 2 つ以上あると、正確に登録できません。

- 1 パワースイッチを ON モードにする
- 2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 3 登録させたいドライビングポジション（1～3）を呼び出す
- 4 呼び出したドライビングポジションのボタンを押しながら、ドアロックスイッチの施錠側または解錠側を“ピー”とブザーが鳴るまで押す

登録できなかった場合は、約 3 秒間  
ブザーが鳴り続けます。



CTP33BW041

### ■ 呼び出し方法

- 1 ドライビングポジションを登録した電子キーを携帯し、運転席ドアをスマートエントリー＆スタートシステムまたはワイヤレスリモコンで解錠してドアを開ける

ハンドルを除くドライビングポジションが登録された位置へ動きますが、シート位置は乗り込みやすくするために、登録された位置より少し後方に動きます。ドライビングポジションがすでに登録された位置にある場合は、シートやミラーは動きません。

- 2 パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにするか、シートベルトを着用する

シートとハンドルが登録したドライビングポジションに動きます。

## ■ 解除方法

解除させたいキーのみ携帯して、運転席ドアを閉めてください。  
車内にキーが2つ以上あると、正確に解除できません。

- 1 パワースイッチをONモードにする
  - 2 シフトレバーがPの位置にあることを確認する
  - 3 SETボタンを押しながら、ドアロックスイッチの施錠側または解錠側を“ピッピッ”とブザーが鳴るまで押す
- 解除できなかった場合は、約3秒間ブザーが鳴り続けます。

## □ 知識

### ■ メモリーコール機能によるドライビングポジションの呼び出しについて

- 電子キーごとにドライビングポジションを登録できるため、携帯する電子キーによっては、呼び出されるドライビングポジションが異なる場合があります。
- 運転席ドア以外のドアをスマートエントリー＆スタートシステムで解錠した場合は、ドライビングポジションの呼び出しは行われません。その場合は、登録したドライビングポジションのボタンを押してください。

### ■ カスタマイズ機能

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。  
(→ P. 586)

## ⚠ 警告

### ■ シート調整時の警告

シート調整中は、シートがリヤ席乗員にあたったり、運転者の体がハンドルに圧迫されたりしないよう注意してください。

### ■ パワーアクセスシステムでハンドル・シートが作動しているときは

体や荷物などが挟まれないようにしてください。けがをしたり、荷物が破損するおそれがあります。

## リヤシートポジションメモリー

お好みのリヤ席の位置を登録して、ワンタッチで呼び出すことができます。

### 登録方法

- ① パワースイッチを ON モードにする
- ② リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「シート」をタッチする (→ P. 392)
- ③ 「左席」または「右席」をタッチする
- ④ リヤ席を好みの位置に調節し、「登録」をタッチする
- ⑤ 「メモリー 1」または「メモリー 2」をタッチする

すでに登録されている場合は、上書きされます。

### 呼び出し方法

- ① パワースイッチを ON モードにする
- ② リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「シート」をタッチする (→ P. 392)
- ③ 「左席」または「右席」をタッチする
- ④ 「メモリー 1」または「メモリー 2」をタッチする

作動条件を満たしていないときは、操作スイッチがグレー表示になります。

途中で停止するときは、「停止」をタッチします。

作動中にシートを調整すると、オート作動が停止しマニュアル作動になります。

 知識**■ ポジション呼び出し作動について**

リヤ席乗員のスペースが保たれていない場合、シートの作動が停止し、登録したポジションまで作動しないことがあります。

**■ ポジションメモリーを正しくお使いいただくために**

登録位置がシート各調整位置の最端部にある状態で、さらに同じ方向に操作すると、呼び出し位置にずれが生じことがあります。

 **警告****■ シート調整時の警告**

シート調整中は、リヤ席乗員がフロントシートにあたらないよう注意してください。

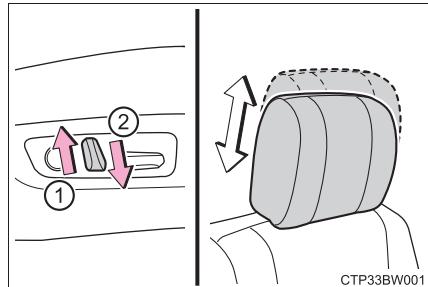
## ヘッドレスト

ヘッドレストはすべてのシートに装備されています。

リヤ中央席に装備されているヘッドレストはシート一体式のため、調整できません。

### 上下調整するには（フロント席）

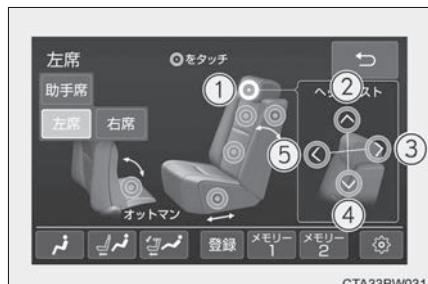
- ① 上げる
- ② 下げる



### 上下前後調整するには（リヤ席）

- 1 リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「シート」をタッチする（→ P. 392）
- 2 「左席」または「右席」をタッチする
- 3 ①をタッチし、操作スイッチ  
②～⑤で調整する
  - ② 上げる
  - ③ 後方に移動
  - ④ 下げる
  - ⑤ 前方に移動

操作スイッチをタッチしているあいだ、ヘッドレストが作動します。



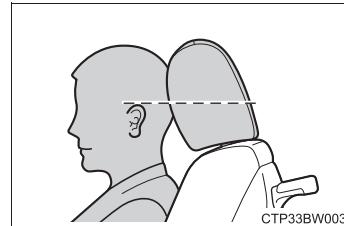
## □ 知識

### ■ フロント席について

フロント席のヘッドラストが天井に近い場合は、ヘッドラストの上方への作動が制限されます。

### ■ ヘッドラストの高さについて

必ずヘッドラストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるように調整してください。



### ■ ヘッドラストの取りはずしについて（リヤ中央席を除く）

ヘッドラストの取りはずし・取り付けについてはトヨタ販売店にご相談ください。

## ⚠ 警告

### ■ ヘッドラストについて（リヤ中央席を除く）

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

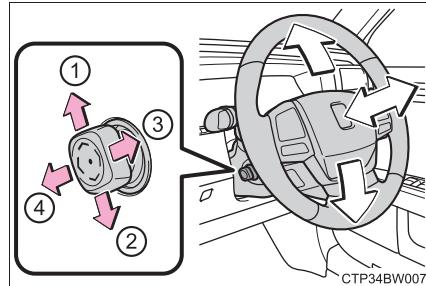
- ヘッドラストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドラストを必ず正しい位置に調整する
- ヘッドラストをはずしたまま走行しない

## ハンドル

### 調整のしかた

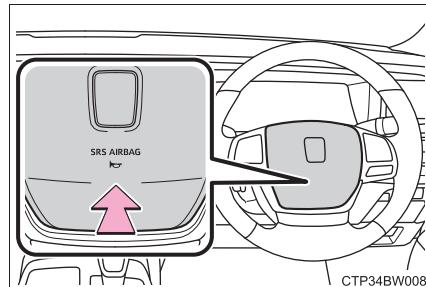
スイッチを操作すると、ハンドルを次の方向に動かします。

- ① 上方へ
- ② 下方へ
- ③ 手前へ
- ④ 前方へ



### ホーン（警音器）

ハンドルの $\text{♪}$ 周辺部を押すと  
ホーンが鳴ります。



 知識**■ハンドル位置調整の作動条件**

パワースイッチがアクセサリーモード、またはONモードのとき※

※ 運転席シートベルトを装着していれば、パワースイッチのモードにかかわらず、ハンドルの調整ができます。

**■ハンドル位置の自動調整**

お好みのハンドル位置をマイコンプリセットドライビングポジションシステムに登録すると、自動で調整されます。(→ P. 161)

**■パワーイージーアクセスシステム**

パワースイッチのモード切り替え・運転席シートベルトの脱着に連動して、ハンドルとシートが動きます。(→ P. 161)

 警告**■走行中の警告**

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。

運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

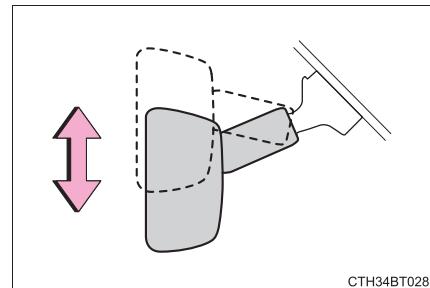
## インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

### 上下調整のしかた

運転姿勢に合わせてインナーミラーの高さを調整することができます。

インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する



### 自動防眩機能を使うには

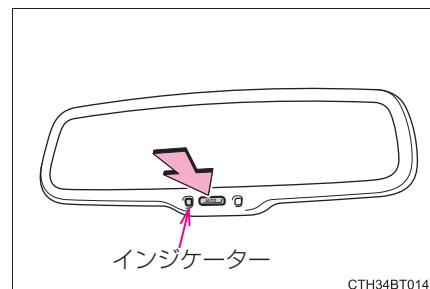
後続車のヘッドライトのまぶしさに応じて反射光を自動的に減少させます。

自動防眩機能の切りかえ  
ON/OFF

ON のときはインジケーターが点灯します。

パワースイッチを ON モードにしたときは、ミラーは常に自動防眩機能が ON になっています。

ボタンを押すと OFF になりインジケーターが消灯します。

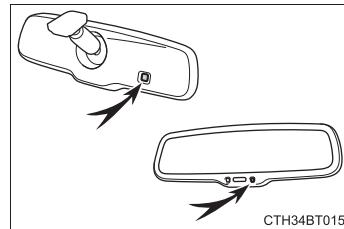




## 知識

### ■ センサーの誤作動防止

センサーの誤作動を防ぐため、センサーにふれたりセンサーを覆ったりしないでください。



## 警告

### ■ 走行中の警告

走行中はミラーの調整をしないでください。

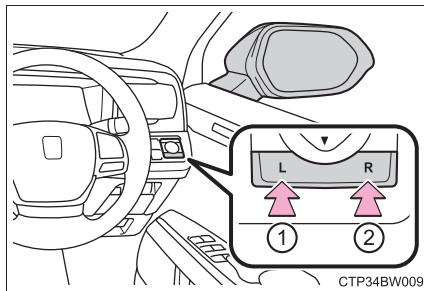
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ドアミラー

### 調整のしかた

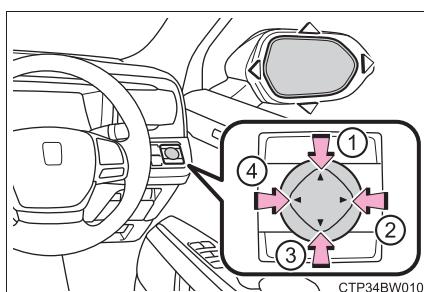
**1 調整するミラーを選ぶ**

- ① 左
- ② 右



**2 ミラーの鏡面を調整するにはスイッチを操作する**

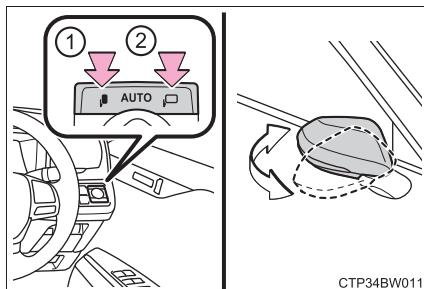
- ① 上
- ② 右
- ③ 下
- ④ 左



### ドアミラーの格納・復帰のしかた

- ① ミラーを格納する
- ② ミラーを元の位置にもどす

スイッチを中立の位置（AUTO）にすると自動モードに切りかわり、ドアの施錠・解錠と連動します。



## リバース運動機能について

ミラー選択スイッチの L または R どちらかが選択されているときは、後退時に鏡面が下向きになり、下方が見やすくなります。

この機能を使用しないときは、ミラー選択スイッチを中立の位置（L・R ともに選択していない状態）にしてください。

### ■ 後退時に下向きになる角度を調整するときは

シフトレバーを R に入れた状態で、鏡面位置を調整することで、下向きに動く角度を調整できます。

次回からシフトレバーを R にするたびに、その角度で作動します。

通常時（シフトレバーが R 以外のとき）の鏡面位置を基準に下向きに動く角度を記憶するため、調整後に通常時の鏡面位置を変更すると、それに伴って後退時の鏡面位置も変化します。

通常時の鏡面位置を変更したときは、後退時に下向きになる角度も調整してください。

## □ 知識

### ■ 鏡面調整の作動条件

パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのとき

### ■ ミラーが曇ったとき

リヤウインドウデフォッガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取ることができます。（→ P. 399）

### ■ ミラー角度の自動調整

お好みのミラー角度をマイコンプリセットドライビングポジションシステムに登録すると、自動調整されます。（→ P. 161）

### ■ 寒冷時にドアミラーを使用するとき

寒冷時にドアミラーが凍結していると、ドアミラーの格納・復帰や鏡面の調整ができない場合があります。ドアミラーに付着している氷や雪などを取り除いてください。

### ■ カスタマイズ機能

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。（→ P. 586）

## ⚠️ 警告

### ■ 走行中の留意事項

走行中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない

- ドアミラーを格納したまま走行しない

走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

### ■ ミラーが動いているとき

手をふれないでください。

手を挟んだけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

### ■ ミラーヒーターが作動しているとき

ドアミラーの鏡面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

# パワーウィンドウ

## 開閉のしかた

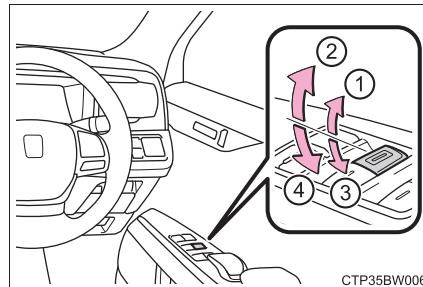
スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを次のように動かします。

### ▶ 運転席

- ① 閉める
- ② 自動全閉 \*
- ③ 開ける
- ④ 自動全開 \*

\* 途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。

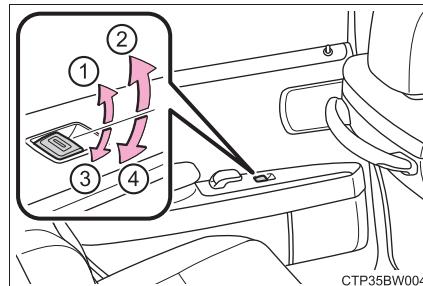


CTP35BW006

### ▶ 運転席以外

- ① 閉める
- ② 自動全閉 \*
- ③ 開ける
- ④ 自動全開 \*

\* 途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。

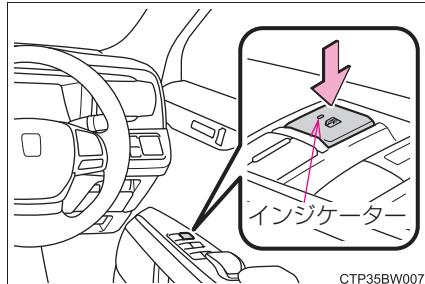


CTP35BW004

## ■ ウィンドウロックスイッチ

スイッチを押すとインジケーターが点灯し、運転席以外のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



CTP35BW007

## □ 知識

### ■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

### ■ ハイブリッドシステム停止後の作動

パワースイッチをアクセサリーモードまたは OFF にしたあとでも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

### ■ 挟み込み防止機能

ドアガラスを開めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

### ■ 音声対話サービスでの操作について★

音声対話サービスを使用して次の操作をすることができます。

- すべての席の窓の開閉

- 各席の窓の開閉

(ウィンドウロックスイッチが OFF のときのみ操作可能)

音声対話サービスについては、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

### ■ 巻き込み防止機能

ドアガラスを開けているときに、異物がドアガラスとドアの間に巻き込まれると、作動が停止します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■ ドアガラスを開閉することができないときは

挟み込み防止機能や巻き込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを開閉することができないときは、開閉することができないドアのパワーウィンドウスイッチで、次の操作を行ってください。

- 車を停止し、パワースイッチをONモードの状態で、挟み込み防止機能や、巻き込み防止機能が作動したあと約4秒以内に、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続ける。または、「自動全開」の位置で押し続けることでドアガラスを開閉することができます。
- 上記の操作を行ってもドアガラスが開閉できない場合、機能の初期化を次の手順で実施してください。

**[1] パワースイッチをONモードにする**

**[2] パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを全閉にする**

**[3] いったんパワーウィンドウスイッチから手を離して、再度パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で約6秒以上引き続ける**

**[4] パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開にしたあと、さらにスイッチを約1秒以上押し続ける**

**[5] いったんパワーウィンドウスイッチから手を離して、再度パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で約4秒以上押し続ける**

**[6] 再度、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを約1秒以上引き続ける**

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。以上の操作を行っても反転して閉じ切らない、または全開にならない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

## ■ ドアロック連動ドアガラス開閉機能

●メカニカルキーでドアガラスを開閉できます。※(→P.563)

●ワイヤレスリモコンでドアガラスを開閉できます。※(→P.120)

※トヨタ販売店での設定変更が必要です。(→P.586)

## ■ 補機バッテリーをはずしたとき

ウインドウロックスイッチがOFFになるため、補機バッテリーを接続したあと、再度ウインドウロックスイッチをONにする必要があります。

## ■ 窓開警告ブザー

パワースイッチがOFFでドアガラスが開いていると、運転席ドアを開けたときにブザーが鳴り、メーター内のマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

## ■ カスタマイズ機能

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。  
(→P.586)

## ⚠️ 警告

次のことを必ずお守りください。

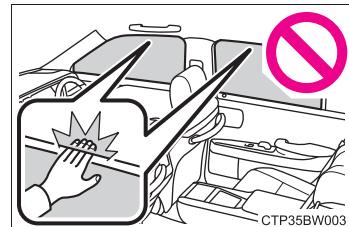
お守りいただかない場合、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ ドアガラスを開閉するとき

- 運転者は、乗員の操作を含むすべてのドアガラス開閉操作について責任があります。特にお子さまの誤った操作による事故を防ぐため、お子さまにはドアガラスの操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

また、お子さまが同乗するときはウインドウロックスイッチを使用することをおすすめします。（→ P. 178）

- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。



CTP35BW003

- ワイヤレスリモコンやメカニカルキーを使ってドアガラスを操作するときは、ドアガラスに人が挟まるおそれがないことを確認してから操作してください。またお子さまには、ワイヤレスリモコンやメカニカルキーによる操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

- 車から離れるときはパワースイッチを OFF にし、キーを携帯してお子さまも一緒に車から離れてください。いたずらなどによる誤った操作により、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ■ 挟み込み防止機能

- 挟み込み防止機能を故意に作動させようとして、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

### ■ 巻き込み防止機能

- 巻き込み防止機能を故意に作動させようとして、乗員の手・腕・服などを巻き込ませたりしないでください。
- 巻き込み防止機能は、ドアガラスが完全に開く直前に異物を巻き込むと作動しない場合があります。手・腕・服などを巻き込まれないように注意してください。

## マイセッティング

Bluetooth® デバイスから個人を特定し、運転者ごとの車両設定を記憶しておくことで、次回乗車時に再生します。あらかじめ認証デバイスを割り当てておくことで、運転者に合わせたお好みの設定で乗車することができます。マイセッティングには、運転者 3 名分の設定を記憶することができます。Bluetooth® デバイスの割り当て／削除、ドライバー名の設定、初期化方法、運転者の手動きりかえ、記憶してあるドライバーの削除については別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

### 割り当てる認証デバイスの種類

次の認証デバイスから個人を特定します。

#### ● Bluetooth® デバイス

Bluetooth® 機器をマルチメディアシステムに接続することで個人を特定します。

Bluetooth® 機器の接続方法については、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。

### 再生される機能

認証デバイスから個人が特定されたとき、次の機能の設定を再生します。

#### ● マルチメディアディスプレイで設定可能な車両設定 ※

個人が特定されると、前回パワースイッチを OFF にしたときの車両設定を再生します。

※ 一部の設定項目を除く

#### 4-1. 運転にあたって

運転にあたって .....	184
荷物を積むときの注意 .....	194

#### 4-2. 運転のしかた

パワー (イグニッション) .....	195
スイッチ .....	195
EV ドライブモード .....	201
トランスミッション .....	204
方向指示レバー .....	209
パーキングブレーキ .....	210
ブレーキホールド .....	215

#### 4-3. ランプのつけ方・ 　　ワイパーの使い方

ランプスイッチ .....	218
AHS (アダブティブ ハイビームシステム) .....	222
AHB (オートマチック ハイビーム) .....	226
フォグランプスイッチ .....	230
ワイパー & ウオッシャー .....	232
ヘッドランプクリーナー .....	238

#### 4-4. 給油のしかた

給油口の開け方 .....	239
---------------	-----

## 運転

## 4

## 4-5. 運転支援装置について

ソフトウェアアップデートを確認する (Toyota Safety Sense) .....	243
Toyota Safety Sense .....	246
PCS (プリクラッシュセーフティ) .....	256
LTA (レーントレーシングアシスト) .....	270
LDA (レーンディパーザー アラート) .....	276
PDA (プロアクティブ ドライビングアシスト) .....	283
発進遅れ告知機能 .....	290
RSA (ロードサインアシスト) .....	292
レーダークルーズ コントロール .....	297
クルーズコントロール .....	309
ドライバー異常時対応システム .....	315
BSM (ブラインドスポットモニター) .....	319

後方車両への接近警報 .....	326
安心降車アシスト .....	329
クリアランスソナー .....	335
RCTA (リヤクロス トラフィックアラート) .....	344
PKSB (パーキング サポートブレーキ) .....	352
パーキングサポートブレーキ (前後方静止物) .....	357
パーキングサポートブレーキ (後方接近車両) .....	361
ドライブモードセレクト .....	363
電子制御エアサスペンション .....	365
運転を補助する装置 .....	367
プラスサポート (販売店装着オプション) .....	377

## 4-6. 運転のアドバイス

ハイブリッド車運転のアドバイス .....	384
寒冷時の運転 .....	386

## 運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

### ハイブリッドシステムを始動する

→ P. 195

### 発進する

- ① ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーを D にする  
(→ P. 204)
- ② パーキングブレーキを解除する (→ P. 210)  
パーキングブレーキがオートモードのときは、自動でパーキングブレーキが解除されます。  
(→ P. 210)
- ③ ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み  
発進する

### 停車する

- ① シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- ② 必要に応じて、パーキングブレーキをかける (→ P. 210)  
長時間停車する場合は、シフトレバーを P にします。  
(→ P. 204)

### 駐車する

- ① シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- ② パーキングブレーキをかけて (→ P. 210)、シフトレバーを P にする  
(→ P. 204)  
パーキングブレーキ表示灯が点灯していることを確認します
- ③ パワースイッチを押してハイブリッドシステムを停止する
- ④ 電子キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する

坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め<sup>※</sup>を使用してください。

<sup>※</sup> 輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。

## 上り坂の発進のしかた

- 1 パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをDにする
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

## 急発進および後退速度の抑制（ドライブスタートコントロール）

### ■ 急発進の抑制制御

アクセルペダルを踏み込んだまま、次のようにシフトポジションを切りかえたとき、ハイブリッドシステム出力を抑制することができます。

● Rに切りかえたとき※

● PまたはRから、Dなどの前進シフトポジションに切りかえたとき※

この場合、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。表示された画面の指示に従ってください。

\* 状況によっては操作できない場合があります。

### ■ 後退速度の抑制制御

後退時の速度が所定以下となるようにハイブリッドシステム出力を抑制※します。

後退速度の抑制制御が作動しているときは、マルチインフォメーションディスプレイに“速度抑制中”が表示されます。

\* 状況によっては所定の速度以下に抑制できない場合があります。

## □ 知識

### ■ 上り坂発進について

ヒルスタートアシストコントロールが作動します。（→P. 368）

### ■ 燃費を良くする走り方

ハイブリッド車も急加速を控えるなど、通常のガソリン車と同様の心がけが必要です。（→P. 384）

### ■ 雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったりするので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

**■ハイブリッドシステム出力の抑制について（ブレーキオーバーライドシステム）**

- アクセルペダルとブレーキペダルが同時に踏まれたとき、ハイブリッドシステム出力を抑制する場合があります。
- ブレーキオーバーライドシステム作動中は、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

**■ドライブスタートコントロールについて**

- TRCの作動を停止（→P. 371）すると、急発進の抑制制御も停止します。急発進の抑制制御により、ぬかるみや新雪などからの脱出が困難な場合は、TRCの作動を停止してください。（→P. 371）
- タイヤがスリップ（空転）していると、後退速度の抑制制御が作動することがあります。
- 後退速度の抑制制御のON（作動）／OFF（非作動）を切りかえることができます。（→P. 586）
  - ・パワースイッチをONにしたときは、後退速度の抑制制御は常にON（作動）になっています。
  - ・後退速度の抑制制御をOFF（非作動）にしても、急発進の抑制制御は作動します。

**■運転標識の取り付け**

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などをバンパーやアルミ部分に取り付けることはできません。

**■環境に配慮した運転**

→P. 113

**警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■発進するとき**

車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯している状態で停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

## ⚠️ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ 運転するとき

- 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。
  - ・ アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - ・ 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
  - ・ 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
  - ・ ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ハイブリッド車は電気モーターでの走行時にエンジン音がしないため、周囲の人が車両の接近に気が付かない場合があります。車両接近通報装置が作動していても、周囲の騒音などが大きい場合は車両の接近に気が付かないことがありますので、十分注意して運転してください。
- 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を停めたりしないでください。  
排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。
- 通常走行時は、走行中にハイブリッドシステムを停止しないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、ハンドルの操作力補助がなくなり、ハンドル操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。  
なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 506を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。(→ P. 204)
- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。  
運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。

## ⚠️ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができないおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフト操作によるエンジンブレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- 氷たまり走行後はブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

### ■ シフトレバーを操作するとき

- シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。  
思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れないでください。  
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が前進しているあいだは、シフトレバーをRに入れないでください。  
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れないでください。  
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 走行中にシフトレバーをNに入れると、ハイブリッドシステムの動力伝達が解除され、エンジンブレーキが効かなくなります。
- アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。  
シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## ⚠️ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ ブレーキパッドの摩耗について

次のいずれかのときは、できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。

- ブレーキパッドの厚さを4輪とも目視で点検し、どれか1つでも使用限度をこえている場合（使用限度についてはP. 584 を参照してください）
- マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示された場合必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすとともに摩耗していきます。摩耗の限度をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

### ■ 停車するとき

- 不必要にアクセルペダルを踏み込まないでください。  
シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯しているときは常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながることを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。  
排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

## ⚠️ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■駐車するとき

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶や炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。  
放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
  - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
  - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
  - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたままにしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。
- ウインドウガラスなどには吸盤を取り付けないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。  
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。  
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPに入れ、ハイブリッドシステムを停止し、施錠してください。  
READY インジケーターが点灯しているあいだは、車から離れないでください。  
パーキングブレーキをかけずにシフトレバーをPにした状態では、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- READY インジケーターが点灯しているとき、またはハイブリッドシステム停止直後は排気管にふれないでください。  
やけどをするおそれがあります。

## ⚠️ 警告

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ 仮眠するとき

必ずハイブリッドシステムを停止してください。

READY インジケーターが点灯した状態のまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やハイブリッドシステムの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ ブレーキをかけるとき

● ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。

ブレーキがぬれると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとつからないおそれもあります。

● 電子制御ブレーキシステムが機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。

この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

● ブレーキシステムは2つ以上の独立したシステムで構成されており、1つの油圧システムが故障しても、残りは作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

## ⚠ 注意

### ■ 運転しているとき

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。  
アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、ハイブリッドシステム出力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

### ■ 駐車するとき

必ずパーキングブレーキをかけシフトレバーを P にしてください。パーキングブレーキをかけシフトレバーを P にしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

### ■ 部品の損傷を防ぐために

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

### ■ 走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかりと持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法は P. 536, 551 を参照してください。



## 注意

### ■冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジン・トランスミッション・ディファレンシャルなどのオイルやフルードの量および質の変化
- プロペラシャフト・各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

## 荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

### ⚠ 警告

#### ■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

#### ■ 荷物を積むとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないとい、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はトランクに積んでください。
- トランクに人を乗せないでください。乗員用には設計されていません。乗員は、適切にシートベルトを着用させ、座席に座らせてください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。
  - ・ 運転席足元
  - ・ 助手席やリヤ席（荷物を積み重ねる場合）
  - ・ パッケージトレイ
  - ・ インストルメントパネル
  - ・ ダッシュボード
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。

#### ■ 荷物の重量・荷重のかけ方について

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等にかけないようにしてください。

これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## パワー（イグニッション）スイッチ

電子キーを携帯して次の操作を行うことで、ハイブリッドシステムの始動またはパワースイッチのモードを切りかえることができます。

### ハイブリッドシステムの始動のしかた

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーが P の位置にあることを確認する
- 3 ブレーキペダルをしっかりと踏む

マルチインフォメーションディスプレイに  とメッセージが表示されます。

表示されないと、ハイブリッドシステムは始動しません。

- 4 パワースイッチを短く確実に押す

短く確実に押せば、押し続ける必要はありません。

READY インジケーターが点灯すれば、ハイブリッドシステムは正常に始動しています。

READY インジケーターが点灯するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

パワースイッチのどのモードからでもハイブリッドシステムを始動できます。

- 5 READY インジケーターが点灯したことを確認する

READY インジケーターが消灯している状態では走行できません。

プラスサポート★をご使用の方は、P. 377 も併せて参照してください。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ハイブリッドシステムの停止のしかた

- ① 車両を完全に停止させる
- ② パーキングブレーキをかけて (→ P. 210)、シフトレバーを P の位置にする (→ P. 204)
- ③ パワースイッチを短く確実に押す
- ④ ブレーキペダルから足を離してマルチインフォメーションディスプレイの「アクセサリー」や「パワー ON」の表示が消灯していることを確認する

## パワースイッチの切りかえ

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、モードを切りかえることができます。(スイッチを押すごとにモードが切りかわります)

### ① OFF

非常点滅灯が使用できます。

### ② アクセサリーモード\*

オーディオなどの電装品が使用できます。

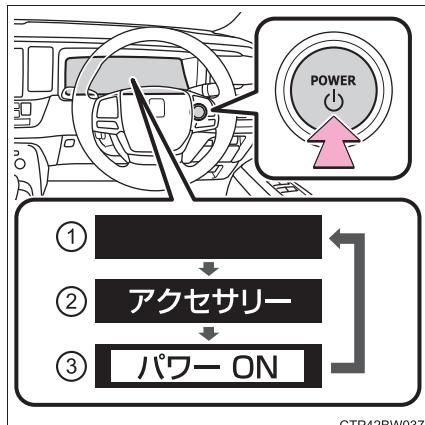
マルチインフォメーションディスプレイに「アクセサリー」が表示されます。

### ③ ON モード

すべての電装品が使用できます。

マルチインフォメーションディスプレイに「パワー ON」が表示されます。

\* カスタマイズメニューで ON / OFF を切りかえることができます。  
(→ P. 586)



## シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止したとき

シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止させた場合、ハイブリッドシステムは停止しますが、パワースイッチのモードは OFF なりません。次の手順で OFF にしてください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- ② シフトレバーを P の位置にする
- ③ マルチインフォメーションディスプレイに「電源を Off してください」が表示されていることを確認し、パワースイッチを 1 回短く確実に押す
- ④ マルチインフォメーションディスプレイの「電源を Off してください」の表示が消灯していることを確認する

## 知識

### ■ ACC カスタマイズが OFF のとき

パワースイッチが OFF の状態でも、節電機能が働くまでの一定時間はマルチメディアシステムが使用できます。

### ■ パワースイッチ照明

状況に応じて、次のようにパワースイッチ照明が切りかわります。

- 運転席または助手席ドアが開いているときは、パワースイッチ文字照明が点灯します。
- パワースイッチが OFF のとき、電子キーを携帯したままブレーキペダルを踏むと、パワースイッチ文字照明が点滅します。
- パワースイッチがアクセサリーモードまたは ON モードのときは、パワースイッチ文字照明が点灯します。
- パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードから OFF にしたときは、パワースイッチ文字照明がしばらく点灯し、その後消灯します。

**■自動電源 OFF 機能**

- シフトレバーがPにあるとき、20分以上アクセサリーモードまたはONモード（ハイブリッドシステムが作動していない状態）にしたままにしておくと、パワースイッチが自動でOFFになります。
- シフトレバーがPおよびパワースイッチがアクセサリーモードまたはONモード（ハイブリッドシステムが始動していない状態）のときに補機バッテリーの残量が少なくなると、ブザーが鳴りマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。そのままの状態を続けると、パワースイッチが自動でOFFになります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、補機バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。ハイブリッドシステムが作動していないときは、パワースイッチをアクセサリーモード、またはONモードにしたまま長時間放置しないでください。

**■ハイブリッド車特有の音と振動について**

→ P. 76

**■電子キーの電池の消耗について**

→ P. 118

**■外気温が低いときは**

- ハイブリッドシステム始動時にREADY インジケーターの点滅時間が長くなることがあります。READY インジケーターが点灯すれば走行可能になりますので点灯するまでそのままお待ちください。

**■スマートエントリー＆スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況**

→ P. 142

**■ご留意いただきたいこと**

→ P. 143

**■ハイブリッドシステムが始動しないとき**

- イモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。（→ P. 83）トヨタ販売店へご連絡ください。
- 始動操作に関するメッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示されている場合は、画面の指示に従ってください。
- メカニカルキーを使ってドアを解錠した場合は、スマートエントリー＆スタートシステムでハイブリッドシステムを始動することができません。ハイブリッドシステムを始動するには、P. 563 を参照してください。または、乗車中に電子キーを携帯し、施錠した場合（→ P. 124）はハイブリッドシステムを始動できます。

**■マルチインフォメーションディスプレイに“スマートエントリー＆スタートシステム 故障 取扱書を確認”が表示されたときは**

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

## ■万一、READY インジケーターが点灯しないときは

正しい手順で始動操作を行っても READY インジケーターが点灯しない場合は、ただちにトヨタ販売店へご連絡ください。

## ■ハイブリッドシステムに異常があるときは

→ P. 78

## ■電子キーの電池が切れたときは

→ P. 492

## ■パワースイッチの操作について

- スイッチを短く確実に押せてない場合は、モードの切り替えやハイブリッドシステムの始動ができない場合があります。
- パワースイッチ OFF 後、すぐに再始動した場合は、ハイブリッドシステムが始動しない場合があります。パワースイッチ OFF 後の再始動は、数秒待ってから操作してください。

## ■カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムを非作動にしたときは

→ P. 563



### 警告

#### ■ハイブリッドシステムを始動するとき

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。

思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■走行中の警告

ハイブリッドシステムの停止などで車両滑走状態になったときは、車両が安全な状態で停止するまでドアを開けたり、ロック操作をしたりしないでください。

#### ■緊急時のハイブリッドシステム停止方法

- 走行中にハイブリッドシステムを緊急停止したい場合には、パワースイッチを2秒以上押し続けるか、素早く3回以上連續で押してください。(→ P. 506)ただし、緊急時以外は走行中にパワースイッチにふれないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、ハンドルの操作力補助がなくなり、ハンドル操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

- 走行中にパワースイッチを操作すると、マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示され、警告ブザーが鳴ります。

 **注意****■補機バッテリーあがりを防止するために**

- ハイブリッドシステム停止中は、パワースイッチをアクセサリーモードまたはONモードにしたまま長時間放置しないでください。
- ハイブリッドシステム停止中に、マルチインフォメーションディスプレイの「アクセサリー」または「パワー ON」の表示が消灯していない場合、パワースイッチが OFF になってしまふ。パワースイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- シフトレバーがP以外でハイブリッドシステムを停止させないでください。シフトレバーがP以外でハイブリッドシステムを停止させた場合、パワースイッチがアクセサリーモードとなるため、そのまま放置するとバッテリーあがりの原因となります。

**■ハイブリッドシステムを始動するとき**

もしハイブリッドシステムが始動しにくい場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

**■パワースイッチの操作について**

パワースイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店にご連絡ください。

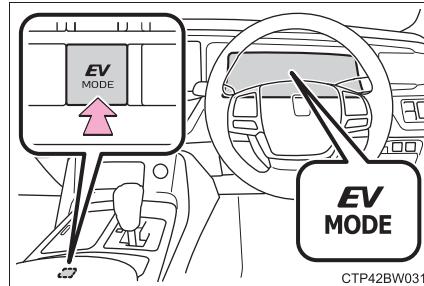
## EV ドライブモード

EV ドライブモードは、駆動用電池から電力を供給し、電気モーターのみを使って走行するモードです。早朝、深夜の住宅街や屋内の駐車場などで、騒音や排気ガスを気にすることなく走行することができます。

EV ドライブモードの ON/OFF を切りかえる

EV ドライブモードになると、EV ドライブモード表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）にもどります。



### □ 知識

#### ■ EV ドライブモードの切りかえについて

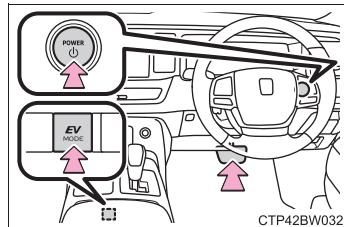
次のときは EV ドライブモードに切りかわらない場合があります。EV ドライブモードに切りかわらないときはブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

- ハイブリッドシステムが高温のとき  
炎天下に駐車したあとや登降坂、高速走行後など
- ハイブリッドシステムが低温のとき  
約 0 ℃を下まわるような低温下に長時間駐車したあとなど
- ガソリンエンジンが暖機運転中のとき
- 駆動用電池の充電量が低いとき  
エネルギーモニターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態（→ P. 110）
- 車速が高いとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など
- フロントウインドウガラスの曇り取りを使用しているとき

### ■EV ドライブモードでハイブリッドシステムを始動するには

ガソリンエンジンが冷えているときにハイブリッドシステムを始動すると、暖機運転のためガソリンエンジンが自動的に始動します。次の方法でハイブリッドシステムを始動すると暖機運転を控え、騒音を抑えることができます。

ブレーキペダルをしっかり踏み、EV ドライブモードスイッチを押しながらパワースイッチを押す



### ■EV ドライブモードの自動解除について

EV ドライブモードで走行中、次のときは自動的に通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）になることがあります。EV ドライブモードが解除されるときは、ブザーが鳴り、EV ドライブモード表示灯が点滅したあと、消灯します。

- 駆動用電池の充電量が低下したとき  
エネルギーモニターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態（→ P. 110）
- 車速が高いとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など

### ■EV ドライブモードの走行可能距離

EV ドライブモードの走行可能距離は数百 m から約 1km 程度です。ただし、車両の状況によっては EV ドライブモードが使用できない場合があります。（走行距離は、駆動用電池の充電量や走行状態によって異なります）

### ■燃費について

ハイブリッドシステムは、通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）において、最も燃費がよくなるように制御されています。EV ドライブモードを多用すると、燃費が悪くなることがあります。

### ■マルチインフォメーションディスプレイに “EV モードに現在切りかえできません” と表示されたときは

EV ドライブモードを使用できません。EV ドライブモードを使用できない理由（暖気中／ハイブリッド充電不足／EV 速度域超過／アクセル踏みすぎ）が表示される場合があります。EV ドライブモードが使用できる状況になってから使用してください。

■マルチインフォメーションディスプレイに “EV モードが解除されました” と表示されたときは

EV ドライブモードが自動解除されています。EV ドライブモードを使用できない理由（ハイブリッド充電不足／EV 速度域超過／アクセル踏み過ぎ）が表示される場合があります。しばらくしてから使用してください。

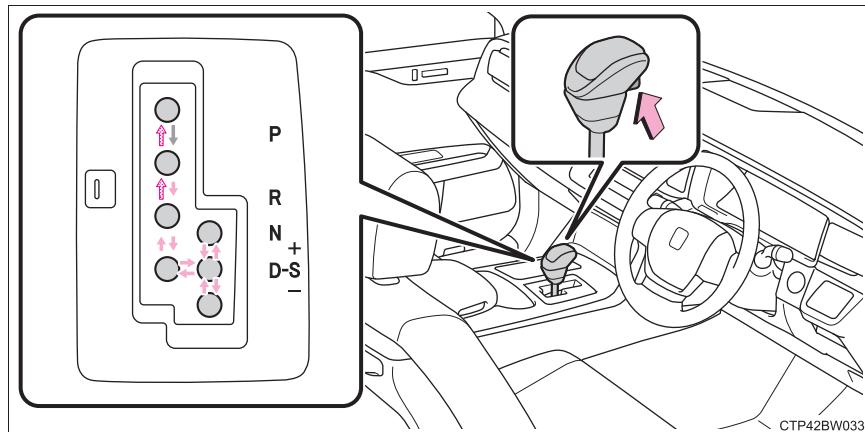
**⚠ 警告**

■走行中の警告

EV ドライブモードではエンジン音がしないため、周囲の人が車両の発進や接近に気が付かない場合があります。車両接近通報装置が作動していても、周囲の騒音などが大きい場合は、車両の接近に気が付かない場合がありますので、十分注意して運転してください。

## トランスミッション

### シフトレバーの動かし方



CTP42BW033

- ← パワースイッチが ON モードの状態で、ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーのボタンを押しながら操作します。\*
- ← シフトレバーのボタンを押しながら操作します。
- ← シフトレバーのボタンを押さずそのまま操作します。

P と D のあいだの操作は、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

\* シフトレバーのボタンを押す前にブレーキペダルを踏んでください。シフトレバーのボタンを始めに押してもシフトロックは解除されません。

### シフトレバーの使用目的

シフトレバー	目的および状態
P	駐車またはハイブリッドシステムの始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行 <sup>※1</sup>
S	S モード走行 <sup>※2</sup>

<sup>※1</sup> 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

<sup>※2</sup> S モードはシフトレンジを選択することで、加速力やエンジンブレーキ力を切りかえることができます。

## 走行モードの選択

### ■ スポーツモード・エコドライブモード

→ P. 363

## S モードでのシフトレンジ選択

シフトレバーを S ポジションにすると、S モードに切りかわります。

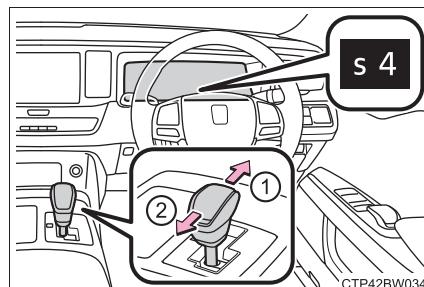
シフトレンジを選択することで、使用するシフトレンジの上限を制限し、不要なシフトアップを抑えたり、エンジンブレーキ力を切りかえることができます。また、通常走行にくらべエンジン回転数が高くなるようにトランスマッキションを制御するため、加速応答性が向上します。

シフトレバーの “-” 側または “+” 側の操作でシフトレンジを選択することができます。

- ① シフトレンジアップ
- ② シフトレンジダウン

S1 から S8 レンジのあいだで選択されているシフトレンジがメーターに表示されます。

S ポジションへ操作したときの初期レンジは、車速に応じて S4 から S7 に設定されます。



### ■ シフトレンジ機能

- 加速力・エンジンブレーキ力は、8 段階から選択が可能です。
- シフトレンジの数字が小さい方が、加速力・エンジンブレーキ力は大きくなり、エンジン回転数も高くなります。
- 1 から 5 のシフトレンジでの加速時は、車速に応じて、シフトレンジが自動的に切りかわります。



## 知識

### ■ S モードについて

- 6レンジ以下のとき、シフトレバーを“+”側へ保持すると8レンジに設定されます。
- シフトレバーを“-”側へ操作したとき、走行状態に適したエンジンブレーキ力を得られるレンジにダウンします。

### ■ シフトダウン制限警告ブザー

安全や走行性能を確保するため、シフトダウン操作には制限があり、シフトレバーを操作してもシフトダウンできない場合があります。(このときブザーが2回鳴ります)

### ■ レーダークルーズコントロールを使って走行しているとき

エンジンブレーキを目的に次の操作を行っても、レーダークルーズコントロールが解除されないためエンジンブレーキは効きません。

- S モードで走行中に7・6・5・4レンジにシフトダウンしたとき(→ P. 276)
- D ポジションで走行中に走行モードをスポーツモードにしたとき(→ P. 363)

### ■ 急発進および後退速度の抑制（ドライブスタートコントロール）

→ P. 185

### ■ リバース警告ブザー

シフトレバーをRに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

### ■ シフトロックシステム

シフトロックシステムは、発進時のシフトレバーの誤操作を防ぐシステムです。パワースイッチがONモードでブレーキペダルを踏んだままシフトレバーのボタンを押した状態でなければ、シフトレバーをPからシフトできません。

## ■シフトレバーをPからシフトできないとき

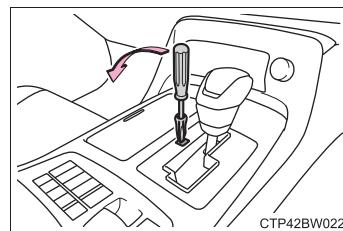
ブレーキペダルを踏んでいることを確認してください。

ブレーキペダルを踏んだままシフトレバーのボタンを押した状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

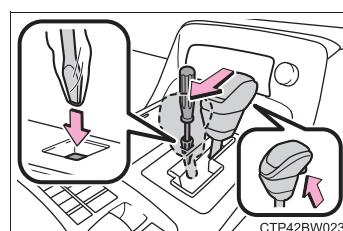
シフトロックの解除のしかた：

- ① パワースイッチをONモードにし（→P.196）、パーキングブレーキがかかっていることを確認する（→P.210）
- ② パワースイッチをOFFにする
- ③ ブレーキペダルを踏む
- ④マイナスドライバーなどを使ってカバーを取りはずす  
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



- ⑤ シフトロック解除ボタンを押しながらシフトレバーのボタンを押す

シフトロック解除ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



 **警告****■ すべりやすい路面を走行するとき**

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジンブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

**■ シフトロック解除時の事故を防ぐために**

シフトロック解除ボタンを押すときは、必ずパーキングブレーキをかけブレーキペダルを踏んでください。

誤ってアクセルペダルを踏んでいると、シフトロック解除ボタンを押してシフトレバーを操作したときに、車が急発進して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 駆動用電池の充電について**

シフトレバーが N では、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電されないため、N で放置すると駆動用電池の残量が低下し、走行不能になるおそれがあります。

# 方向指示レバー

## 操作のしかた

レバー操作により、次のように運転者の意思を表示することができます。

- ① 左折
- ② 左側へ車線変更  
(レバーを途中で保持 \*)

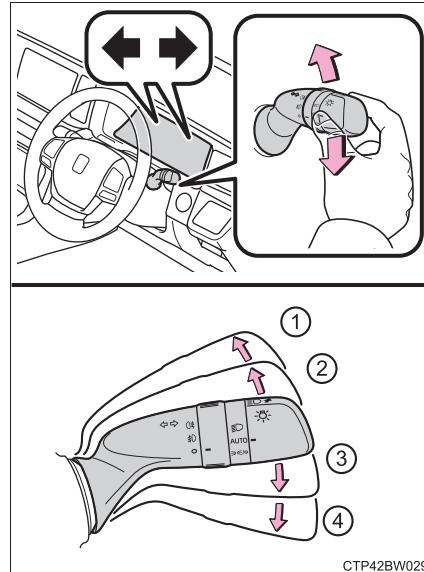
レバーを離すまで左側方向指示灯が点滅します。

- ③ 右側へ車線変更  
(レバーを途中で保持 \*)

レバーを離すまで右側方向指示灯が点滅します。

- ④ 右折

\* 2または3の位置にレバー操作し、すぐに離したときは方向指示灯が5回点滅します。



## □ 知識

### ■ 作動条件

パワースイッチがONモードのとき

### ■ 表示灯の点滅が異常に速くなったとき

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

## パーキングブレーキ

自動または手動でパーキングブレーキをかける・解除することができます。

オートモードのときは、シフトレバーの操作に応じてパーキングブレーキが自動で作動します。また、オートモードのときでも手動でパーキングブレーキをかける・解除することができます。

### 操作のしかた

#### ■ マニュアルモード

手動でパーキングブレーキをかける・解除することができます。

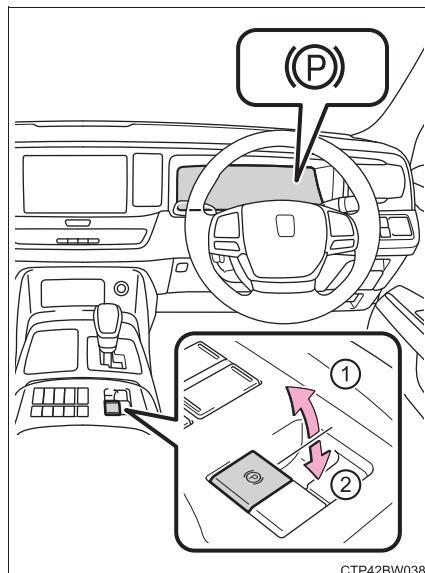
- スイッチを引き、パーキングブレーキをかける

パーキングブレーキ表示灯が点灯します。

緊急時、走行中にパーキングブレーキをかける必要があるとき、スイッチを引き続けてください。

- スイッチを押し、パーキングブレーキを解除する

- ブレーキペダルを踏みながら操作してください。
- パーキングブレーキ自動解除機能により、アクセルペダルを踏むことでパーキングブレーキを解除することができます。アクセルペダルを踏むときはゆっくり踏んでください。 (→ P. 212)



CTP42BW038

解除後、パーキングブレーキ表示灯が消灯します。

パーキングブレーキ表示灯が点滅した場合は、再度スイッチを操作してください。 (→ P. 520)

## ■ オートモードを ON にする

停車中に、ブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが出るまでスイッチを引き続ける。

オートモードを ON にすると、パーキングブレーキが次のように作動します。

- シフトレバーを P から P 以外にすると、パーキングブレーキが解除され、パーキングブレーキ表示灯が消灯します。

- シフトレバーを P 以外から P にすると、パーキングブレーキがかかり、パーキングブレーキ表示灯が点灯します。

シフトレバーは、停車した状態でブレーキペダルを踏みながら操作してください。

急なシフト操作を行ったときやブレーキペダルが十分に踏み込まれていないときに、オートモードが作動しない場合があります。その場合は、手動でパーキングブレーキを操作してください。(→ P. 210)

## ■ オートモードを OFF にする

停車中に、ブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが出るまでスイッチを押し続ける。

 知識

## ■ パーキングブレーキの作動

- パワースイッチがONモード以外では、パーキングブレーキスイッチによる解除はできません。
- パワースイッチがONモード以外では、オートモードによる作動（かける・解除する）はできません。

## ■ パーキングブレーキ自動解除機能

次の条件をすべて満たしたとき、アクセルペダルを踏むことによりパーキングブレーキを解除することができます。

- 運転席ドアが閉まっているとき
- 運転席シートベルトを着用しているとき
- シフトレバーが前進もしくは後退の位置にある
- エンジン警告灯やブレーキ警告灯が消灯している

アクセルペダルを踏むときはゆっくり踏んでください。

アクセルペダルを踏んでもパーキングブレーキが解除しない場合、手動で解除してください。

オートモードではシフトレバーをPからP以外にすると、パーキングブレーキが自動的に解除されます。

## ■ パーキングブレーキ自動作動機能について

下記の条件をすべて満たしたとき、パーキングブレーキが作動します。

- ブレーキを踏んでいない
- 運転席のドアが開いている
- 運転席のシートベルトを装着していない
- シフトレバーがPもしくはN以外の位置にある
- エンジン警告灯やブレーキ警告灯が消灯している

## ■ マルチインフォメーションディスプレイに「EPBが連続で操作されました しばらくお待ちください」が表示されたときは

短時間に作動をくり返すと、システムの過熱防止のために作動制限があります。その場合は、操作を控えてください。1分程度でもとの状態にもどります。

**■マルチインフォメーションディスプレイに「EPB 動作が途中で停止しました」または「EPB 現在使用できません」が表示されたときは**

パーキングブレーキスイッチを操作してください。何度か操作してもメッセージが消えない場合は、システムに異常があるおそれがあります。  
ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

**■パーキングブレーキの作動音**

パーキングブレーキが作動するとき、モーターの音（“ ウィーン ” という音）が聞こえることがあります、異常ではありません。

**■パーキングブレーキ表示灯について**

- パーキングブレーキをかけたとき、パワースイッチのモードによって、次のようにパーキングブレーキ表示灯が点灯します。  
ON モード：パーキングブレーキを解除するまで点灯します。  
ON モード以外：約 15 秒間点灯します。

- パーキングブレーキをかけた状態でパワースイッチを OFF にしたとき、パーキングブレーキ表示灯が約 15 秒間点灯したままになりますが、異常ではありません。

**■パーキングブレーキスイッチが故障したときは**

自動的にオートモードが ON になります。

**■駐車するとき**

→ P. 184

**■パーキングブレーキ未解除警告ブザー**

パーキングブレーキをかけたまま走行すると、警告ブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに「EPB がロックされています」が表示されます。（車速が 5km/h をこえたとき）

**■ブレーキ警告灯が点灯したときは**

→ P. 516

**■冬季のパーキングブレーキの使用について**

→ P. 386

## ⚠ 警告

### ■駐車するとき

お子さまだけを車の中に残したままにしないでください。お子さまが誤ってパーキングブレーキを解除し、車が動き出して思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■パーキングブレーキスイッチについて

パーキングブレーキスイッチの周辺にものを置かないでください。  
ものとスイッチが干渉して、思わぬパーキングブレーキの作動につながるおそれがあります。

### ■パーキングブレーキ自動動作動機能について

パーキングブレーキ自動動作動機能を日常のパーキングブレーキ操作のかわりには絶対に使用しないでください。本機能は運転者のパーキングブレーキかけ忘れによって起こる事故を軽減するための機能です。機能に頼ったり、安全を委ねて駐車をしたりすると、重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

### ■駐車するとき

車から離れるときは、シフトレバーを P にし、パーキングブレーキをかけてください。

車が動かないことを確認してください。

### ■システムに異常が発生したら

安全な場所に車を停め、警告表示を確認してください。

### ■補機バッテリーがあがったとき

パーキングブレーキシステムを作動させることはできません。（→ P. 567）

### ■故障などでかかったままになったとき

パーキングブレーキがかかったまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。ただちにトヨタ販売店に連絡してください。

## ブレーキホールド

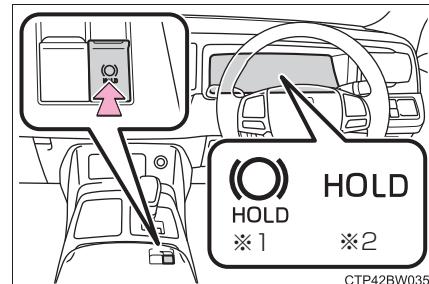
シフトレバーが D・S・N または P でブレーキホールドシステムが ON のとき、ブレーキペダルを踏んで停車するとブレーキがかかったまま保持されます。シフトレバーが D または S のとき、アクセルペダルを踏むと同時に解除され、スムーズに発進できます。

スイッチを押して、ブレーキホールドシステムを ON にする

ブレーキホールドスタンバイ表示灯（緑）が点灯します。ブレーキ保持中はブレーキホールド作動表示灯（黄）が点灯します。

\*<sup>1</sup> ブレーキホールドスタンバイ表示灯

\*<sup>2</sup> ブレーキホールド作動表示灯



4

運転

### ■ 知識

#### ■ システムの作動条件

次のときはブレーキホールドシステムを ON できません。

- 運転席ドアが閉まっていない
- 運転席シートベルトを着用していない
- マルチインフォメーションディスプレイに、「EPB 作動が途中で停止しました」や「EPB 故障 販売店で点検してください」が、表示されている

ブレーキホールドシステムが ON のときに上記いずれかを検出したときは、システムが OFF になり、ブレーキホールドスタンバイ表示灯（緑）が消灯しブレーキを保持できません。ブレーキ保持中に、運転席ドアが閉まっていないことや運転席シートベルトを着用していないことを検出した場合は、さらに警告音と共にマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示され、自動的にパーキングブレーキがかかります。

### ■ ブレーキ保持について

- ブレーキ保持中にブレーキペダルが踏まれていない状態が約3分継続すると、自動的にパーキングブレーキがかかります。このときはブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
- 急坂路ではブレーキ保持できないことがあります、その場合運転者が、ブレーキをかける必要があります。このときブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。表示された画面の指示に従ってください。
- ブレーキ保持中にシステムをOFFするときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、もう一度スイッチを押してください。
- パーキングブレーキを自動的に作動させたくない場合は、ブレーキホールドスイッチを押してスタンバイ表示灯（緑）が消灯したのを確認してからパワースイッチをOFFにしてください。

### ■ ブレーキ保持中にパーキングブレーキが自動的にかかったとき

発進時は次のいずれかの操作でパーキングブレーキを解除してください。

- 運転席シートベルトを着用した状態でアクセルペダルを踏む
- ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチを操作して手動で解除する

操作したあとパーキングブレーキ表示灯が消灯したことを確認してください。  
（→ P. 520）

### ■ トヨタ販売店で点検が必要なとき

ブレーキホールドシステムの作動条件を満たしているときに、ブレーキホールドスイッチを押してもブレーキホールドスタンバイ表示灯（緑）が点灯しないときはシステムの異常が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■ マルチインフォメーションディスプレイに「BrakeHold 故障」が表示されたときは

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■ 警告メッセージ・警告ブザーについて

操作に関して注意が必要な場合や、システムに異常が発生したときには、警告メッセージ・警告ブザーで注意をうながします。マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されたときは、表示された画面の指示に従ってください。

### ■ ブレーキホールド作動表示灯（黄）が点滅したときは

→ P. 520

## ⚠ 警告

■ 次のようなときは、ブレーキホールドシステムを OFFにしてください。

- 急坂路
- すべりやすい路面
- 自動洗車機を使用するとき
- けん引されるとき

## ⚠ 注意

■ 駐車するとき

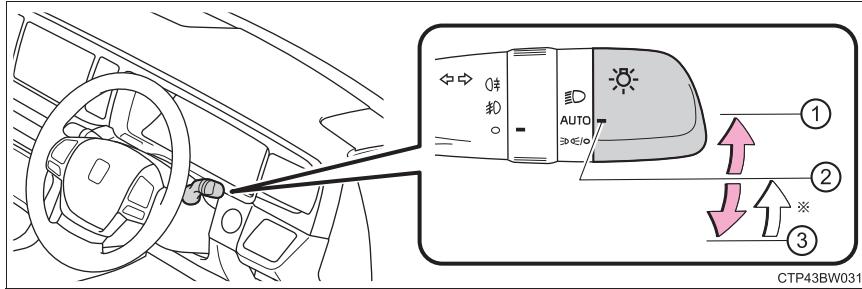
ブレーキホールドは長時間駐車するための機能ではありません。ブレーキ保持中にパワースイッチを OFF にすると、保持が解除されて車が動き出す場合があります。パワースイッチを操作するときは、ブレーキペダルを踏み、シフトレー  
バーを P にして、パーキングブレーキをかけてください。

## ランプスイッチ

自動または手動でヘッドライトなどを点灯・消灯できます。

### 点灯のしかた

次のように  スイッチを操作すると、ランプが点灯します。



\* スイッチを③  の位置へ操作し手を離すと、自動的に② **AUTO** の位置へ戻ります。

ポジション	点灯状態	
	周囲が明るいとき	周囲が暗いとき
① 	ヘッドライト・スマートランプが点灯	
② <b>AUTO</b>	LED デイライト (→ P. 220) が点灯 <sup>※2</sup>	ヘッドライト・スマートランプが点灯
③  <sup>※1</sup>	スマートランプが点灯	スマートランプが点灯 <sup>※3</sup>

上記の表のスマートランプは、車幅灯・尾灯・インストルメントパネル照明を意味します。

\*<sup>1</sup> ③  の状態に切りかえるには  スイッチを下に回した状態で約 1 秒保持してから、手を離します。

約 1 秒保持しないと、ランプ類の作動は② **AUTO** のまま変化しません。

\*<sup>2</sup> 周囲の明るさに従って、尾灯・番号灯が自動的に点灯・消灯します。

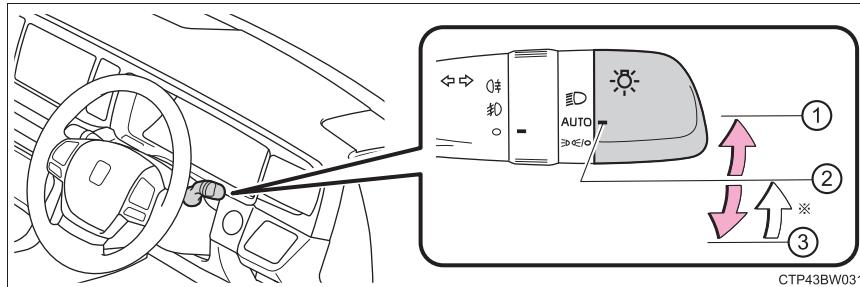
\*<sup>3</sup> 停車中から低車速での走行中にのみ点灯します。

ただし、一定の車速をこえるか、走行開始後しばらくすると自動で解除され、  
② **AUTO** での点灯状態にもどります。

## 消灯のしかた

スイッチを③ の位置で2秒以上保持すると、次のように作動します。

消灯中に① か③ の位置へ操作すると消灯状態が解除されます。



CTP43BW031

\* スイッチを③ の位置へ操作し手を離すと、自動的に② AUTO の位置へ戻ります。

ポジション	点灯状態	
	周囲が明るいとき	周囲が暗いとき
③	ヘッドライト・スマートランプ・LED デイライト (→ P. 220) が消灯	ヘッドライト・スマートランプ が消灯*

\* シフトポジションが P にある、またはパーキングブレーキがかかっているときに消灯できます。

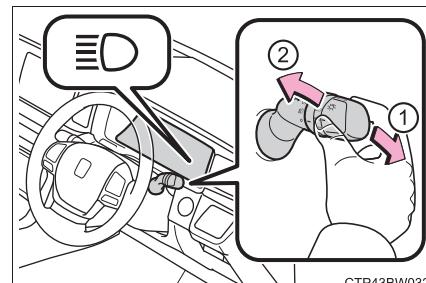
シフトポジションを P 以外にするか、パーキングブレーキを解除すると、消灯状態は解除されます。

## ハイビームにする

- ① ヘッドライト点灯時ハイビームに切り替え  
レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。

- ② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯

ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。



CTP43BW032

## ■ コーナリングランプ

- ヘッドライト（ロービーム）点灯時にハンドルまたは方向指示レバーを操作すると、交差点での視認性確保のため、車両進行方向側のコーナリングランプが点灯します。  
ただし、車速が約35km/hより高い場合は、コーナリングランプは点灯しません。
- ヘッドライト（ロービーム）点灯時にシフトレバーをRにすると、駐車時の視認性向上のため、両側のコーナリングランプが点灯します。



### 知識

#### ■ LED デイライト

日中の走行時、自車が他の運転者から見やすくなるように、ハイブリッドシステム始動後、パーキングブレーキを解除して、ランプスイッチを AUTO になると、LED デイライトが自動で点灯します。（車幅灯より明るく点灯します。）

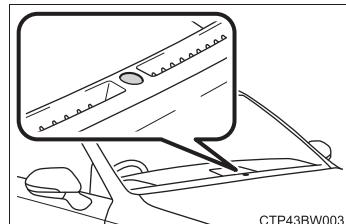
LED デイライトは夜間の使用を意図したものではありません。

#### ■ 自動で点灯／消灯する明るさについて

周囲の明るさに応じて自動的にランプが点灯／消灯します。日中走行中でも周囲の環境や明るさによって、ヘッドライトが自動点灯する場合があります。

#### ■ ライトセンサー

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをフロントウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。



#### ■ ランプ消し忘れ防止機能

パワースイッチをアクセサリーモードまたは OFF にして運転席ドアを開けるとすべてのランプが自動的に消灯します。

再びランプを点灯する場合は、パワースイッチを ON モードにするか、一度ランプスイッチを AUTO にしてから または の位置にします。

## ■ ランプ消し忘れ警告ブザー

ヘッドライト・尾灯が点灯している状態で運転席ドアを開けると、ランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

## ■ オートレベルリングシステム

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドライトの光軸を自動で調整します。

## ■ 節電機能

車両の補機バッテリーあがりを防止するため、パワースイッチを OFF の状態でヘッドライトまたは尾灯が点灯している場合、節電機能が働き約 20 分後すべてのランプが自動消灯します。

パワースイッチを ON モードにすると、節電機能は解除されます。

次のいずれかを行った場合、節電機能は一旦解除され、再度節電機能が働き約 20 分後すべてのランプが自動消灯します。

- ・ ランプスイッチを操作したとき
- ・ ドアを開閉したとき

## ■ コーナリングランプの制御について

コーナリングランプは、点灯したまま約 30 分経過すると、自動で消灯します。

## ■ カスタマイズ機能

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。  
(→ P. 586)

### ⚠ 注意

#### ■ 補機バッテリーあがりを防止するために

ハイブリッドシステムを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

## AHS (アダプティブハイビームシステム)

アダプティブハイビームシステムは、フロントウインドウガラス上部に設置されたカメラセンサーにより前方車両のランプや街路灯などの明るさを判定し、ヘッドライトの配光を制御します。

### ⚠️ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

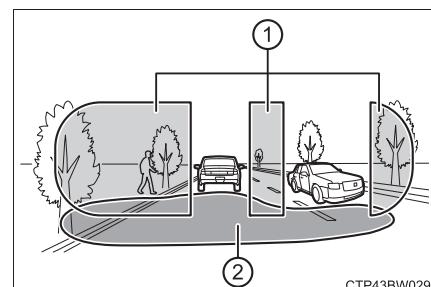
アダプティブハイビームシステムを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切りかえてください。

#### ■ アダプティブハイビームシステムの誤作動を防ぐために

荷物を積み過ぎないでください。

### システムの制御

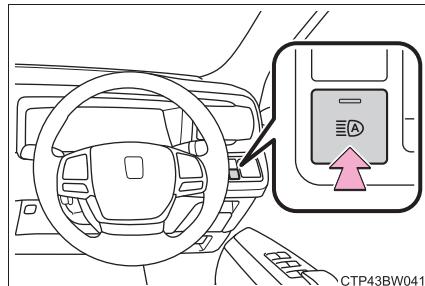
- 車速に応じて、ハイビームの明るさと照らす範囲を調整します。
- カーブを走行しているとき、進行方向側をハイビームでより明るく照らします。
- 前方車両の周辺を遮光したハイビームを点灯します。(遮光ハイビーム)  
前方車両へのまぶしさを緩和しつつ、前方視界の確保を補助します。  
  - ① ハイビームで照らす範囲
  - ② ロービームで照らす範囲
- 先行車との距離に応じて、ロービームの照らす範囲を調整します。
- 低速で走行しているとき、両側のコーナリングランプで車両側方を照らします。



CTP43BW029

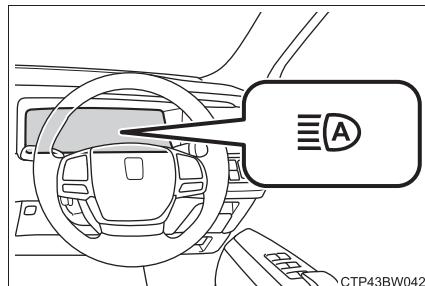
## アダプティブハイビームシステムを使うには

- ① アダプティブハイビームシステムスイッチを押す



- ② ランプスイッチを **AUTO** または  の位置にする

レバーがロービームの位置にあるとき、アダプティブハイビームシステムが作動し、AHS 表示灯が点灯します。



## 知識

### ■ システムの作動条件

- 次の条件をすべて満たすと、ハイビームが点灯し、システムが作動します。

- ・車速が約 15km/h 以上 \*
- ・車両前方が暗い

\* 車速が約 30km/h 以上になると、カーブ走行時に進行方向側を明るく照らします。

- 次の条件をすべて満たすと、前方車両の位置に応じて遮光ハイビームに切りかわります。

- ・車速が約 15km/h 以上
- ・車両前方が暗い
- ・前方にランプを点灯した車両がいる
- ・前方の道路沿いの街路灯などの光が少ない

- 次の条件のいずれかのとき、ロービームに切りかわります。

- ・車速が約 12km/h 以下
- ・車両前方が明るい
- ・前方車両の台数が多い
- ・前方の道路沿いの街路灯などの光が多い

### ■前方カメラの検知について

- 次のような状況では、ハイビームが自動で遮光ハイビームに切りかわらない場合があります。

- ・ 車両が割り込んできたとき
- ・ 他車が前方を横切ったとき
- ・ 連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで前方車両が見え隠れするとき
- ・ 前方車両が離れた車線から接近してきたとき
- ・ 前方車両が遠方を走行しているとき
- ・ 前方車両が無灯火のとき
- ・ 前方車両のランプ類の照度が低いとき
- ・ 前方車両が自車のヘッドライトなどの強い光を反射しているとき
- ・ センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→ P. 253

- 前方車両のフォグランプにより、ハイビームが遮光ハイビームに切りかわる場合があります。

- 街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板・反射板（リフレクター）などの反射物によりハイビームが遮光ハイビームに切りかわる場合や切りかわらない場合、または遮光範囲が変化する場合があります。

- 次の原因により、遮光範囲の追従速度やロービームへの切りかえのタイミングが変化する場合があります。

- ・ 前方車両のランプの明るさ
- ・ 前方車両の動きや向き
- ・ 前方車両との車間距離
- ・ 前方車両のランプが片側のみ点灯しているとき
- ・ 前方車両が二輪車のとき
- ・ 道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
- ・ 乗車人数や荷物の量

- ヘッドライトの配光制御が運転者の感覚に合わない場合があります。

- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。

- 次のような状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが歩行者や前方車両などの迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。

- ・ 周囲にヘッドライトや尾灯などに似た光があるとき
- ・ 前方車両のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があつたり光軸がずれているとき
- ・ ハイビームとロービームをひんぱんに切りかえているとき
- ・ ハイビームの点灯が不適切と思われるとき、またはほかの運転者・付近の歩行者の迷惑になると思われるとき
- ・ システムを OFF にする必要があるとき：→ P. 247
- ・ センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→ P. 253

## ■カスタマイズ機能

機能の一部は、設定を変更することができます。  
(カスタマイズ一覧: → P. 586)

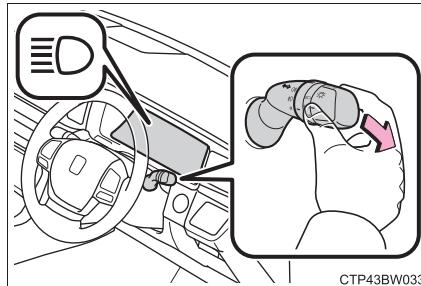
### 手動制御に切りかえるには

#### ■ハイビームへの切りかえ

レバーを前方へ押す

AHS 表示灯が消灯し、ハイビーム表示灯が点灯します。

アダプティブハイビームシステムにもどすには、再度レバーをもとの位置にもどします。

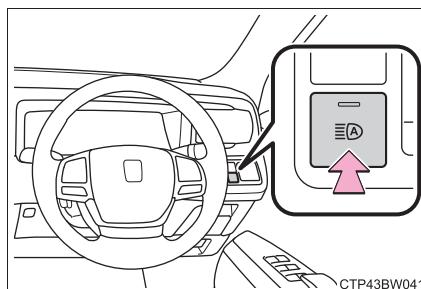


#### ■ロービームへの切りかえ

アダプティブハイビームシステムスイッチを押す

AHS 表示灯が消灯します。

アダプティブハイビームシステムにもどすには、再度アダプティブハイビームシステムスイッチを押します。

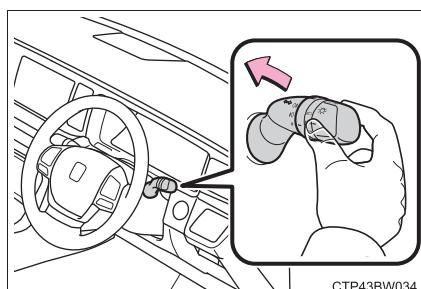


### 一時的なロービームへの切りかえ

ハイビームの使用に問題がある、または他の運転者・付近の歩行者の迷惑になると思われるときに使用します。

レバーを手前に引き、もとの位置にもどす

レバーを引いているあいだはハイビームが点灯しますが、レバーがもとの位置にもどるとしばらくのあいだロービームが点灯します。その後、再度アダプティブハイビームシステムが作動します。



## AHB（オートマチックハイビーム）

オートマチックハイビームは、フロントウインドウガラス上部に設置された前方カメラにより前方車両のランプや街路灯などの明るさを判定し、自動的にハイビームとロービームを切りかえます。

### ⚠️ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

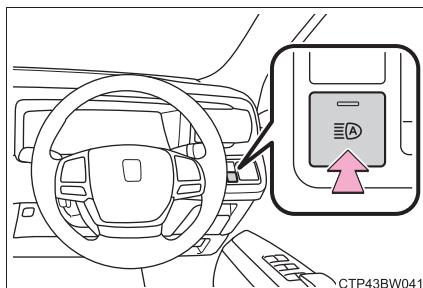
オートマチックハイビームを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切りかえてください。

#### ■ オートマチックハイビームの誤作動を防ぐために

システムを OFF にする必要があるとき：→ P. 247

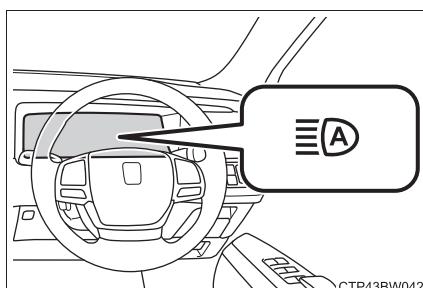
### オートマチックハイビームを使うには

- ① オートマチックハイビームスイッチを押す



- ② ランプスイッチを AUTO または にする

レバーがロービームの位置にあるとき、オートマチックハイビームシステムが作動し、AHB表示灯が点灯します。



 知識

### ■ハイビームとロービームの自動切りかえ条件

- 次の条件をすべて満たすと、ハイビームを点灯します。

- ・車速が約 30km/h 以上
- ・車両前方が暗い
- ・前方にランプを点灯した車両がない
- ・前方の道路沿いの街路灯などの光が少ない

- 次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

- ・車速が約 25km/h 以下
- ・車両前方が明るい
- ・前方車両がランプを点灯している
- ・前方の道路沿いの街路灯などの光が多い

### ■前方カメラの検知について

- 次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切りかわらない場合があります。

- ・車両が割り込んできたとき
- ・他車が前方を横切ったとき
- ・連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで前方車両が見え隠れするとき
- ・前方車両が離れた車線から接近してきたとき
- ・前方車両が遠方を走行しているとき
- ・前方車両が無灯火のとき
- ・前方車両のランプ類の照度が低いとき
- ・前方車両が自車のヘッドライトなどの強い光を反射しているとき
- ・センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→ P. 253

- 前方車両のフォグランプにより、ハイビームがロービームに切りかわる場合があります。

- 街路灯や信号・広告などの照明、または標識・看板などの反射物によりハイビームがロービームに切りかわる場合や、ロービームが継続する場合があります。

- 次の原因により、ハイビームとロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります。

- ・前方車両のランプの明るさ
- ・前方車両の動きや向き
- ・前方車両との車間距離
- ・前方車両のランプが片側のみ点灯しているとき
- ・前方車両が二輪車のとき
- ・道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
- ・乗車人数や荷物の量

- ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。
- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。
- 次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが歩行者や前方車両などの迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。
  - ・周囲にヘッドライトや尾灯などに似た光があるとき
  - ・前方車両のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があつたり光軸がずれているとき
  - ・ハイビームとロービームをひんぱんに切りかえているとき
  - ・ハイビームの点灯が不適切と思われるとき、またはほかの運転者・付近の歩行者の迷惑になると思われるとき
  - ・システムを OFF にする必要があるとき : → P. 247
  - ・センサーが正しく作動しないおそれがあるとき : → P. 253

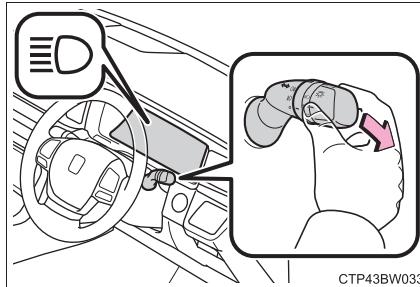
## 手動制御に切りかえるには

### ■ ハイビームへの切りかえ

レバーを前方へ押す

AHB 表示灯が消灯し、ハイビーム表示灯が点灯します。

オートマチックハイビームにもどすには、再度レバーをもとの位置にもどします。



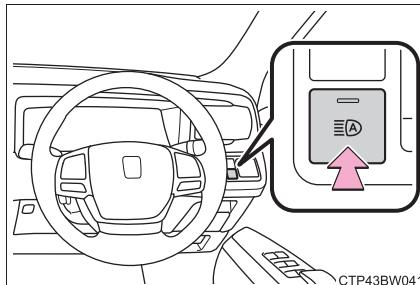
CTP43BW033

### ■ ロービームへの切りかえ

オートマチックハイビームスイッチを押す

AHB 表示灯が消灯します。

オートマチックハイビームにもどすには、再度オートマチックハイビームスイッチを押します。



CTP43BW041

4

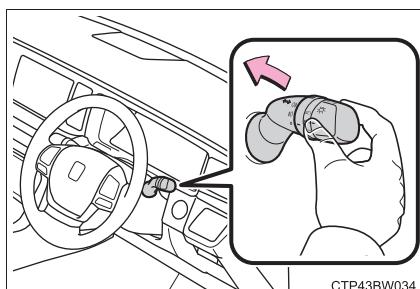
運転

## 一時的なロービームへの切りかえ

ハイビームの使用に問題がある、または他の運転者・付近の歩行者の迷惑になると思われるときに使用します。

レバーを手前に引き、もとの位置にもどす

レバーを引いているあいだはハイビームが点灯しますが、レバーがもとの位置にもどるとしばらくのあいだロービームが点灯します。その後、再度オートマチックハイビームが作動します。



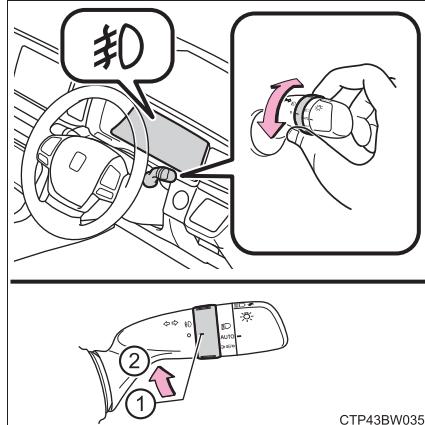
CTP43BW034

## フォグランプスイッチ

雨や霧などの悪天候下での視界を確保します。

▶ フロントフォグランプ装着車

- ① ○ 消灯する
- ② ⚡ 点灯する



CTP43BW035

▶ フロント&リヤフォグランプ装着車

- ① ○ 消灯する
- ② ⚡ フロントフォグランプを点灯する
- ③ ⚡ フロント&リヤフォグランプを点灯する

手を離すと ⚡ の位置までもどります。

再度操作すると、リヤフォグランプのみ消灯します。



CTP43BW036

 知識

## ■点灯条件

フロントフォグランプ：

尾灯が点灯しているときに使用できます。

リヤフォグランプ★：

ヘッドライト、またはフロントフォグランプが点灯しているときのみ使用できます。

## ■リヤフォグランプ★について

- リヤフォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が橙色に点灯します。
- 雨や霧などで視界が悪いときに後続車に自分の車の存在を知らせるために使用します。  
視界が悪いとき以外に使用すると後続車の迷惑になる場合があります。  
必要なとき以外は使用しないでください。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

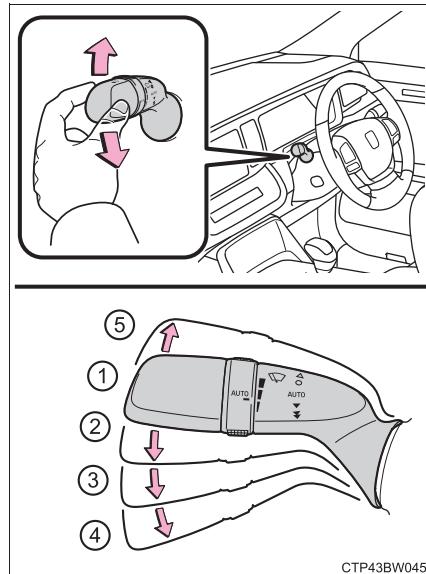
## ワイパー & ウォッシャー

### 操作のしかた

次のように  レバーを操作すると、ワイパーまたはウォッシャーが作動します。

**AUTO** を選択しているとき、雨滴量と車速に応じてワイパーが作動します。

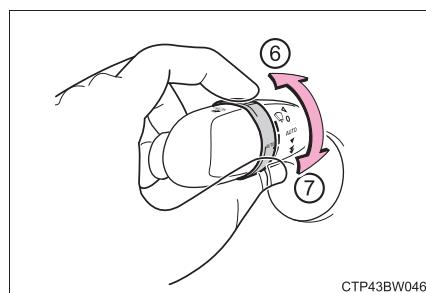
- ① ○ 停止
- ② **AUTO** AUTO モード
- ③ ▼ 低速作動
- ④ ▼ 高速作動
- ⑤ △ 一時作動



CTP43BW045

**AUTO** が選択されているときは、次のようにツマミをまわして、雨滴センサーの感度を調整できます。

- ⑥ 雨滴センサーの感度調整（高）
- ⑦ 雨滴センサーの感度調整（低）

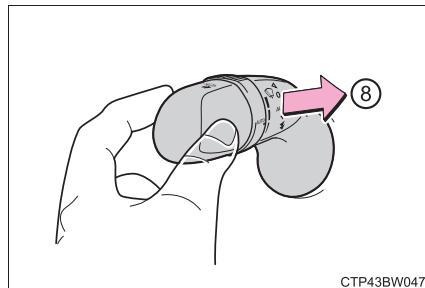


CTP43BW046

⑧  ウオッシャー液を出す

レバーを手前に引くとワイパーと連動してウォッシャーが作動します。  
(数回作動したあと、液だれ防止としてさらに1回作動します。ただし、走行中は液だれ防止作動は働きません。)

パワースイッチがONモードの状態でヘッドライトランプが点灯しているとき、5回手前に引くごとにヘッドライトクリーナーが作動します。



CTP43BW047

## 知識

### ■ 作動条件

パワースイッチがONモードのとき

### ■ 音声対話サービスでの操作★

音声対話サービスを使用して次の操作をすることができます。

- フロントワイパーを1回のみ作動
- ウォッシャー液を出す（停車中のみ操作可能）

音声対話サービスについては、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

### ■ 車速による作動への影響

AUTO選択時以外でも、車速によってウォッシャー連動時のワイパー作動（液だれ防止作動が働くまでの時間）がかわります。

低速作動選択時は停車時のみ間欠作動へ切りかわります。

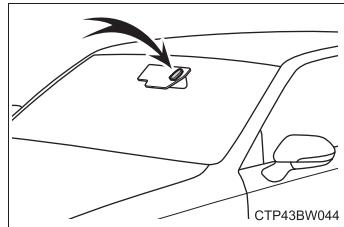
（雨滴センサーの感度調整が最高に調整されているときは、低速作動を続けます）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ■ 雨滴感知センサー

- 雨滴感知センサーが雨滴量を判定します。

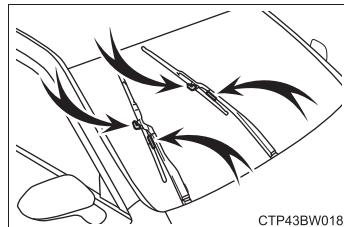
光学センサーを使用しているため、フロントガラスに朝日や夕日が断続的にあたるときや、虫などで汚れたときに、正しく作動しないことがあります。



- パワースイッチがONモードのときにワイパースイッチをAUTOモードになると、動作確認のためワイパーが1回作動します。
- 雨滴感知センサーの温度が85°C以上または-15°C以下のときは、AUTO作動しないことがあります。その場合は、AUTOモード以外でワイパーを使用してください。

### ■ ウオッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。



### ■ ドア開運動ワイパー停止機能

**AUTO** 選択中、シフトレバーがPの状態でワイパーが作動しているときにフロントドアを開けると、ワイパーの水しぶきが車両の近くにいる人にかかるのを防ぐためにワイパーの作動が停止します。フロントドアを閉めると作動を再開します。

### ■ 走行中にハイブリッドシステムを緊急停止したときは

ハイブリッドシステムを停止したときにワイパーが作動していた場合は、高速作動でワイパーの作動が継続します。車両停止後にパワースイッチをONモードにすると通常作動を再開し、運転席ドアを開けるとワイパーの作動を停止します。

## ⚠️ 警告

### ■ AUTO モード時のワイパー作動について

AUTO モードでは、センサーにふれたり、フロントウインドウガラスに振動があるなどの要因で不意にワイパーが動くおそれがあります。ワイパーで指などを挟まないように注意してください。

### ■ ウオッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが暖まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍りつき、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⚠️ 注意

### ■ フロントウインドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。  
ガラスを傷付けるおそれがあります。

### ■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けないでください。  
ポンプが故障するおそれがあります。

### ■ ノズルがつまたとき

ノズルがつまたときはトヨタ販売店へご連絡ください。  
ピンなどで取り除かないでください。  
ノズルが損傷するおそれがあります。

### ■ 補機バッテリーあがりを防止するために

ハイブリッドシステムを停止した状態でワイパーを長時間作動しないでください。

### ■ 雨滴感知センサー

フロントウインドウガラスに撥水コーティングを行うと雨滴感知センサーが雨滴量を正確に感知できず、オート作動が正常に作動しないことがあります。

## ワイパーの停止位置切りかえ／ワイパーの立て方

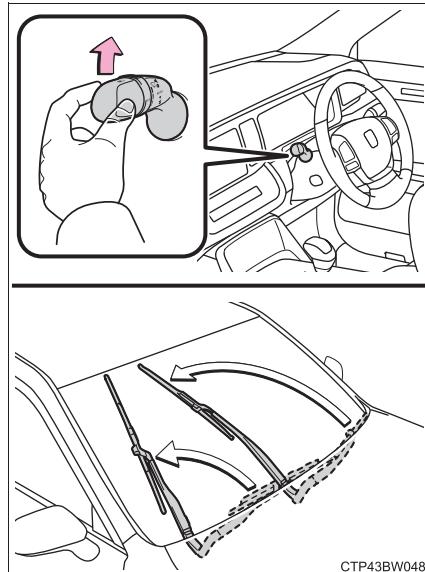
ワイパーは使用していないとき、ボンネット下に格納されています。

寒冷時やワイパーゴムを交換するときは、ワイパーの停止位置を格納位置からサービスポジションに切りかえた上でワイパーを立ててください。

### ■ サービスポジションへ切りかえる

パワースイッチを OFF にしたあと約 45 秒以内に、ワイパースイッチを ▲ の位置で約 2 秒以上保持する

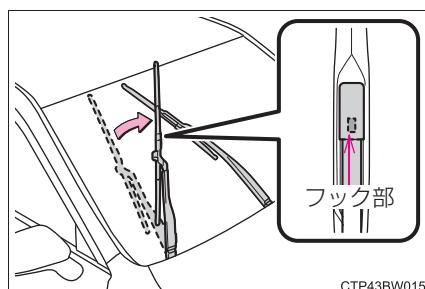
ワイパーがサービスポジションに移動します。



CTP43BW048

### ■ ワイパーを立てる

ワイパーアームのフック部を持ってガラス面から引き上げる



CTP43BW015

 知識

## ■ ワイパーを格納位置にもどすには

ワイパーを倒した状態でパワースイッチを ON モードにし、いずれかのワイパー操作をしてください。作動後は格納位置で停止します。

 注意

## ■ ワイパーを立てるときは

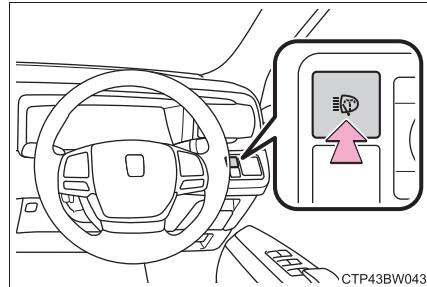
- ワイパーがボンネット下の格納位置にあるとき、ワイパーを立てないでください。この位置でワイパーを立てるとボンネットに干渉し、傷が付くおそれがあります。
- ワイパーを立てた状態でワイパーを作動させないでください。ワイパーがボンネットに干渉し、傷が付くおそれがあります。

## ヘッドランプクリーナー

ヘッドランプにウォッシャー液を噴射します。

スイッチを押してヘッドランプを  
洗浄する

⌚ レバーを5回手前に引くことで、  
ヘッドランプクリーナーを作動させることもできます。 (→ P. 232)



### □ 知識

#### ■ 作動条件

パワースイッチが ON モードでヘッドランプが点灯しているとき

#### ⚠ 注意

##### ■ ウォッシャー液が出ないと

ヘッドランプクリーナースイッチを操作し続けないでください。  
ポンプが故障するおそれがあります。

## 給油口の開け方

### 給油する前に

- ドアとドアガラスを閉め、パワースイッチを OFF にしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

### □ 知識

#### ■ 燃料の種類

- 無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）
- バイオ混合ガソリン（プレミアム）

#### ■ バイオ混合ガソリンについて

エタノールの混合率 10%以下、または ETBE の混合率 22%以下のガソリン(酸素含有率 3.7%以下)を使用することができます。

 **警告****■給油するときは**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

●給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。

静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

●キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめたときに、“シュー”という音がする場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。

すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。

●気化した燃料を吸わないようにしてください。

燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。

●喫煙しないでください。

●給油口にノズルを確実に挿入してください。

●継ぎ足し給油をしないでください。

●正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

## ⚠ 注意

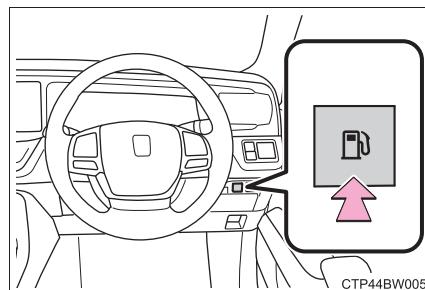
### ■ 給油するとき

- 燃料をこぼさないでください。塗装が損傷する可能性があります。
- 無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）が入手できないときは、無鉛レギュラーガソリンを使用することもできますが、次のような状態になるおそれがあります。
  - ・ ガソリンエンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
  - ・ ガソリンエンジンの出力が低下する
- その他の燃料（粗悪ガソリン／軽油／灯油／高濃度バイオ混合ガソリン※）を使用しないでください。その他の燃料を使用すると、次のような状態になるおそれがあります。
  - ・ ガソリンエンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
  - ・ ガソリンエンジンの出力が低下する
  - ・ ガソリンエンジンの始動性が悪くなる
  - ・ 排気制御システムが正常に機能しない
  - ・ 燃料系部品が損傷する

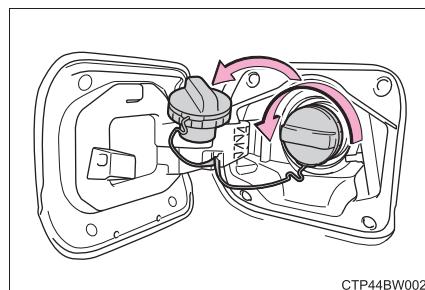
\* エタノール混合率 10%をこえるもの、または ETBE 混合率 22%をこえるもの

### 給油口の開け方

- 1 給油扉オープナースイッチを押して、給油扉を開ける



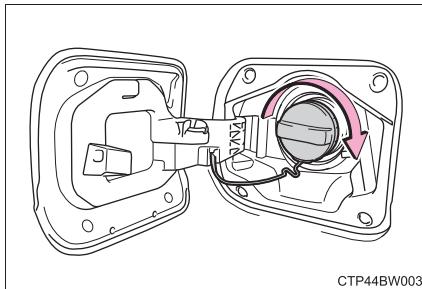
- 2 キャップをゆっくりまわして開け、ホルダーにはめ込む



### 給油口の閉め方

キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。



### 知識

#### ■車内のスイッチで給油扉が開かないとき

トランク内のカバーを取りはずし、レバーを引きます。



### 警告

#### ■キャップが正常に閉まらないとき

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。

正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ソフトウェアアップデートを確認する (Toyota Safety Sense)

T-Connect ご利用契約中のお客様は通信モジュール（DCM）を使ってソフトウェアアップデートを実施することで、システムのアップデート・機能の変更／追加ができます。



### 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

Toyota Safety Sense は、ソフトウェアを更新することで各機能の取り扱い方法が変わることがあります。正しい取り扱い方法を知らずにシステムを使用すると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- トヨタ公式 Web サイトにある、システムのソフトウェアバージョンに合ったデジタル取扱説明書をお読みいただいた上でご使用ください。

4

運転

### Toyota Safety Sense の取扱説明書での記載内容について

本取扱説明書では、Ver.3 までの情報を記載しています。Toyota Safety Sense 各機能の制御内容・取り扱い・警告／注意事項などの最新情報については、トヨタ公式 Web サイトにあるデジタル取扱説明書で確認することができます。

ご使用前に必ずシステムのソフトウェアバージョンに合った取扱説明書をお読みください。



### 知識

#### ■ ご使用にあたっての留意事項

- お客様の安全に関わる問題や法規上の問題が発生したときは、一時的に一部の機能を作動不可にすることがあります。あらかじめご了承ください。
- T-Connect 利用契約が未契約／未更新の場合、無線通信によるソフトウェアアップデートは行われません。

## 自車のToyota Safety Senseのバージョンに合った取扱方法をお読みいただくには

システムのソフトウェアバージョンを確認した上で、トヨタ公式 Web サイトにアクセスする必要があります。

### ■ マルチメディアディスプレイ<sup>※</sup>／スマートフォンでバージョンを確認する

運転支援機能の更新に関するお知らせ、または運転支援アップデートアプリケーションから現在のソフトウェアバージョンを確認することができます。

- 1 メインメニューの⋮にタッチします

- 2 “運転支援アップデート”にタッチします

\* マルチメディアのバージョンによっては表示されない場合があります。

### ■ 自車のToyota Safety Senseのバージョンに合った取扱方法をお読みいただくには

- 1 パソコンやスマートフォンから、以下 URL にアクセスする

URL	QR コード
<a href="https://manual.toyota.jp/safetysu/">https://manual.toyota.jp/safetysu/</a>	

- 2 事前に確認したバージョンが含まれたファイルを選択する

### □ 知識

#### ■ デジタル取扱説明書について

ご希望の場合、印刷した冊子を購入することもできます。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

## ソフトウェアを更新する

ソフトウェアアップデートがある場合、マルチメディアディスプレイに通知画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

ソフトウェアを更新することで、各機能の取り扱い方法が変わったり、機能が追加されたりすることがあります。

変更・追加された内容は、トヨタ公式 Web サイトにあるデジタル取扱説明書で確認することができます。

### 知識

#### ■ ソフトウェアアップデートについて留意事項

- 一度ソフトウェアアップデートを実施すると、前のバージョンにもどすことはできません。
  - 通信環境や更新内容によって、ソフトウェアアップデートに数時間かかることがあります。パワースイッチを OFF にすると更新は中断されますが、再度 ON にすると前回の続きから再開します。
  - ソフトウェアアップデートに失敗した場合、前のバージョンでシステムを起動します。
  - ソフトウェアアップデートの実施中でも Toyota Safety Sense を使用することができます。
  - 次のようなときは自動でソフトウェアアップデートを実施することがあります。
    - ・システムの不具合など、お客様の安全に関わる問題が発生したとき\*
    - ・法規上の問題が発生したとき\*
    - ・取り扱い方法や性能に影響がない、軽微な修正を行うとき
- \* すべての更新内容がインストールされ、ソフトウェアが最新の状態になることがあります。

#### ■ 運転支援機能の更新通知で確認できること

次の項目を確認、または実行できます。

- ソフトウェアのバージョン、更新内容、注意事項、使い方などの表示
- ソフトウェアの更新履歴表示へのリンク
- ソフトウェアの更新

## Toyota Safety Sense

Toyota Safety Sense は、運転支援装置によって運転者を補助し、安全で快適なドライブを支援します。

### ⚠ 警告

#### ■ Toyota Safety Sense について

Toyota Safety Sense は運転者の安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減に寄与することを目的としています。

本システムは認識性能・制御性能に限界があります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

#### ■ 安全にお使いいただくために

- システムを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。本システムはあらゆる状況で動作するものではなく、支援には限界があります。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お客様ご自身で作動テストを行わないでください。対象や状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行操作に関して注意が必要な場合や、システムに異常が発生したときには、警告メッセージ・警告ブザーで注意をうながします。ディスプレイに警告メッセージが表示されたときは、表示された画面の指示に従ってください。
- 外部の騒音やオーディオの音などにより、警報ブザーが聞きとりにくい場合があります。また、路面状況などにより、システムの作動を感じにくいう場合があります。

## ⚠️ 警告

### ■ システムを OFF にする必要があるとき

次のときは、システムを OFF にしてください。

システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 過積載やパンクで車両が傾いているとき
- 過度な高速走行をしているとき
- けん引時
- トラック／船舶／列車などに積載するとき
- 車両をリフトで上げ、タイヤを空転させるとき
- 点検でシャシーダイナモやフリーローラーなどを使用するとき
- オフロード走行やスポーツ走行をするとき
- 洗車機を使用するとき
- センサーやセンサー周辺への衝撃などによりセンサーの向きがずれているとき、変形しているとき
- センサーやライトをさえぎるような装備品を装着しているとき
- 応急用タイヤ・タイヤチェーンなどを装着しているとき、タイヤパンク応急修理キットで修理したとき
- タイヤの残り溝が十分がないとき、または空気圧が不足しているとき
- メーカー指定のサイズ以外のタイヤを装着しているとき
- 事故や故障などにより走行不安定なとき

## ■ 運転支援装置

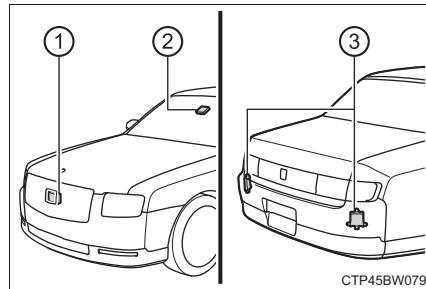
- AHS (アダブティブハイビームシステム)  
→ P. 222
- AHB (オートマチックハイビーム)  
→ P. 226
- PCS (プリクラッシュセーフティ)  
→ P. 256
- LTA (レントレーシングアシスト)  
→ P. 270
- LDA (レーンディパーチャーアラート)  
→ P. 276
- PDA (プロアクティブドライビングアシスト)  
→ P. 283
- 発進遅れ告知機能  
→ P. 290
- RSA (ロードサインアシスト)  
→ P. 292
- レーダークルーズコントロール  
→ P. 297
- クルーズコントロール  
→ P. 309
- ドライバー異常時対応システム  
→ P. 315

## Toyota Safety Sense で使用するセンサー

複数のセンサーにより、システムの作動に必要な情報を認識します。

### ■ 周囲の状況を検出するセンサー

- ① 前方レーダー
- ② 前方カメラ
- ③ 後側方レーダー



## ⚠️ 警告

### ■ レーダーの故障や誤作動を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、レーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

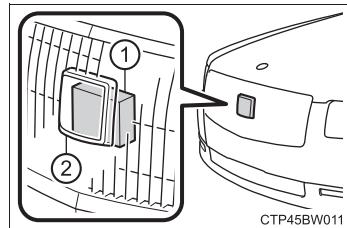
- レーダーとレーダー専用カバーは常にきれいにしておく

レーダー前面やレーダー専用カバー前後面に汚れ・水滴・雪などが付着した場合は、取り除いてください。

お手入れをする際は、レーダーやレーダー専用カバーを傷付けないよう、やわらかい布で汚れをふき取ってください。

① レーダー

② レーダー専用カバー



CTP45BW011

- レーダーやレーダー専用カバー周辺にアクセサリーを付けたり、ステッカー（透明なものを含む）などを貼ったりしない

- レーダー周辺への強い衝撃を避ける

レーダー／フロントグリル／フロントバンパーに衝撃を受けた際は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

- レーダーを分解しない

- レーダーやレーダー専用カバーを改造、塗装したりしない。純正部品以外に交換しない。

- 次のようなときは、レーダーの再調整が必要です。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

- ・ レーダーを脱着や交換したとき
- ・ フロントバンパー／フロントグリルを交換したとき

## ⚠️ 警告

### ■ 前方カメラの故障や誤作動を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、前方カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

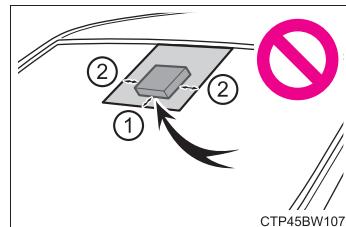
- フロントウインドウガラスは常にきれいにしておく

- ・ フロントウインドウガラス外側に汚れ／油膜／水滴／雪などが付着した場合は、取り除いてください。
- ・ フロントウインドウガラスにガラスコーティング剤を使用していても、前方カメラ前部に水滴などが付着した場合は、ワイパーでふき取ってください。
- ・ フロントウインドウガラス内側の前方カメラ取り付け部が汚れた場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

- フロントウインドウガラスの前方カメラ前部（図に示す範囲内）にステッカー（透明なものを含む）などを貼り付けない

① 約 4cm

② 約 4cm



- 前方カメラ前部のフロントウインドウガラスが曇ったり、結露したり、凍結したりした場合は、エアコンの機能を使用する

- 前方カメラ前部のフロントウインドウガラスの水滴をワイパーが正しくふき取れないときは、ワイパーゴムまたはワイパークリーナーを交換する

- フロントウインドウガラスにフィルムを貼らない

- フロントウインドウガラスに傷・ひびなどが生じた場合は、そのまま放置せずに交換する

フロントウインドウガラスの交換後は、前方カメラの再調整が必要です。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

## ⚠ 警告

- 前方カメラに液体をかけない
- 前方カメラに強い光を照射しない
- 前方カメラのレンズを汚したり、傷を付けたりしない  
フロントウインドウガラス内側を掃除するときは、ガラスクリーナーがレンズに付着しないようにしてください。また、レンズにはふれないでください。  
レンズに汚れ・傷がある場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
- 前方カメラに強い衝撃を加えない
- 前方カメラの取り付け位置や向きを変更したり、取りはずしたりしない
- 前方カメラを分解しない
- インナーミラーなどの前方カメラ周辺部品や天井を改造しない
- ボンネット・フロントグリル・フロントバンパーに、前方カメラの視界をさえぎる可能性のあるアクセサリーを取り付けない  
詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。
- ルーフ上に全長の長い荷物（サーフボードなど）を積むときは、前方カメラの視界をさえぎらないようにする
- ヘッドランプなどのランプ類を改造しない

### ■ フロントウインドウガラスの前方カメラ取り付け部について

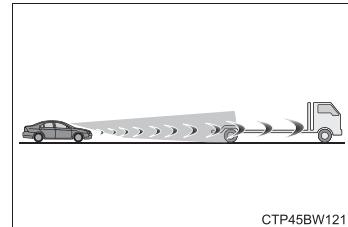
フロントウインドウガラスが曇る可能性があるとシステムが判断した場合、ヒーターにより前方カメラ周辺のフロントウインドウガラスの曇り取りが自動的に作動します。お手入れなどで前方カメラ周辺にふれるときは、十分にフロントガラスが冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

 知識

## ■ センサーヤシステムが正しく作動しないおそれがあるとき

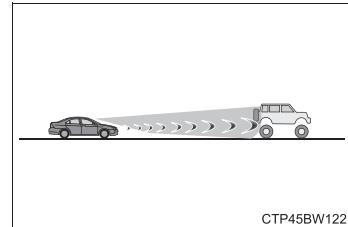
- 車両の高さや傾きが変わるような改造をしているとき
- フロントウインドウガラスが汚れているときや、曇っているとき、ひび割れや破損があるとき
- 外気温が高温または低温のとき
- センサー前面に泥、雨滴、雪、虫、ゴミなどが付着したとき
- 悪天候時（雨・霧・雪・砂嵐など）
- 前方に水／雪／土ぼこりなどの巻き上げや水蒸気・煙があるとき
- 夜間やトンネル内など暗い場所でヘッドライトを点灯していないとき
- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いとき
- ヘッドライトの光軸がずれているとき
- ヘッドライトが故障しているとき
- 対向車のヘッドライト光／太陽光／反射光などが前方カメラに入射しているとき
- 急激な明るさの変化があるとき
- テレビ塔／放送局／発電所／レーダー搭載車両など、強い電波やノイズが発生する場所の近くを走行するとき
- ワイパー／ブレードがセンサーの視界をさえぎっているとき
- 周囲に次のようなレーダーの電波を反射するものがあるとき
  - ・ トンネル
  - ・ トラス橋
  - ・ 砂利道
  - ・ 轹のある雪道
  - ・ 壁
  - ・ 大型トラック
  - ・ マンホール
  - ・ ガードレール
  - ・ 鉄板
- 周囲に段差や突起物があるとき
- 超小型モビリティなどのように対象車両の全幅が狭いとき
- 空荷のトラックなど対象車両の前端・後端面積が小さいとき

- 低床トレーラーなど対象車両の前端・後端が低い位置にあるとき



CTP45BW121

- 対象車両の最低地上高が極端に高いとき



CTP45BW122

- 対象車両の荷台から荷物がはみ出しているとき
- 対象車両の一部が布で覆われているなど金属の露出が少ない車両のとき
- トラクター・サイドカーなど対象車両が特殊な形状のとき
- 対象車両との車間距離が極端に短くなったとき
- 対象車両の位置がずれている場合
- 対象車両に雪や泥などが付着している場合
- 次のような道路を走行しているとき
  - ・ 急なカーブや曲がりくねった道
  - ・ 急な上り坂や下り坂など、路面勾配が変化する道
  - ・ 左右に傾きのある道
  - ・ 路面に深いわだちがある道
  - ・ 整備されていない荒れた道
  - ・ 起伏や段差が多い道路
- ハンドル操作が不安定な場合
- 車線内の自車の位置が一定でない場合
- 本システム部品もしくはブレーキ等の関連部品が冷えている・過熱している・ぬれているなど
- ホイールアライメントがずれているとき
- 凍結路・積雪路・砂利道などのすべりやすい路面を走行するとき
- カーブの形状とは異なる経路で走行するとき
- カーブに対して進入速度が過度に高いとき
- 駐車場や車庫、カーエレベータなどに出入りするとき
- 駐車場内を走行するとき

- 生い茂った草・垂れ下がった枝・垂れ幕など自車に覆い被さるような障害物がある場所を走行するとき
- 風が強いとき

#### ■車線を検知できないおそれがあるとき

- 車線の幅が極端に狭い、または広いとき
- 車線変更をした直後、または交差点を通過した直後
- 工事によって規制された車線、または仮設の車線を走行しているとき
- 周囲に車線もしくは類似の構造物、模様、影があるとき
- 同一車線上に複数の白線があるとき
- 車線が明瞭でないとき、濡れた路面を走行しているとき
- 車線が縁石等の上に引かれているとき
- コンクリート路のような照り返しなどで明るい路面を走行しているとき

#### ■システムの一部もしくは全てが作動しないとき

- 本システムもしくはブレーキ、ステアリング等関連システムに異常検出時
- VSC、TRC 等の安全システムが作動時
- VSC、TRC 等の安全システムが OFF の時

#### ■ブレーキの作動音や踏み応えの変化について

- ブレーキが作動したときにブレーキの作動音が聞こえたり、ブレーキペダルの踏み応えがかわったりすることがあります。異常ではありません。
- システムの制御によるブレーキ作動中はブレーキペダルがお客様の想定よりも固く感じられたり、ブレーキペダルが沈みこんだりすることがあります。どちらの場合もブレーキの踏み増しは可能です。必要に応じてブレーキを踏み増してください。

#### ■レーダーセンサーの取り扱い

レーダーセンサーは電波法の基準に適合しています。センサーに印字されているマークはその証明ですので消さないでください。また、製品を分解・改造すると罰せられることがあります。必ず日本国内でご使用下さい。

JP 01

## PCS (プリクラッシュセーフティ)

進路上の作動対象（→ P. 257）をセンサーで検出し、衝突の可能性が高いとシステムが判断したときに、警報やブレーキ力制御により運転者の衝突回避操作を補助します。また、衝突の可能性がさらに高まったと判断したときは、自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。

必要に応じて、プリクラッシュセーフティの ON / OFF や、警報タイミングを切りかえることができます。（→ P. 269）

### ⚠ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。

プリクラッシュセーフティを日常のブレーキ操作のかわりには絶対に使用しないでください。本システムはあらゆる状況で衝突を回避または衝突の被害を軽減するものではありません。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- プリクラッシュセーフティは衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与することを目的としていますが、その効果はさまざまな条件によりかわります。そのため、常に同じ性能を発揮できるものではありません。

次の項目をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。

- ・ 安全にお使いいただくために：→ P. 243

#### ■ プリクラッシュセーフティを OFF にするとき

システムを OFF にする必要があるとき：→ P. 247

## システムの作動対象

システムは次のものを作動対象として検出しています。(機能によって、作動対象が異なります)

- 車両
- 自転車 ※
- 歩行者
- 自動二輪車 ※
- 壁

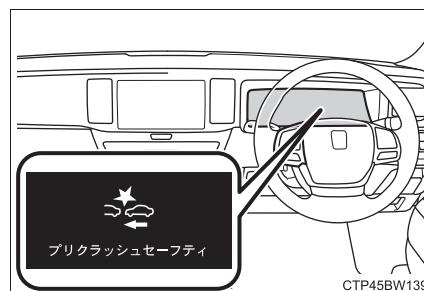
※ 人が乗車している場合のみを作動対象としています。

## 機能一覧

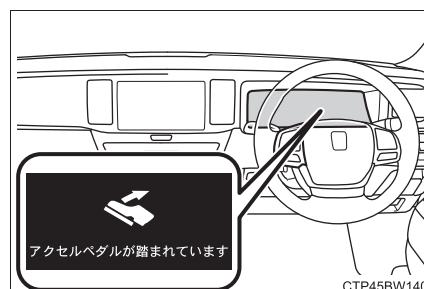
### ■ 衝突警報

衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、“ピピピ……”とブザー音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにアイコンとメッセージを表示し、回避操作をうながします。

作動対象が車両の場合、緩ブレーキによる警告を行う場合もあります。



アクセルが強く踏み込まれているとシステムが判断した場合は、図で示すアイコンとメッセージがマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。



### ■ プリクラッシュブレーキアシスト

衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、運転者のブレーキ操作で不足しているブレーキ力を増強します。

### ■ プリクラッシュブレーキ

衝突の可能性が高いとシステムが判断したときは、ブレーキが自動でかかり、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の低減に寄与します。

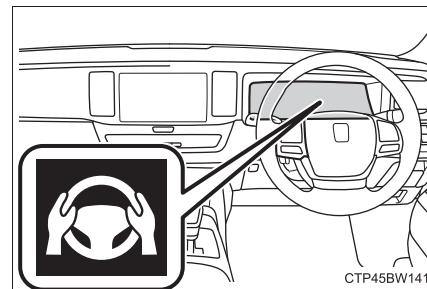
### ■ 緊急時操舵支援

システムが次の条件を全て満たしたと判断した場合、操舵支援を行い、車両の安定性確保と車線逸脱の抑制に寄与します。

作動時には衝突警報に加え、図で示すシンボルがマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

- 衝突する可能性が高い
- 自車線内に回避するための十分なスペースがある
- 運転者の回避操舵があった

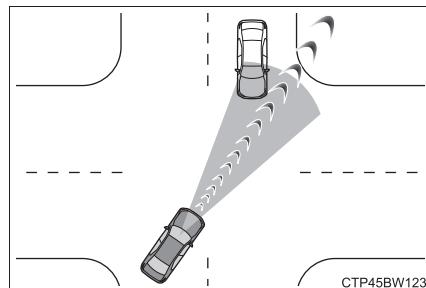
作動時には衝突警報とディスプレイ表示で注意喚起を行います。



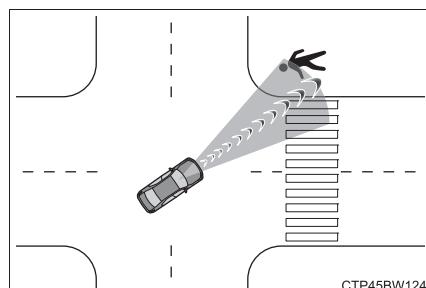
## ■ 交差点衝突回避支援（右左折）

次のような状況において衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、衝突警報およびプリクラッシュブレーキによる支援を行います。交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。

- 交差点で右折して対向車／対向自動二輪車の進路を横切るとき



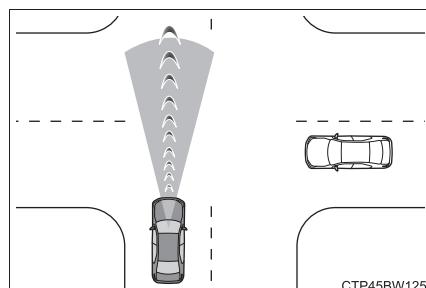
- 右左折中に、横断歩行者や、自転車を検出したとき



## ■ 交差点衝突回避支援（出合頭車両）

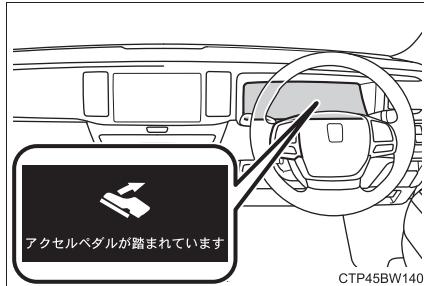
交差点など、側方から接近する車両や自動二輪車との衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、衝突警報およびプリクラッシュブレーキによる支援を行います。

交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。



## ■ 低速時加速抑制

低速走行時にアクセルペダルが強く踏み込まれ、衝突の可能性があるとシステムが判断したとき、ハイブリッドシステム出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制します。作動時には、ブザー音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに警告灯とメッセージを表示します。



## ■ サスペンションコントロール

衝突の可能性が高いとシステムが判断したとき、AVS (→ P. 368)によってショックアブソーバーの減衰力を制御することで、安定した車両姿勢の維持に寄与します。

### ⚠️ 警告

#### ■ プリクラッシュブレーキについて

- プリクラッシュブレーキが作動したときは、強いブレーキがかかります。
- プリクラッシュブレーキは停止状態を保持する機能ではありません。プリクラッシュブレーキの作動により車両が停止したときは、必要に応じて速やかに運転者自らブレーキをかけてください。
- プリクラッシュブレーキは運転者の操作状態によっては作動しません。運転者がアクセルペダルを強く踏んでいたり、ハンドルを操作したりしていると、運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキが作動しない、または作動が解除される場合があります。
- ブレーキペダルを踏んでいるときは、運転者の回避操作とシステムが判断し、プリクラッシュブレーキの作動開始タイミングが遅れる場合があります。

#### ■ 低速時加速抑制について

運転者がハンドルを操作していると、回避操作とシステムが判断し、低速時加速抑制が作動しない、または作動が解除される場合があります。

## ⚠️ 警告

### ■緊急時操舵支援について

- 緊急時操舵支援は車線逸脱抑制制御が完了したとシステムが判断した段階で作動を解除します。
- 緊急時操舵支援は運転者の操作状態によっては作動しない、または作動中に解除される場合があります。
  - ・ 運転者がアクセルペダルを強く踏んでいたり、ハンドルを大きく操作したり、ブレーキを踏んでいたり、方向指示レバーを操作すると、運転者の回避操作とシステムが判断し、緊急時操舵支援が作動しない場合があります。
  - ・ 緊急時操舵支援作動中に、アクセルペダルを強く踏んだり、ハンドルを大きく操作したり、ブレーキを踏んでいると、運転者の回避操作とシステムが判断し、緊急時操舵支援の作動が解除される場合があります。
  - ・ 緊急時操舵支援作動中に、ハンドルを保持したりシステムと逆方向にハンドル操作した場合には、緊急時操舵支援の作動が解除されます。

 知識

### ■ プリクラッシュセーフティ各機能の作動条件

プリクラッシュセーフティが ON で、前方の作動対象と衝突の可能性が高いとシステムが判断したときに作動します。

ただし、次のときシステムは作動しません。

- 補機バッテリー端子を脱着したあと、しばらく走行するまでのあいだ
  - シフトレバーが R のとき
  - VSC OFF 表示灯が点灯しているとき（衝突警報のみ作動可能状態になります）
- 各機能の作動速度、作動解除は次のとおりです。

#### ● 衝突警報

作動対象	自車速度	相対速度
先行車両、静止車両	約 5 ~ 180km/h	約 5 ~ 180km/h
対向車両	約 30 ~ 180km/h	約 80 ~ 220km/h
自転車	約 5 ~ 80km/h	約 5 ~ 80km/h
歩行者	約 5 ~ 80km/h	約 5 ~ 80km/h
先行自動二輪車、静止自動二輪車	約 5 ~ 180km/h	約 5 ~ 80km/h
対向自動二輪車	約 30 ~ 180km/h	約 30 ~ 180km/h

衝突警報が作動中にハンドルを大きく操作するか、すばやく操作すると、衝突警報が解除される場合があります。

#### ● プリクラッシュブレーキアシスト

作動対象	自車速度	相対速度
先行車両、静止車両	約 30 ~ 180km/h	約 10 ~ 180km/h
自転車	約 30 ~ 80km/h	約 30 ~ 80km/h
歩行者	約 30 ~ 80km/h	約 30 ~ 80km/h
先行自動二輪車、静止自動二輪車	約 30 ~ 180km/h	約 10 ~ 80km/h

### ● ブリクラッシュブレーキ

作動対象	自車速度	相対速度
先行車両、静止車両	約 5 ~ 180km/h	約 5 ~ 180km/h
対向車両	約 30 ~ 180km/h	約 80 ~ 220km/h
自転車	約 5 ~ 80km/h	約 5 ~ 80km/h
歩行者	約 5 ~ 80km/h	約 5 ~ 80km/h
先行自動二輪車、静止自動二輪車	約 5 ~ 180km/h	約 5 ~ 80km/h
対向自動二輪車	約 30 ~ 180km/h	約 30 ~ 180km/h

ブリクラッシュブレーキ作動中に次の操作をすると、ブリクラッシュブレーキの作動が解除される場合があります。

- ・ アクセルペダルを強く踏み込む
- ・ ハンドルを大きく操作する、またはすばやく操作する

### ● 緊急時操舵支援

方向指示灯が点滅しているときは、緊急時操舵支援が作動しません。

作動対象	自車速度	相対速度
先行車両、静止車両、自転車、歩行者、自動二輪車	約 40 ~ 80km/h	約 40 ~ 80km/h

緊急時操舵支援作動中に次の操作をすると、緊急時操舵支援の作動が解除される場合があります。

- ・ アクセルペダルを強く踏み込む
- ・ ハンドルを大きく操作する、またはすばやく操作する
- ・ ブレーキペダルを踏む

### ● 交差点衝突回避支援（右左折）

方向指示灯が点滅していないときは、対向車に対する交差点右左折支援が作動しません。

作動対象	自車速度	対向車速度	相対速度
対向車両	約 5 ~ 40km/h	約 5 ~ 75km/h	約 10 ~ 115km/h
歩行者	約 5 ~ 30km/h	—	約 5 ~ 40km/h
自転車	約 5 ~ 30km/h	—	約 5 ~ 50km/h
対向自動二輪車	約 5 ~ 40km/h	約 5 ~ 75km/h	約 10 ~ 115km/h

● 交差点衝突回避支援（出合頭車両）

作動対象	自車速度	相手車速度	相対速度
車両、自動二輪車（側面）	約 5 ~ 60km/h	・ 自車速度以下 ・ 約 40 km/h 以下	約 5 ~ 60km/h

● 低速時加速抑制

方向指示灯が点滅しているときは、低速時加速抑制が作動しません。

作動対象	自車速度	相対速度
先行車両、静止車両、歩行者、自転車、壁	約 0 ~ 15km/h	約 0 ~ 15km/h

低速時加速抑制の作動中に次の動作をすると、低速時加速抑制の作動が解除されます。

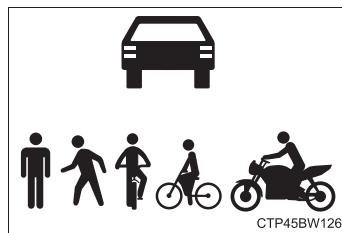
- ・ アクセルペダルを離す
- ・ ハンドルを大きく操作する、またはすばやく操作する

■ 作動対象の検出

大きさ・輪郭・動きなどから検出します。

周囲の明るさや、作動対象の動き・姿勢・角度などによっては、作動対象を検出できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

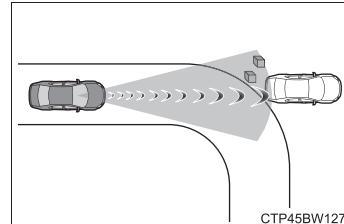
図は作動対象として検出する対象のイメージです。



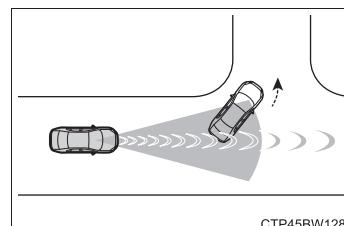
### ■衝突の可能性が高くなくてもシステムが作動するおそれがあるとき

- 例えば次のような状況では、システムが衝突の可能性が高いと判断し、作動するおそれがあります。

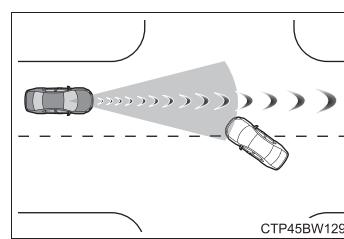
- ・ 作動対象などのすぐそばを通過するとき
- ・ 車線を変更して作動対象などを追いかすとき
- ・ 作動対象などに急接近したとき
- ・ 道路脇の作動対象や物体（ガードレール・電柱・木・壁など）に近付いたとき
- ・ カーブの道路脇に作動対象や物体などが存在するとき



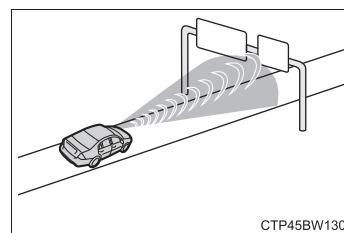
- ・ 自車の前方に作動対象との区別がつきにくい模様・ペイントがあるとき
- ・ 車線変更や右左折している作動対象などを追い抜くとき



- ・ 右左折待ちの作動対象などとそれ違うとき

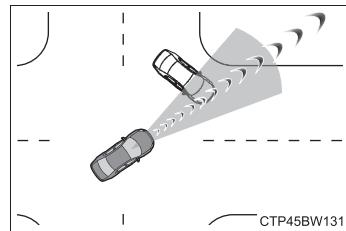


- ・ 作動対象などが自車進路内に入る手前で停止または進路変更したとき
- ・ 道路上方に物体（道路標識や看板など）がある場所を走行するとき

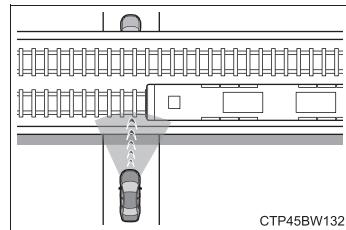


- ・ ETC ゲートや駐車場のゲートなどの開閉バーに接近したとき

- 右左折中に、対向車／対向自動二輪車／横断歩行者／横断自転車が自車の前方を通過したとき
- 右左折中に、対向車／対向自動二輪車／横断歩行者／横断自転車の手前を通過しようとしたとき
- 右左折中に、対向車／対向自動二輪車／横断歩行者／横断自転車が自車進路に入る手前で停止または進路変更したとき
- 交差点内で右折中、対向車／対向自動二輪車が右折しているとき、または左折しているとき



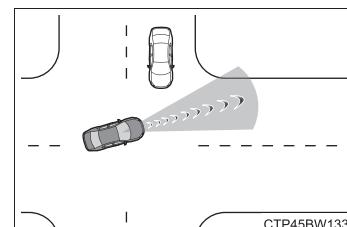
- 対向車の進路に接近するようにハンドルを操作したとき
- 道路上方／下方を移動するものがあるとき



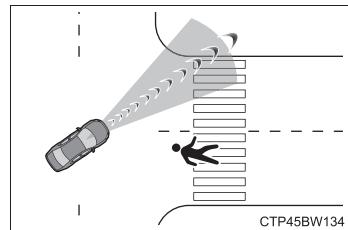
## ■システムが正常に作動しないおそれがあるとき

- 例えば次のような状況では、前方センサーが作動対象を検出できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

- ・ 自車に向かって作動対象が近付いてくるとき
- ・ 自車や作動対象がぶらついているとき
- ・ 作動対象が急な動きをしたとき（急ハンドル・急加速・急減速など）
- ・ 作動対象に急接近したとき
- ・ 作動対象が壁やフェンス・ガードレール・マンホール・路面の鉄板、他の車両などのそばにいるとき
- ・ 上方に構造物がある場所の下に作動対象がいるとき
- ・ 作動対象の一部が他のもので隠れているとき（大きな荷物や傘、またはガードレールなど）
- ・ 作動対象が複数重なっているとき
- ・ 作動対象が太陽光などの強い光を反射しているとき
- ・ 作動対象の色合いが白系統で、極端に明るく見えるとき
- ・ 作動対象の色合いや明るさが背景に溶け込んでいるとき
- ・ 作動対象が割り込んでいたり、飛び出してたりしたとき
- ・ 斜めを向いている前方車両に近付いたとき
- ・ 子供用自転車、大きい荷物を載せた自転車、2人以上乗車している自転車、前傾姿勢で乗車している自転車、または特殊な形状の自転車（チャイルドシート装着車・タンデム自転車など）
- ・ 歩行者・自転車の大きさが約1m以下、または約2m以上のとき
- ・ 歩行者・自転車の全身の輪郭があいまいなとき（レインコート・ロングスカートを着用している場合など）
- ・ 歩行者が前かがみになっている、またはしゃがんでいるとき
- ・ 歩行者・自転車の移動速度が速いとき
- ・ 歩行者がベビーカー・車いす・自転車などを押しているとき
- ・ 周囲が薄暗い（朝方・夕方など）、または周囲が暗い（夜間やトンネル内など）など、作動対象が背景に溶け込んでいるとき
- ・ ハイブリッドシステムを始動したあと、走行を開始してしばらくのあいだ
- ・ 右左折中および右左折後の数秒間
- ・ カーブ走行中およびカーブを曲がりきってからの数秒間
- ・ 右折中に、対向車／対向自動二輪車が自車の走行する車線よりも3つ以上離れた車線を走行しているとき
- ・ 右折中に、自車の向きが対向車線に対する正対方向から大きく外れているとき



- 右左折中に、歩行者や自転車が自車の後方から追い抜くように前方にでてくるとき



- 交差点で出会い頭に大型トラック／牽引トレーラーなど全長の長い車両が接近してくるとき
- 上記に加えて、例えば次のような状況では緊急時操舵支援が作動しないおそれがあります。
  - 作動対象に近づきすぎたとき
  - 回避するための十分なスペースがない、または回避先に物があるとき
  - 対向車がいるとき
- 上記に加えて、例えば次のような状況では壁を作動対象として検知できず、低速時加速抑制が作動しないおそれがあります。
  - ガラス扉や網目状のフェンスなど壁の背面が透けているとき
  - 壁が傾いていたり、高さが低いとき
  - 壁がポールなど幅の狭いもののとき
  - 壁が生垣など草木のとき
  - 壁に路面などが映りこんでいるとき
  - 自車が壁に斜めに近づくとき

## PCS の設定を変更する

- PCS の作動／非作動は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。( $\rightarrow$  P. 586)  
パワースイッチが ON になるとシステムは ON になります。
- システムを OFF にすると、PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。
- カスタマイズ設定から、PCS の設定を変更することができます。  
( $\rightarrow$  P. 586)
- 衝突警報の作動タイミングを変更すると、緊急時操舵支援のタイミングも変更されます。  
 を選択した場合、緊急時操舵支援はほとんどの場合作動しません。
- レーダークルーズコントロール制御中はユーザー設定に関わらず、衝突警報が  のタイミングで作動します。

## LTA（レーントレーシングアシスト）

### LTA の機能

- 車線が整備された道路を走行中かつ、レーダークルーズコントロールの作動中に、車線や先行車／周辺車を前方カメラやレーダーで認識し、車線維持に必要なハンドルの操作を支援します。

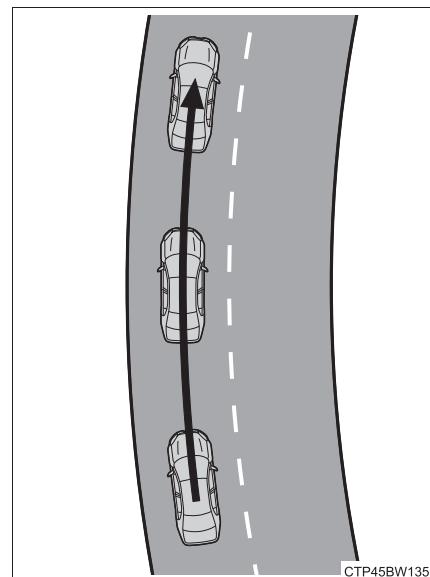
高速道路や自動車専用道路で使用してください。

レーダークルーズコントロールが作動していないとき LTA は作動しません。

渋滞のときなど車線が見えにくい、または見えない場合、先行車／周辺車の軌跡を利用して支援を行います。

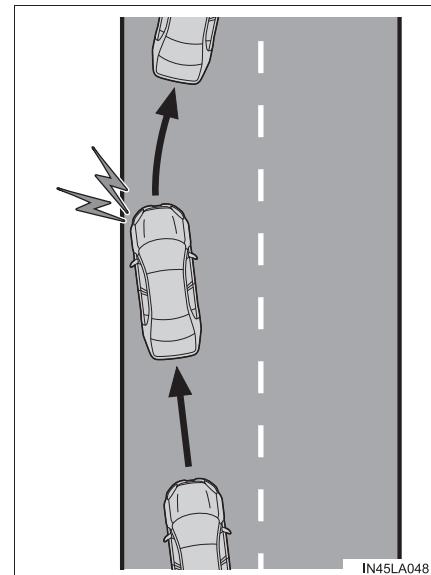
ハンドル操作をしなかったり、ハンドルをしっかり握っていない状態での運転が続いたりしたときは注意喚起が行われ、機能が一時的に解除されます。

機能が解除されたときはハンドルをしっかり握り直してください。



- 車両が車線から逸脱した場合、ディスプレイの表示および、ブザーにより注意をうながします。

ブザー吹鳴時は、道路状況を確認の上、ハンドルを慎重に操作して、車線内の中央付近にもどってください。



## **⚠ 警告**

### ■ LTA をお使いになる前に

- LTA を過信しないでください。LTA は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ハンドル操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。また、長時間の運転などによる疲労時は適切に休憩をとってください。
- 適切な運転操作をしなかったり、注意を怠ったりすると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- LTA を使用しないときは、LTA スイッチでシステムを OFF にしてください。

 知識**■ 機能の作動条件**

次の条件をすべて満たしたとき作動します。

- システムが車線を認識しているとき、または先行車／周辺車の軌跡を認識しているとき
- レーダークルーズコントロールが作動しているとき
- 車線の幅が約3～4mのとき
- 方向指示レバーを操作していないとき
- 急カーブを走行していないとき
- 一定以上の加減速がないとき
- 大きな操舵力でハンドルを操作していないとき
- 手放し運転に対する注意喚起（→P. 273）が行われていないとき
- 車線中央付近を走行しているとき

**■ 機能の一時解除**

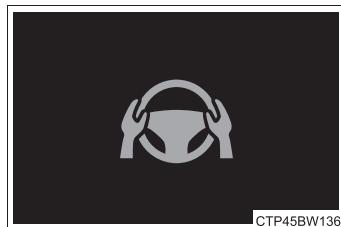
- 機能の作動条件（→P. 273）が満たされなくなった場合、一時的に機能が解除されますが、ふたたび作動条件が満たされると、自動的に復帰します。
- 機能作動中に、作動条件が満たされなくなった場合、“ピピッ”とブザー音で、一時的に機能が解除されたことをお知らせする場合があります。
- 機能によるステアリング制御は、運転者のハンドル操作によって修正することができます。

**■ LTA中の車線逸脱警報について**

- LDAの警報手段をハンドル振動に変更していても、LTA作動中は車線逸脱時にブザーによる警報を実施します。
- 車線変更に相当するハンドル操作を検知した場合、システムは車線逸脱とは判断せず、警報も作動しません。

## ■手放し運転に対する注意喚起について

- 手放し運転をしているとシステムが判断したとき、ハンドル保持をうながすメッセージと図で示すシンボルがマルチインフォメーションディスプレイに表示され注意喚起を行います。ハンドルを握ったとシステムが判断すると、注意喚起を停止します。システムを使用する際は注意喚起にかかりわらず、常にハンドルをしっかりと握ってください。



- 操作しない状態が続くと注意喚起が行われ、機能が一時的に解除されます。運転者のハンドル操作が小さい状態が続いたときも同様に注意喚起が行われます。

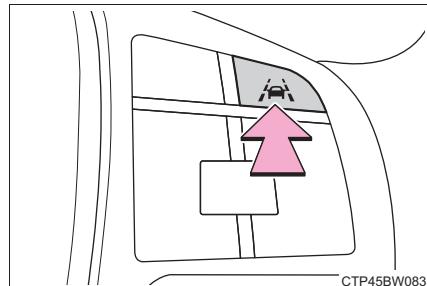
## ■手放し運転に対する注意喚起が正常に作動しないおそれがあるとき

車両の状態やハンドル操作状態、路面状況によっては注意喚起が行われないおそれがあります。

## システムの ON / OFF を変更する

LTA の ON / OFF を切り替えるには LTA スイッチを押す

LTA が ON のときは LTA 表示灯が点灯します。

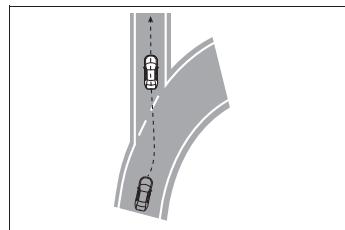


### 警告

#### ■機能が正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況では、各機能が正しく作動せず車線から逸脱するおそれがあります。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、本機能を過信せずにハンドル操作で進路を修正してください。

- 先行車／周辺車が車線変更したとき(先行車／周辺車の動きに合わせて自車も車線変更するおそれがあります)



- 先行車／周辺車がふらついたとき(先行車／周辺車の動きに合わせて自車もふらついて走行しレーンをはみ出すおそれがあります)
- 先行車／周辺車が車線から逸脱したとき(先行車／周辺車の動きに合わせて自車も車線から逸脱するおそれがあります)
- 先行車／周辺車がレーン内を右、または左に片寄って走行したとき(先行車／周辺車の動きに合わせて自車も片寄って走行しレーンをはみ出すおそれがあります)
- 周囲に移動物、構造物があるとき(移動物、構造物と自車の位置によっては自車がふらついて走行するおそれがあります)
- 横風を受けているときなど、周辺車両の走行によって発生する風の影響を受けているとき
- センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→ P. 253
- 車線を検知できないおそれがあるとき：→ P. 255
- システムを OFF にする必要があるとき：→ P. 247

## ディスプレイ表示とシステムの作動状況

LTA の作動状態を示しています。

表示灯	車線表示	ステアリングアイコン	状態
			LTA がスタンバイ中
			LTA が作動中
			車両が点滅している側の車線から逸脱している

## LDA (レーンディパーチャーアラート)

### 基本機能

車線または走路<sup>\*</sup>からの逸脱の可能性を警告するとともに、車線または走路<sup>\*</sup>からの逸脱を避けるためのハンドル操作の一部を支援します。

車線または走路<sup>\*</sup>を前方カメラで認識します。

\* アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体

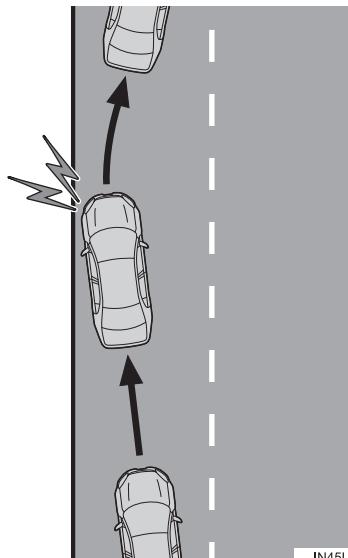
#### ■ 車線逸脱警報機能

車両が車線または走路<sup>\*</sup>から逸脱する可能性がある場合にディスプレイの表示および、警報ブザーまたはハンドルの振動により注意をうながします。

道路状況を確認の上、ハンドルを慎重に操作して、車線または走路<sup>\*</sup>内の中央付近にもどってください。

方向指示灯の点滅中であっても、となりの車線を走行中の車両と衝突する可能性があるとシステムが判断した場合、車線逸脱警報機能が作動します。

\* アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体



IN45LA048

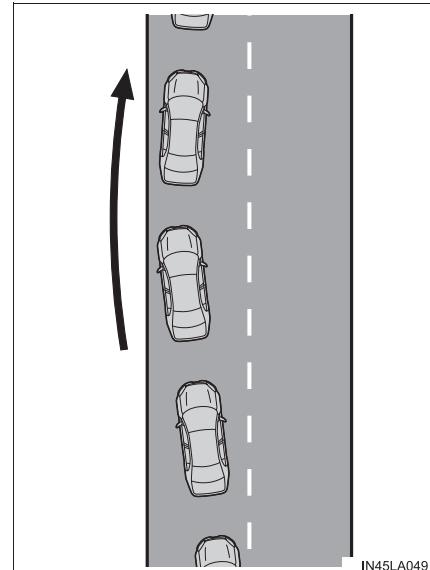
## ■ 車線逸脱抑制機能

車両が車線または走路<sup>\*</sup>から逸脱する可能性がある場合に、逸脱を避けるために必要なハンドル操作の一部を支援します。

ハンドル操作をしなかったり、ハンドルをしっかり握っていない状態での運転が続いたりしたときは、一定時間ディスプレイの表示と警報ブザーで注意喚起が行われます。

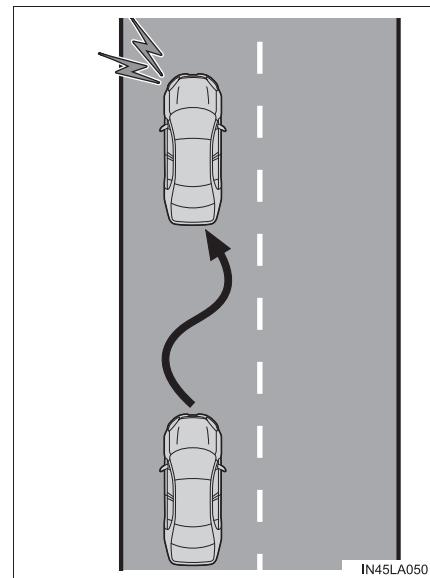
方向指示灯の点滅中であっても、となりの車線を走行中の車両と衝突する可能性があるとシステムが判断した場合、車線逸脱抑制機能が作動します。

\* アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体



## ■ 休憩提案機能

車両がふらついて走行しているときに、ディスプレイの表示およびブザーにより休憩をうながします。



## ⚠ 警告

### ■ LDA をお使いになる前に

- LDA を過信しないでください。LDA は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないため、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、ハンドル操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。また、長時間の運転などによる疲労時は適切に休憩をとってください。
- 適切な運転操作をしなかったり、注意を怠ったりすると、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## □ 知識

### ■ 各機能の作動条件

#### ● 車線逸脱警報／抑制機能

次の条件をすべて満たしたときに作動します。

- ・ 車速が約 50km/h 以上のとき

車線の周囲に車両、自動二輪車、自転車、歩行者を検知した場合は約 40km/h 以上のときに作動することがあります。

対象が縁石、ガードレールなどの構造体の場合は約 35km/h 以上のときに作動します。（カスタマイズメニューで低車速支援を作動にしたとき）

- ・ システムが車線または走路<sup>※</sup>を認識しているとき（車線または走路<sup>※</sup>が片側しかないとき、認識している方向のみ作動します）
- ・ 車線の幅が約 3m 以上のとき
- ・ 方向指示レバーを操作していないとき（方向指示灯方向に車両がいる場合は除く）
- ・ 急カーブを走行していないとき
- ・ 一定以上の加減速がないとき
- ・ 車線変更に相当する程度の操舵力でハンドルを操作していないとき
- ・ VSC または TRC を OFF にしていないとき

<sup>※</sup> アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体

### ■ 機能の一時解除

作動条件（→ P. 278）が満たされなくなった場合、一時的に機能が解除されますが、ふたたび作動条件が満たされると、自動的に復帰します。

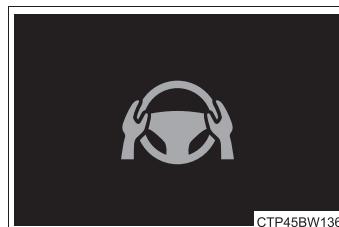
## ■車線逸脱警報／抑制機能の作動について

- 車速や路面の状況、逸脱の程度などにより、車線逸脱抑制機能の作動を感じなかったり、車線逸脱抑制機能が作動しなかったりすることがあります。
- カスタマイズで振動を選択していても状況によって警報ブザーが吹鳴する場合があります。
- 走路<sup>※</sup>がはっきり見えない場合、または直線的でない場合は走路逸脱に対する警報、抑制が作動しない場合があります。
- 意図的に歩行者や駐車車両を避けたと判断した場合に警報、抑制が作動しない場合があります。
- となりの車線を走行中の車両と衝突する可能性を判断できない場合があります。
- 車線逸脱抑制機能によるハンドル操舵支援は、運転者のハンドル操作によって修正することができます。

<sup>※</sup> アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体

## ■手放し運転に対する注意喚起について

次の状況では、ハンドル操作をうながすメッセージとアイコンのディスプレイの表示、および警報ブザーにより注意喚起を行います。システムを使用する際は注意喚起にかかわらず、常にハンドルをしっかりと握ってください。



- 車線逸脱抑制機能によるハンドル操舵支援中にハンドル操作をしなかったり、ハンドルをしっかり握っていない状態だとシステムが判断したとき  
ハンドル操舵支援の回数が増えるごとに、警報ブザーの継続時間が長くなります。ハンドルを操作したとシステムが判断しても一定時間警報ブザーが鳴り続けます。

### ■休憩提案機能について

次の条件をすべて満たしたとき作動します。

- 車速が約 50km/h 以上 のとき
- 車線の幅が約 3m 以上 のとき

車両の状態や路面状況によっては休憩提案が行われない場合があります。



## LDA の設定を変更する

- LDA の作動／非作動は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。 (→ P. 586)
- カスタマイズ設定から、LDA の設定を変更することができます。 (→ P. 586)

### ⚠ 警告

#### ■ 機能が正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況では、各機能が正しく作動せず車線から逸脱するおそれがあります。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、本機能を過信せずにハンドル操作で進路を修正してください。

- アスファルトと草・土などの境界や、縁石、ガードレールなどの構造体が不明瞭または直線的でないとき
- 横風を受けているときなど、周辺車両の走行によって発生する風の影響を受けているとき
- 車線を検知できないおそれがあるとき : → P. 255
- センサーが正しく作動しないおそれがあるとき : → P. 253
- システムの一部もしくは全てが作動しないとき : → P. 255
- システムを OFF にする必要があるとき : → P. 247

## ディスプレイ表示とシステムの作動状況

車線逸脱抑制機能によるハンドル操舵支援、または車線逸脱警報の作動状態をディスプレイ表示で示します。

表示灯	車線表示	ステアリングアイコン	状態
 黄色 点灯	消灯	消灯	システムが非作動
消灯		消灯	システムが車線を認識していない
消灯		消灯	システムが車線を認識している
 黄色 点滅		消灯	点滅している側の車線に対して車線逸脱警報機能が作動中
 緑色 点滅			点灯している側の車線に対して車線逸脱抑制機能が作動中
 黄色 点滅			点滅している側の車線に対して車線逸脱警報機能／抑制機能が作動中

## PDA（プロアクティブドライビングアシスト）

プロアクティブドライビングアシストは、作動対象（→ P. 284）を検出した場合、対象に近づきすぎないように、ブレーキやハンドルの操作を支援します。



### 警告

#### ■安全にお使いいただくために

安全運転を行う責任は運転者にあります。

- プロアクティブドライビングアシストは日常のブレーキ操作、ステアリング操作の一部を支援し、作動対象に近づきすぎないように支援することを目的としていますが、支援の範囲には限りがあります。

必要に応じて運転者自らブレーキやステアリング操作を行ってください。次の項目をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。  
（→ P. 286）

- プロアクティブドライビングアシストは前方への注意を軽減する装置ではありません。システムが正常に機能していても運転者が認識している周囲の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。注意義務は運転者にあり、危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡事故につながる恐れがあります。
- わき見運転やぼんやり運転などを許容するシステムでも、視界不良を補助するシステムではありません。運転者自らが周囲の状況に注意を払う必要があります。周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

#### ■プロアクティブドライビングアシストを OFF にするとき

- センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→ P. 253
- システムを OFF にする必要があるとき：→ P. 247

### システムが作動する状況と対象

プロアクティブドライビングアシストは、次のように自車が走行中の状況に応じて、作動内容と作動対象を切りかえます。

機能	状況	作動内容	作動対象
障害物先読みアシスト (OAA)	道路を横断中の作動対象を検知したとき	衝突の可能性を軽減するため、ブレーキ操作の一部を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者</li> <li>・自転車運転者</li> </ul>
	道路脇の作動対象を検知したとき	作動対象に近づきすぎないよう、周囲の状況に応じてハンドル操作やブレーキ操作の一部を支援します。ハンドル操作の支援は自車線から逸脱しない範囲で行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者</li> <li>・自転車運転者</li> <li>・駐車車両</li> </ul>
減速アシスト (DA)	先行車を検出したとき、または隣接車の割り込みを検出したとき	車間距離が近づきすぎないようにブレーキ操作の一部を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先行車</li> <li>・自動二輪車</li> </ul>
	自車前方にカーブを検出したとき	前方のカーブに対して自車の速度が速いと判定した場合、ブレーキ操作の一部を支援します。	なし
操舵アシスト (SA)	信号のある交差点で右左折するとき	右左折する交差点に対して自車の速度が速いと判定した場合、ブレーキ操作の一部を支援します。	なし
	車線を認識しているとき	運転操作を先読みして、ハンドル操作を支援します。	なし



## 知識

### ■ システムの作動車速

- 道路を横断する作動対象に対する支援

約 30km/h ~ 60km/h

- 道路脇の作動対象に対する支援

約 30km/h ~ 60km/h

- 先行車に対する減速支援

約 20km/h 以上

- カーブに対する減速支援

約 20km/h 以上

- 信号のある交差点に対する右左折時の減速支援

約 30km/h ~ 80km/h(信号のある交差点で方向指示レバーを操作したとき)

- 車線に対する操舵支援

約 10 ~ 140km/h

### ■ システムの作動が停止するとき

- 次のときシステムは作動を停止します

- ・ レーダークルーズコントロール、またはクルーズコントロールをセットしたとき
- ・ PCS が OFF のとき
- ・ システムの一部もしくは全てが作動しないとき : → P. 255
- ・ シフトポジションが P、R または N のとき
- ・ 運転席シートベルトを着用していない

- 次のときブレーキ操作の支援は作動を停止します

- ・ 車速が約 15km/h 以下のとき
- ・ 周囲の状況からシステムが判断した目標の速度に到達したとき

- 次のときシステムは作動を停止する場合があります

- ・ 運転支援装置によるブレーキ制御、出力抑制が作動したとき  
(例: プリクラッシュセーフティ、ドライブスタートコントロール)
- ・ 作動対象が遠ざかったとシステムが判断した場合
- ・ 車線が検出できなくなった場合
- ・ ブレーキ操作を行った場合
- ・ アクセル操作を行った場合
- ・ 一定以上の操舵力でハンドルを操作した場合
- ・ 方向指示レバーを左折または右折の位置へ操作したとき (信号のある交差点に対する右左折時の減速支援を除く)

 **警告****■システムが正常に作動しないおそれがあるとき**

- 車線を検知できないおそれがあるとき：→ P. 255
- 作動対象などが自車進路内に入る手前で停止したとき
- ガードレールや柵などの奥にいる作動対象のすぐそばを通過するとき
- 車線を変更して作動対象などを追いこすとき
- 車線変更や右左折している作動対象などを追い抜くとき
- 物体（ガードレール・電柱・木・壁・柵・ポール、工事用コーン、ポストなど）が周囲に存在するとき
- 自車の前方に作動対象との区別がつきにくい模様・ペイントがあるとき
- 道路上方に構造物（天井の低いトンネル・道路標識・看板など）がある場所を走行するとき
- 雪道、轍のある道路や凍結路を走行するとき
- 自車に向かって作動対象が近づいてくるとき
- 自車や作動対象がぶらついているとき
- 作動対象の動きが変化したとき（方向転換、急加速、急減速など）
- 作動対象に急接近したとき
- 先行車・自動二輪車が自車の中心軸からずれているとき
- 上方に構造物がある場所の下に作動対象がいるとき
- 作動対象の一部が他のもので隠れているとき（大きな荷物や傘、またはガードレールなど）
- 作動対象が複数重なっているとき
- 作動対象が太陽光や他車両からのヘッドライトなどの強い光を反射しているとき
- 作動対象の色合いが白系統で、極端に明るく見えるとき
- 作動対象の色合いや明るさが背景に溶け込んでいるとき
- 作動対象が割り込んできたり、飛び出してきたりしたとき
- 横向き、斜め、または自車方向を向いている前方車両に近付いたとき
- 駐車車両が横向き、斜め向きのとき
- 子供用自転車、大きい荷物を載せた自転車、2人以上乗車している自転車、または特殊な形状の自転車（チャイルドシート装着車・タンデム自転車など）
- 歩行者・自転車運転者の大きさが約1m以下、または約2m以上のとき

## ⚠ 警告

- 歩行者・自転車運転者の全身の輪郭があいまいなとき（レインコート・ロングスカートを着用している場合など）
- 歩行者・自転車運転者が前かがみになっている、またはしゃがんでいるとき
- 歩行者・自転車運転者の移動速度が速いとき
- 歩行者がベビーカー・車いす・自転車などを押しているとき
- 周囲が薄暗い（朝方・夕方など）、および周囲が暗い（夜間やトンネル内など）ため、作動対象が周囲に溶け込んでいるとき
- 車線幅が約4m以上あるとき
- 車線幅が約2.5m以下のとき
- ハイブリッドシステムを始動したあと、走行を開始してしばらくのあいだ
- 右左折中および右左折後の数秒間
- 進路変更中および進路変更後の数秒間
- 作動対象がカーブ進入前、カーブ走行中およびカーブを曲がり切ってからの数秒間に存在するとき
- 信号機の灯色が黄色のとき
- 信号機が一灯式や二灯式のとき

## プロアクティブドライビングアシストの設定を変更する

- プロアクティブドライビングアシストの作動／非作動は、カスタマイズ設定から切りかえることができます。( $\rightarrow$  P. 586)
- プロアクティブドライビングアシストの設定は、カスタマイズ設定から変更することができます。( $\rightarrow$  P. 586)

## システムの作動表示

状況に応じて、ディスプレイに次のような表示灯やアイコンを表示します。

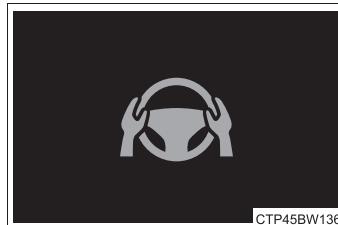
アイコンの種類によっては、ディスプレイを運転支援機能情報に切り替えないと表示されません。

表示	状態
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白色：作動対象監視中</li> <li>・緑色：道路を横断する作動対象に対する支援または道路脇の作動対象に対する支援が作動中</li> </ul>
	道路を横断中、または道路脇の歩行者を検知して、ブレーキまたはハンドルの操作を支援している
	道路脇の車両を検知して、ブレーキまたはハンドルの操作を支援している
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路脇の作動対象へ近づきすぎないように、ハンドルの操作を支援している</li> <li>・操舵支援が作動中</li> </ul>
	先行車に対する減速支援が作動中
	適正な車間距離を確保するよう注意喚起している
	カーブに対する減速支援が作動中
	信号のある交差点に対する減速支援が作動中

## □ 知識

### ■ 手放し運転に対する注意喚起について

次の状況では、ハンドル保持をうながすメッセージと図で示すシンボルがディスプレイに表示され注意喚起を行います。ハンドルを握ったとシステムが判断すると、注意喚起を停止します。システムを使用する際は注意喚起にかかわらず、常にハンドルをしっかりと握ってください。



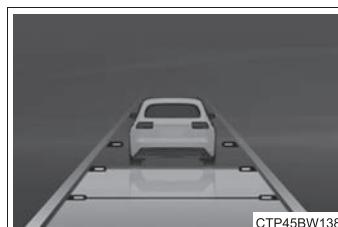
CTP45BW136

- 道路を横断する作動対象に対する支援または道路脇の作動対象に対する支援が作動中に、手放し運転をしているとシステムが判断したとき

さらに操作しない状態が続くとブザーが鳴り、注意喚起が行われます。運転者のハンドル操作が小さい状態が続いたときも同様に注意喚起が行われます。

### ■ 先行車への減速支援終了後の注意喚起について

先行車への減速支援が終了後、ドライバーによるブレーキまたはアクセル操作が無く、先行車へ接近したとき、ディスプレイ表示の点滅とブザーによって注意喚起し、減速をうながします。ドライバーがブレーキまたはアクセルを操作したとシステムが判断した場合、注意喚起を停止します。



CTP45BW138

## 発進遅れ告知機能

先行車の発進または信号が青にかわったあと、自車が停止し続けた場合、告知音とマルチインフォメーションディスプレイの表示でお知らせする機能です。

### 先行車発進告知機能

前の車に続いて停止中、先行車が発進しても停止し続けた場合にお知らせします。

### 信号切替り告知機能

交差点の先頭で停止中、信号が青（方向指示器と同一方向の青矢印信号も含む）にかわっても停止し続けた場合にお知らせします。

## □ 知識

### ■ 作動条件

次のいずれかの条件を満たしたときに作動します。

- シフトレバーが P・R 以外でブレーキペダルを踏んで、停止している、またはシフトレバーが N で停止しているとき
- ブレーキホールドが作動中のとき
- レーダークルーズコントロールが作動していて、制御停車中のとき

### ■ 発進遅れ告知機能が正しく作動しない恐れがある状況

例えば次のような状況では、前方カメラとレーダーが対象を検出できず、システムが正常に作動しない場合があります。

- 先行車がオートバイ・自転車などのとき
- 車両や樹木、看板などにより信号を正しく認識できないとき
- 右左折や車線変更などのために、ハンドルを大きくまわしたとき
- センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→ P. 253

### ■ 先行車が発進していなくても告知する場合があるとき

例えば次のような状況では、先行車が発進したと判断し、システムが作動する場合があります。

- 先行車がいない状態での停止時に、交差点の先にいる車両や自車の正面を横切る車両などを先行車として認識したとき
- 自車と先行車とのあいだに、ほかの車両が割り込んだり通過したりしたとき

## ■信号機が青にかわっていなくても告知する場合があるとき

例えば次のような状況では、信号が青にかわったと判断し、システムが作動する場合があります。

- 道路標識や看板などの信号機でないものを信号機と認識した場合
- 歩行者用、または自転車用の信号機の形状が自動車用と似ている場合
- 交差側や遠くの交差点にある信号機など、自車の対象ではない信号機を認識した場合
- 日照条件などにより、正しく自車対象の信号機を判別できない場合

## システムの ON / OFF を変更する

発進遅れ告知機能の作動／非作動は、カスタマイズメニューから切り替えることができます。( $\rightarrow$  P. 586)

## 発進遅れ告知機能の設定を変更する

カスタマイズ設定から発進遅れ告知機能の設定を切りかえることができます。( $\rightarrow$  P. 586)

## RSA（ロードサインアシスト）

前方カメラまたはナビゲーションシステム（情報を取得した場合）を使って特定の道路標識や信号などを認識し、ディスプレイ表示やブザーで運転者にお知らせします。

### ⚠ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- RSA は、道路標識などの情報を知らせることで運転の支援を行いますが、支援の範囲には限りがあります。運転者は常に道路標識などに従い、ご自身で適切な運転操作をしてください。

#### ■ RSA を使用してはいけない状況

- システムを OFF にする必要があるとき：→ P. 247

#### ■ 機能が正常に作動しないおそれのある状況

- センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→ P. 253

### ディスプレイ表示機能

- 前方カメラまたはナビゲーションシステム（情報を取得した場合）によって道路標識などを認識すると、ディスプレイに表示します。
- 複数の道路標識を表示できます。

車の仕様によっては表示される標識が制限される場合があります。

### □ 知識

#### ■ 標識表示の作動条件

次の条件を満たしたとき、標識の表示を行います。

- システムが標識を認識しているとき

次の状況では、標識の表示が消えることがあります。

- 一定の距離を走行中、新しい標識が認識されないとき
- 右左折等により走行する道路が変わったとシステムが判定したとき
- 終わりを示す補助標識を認識したとき

## ■表示機能が正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況では、システムが正常に標識を認識できず、正しい標識の表示がされない場合があります。

- 標識に汚れ・色あせ・傾きや曲がりがあるとき
- 電光標識のコントラストが低いとき
- 標識の全体または一部が、木・電柱などで隠れているとき
- 前方カメラが標識を認識する時間が短いとき
- 運転の状況（曲がる・車線変更等）が誤って判断されたとき
- 標識が高速道路の分岐した直後、または合流直前の隣の車線にあるとき
- 先行車の後部分にステッカーが貼ってあるとき
- システムが対応している標識と類似した標識が認識されたとき
- 側道の速度標識が前方カメラの認識範囲内に入ったとき
- ロータリー（環状交差路）を走行しているとき
- トラックなどの車両を対象にした標識を認識したとき
- 補助標識（区間の終わり、曜日、時間など）があるとき
- 工事などの通行規制区間に標識があるとき
- 標識の後ろに木・電柱・建物・看板などがあるとき
- ナビゲーションシステムの地図情報が古いとき
- ナビゲーションシステムを利用できないとき

マルチインフォメーションディスプレイとナビゲーションシステムに表示される最高速度標識が異なる場合があります。

## ■ 告知機能

次の状況では、システムが運転者に告知（例えば、強調表示やブザー吹鳴）します。

- 速度超過告知：自車の車速がディスプレイに表示されている制限速度より一定の速度を超過したときには、強調表示やブザーにより注意をうながします。
- 車両進入禁止告知：進入禁止の標識を認識し、自車が進入禁止区域に進入したとシステムが判定したときには、強調表示やブザーにより注意をうながします。
- 赤信号告知：赤信号を認識している場合に、信号を見落として交差点に進入する可能性があるとシステムが判定したときには、強調表示やブザーにより注意をうながします。

## ■ 知識

### ■ 告知機能の作動条件

- 速度超過告知に対する作動条件

次の条件を満たしたとき作動します。

- ・ 最高速度を表示しているとき

- 車両進入禁止告知に対する作動条件

次の条件をすべて満たしたとき作動します。

- ・ 進入禁止標識を 2 つ以上認識しているとき
- ・ 進入禁止標識の間を通過するとき

- 赤信号告知に対する作動条件

次の条件をすべて満たしたとき作動します。

- ・ システムが信号機や路面ペイントを認識しているとき
- ・ 車速が約 20 ~ 70km/h のとき
- ・ 一定以上の減速がないとき
- ・ 方向指示レバーを操作していないとき
- ・ 一定以上のハンドル操作をしていないとき
- ・ 先行車がいないとき

## ■ 告知機能が正常に作動しないおそれのある状況

- 表示機能の項目に加えて、次のような状況では告知対象があるのにシステムが作動しないおそれがあります。

- ・右左折等により標識が検知できないとき
- ・信号機が矢印信号のとき
- ・信号機が点滅信号のとき
- ・信号機の庇で発光部の一部が隠れているとき
- ・ルーバー信号機で発光部が見えづらいとき
- ・停止線などの路面ペイントが先行車などで隠れているとき
- ・停止線などの路面ペイントがかすれているとき
- ・停止線に対し信号機が遠くにあるとき
- ・交差点間の距離が近いとき

- 表示機能の項目に加えて、次のような状況では告知対象がないのにシステムが作動するおそれがあります。

- ・標識が通常とは異なる大きさのとき
- ・標識や信号機が多数あるとき
- ・自車が走行するレーンではない側道や分岐地点などの標識や信号機を認識したとき
- ・作動対象の標識、信号機や路面ペイントとは区別がつきにくい模様・光源・ペイントがあるとき
- ・信号機の灯色が黄色のとき
- ・信号機が矢印信号のとき
- ・予告信号があるとき

### ディスプレイ表示および告知される道路標識などの種類

次の種類の道路標識を表示します。

ただし、規定外の道路標識、新しく導入された道路標識は表示されない場合があります。

	最高速度
	はみ出し通行禁止
	車両進入禁止
	転回禁止
	一時停止
	赤信号

### RSA の設定を変更する

RSA の設定は、カスタマイズ設定から変更することができます。

(→ P. 586)

## レーダークルーズコントロール

車両前方の先行車の有無・先行車との車間距離を判定して、先行車との適切な車間距離を確保する制御をします。また、車間距離切りかえスイッチを操作して、希望の車間距離に設定することもできます。

高速道路や自動車専用道路で使用してください。

### !**警告**

#### ■安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- レーダークルーズコントロールは運転者の操作の一部を支援し、操作負担を軽減するためのシステムで、支援の範囲には限りがあります。  
次の項目をお読みいただき、システムを過信せず安全運転に努めてください。
  - ・ システムが正しく作動しないおそれのある状況：→ P. 305
- 設定速度は、制限速度・交通の流れ・路面環境・天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は、運転者が行う必要があります。
- システムが正常に機能していても、運転者が認識している先行車の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。システムに頼ったり、安全を委ねる運転をしたりすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⚠️ 警告

### ■ システムの支援内容に関する注意点

システムの支援には限界があるため、次の点に注意してください。システムを過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ● 運転者が見る過程での支援内容

レーダークルーズコントロールは、自車と設定された先行車との車間距離を検知するのみであり、わき見やぼんやり運転を許容するシステムでも、視界不良を補助するシステムでもありません。

走行中に限らず、運転者自らが周囲の状況に注意を払う必要があります。

#### ● 運転者が判断する過程での支援内容

レーダークルーズコントロールは、自車と設定された先行車との車間距離が適正かどうかを判断しており、それ以外の判断はしません。このため、危険性があるかどうかなど運転者は自ら安全の判断をする必要があります。

#### ● 運転者が操作する過程での支援内容

レーダークルーズコントロールは、先行車への追突を防止する機能はありません。このため、危険性があれば運転者自らが安全を確保する必要があります。

### ■ レーダークルーズコントロールを使用してはいけない状況

次の状況では、レーダークルーズコントロールを使用しないでください。適切な制御が行われず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ● 歩行者や自転車等が混在している道

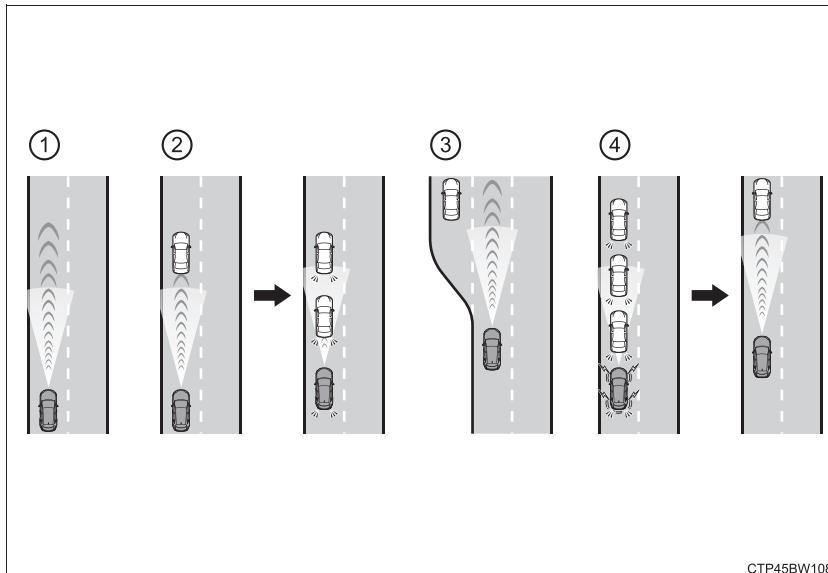
#### ● 高速道路や自動車専用道路の出入り口

#### ● 接近警報がひんぱんに鳴るとき

#### ● センサーが正しく作動しないおそれがあるとき：→ P. 253

#### ● システムを OFF にする必要があるとき：→ P. 247

## ■ 基本機能



4

運転

### ① 定速走行：

先行車がいないとき

運転者が設定した速度で定速走行します。

下り坂走行で設定車速を超えた時、設定車速が点滅し警報ブザーが吹鳴します。

### ② 減速走行—追従走行：

設定した速度より、遅い先行車が現れたとき

先行車を検知すると自動で減速し、より大きな減速が必要な場合はブレーキがかかります（このとき制動灯が点灯します）。先行車の車速変化に合わせて、運転者の設定した車間距離になるように追従走行します。十分に減速できない状態で先行車に接近した場合は、接近警報を鳴らします。

### ③ 加速走行：

設定した速度より、遅い先行車がいなくなったとき

設定速度まで加速し、定速走行にもどります。

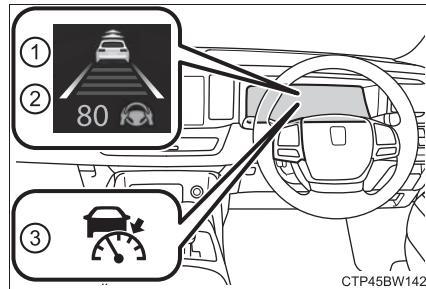
### ④ 発進：

先行車が停止したときは、続いて停止します（制御停車）。先行車の発進後、“RES”スイッチを押すか、アクセルペダルを踏むと追従走行にもどります（発進操作）。自車が発進操作を行わなかった場合は、制御停車を続けます。

## システムの構成部品

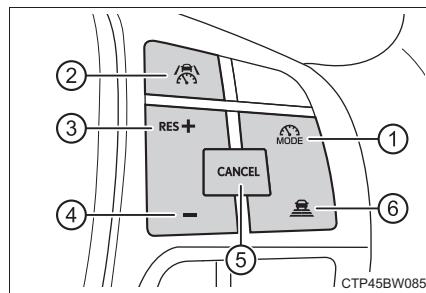
### ■ メーター表示

- ① マルチインフォメーションディスプレイ
- ② 設定速度
- ③ 表示灯



### ■ 操作スイッチ

- ① 走行支援モード選択スイッチ
- ② 走行支援スイッチ
- ③ “+” スイッチ、 “RES” スイッチ
- ④ “-” スイッチ
- ⑤ キャンセルスイッチ
- ⑥ 車間距離切りかえスイッチ

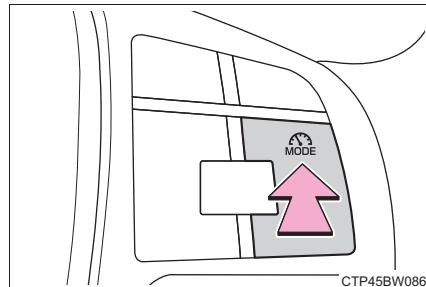


## レーダークルーズコントロールを使用する

### ■ 速度を設定する

- 1 走行支援モード選択スイッチを押してレーダークルーズモードを選択します。

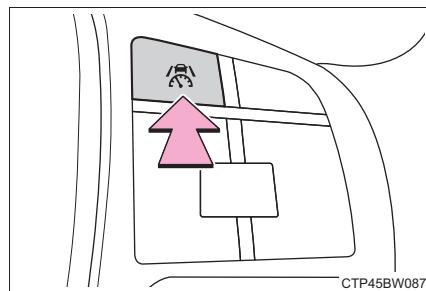
レーダークルーズコントロール表示灯が点灯します。



- 2 希望の車速(約 30km/h 以上)までアクセルペダル操作で加速／減速し、走行支援スイッチを押して速度を設定する

マルチインフォメーションディスプレイに設定した速度が表示されます。

スイッチを離したときの車速で定速走行できます。



## ■ 設定速度をかえる

### ● スイッチで設定速度をかえる

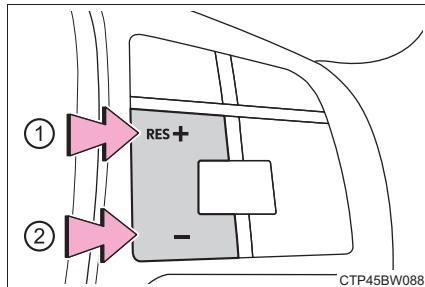
設定速度をかえるには、希望の速度が表示されるまで “+” スイッチまたは “-” スイッチを押します。

① 速度を上げる

② 速度を下げる

短押し調整：スイッチを押す

長押し調整：スイッチを押し続け速度をかえ、希望の速度で手を離す



設定速度は、次のとおりに増減されます：

短押し調整：スイッチを操作するごとに 1km/h

長押し調整：スイッチを押し続けているあいだ、5km/h ずつ

カスタマイズメニューから、設定速度の変化量を変更することができます。

### ● アクセルペダルで設定速度を上げる

① 設定したい車速になるまで、アクセルペダルを踏んで加速する

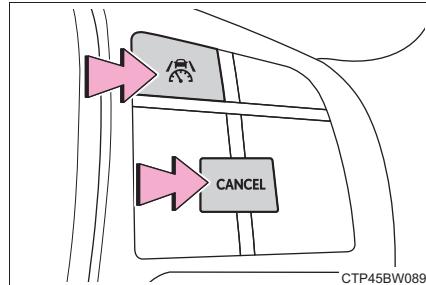
② “+” スイッチを押す

## ■ 制御を解除する・復帰させる

- 1** 制御を解除するには、キャンセルスイッチまたは走行支援スイッチを押す

ブレーキペダルを踏んだときも解除されます。

(制御停車中は、ブレーキペダルを踏んでも解除されません)

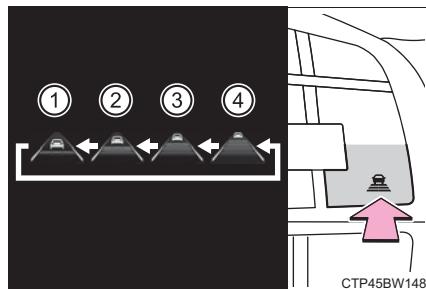


- 2** 制御を復帰させるには、“RES”スイッチを押す

## ■ 車間距離を変更する

スイッチを押すごとに次のように車間距離を切りかえます。

先行車がいる場合、先行車マークも表示されます。



イラスト番号	車間距離	距離の目安（車速 100km/h の場合）
①	短	約 30m
②	中	約 45m
③	長	約 60m
④	最長	約 70m

車速に応じて実際の車間距離は増減します。また、制御停車時は設定にかかわらず状況に応じた車間距離で停車します。

 知識

## ■ 設定条件について

- シフトポジションが D のとき設定できます。
- 車速が約 30km/h 以上とのとき、希望の設定速度に設定できます。
  - ・ 車速が約 30km/h 未満のときに設定すると、約 30km/h に設定されます。
  - ・ 車速がシステムの上限を超えているときに設定すると、設定速度の上限に設定されます。

## ■ 車速設定後の加速について

通常走行と同様にアクセルペダル操作で加速できます。加速後、車速が設定速度にもどります。ただし、車間制御モード時は先行車との距離を保持するため車速が設定速度以下になることもあります。

## ■ 追従走行中の停車制御について

- 制御停車中に “RES” スイッチを押した場合、約 3 秒以内に先行車が発進すれば追従走行にもどります。
- 先行車に続いて停車したあと約 3 秒以内に先行車が発進した場合、追従走行にもどります。

## ■ 車間制御モードの自動解除

次のとき、自動的に車間制御モードが解除されます。

- 運転支援装置によるブレーキ制御、出力抑制が作動したとき  
(例：プリクラッシュセーフティ、ドライブスタートコントロール)
- パーキングブレーキが作動したとき
- 走行中に運転席シートベルトを着用していないとき
- プリクラッシュセーフティが OFF のとき
- 急坂路で制御停車したとき
- 制御停車中に次を検出したとき
  - ・ 運転席シートベルトを着用していない
  - ・ 運転席ドアが開いた
  - ・ 車両が停止したあと約 3 分経過した

自動でパーキングブレーキがかかることがあります。

- システムの一部もしくは全てが作動しないとき : → P. 255

## ■ レーダークルーズコントロールの警告メッセージ・警告ブザー

安全にお使いいただくために : → P. 246

## ■センサーが正しく検知しないおそれのある先行車

次のような場合にシステムによる減速が不十分な場合はブレーキペダルを、加速が必要な場合はアクセルペダルを、状況に応じて操作してください。

センサーが正しく車両を検知できず、接近警報（→ P. 306）も作動しないおそれがあります。

- 割込み車両、離脱車両の車線変更が極端に速い、または遅いとき
- 自車が車線変更しているとき
- 先行車が低速で走行中のとき
- 同じ車線に停車中の車がいるとき
- 同じ車線を二輪車が走行中のとき

## ■システムが正しく作動しないおそれのある状況

次の状況では、必要に応じてブレーキペダルで減速（場合によってアクセルペダルを操作）してください。

センサーが正常に車両を検知できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

- 先行車が急ブレーキをかけた場合
- 渋滞時等、低速で車線変更したとき

## 接近警報

追従走行中の他車の割り込みなど、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、表示の点滅とブザーで運転者に注意をうながします。その場合は、ブレーキペダルを踏むなど適切な車間距離を確保してください。

### ■ 警報されないとき

車間距離が短くても、次のような場合は警報されないことがあります。

- 先行車と自車の車速が同じか先行車の方が速いとき
- 先行車が極端な低速走行をしているとき
- 速度を設定した直後
- アクセルペダルを踏んだとき

## カーブ速度抑制機能

カーブを認識すると車速の抑制を開始します。カーブが終了すると車速の抑制が終了します。

状況に応じて設定速度まで復帰します。

先行車に割り込まれる等で、追従走行が優先された場合も車速抑制は終了します。



## □ 知識

### ■ カーブ速度抑制機能が作動しないおそれがある状況

次のような状況では、カーブ速度抑制機能が作動しない場合があります。

- 緩やかなカーブを走行しているとき
- アクセルペダルを操作しているとき
- 極端に短いカーブを走行しているとき

## 車線変更時の補助機能

約 80km/h 以上で走行中に追い越し車線側へ車線変更する場合、方向指示レバーの操作と連動して設定速度まで加速することで、追い越しを支援します。

約 80km/h 以上で走行中に自車より遅い車両の後方へ車線変更する場合、方向指示レバーの操作と連動して緩減速することで、車線変更を補助します。

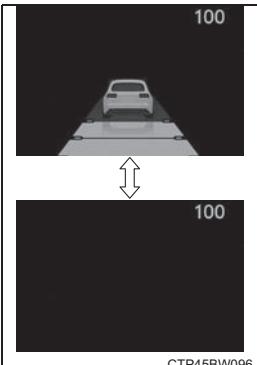
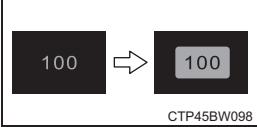
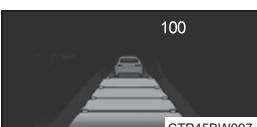
## レーダークルーズコントロールの設定を変更する

レーダークルーズコントロールの設定は、カスタマイズ設定から切りかえることができます。 (→ P. 586)

## ディスプレイ表示とシステムの作動状況

レーダークルーズコントロールの作動状態を示しています。

表示灯	マルチインフォメーションディスプレイ表示	状態
	 CTP45BW093	設定車間距離：灰色 レーダークルーズコントロール OFF
	 100 CTP45BW094	設定車間距離：青色 設定速度：緑色 定速走行
	 100 CTP45BW095	設定車間距離：青色 設定速度：緑色 先行車：白色 追従走行

表示灯	マルチインフォメーションディスプレイ表示	状態
 緑色	 CTP45BW096	設定車間距離：橙色点滅 設定速度：緑色 先行車：橙色点滅  接近警報
 緑色	 CTP45BW097	設定車間距離：灰色 設定速度：白色 先行車：灰色  アクセルペダルによる加速中
 緑色	 CTP45BW098	設定速度：緑色反転表示  設定速度超過時
 緑色	 CTP45BW097	設定車間距離：灰色 設定速度：白色 先行車：灰色  制御停車

## クルーズコントロール

アクセルペダルを踏まなくても、一定の車速で走行できます。

高速道路や自動車専用道路で使用してください。



### 警告

#### ■安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- 設定速度は、制限速度・交通の流れ・路面環境・天候などを考慮して適切に設定してください。設定速度の確認は、運転者が行う必要があります。

#### ■クルーズコントロールを使用してはいけない状況

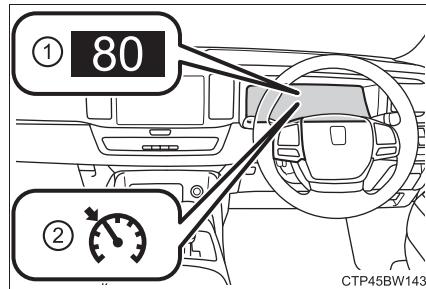
次の状況では、クルーズコントロールを使用しないでください。適切な制御が行われず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 急カーブのある道
- 曲がりくねった道
- 雨天時や、凍結路・積雪路などのすべりやすい路面
- 急な下り坂や急で勾配の変化が激しい坂  
    急な下り坂では車速が設定速度以上になることがあります。
- システムを OFF にする必要があるとき：→ P. 247

## システムの構成部品

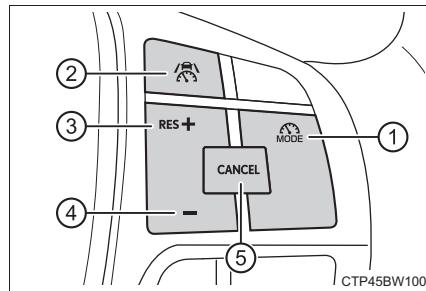
### ■ メーター表示

- ① 設定速度
- ② クルーズコントロール表示灯



### ■ 操作スイッチ

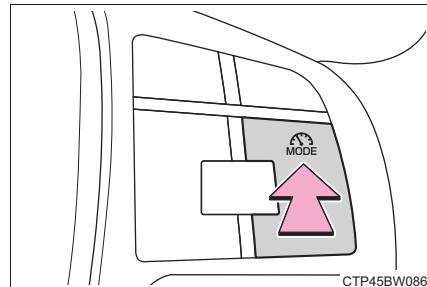
- ① 走行支援モード選択スイッチ
- ② 走行支援スイッチ
- ③ “+” スイッチ、 “RES” スイッチ
- ④ “-” スイッチ
- ⑤ キャンセルスイッチ



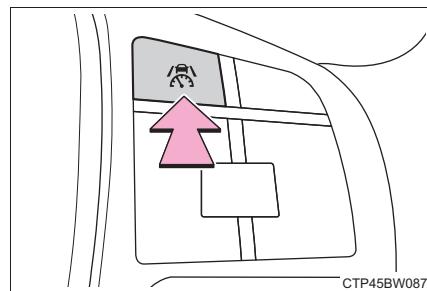
## クルーズコントロールを使用する

### ■ 速度を設定する

- 1 走行支援モード選択スイッチを押してクルーズコントロールモードを選択します。クルーズコントロール表示灯が点灯します。



- 2 希望の車速(約 30km/h 以上)までアクセルペダル操作で加速／減速し、走行支援スイッチを押して速度を設定する  
スイッチを離したときの車速で定速走行できます。



## ■ 設定速度をかえる

### ● スイッチで設定速度をかえる

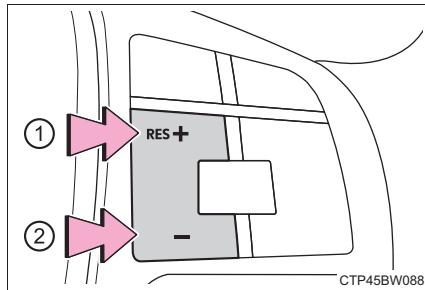
設定速度をかえるには、希望の速度が表示されるまで “+” スイッチまたは “-” スイッチを押します。

- ① 速度を上げる
- ② 速度を下げる

設定速度は、次のとおりに増減されます：

微調整：スイッチを押すごとに  
1 km/h

大幅調整：スイッチを押し続けて  
いるあいだ連続して変化



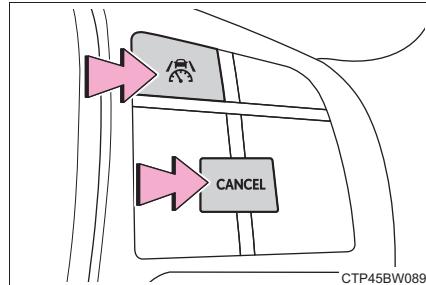
### ● アクセルペダルで設定速度を上げる

- ① 設定したい車速になるまで、アクセルペダルを踏んで加速する
- ② “+” スイッチを押す

## ■ 制御を解除する・復帰させる

- 1** 制御を解除するには、キャンセルスイッチまたは走行支援スイッチを押す

ブレーキペダルを踏んだときも解除されます。



- 2** 制御を復帰させるには、“RES”スイッチを押す

### □ 知識

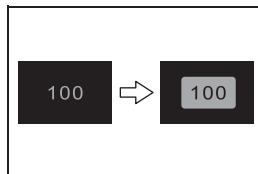
#### ■ クルーズコントロールの自動解除

次のとき、自動的にクルーズコントロールが解除されます。

- 設定速度より車速が約 16km/h 以上低下したとき
- 車速が約 30km/h 未満になったとき
- 運転支援装置によるブレーキ制御、出力抑制が作動したとき  
(例: プリクラッシュセーフティ、ドライブスタートコントロール)
- パーキングブレーキが作動したとき
- 運転席シートベルトを着用していないとき
- システムの一部もしくは全てが作動しないとき : → P. 255

### ディスプレイ表示とシステムの作動状況

クルーズコントロールの作動状態を示しています。

表示灯	マルチインフォメーションディスプレイ表示	状態
 白色		なし クルーズコントロール OFF
 緑色		設定速度：緑色 定速走行
 緑色		設定速度：緑色反転表示 設定速度超過時

## ドライバー異常時対応システム

ドライバー異常時対応システムは、走行中の運転者が、急病などにより運転の継続が困難になった場合に、自動的に車線内で自車を減速、停車させるシステムです。

LTA（レーントレーシングアシスト）制御中に、手放しなどの無操作運転状態からシステムが運転者が異常状態であると判断すると、車線内で減速、停車し、衝突事故の回避・衝突被害の低減に寄与します。

### ⚠️ 警告

#### ■安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。ドライバー異常時対応システムは、運転者が急病などにより運転の継続が困難になった場合を対象とするシステムであり、居眠り運転や注意散漫な運転、体調が悪い場合の運転を対象とするものではありません。
- ドライバー異常時対応システムは、システムが運転者による運転の継続が困難と判断した場合に、自車線内で減速、停車を行うことで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与することを目的としていますが、その効果はさまざまな条件によりかわります。そのため、常に同じ性能を発揮できるものではありません。また、作動には条件があり、作動条件を満たさない場合は作動しません。
- システム作動後、異常から復帰できた場合には、速やかに運転を再開するか、路肩へ避難し、三角表示板および発炎筒を設置して後続車両に停車していることをお知らせください。
- システム作動後、同乗者は運転者への救護措置をはじめとした必要な危険防止措置をとり、路側帯やガードレールの外側などの安全な場所にすみやかに退避してください。
- 本システムは運転者の異常をハンドルの操作状態などで判断しています。正常な運転者が意図的に無操作を続けた場合には、システムが作動することがあります。また、運転者が異常状態であっても、ハンドルにもたれかかるなどシステムが手放し運転と判断できない場合は、システムが作動しないことがあります。

## システム概要

本システムは4つの状態に分けられます。「警告1フェーズ」、「警告2フェーズ」で運転者への注意喚起や速度抑制を実施しながら、運転者の正常／異常判定を行います。システムが、運転者が異常状態であると判断した場合には「減速停車フェーズ」、「停車保持フェーズ」で自車を減速、停車させます。



### 知識

#### ■作動条件

次の条件をすべて満たすと作動します。

- システムが自動車専用道路と認識しているとき  
システムが誤って一般道を自動車専用道路と認識する場合があります。
- LTAをONにしているとき
- 自車速が約50km/h以上

#### ■作動解除条件

次のいずれかの状況では作動解除されます。

- LTA制御がキャンセルされたとき（LTAスイッチを押した場合など）
- レーダークルーズコントロール制御がキャンセルされたとき
- ドライバ操作が検出されたとき（ハンドルを握る、ブレーキ操作、アクセル操作、パーキングブレーキ操作、ハザードスイッチ操作、方向指示レバー操作）
- 自車が一般道を走行しているとシステムが判断したとき
- 停止保持中、シフトポジションをPにした状態で走行支援スイッチを押したとき
- パワースイッチをONからOFFにしたとき
- システムの一部もしくは全てが作動しないとき：→ P. 255

#### ■作動解除時のLTA制御

システムの作動が解除された場合、LTA制御がキャンセルされる場合があります。

## 警告 1 フェーズ

手放し運転警告がされてからも運転操作がない場合、ブザー（断続音）とディスプレイ表示により注意喚起を行い、運転者の正常／異常判定を行います。一定時間以内にハンドル保持などの運転者による操作がされなかった場合、警告 2 フェーズに移行します。

## 警告 2 フェーズ

ブザー（早い断続音）とディスプレイ表示により注意喚起を行い、ゆるやかに車速を減速させます。一定時間以内にハンドル保持などの運転者による操作がされなかった場合には、システムが運転者が異常状態であると判断し、減速停車フェーズに移行します。

車両の減速時に道路環境等の要因によって、ストップランプが点灯する場合があります。

ある程度減速すると、非常点滅灯（ハザードランプ）が点滅します。システムの作動が終了しても、非常点滅灯（ハザードランプ）の点滅は継続します。

## 減速停車フェーズ

運転者が異常状態にあると判断し、ブザー（連続音）とディスプレイ表示で運転者に注意喚起を行うとともに、ゆるやかに減速して車両を停車させます。減速と同時に、ストップランプの点灯、非常点滅灯（ハザードランプ）の点滅とホーン吹鳴によって周囲に緊急事態であることをお知らせします。車両が停車すると停車保持フェーズに移行します。

## ■ 停車保持フェーズ

停車後、パーキングブレーキが自動でかかります。引き続きブザー（連続音）で注意喚起を行うとともに、非常点滅灯（ハザードランプ）の点滅とホーンによって周囲に緊急事態を知らせます。また、ドア解錠やヘルプネット自動接続による運転者の救命・救護要請（ヘルプネット契約時のみ）を行います。



### 知識

#### ■ ヘルプネット自動接続について

ヘルプネット自動接続後、ヘルプネットのオペレーターからの声掛けに対して車内からの応答がない場合、救命・救護のために救急や警察へ通報を行います。

#### ■ 作動解除後の機能制限

減速停車フェーズに移行後は、ドライバー異常時対応システムの作動が解除されてもハイブリッドシステムを再始動するまで次の機能が使用できなくなります。

● LTA



### 警告

#### ■ ヘルプネット自動接続について

ヘルプネット自動接続は、T-Connect 通信エリア内、かつ T-Connect 契約がされている場合にのみ行われます。T-Connect 通信エリア外や T-Connect 未契約、T-Connect 契約が未更新の場合は接続が行われず、警察・救急への通報が行われません。あらかじめ通信エリアとご自身の T-Connect 契約をご確認の上、システムをご利用ください。

## BSM（ブラインドスポットモニター）

ブラインドスポットモニターは、リヤバンパー内側にある後側方レーダーセンサーを使用し、運転者による車線変更時の判断を支援するシステムです。

### ⚠️ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- ブラインドスポットモニターは、ドアミラーの死角領域に入った車両の存在とその死角領域に急速に接近してくる車両の存在を運転者に提供する、補助的なシステムです。本システムだけで安全な車線変更の可否を判断できるものではないため、システムを過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。  
状況によっては本システムが有効に機能しないことがあるため、運転者は自らの目視とミラーによる安全確認をおこなう必要があります。

## システムの構成部品

### ① メーター操作スイッチ

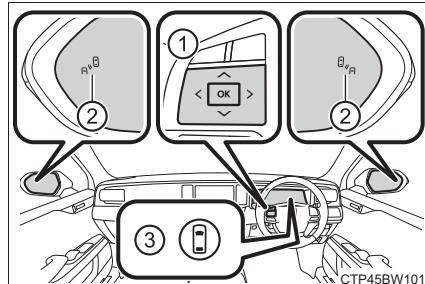
ブライアンドスポットモニターの ON / OFF を切り替えます。

### ② ドアミラーインジケーター

ドアミラーの死角領域に車両を検知したとき、または後方からその死角領域に急速に接近してくる車両を検知したときは、検知した側のドアミラーインジケーター (→ P. 90) が点灯します。検知した側に方向指示レバーを操作している場合は、ドアミラーインジケーターが点滅します。

### ③ 運転支援情報表示灯

ブライアンドスポットモニターが OFF のときに点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。



## □ 知識

### ■ ドアミラーインジケーターの視認性について

強い日差しのもとでは、ドアミラーインジケーターが見えづらいことがあります。

### ■ カスタマイズ機能

機能の一部は、設定を変更することができます。(→ P. 586)

### ■ 後側方レーダーセンサーの取り扱いについて

本製品は各国の電波法に適合しています。製品表面の印字はその証明ですので消さないでください。

製品を改造しないでください。改造すると認証番号が無効となります。



R 202 -LSC077

C3-000-1

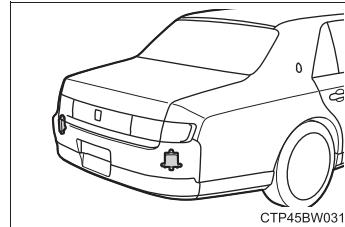
## ⚠️ 警告

### ■ システムを正しく作動させるために

ブラインドスポットモニターのセンサーは、車両リヤバンパー内側に左右ひとつずつ設置されています。システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

- センサー周辺のリヤバンパーは常にきれいにしておく

センサー周辺のリヤバンパーに汚れや着雪がある場合、警告表示とともにシステムが作動しなくなることがあります。その場合、汚れや雪を落としたあと、BSM機能の作動条件（→ P. 324）でしばらく走行してください（目安：約10分）。それでも警告表示が消えない場合はトヨタ販売店にて点検を受けてください。



CTP45BW031

- センサー やセンサー周辺のリヤバンパーにアクセサリーを付けたり、ステッカー（透明なものを含む）やアルミテープなどを貼ったりしない

- センサー周辺のリヤバンパーへの強い衝撃を避ける

センサーの位置や向きが少しでもずれると、車両を正しく検知できなくなったり、装置が正常に動作しなくなるおそれがあります。

次のような場合には、必ずトヨタ販売店にて点検を受けてください。

- ・ センサー やセンサー周辺に強い衝撃を受けた
- ・ センサー周辺のリヤバンパーなどに傷や凹みがある、一部が外れている

- センサーを分解しない

- センサー やセンサー周辺のリヤバンパーを改造しない

- センサー やリヤバンパーの脱着や交換が必要な場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

- リヤバンパーの塗装修理の際にはトヨタ設定色以外への変更は行わないでください。

## ■ ブラインドスポットモニターの ON / OFF を切りかえるには

ブラインドスポットモニターの ON / OFF は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。( $\rightarrow$  P. 586)

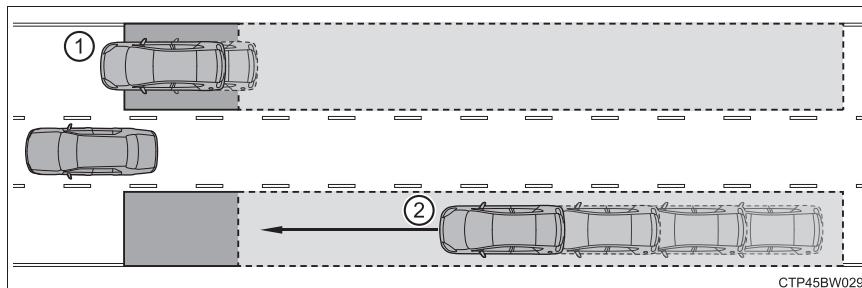
ブラインドスポットモニターが OFF になると、運転支援情報表示灯 ( $\rightarrow$  P. 90) が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

パワースイッチが ON になるたび、ブラインドスポットモニターは ON になります。

## ■ ブラインドスポットモニターの作動

### ■ 走行中に検知できる車両

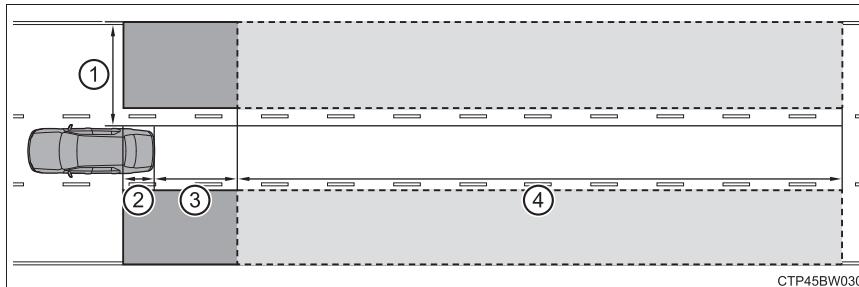
ブラインドスポットモニターは後側方レーダーセンサーにより隣の車線を走行する次の車両を検知し、ドアミラーのインジケーターによってその車両の存在を運転者に知らせます。



- ① ドアミラーに映らない領域（死角領域）を併走する車両
- ② 後方からドアミラーに映らない領域（死角領域）に急速に接近してくる車両

## ■ 走行中に検知できる範囲

次の範囲に入った車両を検知します。



検知できる範囲：

- ① 車両の両側面について、側面から約 0.5m 離れた面から約 3.5m の領域 ※<sup>1</sup>
- ② リヤバンパーから約 1m 前方の領域
- ③ リヤバンパーから約 3m 後方の領域
- ④ リヤバンパーから後方約 3m ~ 60m の領域 ※<sup>2</sup>

※<sup>1</sup> 車両側面から外側に約 0.5m は検知しません。

※<sup>2</sup> 自車と他車の速度差が大きいほど、ドアミラーインジケーターは他車がより遠くにいる状況で点灯・点滅します。

## ■ 関連機能

隣の車線を走行する車両の検知を用いた機能が LDA (レーンディィパー チャーアラート) にあります。本機能の作動条件などの詳細については P. 276 を参照してください。

 知識**■作動条件**

次の条件をすべて満たしているときに作動します。

- パワースイッチがONのとき
- ブラインドスポットモニターがONのとき
- シフトレバーがR以外のとき
- 車速が約10km/h以上のとき

**■センサーが車両を検知する条件**

ブラインドスポットモニターは、次のような状況で検知範囲に入った車両を検知します。

- 隣の車線を走行する他車に自車が追いかざるとき
- 小さい速度差で隣の車線を走行する他車を追いかすとき
- 他車が車線変更中に検知範囲に進入するとき

**■システムが検知しない条件**

ブラインドスポットモニターは次のような車両や車両以外のものを検知対象としません。

- 小型のオートバイ・自転車・歩行者など\*
- 対向車
- ガードレール・壁・標識・駐車車両などの静止物\*
- 同一車線を走行する後続車\*
- 2つ隣の車線を走行する他車\*
- 大きい速度差で自車が追いかす他車\*

\* 状況によっては検知することができます。

## ■システムが正しく作動しないおそれがある状況

- 次のような状況では車両を正しく検知しないおそれがあります。

- ・センサーやセンサー周辺への強い衝撃などにより、センサーの位置や向きがずれているとき
- ・泥・雪・氷・ステッカーなどがセンサーやセンサー周辺のリヤバンパーに付着したとき
- ・大雨・雪・霧などの悪天候時、水たまりなどの濡れた路面を走行するとき
- ・複数台の他車が狭い間隔で連続して接近するとき
- ・自車と後続車の車間距離が短いとき
- ・検知範囲に入る他車と自車の速度差が大きすぎるとき
- ・自車と他車の速度差に変化があるとき
- ・検知範囲に入る他車と自車の速度がほとんど等しいとき
- ・停止状態から発進した際に、検知範囲に他車が存在し続けたとき
- ・急勾配の上り・下りが連続した坂道や道路のくぼみなどを走行しているとき
- ・きついカーブや連続したカーブ、起伏がある場所を走行するとき
- ・車線の幅が広い、もしくは車線の端を走行するなど、隣の車線の他車が自車から離れすぎているとき
- ・車両後部に自転車キャリアなどのアクセサリーを装着しているとき
- ・検知範囲に入る他車と自車の高さに差がありすぎるとき
- ・ブレインドスポットモニターをONにした直後
- ・けん引しているとき

- 特に次のような状況では不要な検知が増えることがあります。

- ・センサーやセンサー周辺への強い衝撃などにより、センサーの位置や向きがずれているとき
- ・ガードレールや壁などとの距離が短い状況で、それらが検知範囲に入ったとき
- ・急勾配の上り・下りが連続した坂道や道路のくぼみなどを走行しているとき
- ・車線の幅が狭い、もしくは車線の端を走行するなど、隣の車線以外を走行する車両が検知範囲に入ったとき
- ・きついカーブや連続したカーブ、起伏がある場所を走行するとき
- ・タイヤがスリップ（空転）しているとき
- ・自車と後続車の車間距離が短いとき
- ・車両後部に自転車キャリアなどのアクセサリーを装着しているとき
- ・けん引しているとき

## 後方車両への接近警報

後方車両への接近警報は、リヤバンパー内側にある後側方レーダーセンサーを使用し、後方車両からの追突の可能性が高いと判断したときに、非常点滅灯を高速点滅させて後方車両に注意をうながすシステムです。

### ⚠ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。

後方車両への接近警報は自車の後方から接近してくる車両に追突される可能性が高いと判断したときに、非常点滅灯を高速点滅させて後方車両に注意をうながす補助的なシステムです。

後方車両への接近警報を使用していても状況によっては本システムが有効に機能しないことがあるため、運転者は自らの目視による安全確認をおこなう必要があります。

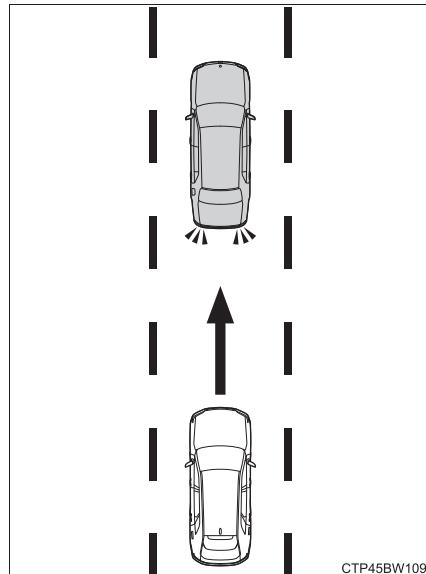
システムを過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ システムを正しく作動させるために

→ P. 321

## 後方車両への接近警報の作動

同じ車線を走行する後方車両を後側方レーダーセンサーで検出し、追突の可能性が高いと判断したときに、非常点滅灯を高速点滅させて後方車両に注意をうながします。このときマルチインフォメーションディスプレイにメッセージを表示し、後方車両の接近を運転者に知らせます。



CTP45BW109

4

運転

### □ 知識

#### ■ 後方車両への接近警報の作動条件

次の条件を満たしたときシステムが作動します。

- パワースイッチがONのとき
- シフトポジションがR以外のとき
- 方向指示レバーを操作していないとき
- 自車から見た後方車の接近速度が約30km/h～100km/hの間
- 自車の車速が約10km/h以下、または前進時でブレーキを踏んでいる

#### ■ センサーが車両を検知する条件

後方車両への接近警報は、同じ車線を走行する後方車両が追突の可能性が高い状況のとき、検知範囲に入った車両を検知します。

### ■システムが検知しない条件

後方車両への接近警報は、次のような車両や車両以外のものを検知対象としません。

- 小型のオートバイ・自転車・歩行者など \*
- ガードレール・壁・標識・駐車車両などの静止物 \*
- 対向車
- 隣の車線を走行する他車 \*

\* 状況によっては検知をすることがあります。

### ■後方車両への接近警報が正しく作動しないおそれがある状況

- 次のような状況では後方車両を正しく検知しないおそれがあります。
  - ・ センサーヤやセンサー周辺への強い衝撃などにより、センサーの位置や向きがずれているとき
  - ・ 泥・雪・氷・ステッカーなどがセンサーヤやセンサー周辺のリヤバンパーに付着したとき
  - ・ 大雨・雪・霧などの悪天候時、水たまりなどの濡れた路面に停車、または走行しているとき
  - ・ 急勾配の上り・下りが連続した坂道や道路のくぼみなどを走行しているとき
  - ・ けん引しているとき
  - ・ 後方車両と自車の中心がずれているとき
  - ・ 斜め後方から車両が近付いてくるとき
  - ・ 自車の後方に他車が急に割り込んできたとき
  - ・ 後方車両の周辺に他車が存在するとき
  - ・ 後方車両の周辺にガードレールや壁などの静止物があるとき
  - ・ 車両後部に自転車キャリアなどのアクセサリーを装着しているとき
  - ・ 後続車の高さが自車と違いがありすぎるとき
- 特に次のような状況では、衝突の可能性がなくてもシステムが作動するおそれがあります。
  - ・ センサーヤやセンサー周辺への強い衝撃などにより、センサーの位置や向きがずれているとき
  - ・ けん引しているとき
  - ・ 自車の周辺に複数台の他車が存在するとき
  - ・ 右左折待ちで停車したときなどに、自車の真うしろを車両が通過するとき
  - ・ 道路脇に停車したときなどに、車両が真横を通過するとき
  - ・ 後方車両が近距離から自車を追い越したとき
  - ・ 後方車両が近距離まで急接近したとき
  - ・ 後方車両の周辺にガードレールや壁などの静止物があるとき

## 安心降車アシスト

安心降車アシストは、リヤバンパー内側にある後側方レーダーセンサーを使用し、各席乗員による降車時のドアと車両・自転車の衝突可能性の判断の支援をすることで、事故被害低減に貢献するシステムです。

### ⚠ 警告

#### ■安全にお使いいただくために

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- 安心降車アシストは、停車中に接近してくる車両や自転車の存在を乗員に提供する補助的なシステムです。本システムだけで安全を判断できるものではないため、システムを過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

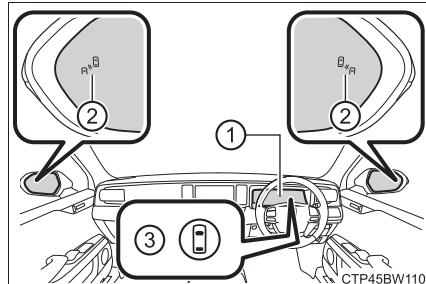
状況によっては本システムが有効に機能しないことがあるため、乗員は自らの目視やミラーなどによる安全確認を行う必要があります。

## 安心降車アシストのシステム構成部品

### ① マルチインフォメーションディスプレイ

安心降車アシストのON／OFFを切りかえます。

衝突の可能性がある状態でドアの開放をした場合に対象のドアをメーターに表示します。また、ドアミラーインジケーターが点灯した状態でドアが開けられた場合などは、上記に加えてブザーで警報を行います。



### ② ドアミラーインジケーター

開いたドアと衝突する可能性がある車両・自転車を検知したときは、検知した側のドアミラーインジケーター(→ P. 90)が点灯します。検知している側のドアを開いた場合は、ドアミラーインジケーターが点滅します。

### ③ 運転支援情報表示灯

安心降車アシストがOFFのときに点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

## 知識

### ■ ドアミラーインジケーターの視認性について

強い日差しのもとでは、ドアミラーインジケーターが見えづらいことがあります。

### ■ ブザー音の聞こえ方について

大音量のオーディオや周辺環境などで大きな音がする場合、ブザー音が聞こえづらくなる場合があります。

### ■ カスタマイズ機能

機能の一部は、設定を変更することができます。(→ P. 586)

## 警告

### ■ システムを正しく作動させるために

→ P. 321

## 安心降車アシストの ON / OFF を切りかえる

安心降車アシストの ON / OFF は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。( $\rightarrow$  P. 586)

安心降車アシストが OFF になると、運転支援情報表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

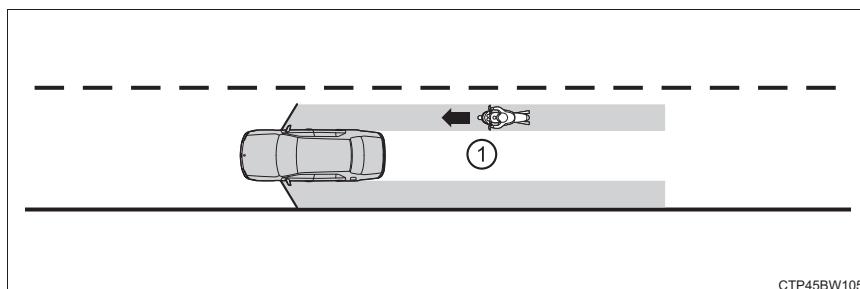
パワースイッチが ON になるたび、安心降車アシストは ON になります。※

※ パワースイッチ OFF 後、すぐにパワースイッチを ON にした場合は、安心降車アシストが ON にならない場合があります。

## 安心降車アシストの作動

### ■ 安心降車アシストが検知できる対象

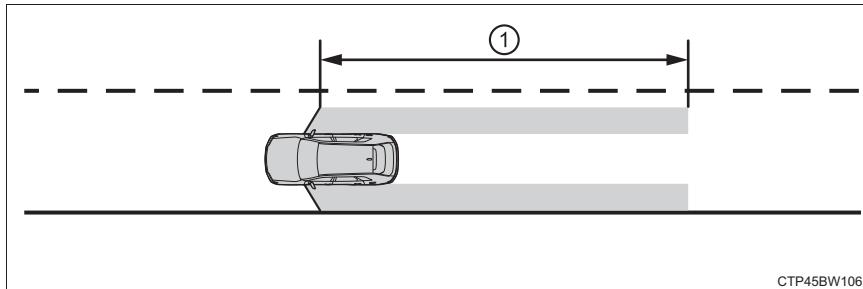
安心降車アシストは後側方レーダーセンサーにより自車の後方を走行する次の車両・自転車を検知し、ドアミラーインジケーター、ブザー、メーターの表示によってその車両の存在を乗員に知らせます。



- ① ドアを開けたときにドアと衝突する可能性が高いと判断された車両・自転車

## ■ 安心降車アシストが検知できる範囲

次の範囲に入った車両・自転車を検知します。



① フロントドアから後方約 45m の領域 ※

\* 接近する車両・自転車の速度が速いほど、ドアミラーインジケーターは車両・自転車がより遠くにいる状況で点灯・点滅します。

## □ 知識

### ■ 安心降車アシストの作動条件

次の条件をすべて満たしているときに作動します。

- パワースイッチがONのとき、ハイブリッドシステムOFF後3分以内、およびドアを開けて車内に乗り込んでから3分以内（ドア開閉が行われた場合は、作動継続時間がさらに延長される場合があります）
- 安心降車アシストがONのとき
- 停車中
- シフトレバーがR以外のとき

### ■ センサーが車両を検知する条件

安心降車アシストは、次のような状況で検知範囲に入った車両を検知します。

- 停車している自車と並行に走行する車両や自転車がドアを開けた範囲付近を通過するとき

## ■システムが車両を検知しない条件

- 安心降車アシストは、次のような車両・自転車や車両・自転車以外のものを検知対象としません。

- ・ 接近する車両・自転車の速度が遅いとき ※
- ・ ドアを開いたときに、衝突する可能性が低いと判断された車両・自転車 ※
- ・ 真うしろから接近する車両・自転車 ※
- ・ 前方から接近する車両・自転車 ※
- ・ ガードレール・壁・標識・駐車車両などの静止物 ※
- ・ 歩行者、動物など ※

※ 状況によっては検知をすることがあります。

- 安心降車アシストは、次のような状況では作動しません。

- ・ ハイブリッドシステム OFF 後に 3 分以上経過した場合（ドア開閉が行われた場合は、作動継続時間が延長される場合があります）
- ・ 自車が完全に停車していないとき

## ■システムが正しく作動しないおそれがある状況

- 次のような状況では車両や自転車を有效地に検知しないおそれがあります。

- ・ センサーヤやセンサー周辺への強い衝撃などにより、センサーの位置や向きがずれているとき
- ・ 泥・雪・氷・ステッカーなどがセンサーヤやセンサー周辺のリヤバンパーに付着したとき
- ・ 大雨・雪・霧などの悪天候時、水たまりなどの濡れた路面に停車しているとき
- ・ 隣の駐車車両に後続する車両や自転車
- ・ 後方で急な進路変更をして接近する車両や自転車
- ・ 発進した直後の車両や自転車
- ・ トランクが開いているとき
- ・ 車両後部に自転車キャリアなどのアクセサリーやスロープを装着しているとき
- ・ 後方に駐車車両や壁・標識などの静止物や人がいるとき
- ・ 道路に対して傾いて停車しているとき
- ・ 接近する車両や自転車の周囲に走行する車両があるとき
- ・ 接近する車両や自転車が壁・標識などの静止物の横を走行しながら接近しているとき
- ・ 車両や自転車が高速で接近するとき
- ・ けん引しているとき
- ・ 急勾配の坂道に停車しているとき
- ・ カーブの途中や終了地点に停車しているとき

- 特に次のような状況では不要な検知が増えることがあります。

- ・センサーヤやセンサー周辺への強い衝撃などにより、センサーの位置や向きがずれているとき
- ・自車の後方からずれた状態で車両や自転車が接近するとき
- ・道路に対して傾いて停車しているとき
- ・斜めに駐車している後方を車両や自転車が接近するとき
- ・後方に駐車車両や壁・標識などの静止物や人がいるとき
- ・後方で急な進路変更をして接近する車両や自転車
- ・接近する車両や自転車が壁・標識などの静止物の横を走行しながら接近しているとき
- ・トランクが開いているとき
- ・車両後部に自転車キャリアなどのアクセサリーやスロープを装着しているとき
- ・車両や自転車が高速で接近するとき
- ・けん引しているとき
- ・急勾配の坂道に停車しているとき
- ・カーブの途中や終了地点に停車しているとき
- ・隣接車線に停止している車両の後ろから車両や自転車が接近するとき

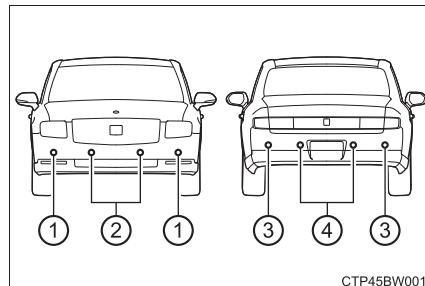
# クリアランスソナー

クリアランスソナーは、車両と壁などの静止物とのおおよその距離を超音波センサーによって検知して、マルチメディアディスプレイの距離表示とブザー音、音声案内で運転者にお知らせします。

## システムの構成部品

### ■ センサーの種類

- ① フロントコーナーセンサー
- ② フロントセンターセンサー
- ③ リヤコーナーセンサー
- ④ リヤセンターセンサー



### ■ クリアランスソナーの表示のしかた

壁などの静止物を検知すると、マルチメディアディスプレイに表示されます。

イラストは説明のための例であり、仕様により異なります。

#### ● マルチメディアディスプレイの表示



### ■ クリアランスソナー検知表示灯★

静止物を検知するとクリアランスソナー検知表示灯が点灯します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識**■クリアランスソナー検知表示灯の有無について**

クリアランスソナーが OFF の状態でシフトポジションを R にしたとき、クリアランスソナー OFF 表示灯 (→ P. 336) が消灯する車両はクリアランスソナー検知表示灯があります。

**クリアランスソナーの ON / OFF を切りかえるには**

クリアランスソナーの ON / OFF は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。 (→ P. 586)

クリアランスソナー機能が OFF のときは、クリアランスソナー OFF 表示灯 (→ P. 90) が点灯します。

OFF (非作動) に切りかえて、クリアランスソナーを停止させた場合、再度、カスタマイズメニュー (→ P. 586) から ON (作動) に切りかえないシステムは復帰しません。

(パワースイッチを OFF にしたあとで再度 ON にしても、復帰しません)

クリアランスソナー検知表示灯がある車両は、シフトポジションを R にすると自動的に ON( 作動 ) になり、クリアランスソナー OFF 表示灯が消灯します。

このとき、クリアランスソナー機能の ON / OFF を切りかえることができません。

クリアランスソナー機能の設定自体は変更されません。

## ⚠️ 警告

### ■ 安全にお使いいただくために

本システムは認識性能・制御性能に限界があります。システムを過信せず、運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。

### ■ システムを正しく作動させるために

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- センサーに傷を付けたりぜずに、常にきれいにしておいてください。
- センサー付近に市販の電装部品（字光式ナンバープレート・フォグランプ・フェンダーポール・無線アンテナなど）を取り付けないでください。
- センサー周辺へ衝撃を与えないでください。衝撃を受けた際はトヨタ販売店で点検を受けてください。前後のバンパー・グリルの脱着や交換が必要な場合はトヨタ販売店にご相談ください。
- 改造・分解・塗装をしないでください。
- ライセンスプレートカバーを取り付けないでください。
- 適正なタイヤ空気圧を維持してください。
- 純正品以外のサスペンションを取り付けないでください。

### ■ 洗車時の注意

- 高圧洗車機を使用して洗車するときは、センサー部に直接水をあてないでください。強い水圧により衝撃が加わり、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- スチームを使用した洗車機などで洗車するときは、スチームをセンサー部に近付けすぎないようにしてください。スチームにより、正常に作動しなくなるおそれがあります。

 知識

## ■ 作動条件

- パワースイッチが ON モードのとき
- クリアランスソナー機能が ON のとき
- 車両の速度が約 10km/h 以下のとき
- フロントコーナーセンサー：シフトポジションが P 以外にあるとき
- フロントセンターセンサー：シフトポジションが P・R 以外にあるとき
- リヤコーナー、リヤセンターセンサー：シフトポジションが R にあるとき
- クリアランスソナー検知表示灯がある車両は、シフトポジションを R にすると、クリアランスソナー機能を OFF (非作動) に設定している場合でも、自動的に ON (作動) になり、クリアランスソナー OFF 表示灯が消灯します。  
クリアランスソナー機能の設定自体は変更されません。

## ■ センサーの検知について

- センサーの検知範囲は車両前部と後部のバンパー周辺に限られます。
- 静止物の形状・条件によって検知できる範囲が短くなることや、検知できないことがあります。
- センサーが静止物に近付きすぎると検知できないことがあります。
- 静止物を検知してから、表示が出る（ブザーが鳴る）までに多少時間がかかります。低速走行時の場合でも表示が出る（ブザーが鳴る）までに、静止物まで約 30cm 以内に接近するおそれがあります。
- オーディオ・エアコン使用時は、音楽やファンの音などにより、ブザーの音が聞き取りづらくなる場合があります。
- 他システムのブザーの音などにより本システムの音が聞き取りづらくなる場合があります。
- メーター故障時はブザーの音が鳴らないことがあります。

## ■システムが正しく検知できることがある静止物

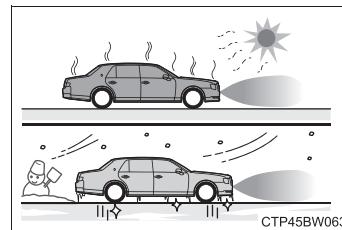
静止物の形状・条件によっては検知できる範囲が短くなることや、次のようなものは検知しないことがあります。注意して運転してください。

- 針金・フェンス・ロープなどの細いもの
- 綿・雪などの音波を吸収しやすいもの
- 鋭角的な形のもの
- 背の低いもの
- 背が高く上部が張り出しているもの  
特に人は衣類の種類によっても検知できない場合がありますので、常に目視で確認してください。

## ■システムが正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況では、センサーが正常に作動しないことがあります。

- センサーに氷・雪・泥などが付着したとき（取り除けば、正常に復帰します）
- センサー部が凍結したとき（解ければ、正常に復帰します）  
特に低温時には凍結などにより異常表示が出たり、壁などの静止物があっても検知しないことがあります。
- 炎天下や寒冷時



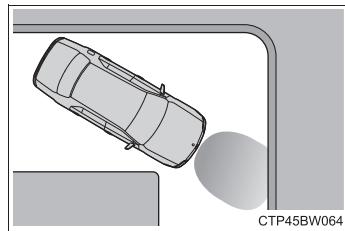
- 凸凹道・坂道・砂利道・草むら走行時など
- 他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレーキ音・他車のセンサーなど超音波を発生するものが近付いたとき
- 大雨や水しぶきがかかったとき
- センサーに静止物が近付きすぎたとき
- 超音波を反射しにくい歩行者（例：ギャザーやフリルの多いスカートなど）
- 地面に対して垂直でないもの、車両進行方向に対して直角でないもの、凹凸なもの、波打っているものが検知範囲にあるとき
- 風が強いとき
- 霧・雪・砂嵐などの悪天候のとき
- 作動対象物と車両のあいだに検知できない対象物があるとき
- 車・オートバイ・自転車・歩行者などの作動対象が車両の横から割り込んだり、飛び出してきたとき

- 衝突などで、センサーの方向がずれたとき
- センサー付近にけん引フック・バンパー・プロテクター・バンパートリム・サイクリキャリア・除雪装置（スノーブラウ）などを取り付けたとき
- 積載状況などにより車高が著しく変化したとき（ノーズアップ・ノーズダウンなど）
- 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
- タイヤチェーン・応急用タイヤ・タイヤパンク応急修理キットを使用しているとき
- けん引しているとき

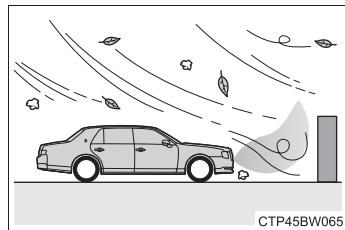
#### ■衝突の可能性がなくてもシステムが作動する状況

次のような状況では、衝突の可能性がなくてもシステムが作動する場合があります。

- 狭い道路を走行するとき

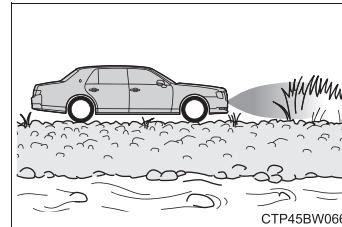


- 垂れ幕や旗やのれん、垂れ下がった枝、遮断機（踏切のバー・ETCのバー・駐車場のバーなど）に向かって走行するとき
- 地面にわだちや穴があるとき
- 排水溝などの金属のフタ（グレーチング）走行時
- 急な登坂路や降坂路を走行するとき
- 冠水している道路でセンサーに水がかぶったとき
- センサーに水滴・氷・雪・泥などが付着したとき（取り除けば、正常に復帰します）
- 大雨や水しぶきがかかったとき
- 霧・雪・砂嵐などの悪天候のとき
- 風が強いとき



- 他車のホーン・オートバイのエンジン音・大型車のエアブレーキ音・他車のセンサーなど超音波を発生するものが近付いたとき

- 積載状況などにより車高が著しく変化したとき（ノーズアップ・ノーズダウンなど）
- 衝突などで、センサーの方向がずれたとき
- 背の高い縁石や直角の縁石に向かって進んだとき
- 立体駐車場や工事現場などで柱（H形鋼など）の付近を走行するとき
- 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
- 凸凹道・坂道・砂利道・草むら走行時など



- タイヤチェーン・応急用タイヤ・タイヤパンク応急修理キットを使用しているとき
- けん引しているとき

## 距離表示の見方

### ■ 静止物を検知できる範囲

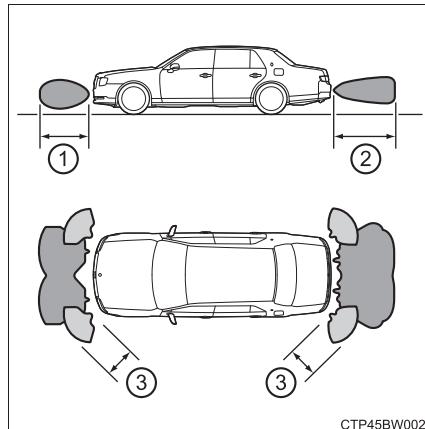
① 約 100cm

② 約 150cm

③ 約 60cm

検知できる範囲は図のとおりです。  
ただし、静止物がセンサーに近付きすぎると検知できません。

静止物の形状・条件によっては、検知できる距離が短くなることや、検知できないことがあります。



CTP45BW002

### ■ 検知距離とブザー音

静止物までのおおよその距離	ブザー音
フロントセンターセンサー： 約 100cm ~ 60cm*	断続音
リヤセンターセンサー： 約 150cm ~ 60cm*	
約 60cm ~ 45cm*	速い断続音
約 45cm ~ 30cm*	非常に速い断続音
約 30cm 以下	継続音

\* 自動ミュート機能あり (→ P. 343)

## 音声案内とブザー音

### ■ ブザー動作と静止物までの距離

静止物を検知すると、ブザーが鳴ります。

ブザー音と同時に音声案内を行います。

- 静止物との距離が近付くと、ブザーの断続時間が短くなります。静止物との距離が約 30cm 以下のとき、ブザーは断続音「ピピ」から連続音「ピー」になります。
- 複数のセンサーが同時に静止物を検知しているときは、もっとも近い静止物との距離に合わせたブザー音が鳴ります。
- 断続音ブザー吹鳴後、静止物との距離が近づかない場合は、自動でブザーが消音されます。(自動ミュート機能)

### □ 知識

#### ■ ブザー音量調整

カスタマイズメニューから、クリアランスソナー、RCTA の音量を一括で切りかえることができます。(→ P. 586)

#### ■ ブザー音の一時ミュート（消音）について

マルチメディアディスプレイに一時ミュート（消音）スイッチが表示されているときにこのスイッチを押すと、一時的にブザー音を消すことができます。

クリアランスソナー、RCTA のブザー音が一括でミュート（消音）されます。

- 次のとき、自動でミュート（消音）が解除されます。

- ・シフトポジションを切りかえたとき
- ・車速が一定値以上になったとき
- ・センサー異常やシステムが一時使用不可となったとき
- ・使用中の機能を OFF にしたとき
- ・パワースイッチを OFF にしたとき

## RCTA（リヤクロストラフィックアラート）

RCTA（リヤクロストラフィックアラート）機能はリヤバンパー内側にあるブラインドスポットモニターの後側方レーダーセンサーを使用し、運転者の目視だけでは感知しづらい領域の確認を補助する機能です。後退時に運転者を支援します。

### ⚠️ 警告

#### ■ 安全にお使いいただくために

安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。

RCTA機能は自車の右後方または左後方から接近してくる車両の存在を運転者に提供する補助的なシステムです。

RCTA機能を使用していても状況によっては本システムが有効に機能しないことがあるため、運転者は自らの目視による安全確認をおこなう必要があります。

システムを過信すると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ システムを正しく作動させるために

→ P. 321

## システムの構成部品

### ① メーター操作スイッチ

メーター操作スイッチを操作して、マルチインフォメーションディスプレイ上で RCTA 機能の ON / OFF を切りかえます。

### ② ドアミラーインジケーター

自車の右後方または左後方から接近している車両を検知したときは、両側のドアミラーインジケーター（→ P. 90）が点滅し、ブザーが鳴ります。

### ③ マルチメディアディスプレイ

自車の右後方または左後方から接近している車両を検知したときは、マルチメディアディスプレイに検知した側の RCTA アイコン（→ P. 346）が点灯します。

イラストは両後方から車両が接近している例です。

### ④ 運転支援情報表示灯

RCTA が OFF のときに点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

## 設定のしかた

RCTA の ON / OFF は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。（→ P. 586）

RCTA 機能が OFF のとき、運転支援情報表示灯（→ P. 90）が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。パワースイッチが ON になるたび、RCTA 機能は ON になります。

### □ 知識

#### ■ ドアミラーインジケーターの視認性について

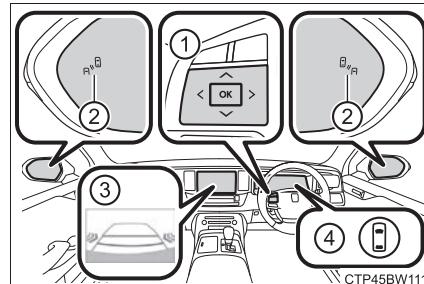
強い日差しのもとでは、ドアミラーインジケーターが見えづらいことがあります。

#### ■ RCTA ブザー音の聞こえ方について

大音量のオーディオなど大きな音がする場合、RCTA ブザー音が聞こえづらくなる場合があります。

#### ■ 後側方レーダーセンサーについて

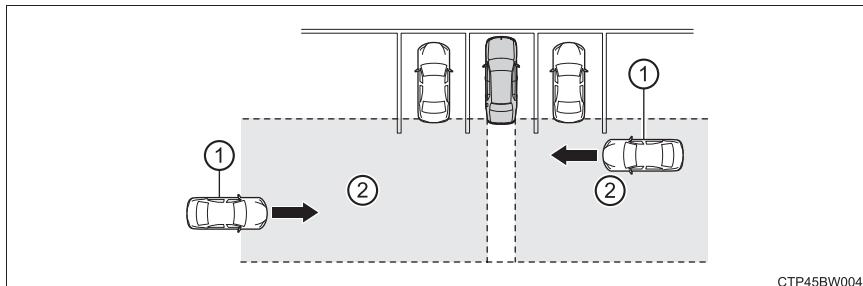
→ P. 321



## RCTA 機能

### RCTA 機能の作動

RCTA 機能は後側方レーダーセンサーにより自車の右後方または左後方から接近している車両を検知し、ドアミラーのインジケーターとブザーによってその車両の存在を運転者に知らせます。

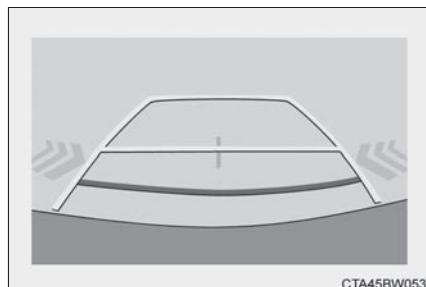


- ① 接近車両
- ② 接近車両を検知できる範囲

### RCTA アイコンの表示

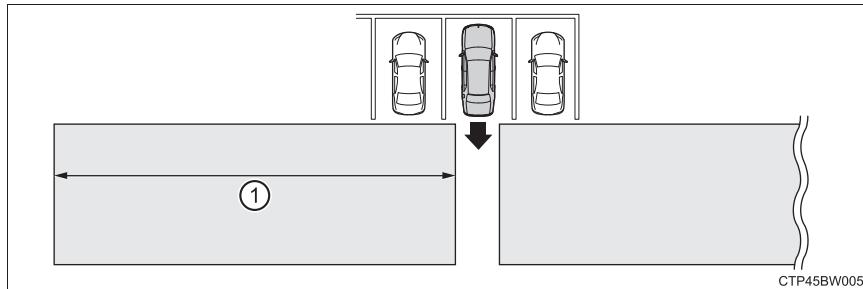
自車の右後方または左後方から接近している車両を検知したときは、マルチメディアディスプレイ上に次の表示をします。

例：両方向から車両が接近しているとき



## ■ RCTA 機能で検知できる範囲

次の範囲に入った車両を検知します。



速度が速い車両に対しては、より離れた位置で警報ブザーを鳴らします。

例：

接近車両の速度	①警報距離（概算）
56km/h（速い）	30m
8km/h（遅い）	4m

## 知識

### ■ RCTA 機能の作動条件

RCTA 機能は、次の条件をすべて満たしているときに作動します。

- パワースイッチが ON モードのとき
- RCTA 機能が ON のとき
- シフトレバーが R のとき
- 自車の車速が約 15km/h 以下のとき
- 接近する他車の車速が約 8km/h ~ 約 56km/h のあいだのとき

### ■ ブザーの音量調整について

カスタマイズメニューから、RCTA、クリアランスソナーの音量を一括で切り換えることができます。( $\rightarrow$  P. 586)

### ■ ブザー音の一時ミュート（消音）

作動対象を検知した場合、マルチメディアディスプレイ上に一時ミュート（消音）スイッチが表示されます。

これを押すとクリアランスソナー、RCTA のブザー音が一括でミュート（消音）されます。

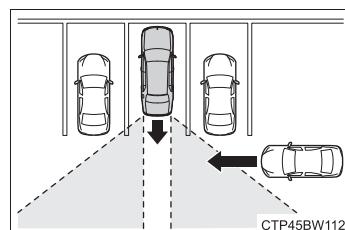
一時ミュート（消音）が解除されるとき：

- シフトレバーを切りかえたとき
- 車速が一定値以上になったとき
- センサー異常やシステムが一時使用不可となったとき
- 使用中の機能を OFF にしたとき
- パワースイッチを OFF にしたとき

### ■ システムが検知しない車両について

RCTA 機能は、次のような車両や車両以外のものを検知対象としません。

- 真後ろから接近する車両
- 自車の隣の駐車スペースで後退する車両
- 障害物のためにセンサーが検知できない車両



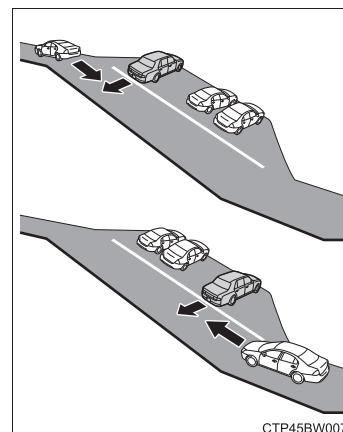
- ガードレール・壁・標識・駐車車両などの静止物  $\ast$

- 小型のオートバイ・自転車・歩行者など\*
  - 自車から遠ざかる車両
  - 自車の隣の駐車スペースから接近する車両\*
  - センサーと接近車両との距離が近すぎる場合
- \* 状況によっては検知をすることがあります。

#### ■システムが正常に作動しないおそれのある状況

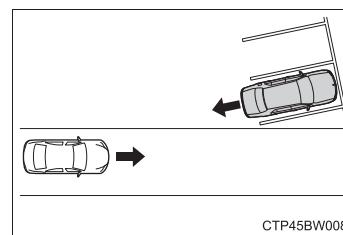
RCTA 機能は、次のような状況では車両を有効に検知しないおそれがあります。

- センサーやセンサー周辺への強い衝撃などにより、センサーの位置や向きがずれているとき
- 泥・雪・氷・ステッカーなどがセンサーやセンサー周辺のリヤバンパーに付着したとき
- 大雨・雪・霧などの悪天候時、水たまりなどのぬれた路面を走行するとき
- 複数台の他車が狭い間隔で連続して接近するとき
- 車両が高速で接近するとき
- センサー付近にけん引フック・バンパー・プロテクター・バンパートリム・サイクリルキャリア・除雪装置（スノープラウ）などを取り付けたとき
- 勾配の変化が激しい坂で後退しているとき



CTP45BW007

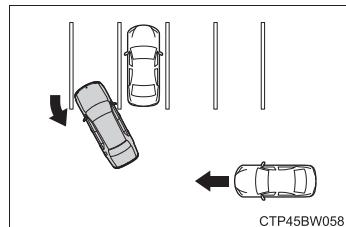
- 斜めの駐車場から出庫するとき



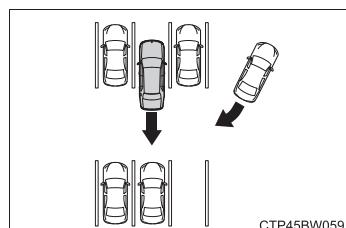
CTP45BW008

- RCTA 機能を ON にした直後

- RCTA 機能を ON にした状態で、ハイブリッドシステムを始動した直後
- 障害物のためにセンサーが車両を検知できないとき
- けん引しているとき
- 検知範囲に入る他車と自車の高さに差がありすぎるとき
- 炎天下や寒冷時
- ローダウンサスペンションや、純正と異なるサイズのタイヤを取り付けたとき
- 車高が極端に変化しているとき（ノーズアップ、ノーズダウンなど）
- 自車が旋回しているとき



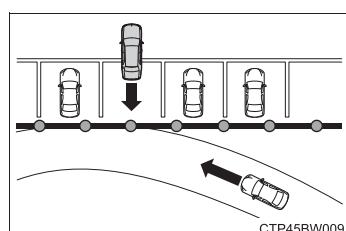
- 旋回しながら車両が近づいてきたとき



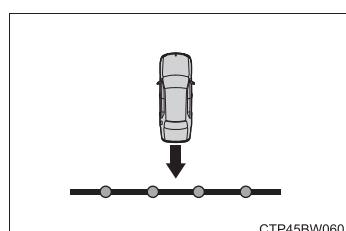
#### ■衝突の可能性がなくてもシステムが作動する状況

RCTA 機能は、特に次のような状況では不要な検知が増えることがあります。

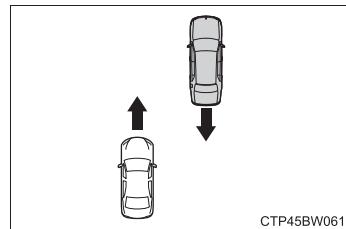
- 駐車場に面した道を車両が走行しているとき



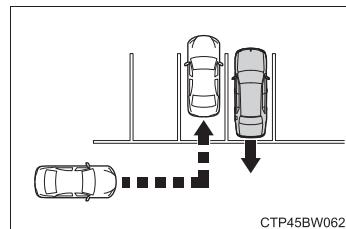
- 車両後方に電波の反射しやすい金属（ガードレール・壁・標識・駐車車両など）が存在するとき



- センサー付近にけん引フック・バンパー・プロテクター・バンパー・トリム・サイクルキャリア・除雪装置（スノープラウ）などを取り付けたとき
- 車両が自車の横を通過するとき



- 自車の近くで旋回していく移動物が存在するとき



- 自車近くに室外機などの回転体があるとき
- センサーに向けてスプリンクラーなどによる水の飛散があったとき
- 動いているもの（旗・排気ガス・大粒の雨や雪、路面の雨水など）
- ガードレールや壁などとの距離が短い状況で、それらが検知範囲に入ったとき
- グレーチングや側溝
- 炎天下や寒冷時
- ローダウンサスペンションや、純正と異なるサイズのタイヤを取り付けたとき
- 車高が極端に変化しているとき（ノーズアップ、ノーズダウンなど）
- けん引しているとき

## PKSB（パーキングサポートブレーキ）

PKSB（パーキングサポートブレーキ）は、駐車時などの低速走行時に作動対象を検知した場合、警報と自動ブレーキ抑制で作動対象との衝突被害の低減に寄与するシステムです。

### 駐車支援機能

システムは次のものを作動対象として検出しています。（機能によって、作動対象が異なります。）

- パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）（→ P. 357）
- パーキングサポートブレーキ（後方接近車両）（→ P. 361）

### !**警告**

#### ■安全にお使いいただくために

システムを過信しないでください。システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。

道路状況、車両状態および天候など、状況によっては作動しない場合があります。

センサー、レーダーでの検知には限界があります。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。PKSB（パーキングサポートブレーキ）は作動対象への衝突を緩和し、衝突被害低減に寄与できる場合がありますが、状況によっては作動しない場合もあります。

- PKSB（パーキングサポートブレーキ）は、完全に車両を停止させるシステムではありません。また、車両を停止させることができたとしても、ブレーキ制御は約2秒で解除されるため、すぐにブレーキペダルを踏んでください。

- 故意に車や壁に向かって走行するなど、システムの作動を確認する行為は大変危険です。絶対におやめください。

## ⚠️ 警告

### ■ パーキングサポートブレーキを OFF にするとき

次のときは、PKSB（パーキングサポートブレーキ）を OFFにしてください。衝突の可能性がなくともシステムが作動する場合があります。

- 点検などで、シャシーローラー・シャシーダイナモ・フリーローラーなどを使用するとき
- 船舶・トラックなどへ積載する際の進入時
- ローダウンサスペンションや、純正と異なるサイズのタイヤを取り付けたとき
- 積載状況などにより車高が著しく変化したとき（ノーズアップ、ノーズダウンなど）
- センサー付近にけん引フック・輸送用フック・バンパー・プロテクター・バンパー・トリム・サイクリルキャリア・除雪装置（スノープラウ）などを取り付けたとき
- 自走式洗車機を利用するとき
- 事故や故障で自車の走行が不安定なとき
- オフロード走行やスポーツ走行をするとき
- タイヤの空気圧が適正でないとき
- 著しく摩耗したタイヤを装着しているとき
- タイヤチェーン・応急用タイヤ・タイヤパンク応急修理キットを使用しているとき
- けん引しているとき

### ■ サスペンションの取り扱いについて

車高や車の傾きが変化すると、センサーが作動対象物を正しく検知できなくなり、システムが正しく作動しなくなるおそれがあり危険です。サスペンションの改造はしないでください。

## システムを作動させるには

パーキングサポートブレーキの ON / OFF は、カスタマイズメニューから切りかえることができます。( $\rightarrow$  P. 586)

PKSB (パーキングサポートブレーキ) が OFF のとき、運転支援情報表示灯 ( $\rightarrow$  P. 90) が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

PKSB (パーキングサポートブレーキ) を OFF (非作動) にした場合、再度、カスタマイズメニュー ( $\rightarrow$  P. 586) から ON (作動) にしないとシステムは復帰しません。

(パワースイッチを OFF にしたあとで再度 ON にしても、復帰しません)

## ハイブリッドシステム出力抑制制御・ブレーキ制御の表示・ブザーについて

ハイブリッドシステム出力抑制制御・ブレーキ制御が作動したときは、ブザーでお知らせするとともに、マルチメディアディスプレイおよびマルチインフォメーションディスプレイに、システムによる加速制限を示すメッセージや、ブレーキ操作を促すメッセージが表示されます。

出力抑制制御は状況により、加速制限制御か出力最大抑制制御のいずれかが作動します。

### ● ハイブリッドシステム出力抑制制御作動中（加速制限御）

一定以上の加速をシステムが制限しているとき：

マルチメディアディスプレイ表示：表示なし

マルチインフォメーションディスプレイ表示：“加速抑制中です”

運転支援情報表示灯：消灯のまま

ブザー：吹鳴なし

### ● ハイブリッドシステム出力抑制制御作動中（出力最大抑制御）

通常よりやや強めのブレーキ操作が必要だとシステムが判断したとき：

マルチインフォメーションディスプレイ表示：“ブレーキ！”

運転支援情報表示灯：消灯のまま

ブザー：ピー（単発音）

### ● ブレーキ制御作動中

急ブレーキが必要だとシステムが判断したとき：

マルチインフォメーションディスプレイ表示：“ブレーキ！”

運転支援情報表示灯：消灯のまま

ブザー：ピー（単発音）

## ● システム作動により車両停止

ブレーキ制御作動後に車両が停止したとき：

マルチインフォメーションディスプレイ表示例：“アクセルが踏まれています ブレーキを踏んでください”、“ブレーキを踏んでください”

運転支援情報表示灯：点灯

ブザー：ピピピピ（連続音）

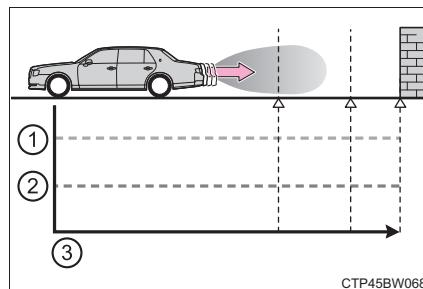
### PKSB（パーキングサポートブレーキ）の作動について

PKSB（パーキングサポートブレーキ）は、衝突の可能性がある作動対象（壁などの静止物、後方接近車両）を検知したとき、ハイブリッドシステムの出力を抑制することにより車速の上昇を抑えます。（ハイブリッドシステム出力抑制制御：図2）

また、そのままアクセルペダルを踏み続けた場合は、ブレーキをかけ減速させます。（ブレーキ制御：図3）

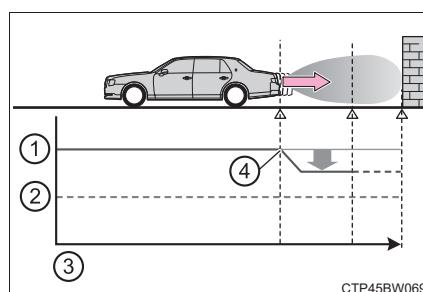
#### ● 図1 (PKSB [パーキングサポートブレーキ] 非作動時)

- ① ハイブリッドシステム出力
- ② 制動力
- ③ 時間



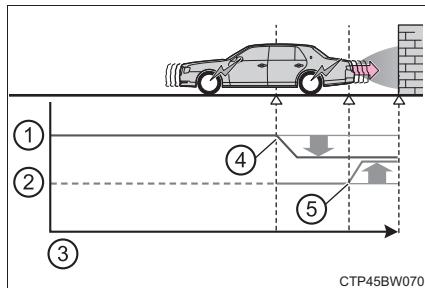
#### ● 図2 (ハイブリッドシステム出力抑制制御時)

- ① ハイブリッドシステム出力
- ② 制動力
- ③ 時間
- ④ ハイブリッドシステム出力抑制制御開始（作動対象と衝突の可能性があるとシステムが判断したとき）



● 図 3 (ハイブリッドシステム出力抑制制御かつブレーキ制御時)

- ① ハイブリッドシステム出力
- ② 制動力
- ③ 時間
- ④ ハイブリッドシステム出力抑制制御開始 (作動対象と衝突の可能性があるとシステムが判断したとき)
- ⑤ ブレーキ制御開始 (作動対象と衝突の可能性が非常に高いとシステムが判断したとき)



## ■ 知識

### ■ PKSB (パーキングサポートブレーキ) が作動したときは

システム作動により車両が停止した場合、PKSB (パーキングサポートブレーキ) が停止して、運転支援情報表示灯が点灯します。

また、PKSB (パーキングサポートブレーキ) が作動した場合でもブレーキ制御は約 2 秒で解除されるため、そのまま発進できます。

また、ブレーキペダルを踏んでも解除されるため、再度アクセルペダルを踏むと発進できます。

### ■ PKSB (パーキングサポートブレーキ) 作動後の復帰について

システム作動により PKSB (パーキングサポートブレーキ) が停止したときに、PKSB (パーキングサポートブレーキ) を復帰させたい場合は、再度 PKSB (パーキングサポートブレーキ) を ON にするか、パワースイッチをいったん OFF にしてから、再度 ON してください。

また、次の状況でも自動的に PKSB (パーキングサポートブレーキ) が復帰し、運転支援情報表示灯が消灯します。 (→ P. 90)

- シフトポジションを P にする
- 進行方向の作動対象がなくなった状態で走行する
- 車両の進行方向を切りかえる

### ■ クリアランスソナーのブザーについて

クリアランスソナーの ON / OFF に関係なく (→ P. 336)、PKSB (パーキングサポートブレーキ) を停止させていなければ (→ P. 354)、ブレーキ制御とハイブリッドシステム出力抑制制御が作動すると、クリアランスソナーのブザーも鳴り、作動対象とのおよその距離をお知らせします。

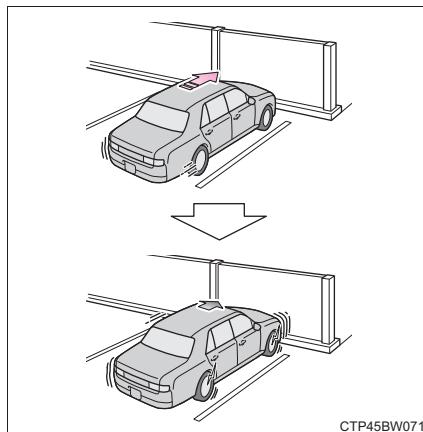
## パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）

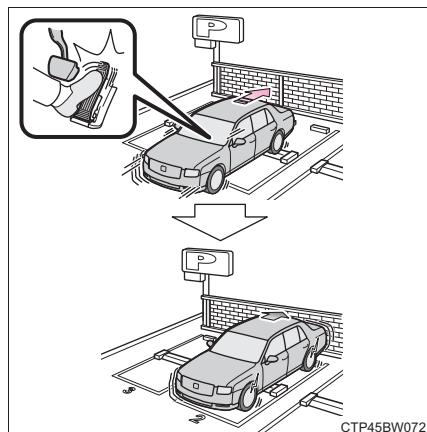
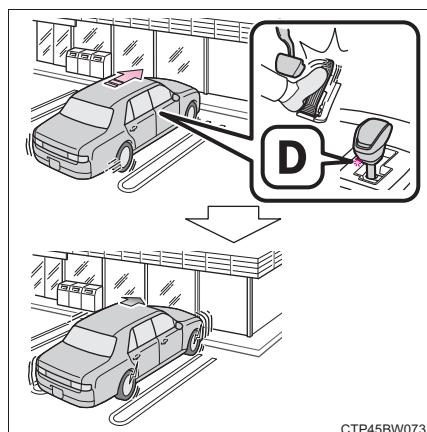
駐車時や低速走行時において、壁などの静止物への衝突のおそれがあるときや、アクセルペダルの踏み間違いや踏みすぎによる急発進、および、シフトポジション選択を誤っての発進時に、センサーが前後進行方向の静止物を検知するとシステムが作動し、衝突を緩和し衝突被害低減に寄与します。

### システム作動例（前後方静止物）

次のようなときに進行方向の静止物を検知してシステムが作動します。

- 低速走行時にブレーキペダルを踏み損なってしまった、または踏み遅れてしまったとき



**■ アクセルペダルを踏みすぎてしまったとき****■ 誤ってシフトポジションを D にして前進してしまったとき**

## センサーの種類

→ P. 335

### ⚠ 警告

#### ■ システムを正しく作動させるために

→ P. 337

#### ■ 万一、踏切内などで PKSB（パーキングサポートブレーキ）が誤って作動したときは

→ P. 356

#### ■ 洗車時の注意

→ P. 337

### □ 知識

#### ■ パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）の作動開始条件

運転支援情報表示灯が点灯（→ P. 88、90）しておらず、次の条件をすべて満たすと作動します。

##### ● ハイブリッドシステム出力抑制制御

- ・PKSB（パーキングサポートブレーキ）を ON（作動）にしているとき
- ・車速が約 15km/h 以下
- ・車両進行方向に作動対象となる静止物があるとき（約 2 ~ 4m 先まで）
- ・衝突回避には、通常よりやや強めのブレーキ操作が必要とシステムが判断したとき

##### ● ブレーキ制御

- ・ハイブリッドシステム出力抑制制御作動中
- ・衝突回避には、急ブレーキ操作が必要とシステムが判断したとき

### ■ パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）の作動終了条件

次のいずれかの条件のときに作動が終了します。

#### ● ハイブリッドシステム出力抑制制御

- ・PKSB（パーキングサポートブレーキ）を OFF（非作動）にしたとき
- ・通常のブレーキ操作で衝突回避が可能になったとシステムが判断したとき
- ・車両進行方向の作動対象となる静止物がなくなったとき（約 2 ~ 4m 先まで）

#### ● ブレーキ制御

- ・PKSB（パーキングサポートブレーキ）を OFF（非作動）にしたとき
- ・ブレーキ制御により車両が停止して約 2 秒が経過したとき
- ・ブレーキ制御により車両が停止したあとに、ブレーキペダルを踏んだとき
- ・車両進行方向の作動対象となる静止物がなくなったとき（約 2 ~ 4m 先まで）

### ■ パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）の検知範囲について

パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）の検知範囲は、クリアランスソナーの検知範囲（→ P. 342）とは異なります。そのため、クリアランスソナーが静止物との接近をお知らせしても、パーキングサポートブレーキ（前後方静止物）は作動を開始していない場合があります。

### ■ システムが正常に作動しないおそれのある状況

→ P. 339

### ■ 衝突の可能性がなくともシステムが作動する状況

→ P. 340

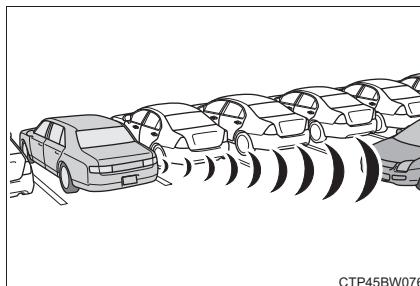
## パーキングサポートブレーキ（後方接近車両）

後側方レーダーセンサーで自車の右後方または左後方から接近している車両を検知し、システムが衝突の危険性があると判断した場合にブレーキ制御をすることで、接近車両への衝突を緩和し衝突被害軽減に寄与します。

### システム作動例

次のようなときに進行方向の車両を検知してシステムが作動します。

- 後退時、車両接近中にブレーキペダルを踏み損なってしまった、または踏み遅れてしまったとき



CTP45BW076

4

運転

### センサーの種類

→ P. 321

#### ⚠ 警告

- システムを正しく作動させるために

→ P. 321

 知識**■ パーキングサポートブレーキ（後方接近車両）の作動開始条件**

運転支援情報表示灯が点灯（→ P. 88、90）しておらず、次の条件をすべて満たすと作動します。

**● ハイブリッドシステム出力抑制制御**

- ・ PKSB（パーキングサポートブレーキ）を ON（作動）にしているとき
- ・ 車速が約 15km／h 以下
- ・ 後側方から接近する車両の車速が約 8km／h 以上
- ・ シフトポジションが R のとき
- ・ 後側方からの接近車両への衝突回避には、通常よりやや強めのブレーキ操作が必要とシステムが判断したとき

**● ブレーキ制御**

- ・ ハイブリッドシステム出力抑制制御作動中
- ・ 後側方からの接近車両への衝突回避には、急ブレーキ操作が必要とシステムが判断したとき

**■ パーキングサポートブレーキ（後方接近車両）の作動終了条件**

次のいずれかの条件のときに作動が終了します。

**● ハイブリッドシステム出力抑制制御**

- ・ PKSB（パーキングサポートブレーキ）を OFF（非作動）にしたとき
- ・ 通常のブレーキ操作で衝突回避が可能になったとき
- ・ 自車後側方への接近車両がなくなったとき

**● ブレーキ制御**

- ・ PKSB（パーキングサポートブレーキ）を OFF（非作動）にしたとき
- ・ ブレーキ制御により車両が停止して約 2 秒が経過したとき
- ・ ブレーキ制御により車両が停止したあとに、ブレーキペダルを踏んだとき

**■ システムが正常に作動しないおそれのある状況**

→ P. 349

**■ 衝突の可能性がなくてもシステムが作動する状況**

→ P. 350

## ドライブモードセレクト

走行・使用状況に合わせて次のモードを選択できます。

### ◆ ノーマルモード

燃費性能、静粛性、運動性能のバランスが良く、市街地を走行する場合に適しています。

### ◆ エコドライブモード

スロットルの特性を穏やかに設計することで、エコ運転中のドライバーのアクセル操作をアシストします。またエアコン（暖房／冷房）も作動を抑え、燃費の向上を意識した走行に適しています。

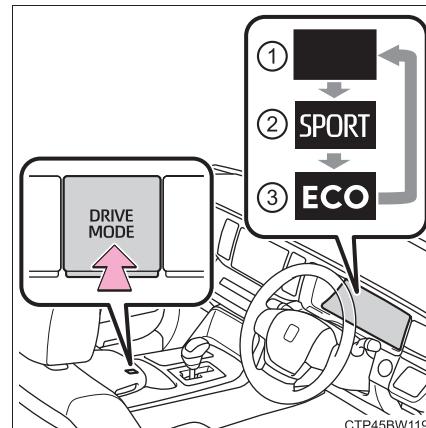
### ◆ スポーツモード

ハイブリッドシステムに加え、ステアリングやサスペンションを総合的に制御することにより操縦性・安定性の確保に貢献し、よりスポーティな走りを楽しみたいときに適しています。

### 走行モードを選択するには

スイッチを押すごとに、走行モードがノーマルモード・スポーツモード・エコドライブモードの順に切りかわります。

- ① ノーマルモード
- ② スポーツモード
- ③ エコドライブモード



 知識**■エコドライブモード時のエアコン作動について**

エコドライブモードは、暖房／冷房の作動や風量を抑制して、燃費向上を図っています。空調の効きをより良くしたいときは、風量の調整またはエコドライブモードの解除をしてください。

**■スポーツモードの自動解除**

スポーツモードは、パワースイッチを OFF になるとノーマルモードにもどります。

**■走行モードを選択しているときのマルチインフォメーションディスプレイ表示**

選択した走行モードによって、マルチインフォメーションディスプレイの表示が切りかわる場合があります。

## 電子制御エアサスペンション

乗員や荷物重量にかかわらず、一定の車高を維持します。  
また、車高選択スイッチで車高を選択することができます。

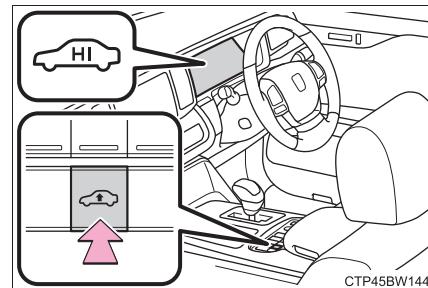
### 車高を選択するには

路面の状況や走行状態にあわせて、車高選択スイッチで HIGH 車高を選択することができます。

HIGH 車高にするにはスイッチを押す

HIGH 車高を選択すると、メーター内のエアサスペンション HIGH モード表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと、もとに戻ります。



### □ 知識

#### ■ 作動条件

ハイブリッドシステムが作動しているとき

#### ■ 車高制御の保護機能

車高選択スイッチの操作などで車高の昇降を繰り返すと、システムが一時的に作動しなくなることがあります。

#### ■ 車高制御が正常に作動しないおそれのある状況

● 次のような状況では、車高の昇降速度が遅くなったり、正常な車高まで昇降しないおそれがあります。

- ・車体が雪・氷・石などにあたるとき
- ・気温が低いとき
- ・ブレーキペダルを踏んで停車しているとき
- ・ブレーキホールドシステムが作動しているとき
- ・段差や凹凸の大きい道路
- ・傾斜した道路

### ■エアサスペンション用コンプレッサーの作動音

乗車や荷物の積み込みなどによって車高が低下したときやHIGHモードを選択したときなどに、コンプレッサーが作動して“ヴィーン”という音が聞こえることがあります。異常ではありません。

### ■マルチインフォメーションディスプレイに「エアサスペンションシステムチェック」と表示されたときは

システムが正常に作動しないおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。



#### 警告

### ■エアサスペンションについて

次の状況では、エアサスペンションの作動を停止するために、ハイブリッドシステムを停止してください。車高がかわり車両に体が挟まれたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 縁石などに乗り上げて駐車するとき
- 脱輪したとき
- ジャッキアップするとき
- 車両を固縛するとき
- レッカーカーなどで車両を持ち上げてけん引するとき

### ■車高制御について

車高選択スイッチで車高を変えるときは、十分に周囲の安全を確かめてください。車高が変わったときに、車両に体が挟まれたりして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。



#### 注意

### ■駐車するとき

長時間駐車する場合、気温の変化などにより車高が変わることがあります。駐車するときは、車高が変わったときに車体に接触するものがないことを確認してください。

乗員が降りたときは、通常より車高が高くなりますので、高さ制限のある場所では注意してください。

## 運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を確保するため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらの装置は補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

### ◆ ECB（電子制御ブレーキシステム）

電子制御により、ブレーキ操作に応じたブレーキ力を発生させます。

### ◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

### ◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

### ◆ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

### ◆ S-VSC（ステアリングアシスティッドビークルスタビリティコントロール）

ABS・TRC・VSC・EPSを協調して制御します。

すべりやすい路面などの走行で急なハンドル操作をした際に、ハンドル操作力を制御することで、車両の方向安定性確保に貢献します。

### ◆ TRC (トラクションコントロール)

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力確保に貢献します。

### ◆ ヒルスタートアシストコントロール

上り坂で発進するときに、車が後退するのを緩和します。

### ◆ EPS (エレクトリックパワーステアリング)

電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

### ◆ NAVI・AI-AVS

(AVS : アダプティブバリアブルサスペンションシステム)

路面の状態や運転操作などに応じ、ショックアブソーバーの減衰力を4輪独立に制御することで、なめらかな乗り心地と優れた安定感の確保に貢献し、車両の姿勢維持に寄与します。

また、ドライブモードセレクトでスポーツモードを選択したときには、スポーツ走行に適した減衰力に切りかわります。 (→ P. 363)

### ◆ VDIM (ビーコルダイナミクスインテグレイテッドマネージメント)

ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC・ヒルスタートアシストコントロール・EPSを総合的に制御します。

すべりやすい路面の走行などで急な運転操作をした際に、ブレーキ・ハイブリッドシステム出力・ハンドル操作力を制御することで、車両の安定性確保に貢献します。

## ◆ 緊急ブレーキシグナル

急ブレーキ時に非常点滅灯を自動的に点滅させることにより、後続車に注意をうながし、追突される可能性を低減させます。

## ◆ セカンダリーコリジョンブレーキ

SRS エアバッグのセンサーが衝突を検知して作動したとき、自動的にブレーキと制動灯を制御することで、車両を減速させ二次衝突による被害の軽減に寄与します。

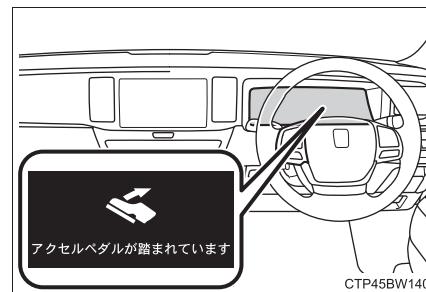
## ◆ ブレーキ車両姿勢制御（ロール制御）

旋回開始時に後内輪にブレーキ制御をおこなうことで、急なロール姿勢の変化を抑え、快適な姿勢を保てるようにサポートします。

## ◆ 衝突時の急加速抑制

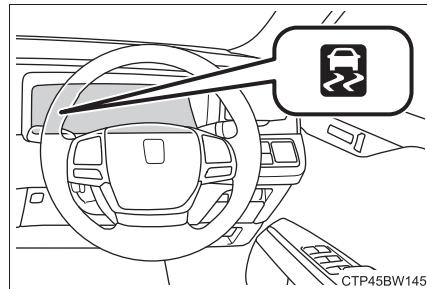
SRS エアバッグのセンサーが軽度の衝突を検知したときに、急アクセルによるハイブリッドシステム出力を自動的に抑制することで、二次衝突による被害の軽減に寄与します。

システム作動時はブザー、音声案内とマルチインフォメーションディスプレイのメッセージでお知らせします。



### TRC・VSC・ABS が作動しているとき

TRC・VSC・ABS が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。



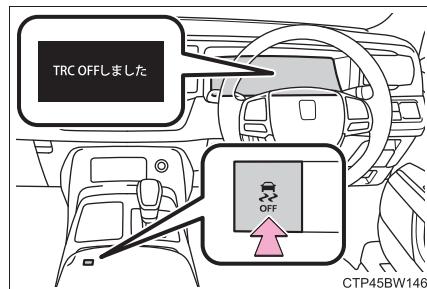
### TRC を停止するには

ぬかるみや砂地、雪道などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもハイブリッドシステムの出力が上がりず、脱出が困難な場合があります。このようなときに  を押すことでより、脱出しやすくなる場合があります。

TRC を停止するには  を押す

マルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF しました」と表示されます。

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。



## 知識

### ■ TRC と VSC を停止するには

TRC と VSC を停止するには、停車時に  を押し 3 秒以上保持する。

VSC OFF 表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF しました」と表示されます。\*

もう一度  を押すと、システム作動可能状態にもどります。

\* ブリクラッシュブレーキアシスト・ブリクラッシュブレーキの作動も停止します。PCS 警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。（→ P. 256）

### ■ を押さなくてもマルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF しました」が表示されたとき

TRC が一時的に作動できない状態になっています。表示が継続する場合はトヨタ販売店にご相談ください。

### ■ ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 前進での上り坂発進時にシフトレバーが D などの前進シフトのとき、後退での上り坂発進時にシフトレバーが R のとき
- 車両停止状態
- アクセルペダルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっていない
- パワースイッチが ON モード

### ■ ヒルスタートアシストコントロールの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 前進での上り坂発進時にシフトレバーが D などの前進シフト以外のとき、後退での上り坂発進時にシフトレバーが R 以外のとき
- アクセルペダルを踏んだ
- ブレーキペダルを踏んで、かつパーキングブレーキをかけた
- ブレーキペダルから足を離して最大 2 秒経過した
- パワースイッチが OFF モード

### ■ ABS・ブレーキアシスト・TRC・VSC・ヒルスタートアシストコントロールの作動音と振動

- ハイブリッドシステム始動時や発進直後、ブレーキペダルをくり返し踏んだときなどに、エンジンルームから作動音が聞こえることがあります、異常ではありません。
- 上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがあります、異常ではありません。
  - ・車体やハンドルに振動を感じる
  - ・車両停止後もモーター音が聞こえる

### ■ ECB の作動音

次のような場合に ECB の作動音が聞こえることがあります、異常ではありません。

- ブレーキペダルを操作したときに、エンジンルームから聞こえる作動音（“力チ”、“シュー”、“ジー”という音）
- 運転席ドアを開けたときに車両前方から聞こえるブレーキシステムのモーター音（“ジー”という音）
- ハイブリッドシステム停止後1～2分後経過時に、エンジンルームから聞こえる作動音（“力チ”、“シュー”、“ジー”という音）

### ■ EPS モーターの作動音

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン”という音）が聞こえることがあります、異常ではありません。

### ■ TRC や VSC の自動復帰について

TRC や VSC を作動停止にしたあと、以下のときはシステム作動可能状態にもどります。

- パワースイッチを OFF にしたとき
- (TRC のみを作動停止にしている場合) 車速が高くなったとき  
ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はありません。

### ■ セカンダリーコリジョンブレーキの作動条件

走行中に SRS エアバッグのセンサーが衝突を検知して作動したとき。  
ただし構成部品が破損した場合システムは作動しません。

## ■セカンダリーコリジョンブレーキの自動解除

次のいずれかのとき自動的にシステムが解除されます

- 車速が約0km/hになったとき
- 作動して一定時間経過したとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだとき

## ■EPS の効果が下がるとき

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPS の効果が下がりハンドル操作が重く感じられるようになります。

その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、ハイブリッドシステムを停止してください。10 分程度でもとの状態にもどります。

## ■緊急ブレーキシグナルの作動条件

次のときシステムが作動します。

- 非常点滅灯が点滅していないこと
- 車速 55km/h 以上
- 車両の減速度から急ブレーキであるとシステムにより判断された

## ■緊急ブレーキシグナルの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- 非常点滅灯を点滅させた
- 車両の減速度から急ブレーキではないとシステムにより判断された

## ■ブレーキ車両姿勢制御（ロール制御）の作動条件

次のときシステムが作動します。

- 車速が約40km/h 以上 120km/h 未満
- ブレーキペダルを踏んでいない
- 一定以上のハンドル操作をシステムが検出したとき
- スリップ表示灯が点灯、点滅していないとき（ABS や VSC,TRC など車両安定化制御中は作動しません）

## ■システム解除条件

次のときシステムが解除されます。

- VSC/TRC が作動禁止状態
- ブレーキペダルを踏んでいる（レーダークルーズコントロールなどの自動ブレーキ中も作動しません）

### ■衝突時の急加速抑制について

- 次の条件をすべて満たすと、システムが作動します。

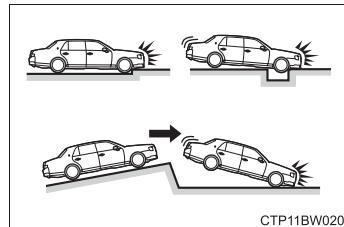
- ・車速が約 60km/h 以下のとき
- ・SRS エアバッグのセンサーが車両前方に軽度の衝突を検知したとき
- ・衝突の直前にブレーキ操作をしていないとき
- ・アクセルペダルを速く強く踏み込んだ<sup>\*</sup> あとに衝突した、または衝突後にアクセルペダルを速く強く踏み込んだ<sup>\*</sup> とき

<sup>\*</sup> アクセルペダルを踏み込む速度と踏み込み量が一定以上のとき

- 次のような状況では衝突していないくとも、システムが作動する場合があります。

- ・縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- ・深い穴や溝に落ちたり、乗りこえたとき
- ・ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき

- アクセルペダルを離すとシステムの作動が解除されます。



## 警告

### ■ ABS の効果を発揮できないとき

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき(雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど)
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

### ■ ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だらみなどの悪路を走行しているとき

### ■ TRC や VSC の効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC や VSC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

### ■ ヒルスタートアシストコントロールの効果を発揮できないとき

- ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や凍った路面ではヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。
- ヒルスタートアシストコントロールはパーキングブレーキのように車を長時間駐車するための機能ではありませんので、同機能を坂道での駐停車のために使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ スリップ表示灯が点滅しているときは

TRC・ABS・VSC が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

### ■ TRC や VSC を OFF にするときは

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC・VSC を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

## ⚠️ 警告

### ■ セカンダリーコリジョンブレーキについて

セカンダリーコリジョンブレーキを過信しないでください。本システムは、二次衝突による被害軽減に寄与することを目的としていますが、その効果はさまざまなものによりかわります。システムを過信すると重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■ 衝突時の急加速抑制

● 衝突時の急加速抑制を過信しないでください。本システムは、二次衝突による被害軽減に寄与することを目的としていますが、その効果はさまざまなものによりかわります。システムを過信すると重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

● 本システムは急加速を抑制するものであり、ブレーキを作動させるものではありません。必要に応じてブレーキペダルを操作してください。

### ■ タイヤまたはホイールを交換するときは

4輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・ブランド・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。（→ P. 585）異なるタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSCなど、運転を補助するシステムが正常に作動しません。

タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

### ■ タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

## プラスサポート（販売店装着オプション）

プラスサポートは、お客様の運転を補助し、より安全なドライブを支援します。プラスサポートを使用するためには、プラスサポート用スマートキー（以下、サポキー）が必要です。プラスサポートおよびサポキーは販売店装着オプションです。

### プラスサポートでできること

プラスサポートを使用すると、機能の追加や、音声案内シーンの追加でより安心なドライブを支援します。また、通常の電子キーとは異なるカスタマイズ設定が可能です。

#### ■ 機能の追加

- 急アクセル時加速抑制
- 交差点対向車注意喚起

#### ■ 音声案内シーンの追加（進入禁止区間に進入した場合など）

対象機能：

- PCS（プリクラッシュセーフティ）
- RSA（ロードサインアシスト）
- 急アクセル時加速抑制
- PKSB（パーキングサポートブレーキ）

#### ■ 通常の電子キーとは異なるカスタマイズ設定

対象機能：

- PCS（プリクラッシュセーフティ）
- LDA（レーンディパーチャーアラート）
- RSA（ロードサインアシスト）
- BSM（ブラインドスポットモニター）
- PDA（プロアクティブドライビングアシスト）
- RCTA（リヤクロストラフィックアラート）
- PKSB（パーキングサポートブレーキ）
- 安心降車アシスト
- クリアランスソナー

## 知識

### ■ カスタマイズ初期値の変更

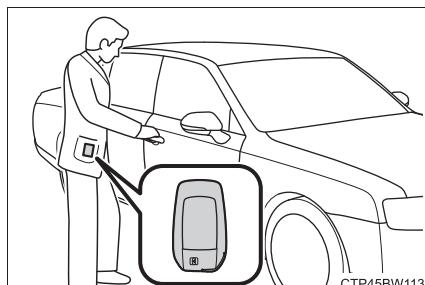
カスタマイズ設定から、各システムの設定を変更することができます。サポキーで起動した場合、通常の電子キーとは異なる設定でシステムが作動します。サポキーで起動後に変更した設定はサポキーにのみ記憶されます。通常キーには記憶されません。より安全に運転いただくため、通常の電子キーでは設定の変更ができた音声案内など、一部の項目が作動状態に固定されます。

### プラスサポートを使用するには

#### ■ プラスサポートを始動するには

- 1 サポキーを携帯していることを確認して、ドアを解錠する  
(→ P. 116、120)

パワースイッチが OFF 以外の状態でドアが施錠されているときは、サポキーでドアを解錠しても、プラスサポートは作動可能になりません。



- 2 通常の手順でハイブリッドシステムを始動する (→ P. 184)

- 3 “プラスサポートで起動中 急 加速を制限します” という メッセージが表示され、プラスサポート表示灯が点灯したこ とを確認する

パワースイッチを OFF にするまで、プラスサポートが作動可能な状態になります。

ハイブリッドシステムの始動後は、プラスサポート表示灯が点灯してい ることを必ず確認してください。プ ラスサポート表示灯が点灯していな いときは、プラスサポートが作動し ません。また、プラスサポートが不 要なときは、プラスサポート表示灯 が消灯していることを必ず確認して ください。



**4 メーター操作スイッチの➡を押してメッセージを非表示にする**

メッセージ表示後約30秒経過するまで、またはスイッチ操作によりメッセージを非表示とするまで、“プラスサポートで起動中 急加速を制限します”のメッセージは表示されたままになります。

**■ プラスサポートが不要なときは**

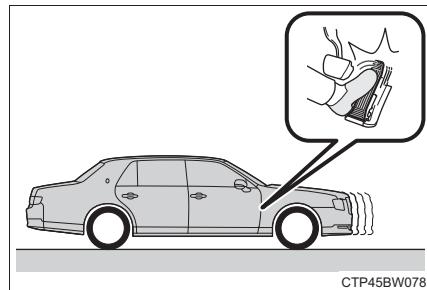
標準装備の電子キーを携帯してドアを解錠し、ハイブリッドシステムを始動してください。プラスサポートが非作動になり、標準車と同様の制御になります。

**⚠ 警告****■ プラスサポートを正しく使用するために**

- 必ずサポキーを携帯していることを確認してください。標準装備の電子キーを携帯しているときは、プラスサポートが始動しません。
- サポキーと標準装備の電子キーを同時に携帯しないでください。プラスサポートが始動しない場合があります。
- ハイブリッドシステムの始動後は、プラスサポート表示灯が点灯していることを必ず確認してください(→P. 90)。プラスサポート表示灯が点灯していないときは、プラスサポートが作動しません。また、プラスサポートが不要なときは、プラスサポート表示灯が消灯していることを必ず確認してください。

## 急アクセル時加速抑制について

低速走行（約30km/h以下）中に、ペダルの踏み間違いなどでアクセルペダルが速く強く踏み込まれたとシステムが判断したとき、ハイブリッドシステムの出力を抑制することで、車両が急加速しないように制御します。



### !**警告**

#### ■安全にお使いいただくために

システムを過信しないでください。システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。

- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。急アクセル時加速抑制は、状況によっては作動しない場合もあります。
- 急アクセル時加速抑制は衝突を防止するシステムではありません。車両を自動で停止させる機能はないため、加速抑制後も車両は惰性で動きます。周囲の交通状況を確認の上、必ずご自身でブレーキペダルを踏んでください。
- 急アクセル時加速抑制は意図せぬ急加速の防止を補助する機能ですが、走行状況によっては、加速が必要なときにもハイブリッドシステムの出力が抑制される場合があります。安全、かつ環境に優しい運転をするためにも、日頃からアクセルペダルはゆっくり操作するように心がけてください。
- お客様ご自身で急アクセル時加速抑制の作動テストを行わないでください。状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

#### ■急アクセル時加速抑制が作動したとき

急アクセル時加速抑制が作動すると、ハイブリッドシステムの出力を抑制します。すみやかにアクセルペダルから足を離して、ブレーキペダルを踏んでください。アクセルペダルを踏み込んだままでいると、しばらくしたあとに車両が加速し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

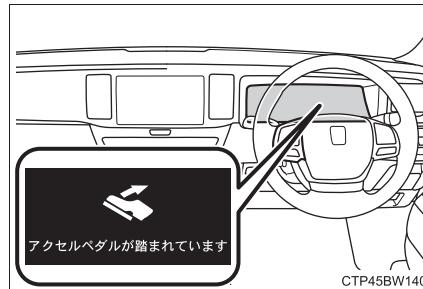
#### ■右左折・車線変更するとき

必ず方向指示灯を点滅させてください。方向指示灯が点滅していないと、急アクセル時加速抑制によりハイブリッドシステムの出力が抑制され、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## 急アクセル時加速抑制が作動したとき

急アクセル時加速抑制が作動したときは、ブザーや音声発話でお知らせするとともに、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

メッセージが表示されたときは、すみやかにアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。



### 知識

#### ■急アクセル時加速抑制の作動条件

プラスサポートが始動したあと、次の条件をすべて満たした場合、急アクセル時加速抑制が作動します。

- シフトポジションが P・N 以外のとき
- 車速が約 30km/h 以下のとき
- アクセルペダルを速く強く踏み込んだとき（アクセルペダルを踏み込む速度と踏み込み量が一定以上のとき）

次の条件のいずれかを満たした場合、ハイブリッドシステムの出力抑制量を少なくし、前進時は約 30km/h、後退時は約 12km/h<sup>\*</sup>までゆるやかに加速します。

- 加速抑制作動中にアクセルペダルを約 5 秒間踏み続けたとき
  - 加速抑制作動後すぐにアクセルペダルを速く強く踏み直したとき
- <sup>\*</sup> 状況によっては所定の速度以下に抑制できない場合があります

#### ■急アクセル時加速抑制が作動しないとき

次の場合は、加速が必要な場合を考慮し、急アクセル時加速抑制が作動しません。アクセルペダルをゆっくり操作し、安全運転を心がけてください。

- 方向指示灯の点滅中、または消灯したあと約 2 秒間（前進時）
- ブレーキペダルを踏んでいるとき、またはブレーキペダルを離したあと約 2 秒間（前進時）
- 急な上り坂に自車がいるとき

### ■システムが正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況ではシステムが正常に作動しない場合があります。

#### ●車両姿勢の変化

- ・積載状況などにより車両姿勢が大きく傾いたとき（ノーズアップ・ノーズダウンなど）
- ・ローダウンサスペンション、純正と異なる径のタイヤなどを取り付けたとき

#### ●周辺環境の影響

- ・坂道・凸凹道・砂利道などの非舗装路を走行しているとき
- ・雪道などスリップが発生するような場所を走行しているとき
- ・坂道の出口など車両姿勢が急激に変化したとき
- ・スピードブレイカーや縁石など大きな段差を乗り越えるとき

### ■加速したい場面でシステムが作動するおそれのある状況

次のような状況では踏み間違いでなくてもシステムが作動する場合があります。アクセルを離してゆっくり踏み直してください。

#### ●車両姿勢の変化

- ・積載状況などにより車両姿勢が大きく傾いたとき（ノーズアップ・ノーズダウンなど）
- ・ローダウンサスペンション、純正と異なる径のタイヤなどを取り付けたとき

#### ●周辺環境の影響

- ・坂道・凸凹道・砂利道などの非舗装路を走行しているとき
- ・雪道などスリップが発生するような場所を走行しているとき
- ・坂道の入り口など車両姿勢が急激に変化したとき
- ・スピードブレイカーや縁石など大きな段差を乗り越えるとき

#### ●運転操作の影響

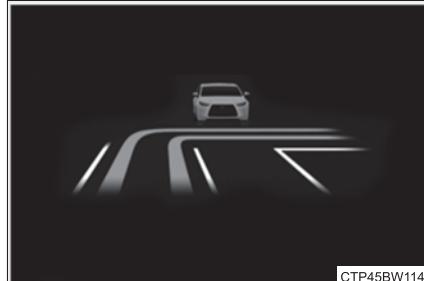
- ・車線変更や右折などで方向指示灯を点滅させずに急いで加速しようとしたとき
- ・惰性走行から急いで加速しようとしたとき
- ・ETC ゲート通過後に急加速したとき
- ・ブレーキホールドによるブレーキ保持中に急発進しようとしたとき

## 交差点対向車注意喚起について

交差点で接近してくる対向車がいるときに右折しようとする場合、ブザーと表示で注意喚起を行います。

## 交差点対向車注意喚起が作動したとき

交差点対向車注意喚起が作動したときは、ブザーでお知らせするとともに、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。



CTP45BW114

### □ 知識

#### ■ 交差点対向車注意喚起の作動条件

方向指示灯が点滅していないときは、交差点対向車注意喚起が作動しません。

作動対象	自車速度	相対速度
対向車両	約 15 ~ 30km/h	約 10km/h 以上
対向自動二輪車	約 15 ~ 30km/h	約 25km/h 以上

## ハイブリッド車運転のアドバイス

環境に配慮した経済的な運転のためには、次のことを心がけてください。

### ◆ エコドライブモードの利用

エコドライブモードを使用すると、通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになります。また、エアコン(暖房／冷房)の作動を抑え、燃費向上につながります。(→ P. 397)

### ◆ ハイブリッドシステムインジケーターの利用

メーター内のハイブリッドシステムインジケーターの針をエコエリアの範囲に保つことで、環境に配慮した走行が可能です。(→ P. 96)

### ◆ シフトレバーの操作

信号待ちや渋滞のときなどは、シフトレバーをDにしましょう。また、駐車するときは、シフトレバーをPにしましょう。シフトレバーをNにしても、燃費向上の効果はありません。Nでは、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電されないため、エアコンなどを使用していると駆動用電池の残量が低下します。

### ◆ アクセルペダル・ブレーキペダルの操作

- 急加速・急減速を控え、スムーズな運転を心がけましょう。ゆるやかに加速・減速することで、より効果的に電気モーターを使用でき、余分なガソリン消費を抑えることができます。
- 加速のくり返しは、駆動用電池の残量を低下させ、結果、燃費が悪化するため控えましょう。走行中、アクセルペダルを少しもどすことで駆動用電池の残量を回復させることができます。

### ◆ 減速時のブレーキ操作

減速時は、早めに、ゆるやかなブレーキ操作を行いましょう。減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

### ◆ 渋滞

加速・減速のくり返しや、長い信号待ちは燃費を悪化させます。出かけ前に交通情報を確認するなどして、なるべく渋滞を回避するようにしましょう。また渋滞の際は、ブレーキペダルをゆるめて微前進し、アクセルペダルをあまり踏まないようにしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

## ◆ 高速道路での運転

速度を抑え、一定速度で走行しましょう。また、料金所手前では早めにアクセルペダルをもどし、ゆるやかなブレーキ操作を行いましょう。減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

## ◆ エアコンの ON/OFF

必要時以外はエアコンスイッチを OFF にしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

夏季：外気温が高いときは、内気循環モードに設定しましょう。エアコンへの負荷が減り燃費向上につながります。

冬季：ガソリンエンジン・車室内が暖まるまで、ガソリンエンジンが自動停止しないので、燃料を消費します。また、過剰な暖房を避けると、燃費向上につながります。

## ◆ タイヤ空気圧の点検

タイヤ空気圧はこまめに点検しましょう。タイヤ空気圧が適切でないと、燃費の悪化につながります。

また、冬用タイヤは転がり抵抗が大きいため、乾燥した路面では燃費の悪化につながります。季節、道路状況に応じて適切なタイミングでタイヤを交換しましょう。

## ◆ 荷物

重い荷物が積まれていると、燃費が悪化します。不要な荷物は、積んだままにせずに降ろしましょう。また、大型ルーフキャリアの装着も重い荷物と同様に燃費の悪化につながります。

## ◆ 走行前の暖機運転

ガソリンエンジンが冷えているときは、ガソリンエンジンの始動／停止を自動的に行いますので、暖機運転は必要ありません。

なお、短距離走行のくり返しは、暖機運転のためのガソリンエンジン始動がひんぱんに行われることになりますので、燃費の悪化につながります。

## 寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

### 冬を迎える前の準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
  - ・エンジンオイル
  - ・冷却水
  - ・ウォッシャー液
- 補機バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（4輪）やタイヤチェーン（後部タイヤ用）を使用してください。

タイヤは4輪とも指定サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。  
(タイヤについて：→ P. 468)

### 運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を溶かし、すぐに水分を十分に拭き取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ・ドアミラー・ドアガラス・車両の屋根・タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

### 運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

## ■駐車するとき

- パーキングブレーキのオートモードを OFFにしてください。パーキングブレーキが自動的に作動し、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。  
また、次のシステムの使用は控えてください。オートモードを OFF にしても、パーキングブレーキが自動的に作動します。
  - ・ ブレーキホールドシステム
- パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーを P に入れて駐車し、必ず輪止め<sup>※1</sup>をしてください。  
輪止めをしないと、車が動き思わず事故につながるおそれがあり危険です。
- パーキングブレーキがオートモードのときは、シフトレバーを P に入れたあとにパーキングブレーキを解除してください。(→ P. 210)
- パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、シフトレバーを P に入れた状態でシフトレバーが動かないこと<sup>※2</sup>を確認してください。
- 寒冷時にブレーキ部品がぬれた状態で車を駐車したままになると、凍結のおそれがあります。

<sup>※1</sup> 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

<sup>※2</sup> ブレーキペダルを踏まないで P からシフトするときにロックがかかります。  
シフトできる場合は、シフトロックシステムなどの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

## □知識

### ■タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- 安全に作業できる場所で行う
- 後 2 輪に取り付ける
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従う
- 取り付け後 0.5 ~ 1.0km 走行したら締め直しを行う

### ■寒冷地用ワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆っています。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスが拭き取りにくくなることがあります。その場合には速度を落としてください。

## ⚠️ 警告

### ■ 冬用タイヤ装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず4輪とも装着する

### ■ タイヤチェーンを取り付けるときは

電子制御エアサスペンションの車高調整機能が作動しないように、ハイブリッドシステムを停止してください。車高がかわり車両に体が挟まれたりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ タイヤチェーン装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは30km/hのどちらか低い方をこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速・急ハンドル・急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して、車のコントロールを失うのを防ぐ
- LDA（レーンディバーチャーアラート [ステアリング制御機能付き]）を使用しない



## 注意

### ■ タイヤチェーンの使用について

この車両に適合したトヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。

なお、トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。市販のタイヤチェーンを使用する場合は、車体に干渉しないことをあらかじめご確認ください。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

### ■ タイヤを修理・交換するとき

トヨタ販売店へご依頼ください。

タイヤの取り付け・取りはずしはタイヤ空気圧バルブ／送信機の作動に影響します。(タイヤについての詳しい説明は P. 468 を参照してください)

### ■ タイヤチェーンの装着

タイヤチェーンを装着すると、タイヤ空気圧バルブ／送信機が正しく作動しないおそれがあります。

### ■ ガラスに付いた氷を除去するとき

氷をたたいて割らないでください。

ガラスがひび割れるおそれがあります。



## 室内装備・機能

# 5

### 5-1. リヤマルチオペレーションパネル

リヤマルチオペレーションパネル .....	392
-----------------------	-----

### 5-2. エアコンの使い方

フロントオートエアコン .....	397
リヤオートエアコン .....	408
ステアリングヒーター／シートヒーター／シートベンチレーター .....	412

### 5-3. 室内灯のつけ方

室内灯一覧 .....	418
· インテリアランプ .....	419
· パーソナルランプ .....	420
· 読書灯 .....	420

### 5-4. 収納装備

収納装備一覧 .....	422
· グローブボックス .....	423
· コインホルダー .....	423
· コンソールボックス .....	424
· ドアポケット (フロント席) .....	425
· カップホルダー .....	426
· 小物入れ .....	427
トランク内装備 .....	429

### 5-5. その他の室内装備の使い方

その他の室内装備 .....	433
· サンバイザー .....	433
· バニティミラー .....	433
· アクセサリーソケット .....	434
· アクセサリー コンセント .....	435
· 充電用 USB 端子 .....	436
· 時計 .....	438
· シートバックポケット (運転席側のみ) .....	438
· リヤアームレスト .....	438
· ライティングテーブル .....	439
· マガジンラック .....	439
· リヤドアカーテン .....	440
· 電動リヤカーテン .....	441
· コートフック .....	444
· 靴べら差し .....	444

## リヤマルチオペレーションパネル

リヤアームレスト内のオペレーションパネルを使って、オーディオ・エアコン・シートなどの操作をすることができます。

### リヤマルチオペレーションパネルの操作について

操作するときは、リヤアームレストのライティングテーブルを格納します。

#### ■ HOME 画面

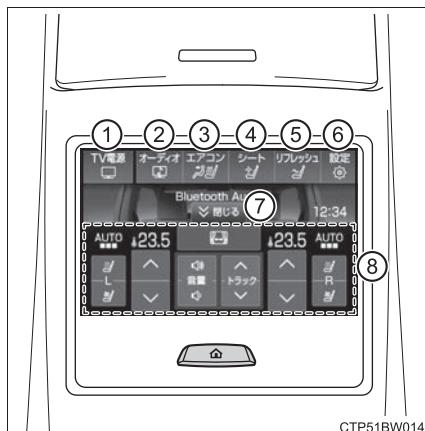
 を押す

長押しすると、画面が OFF になります。

リヤアームレストのライティングテーブルを引き出しても画面が OFF になります。

- ① TV の電源 ON / OFF を切りかえる（詳しくは別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。）
- ② オーディオ操作画面を表示する（詳しくは別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。）
- ③ リヤエアコン操作画面を表示する（→ P. 409）
- ④ シート操作画面を表示する（→ P. 149, 152, 155）
- ⑤ リフレッシュシステム操作画面を表示する（→ P. 158）
- ⑥ リヤマルチオペレーションパネル設定画面を表示する（→ P. 393）
- ⑦ ショートカットスイッチ

押すごとに表示／非表示が切りかわります。



CTP51BW014

## ⑧ ショートカット画面

次の機能を操作できます。

- ・リヤエアコンの温度設定（→P. 410）
- ・リヤシートヒーター／リヤシートベンチレーター★（→P. 416）
- ・オーディオ（詳しくは別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。）
- ・電動リヤカーテンの開閉★（→P. 441）

## ■ リヤマルチオペレーションパネル設定画面

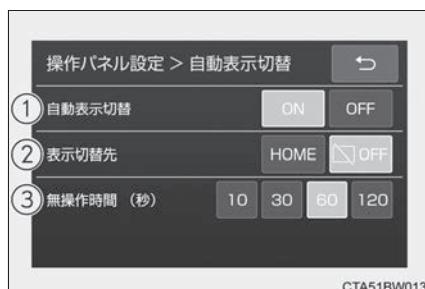
画面の操作規制の設定や画面の明るさなどを調整できます。

- ① 画面を消す
- ② 画面の明るさを調整する
- ③ 自動表示切替
- ④ 画面操作をロックする



## ■ 自動表示切替画面

- ① 一定時間画面操作を行わなかった場合、自動で画面が切りかわるかを設定できます。
- ② HOME 画面に切りかえるか画面表示を消すかを設定できます。
- ③ 操作を行わなかった場合、画面表示が切りかわる時間を 10 秒、30 秒、60 秒、120 秒の間で設定できます。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

### ■ 画面操作のロックを解除する

「画面ロック解除(長押し)」をステータスがすべて点灯するまで押し続ける





## 知識

### ■リヤマルチオペレーションパネルの取扱いについて

- 操作は指で行ってください。爪やペンなどでは操作できません。
- 操作は一本の指で行ってください。他の指がふれていると操作できないことがあります。
- パワースイッチをアクセサリーモードまたはONモードにしたとき、パネル上に手や物が置かれていたり、水や異物が付着していると、誤作動を起こすことがあります。その場合、それらを取り除き、30秒ほど待ってから操作してください。万一、パネルの反応が元に戻らない場合は、ボタンを長押しして画面をOFFにし、再度ボタンを押してから操作を行ってください。
- 以下の場合、リヤマルチオペレーションパネルが正しく反応しなかったり、誤作動することがあります。
  - ・手袋を着用しているとき
  - ・濡れた手で操作したとき
  - ・パネル面にフィルムを貼ったり、塗装をしたとき
  - ・パネル面に水分や汚れが付着しているとき
  - ・近くにテレビ塔・発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
  - ・無線機や携帯電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- リヤマルチオペレーションパネルが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているときは、リヤマルチオペレーションパネルが反応しなかったり、誤作動することがあります。
  - ・小銭
  - ・鍵
  - ・財布やかばんの金属部品
  - ・アルミ箔などの金属の貼られたカード
  - ・アルミ箔を使用したタバコの箱やケース
  - ・カイロ
  - ・CD/DVDなどのメディアやUSBなどのケーブル
  - ・スマートフォンや携帯電話、タブレット端末などの機器
- リヤマルチオペレーションパネルが汚れていると、操作の反応が悪くなる場合があるため、定期的に清掃を行ってください。また、リヤマルチオペレーションパネルを清掃する際は、誤作動を防ぐため、画面をOFFにした状態で行ってください。

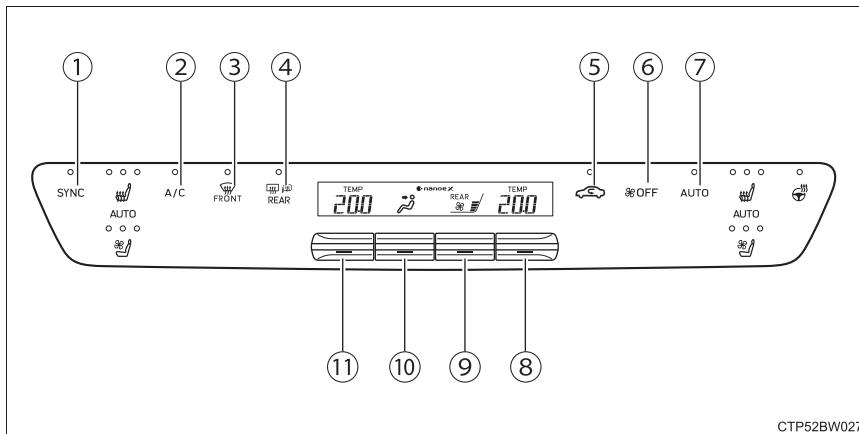
 **注意****■リヤマルチオペレーションパネルの故障を防ぐために**

- リヤマルチオペレーションパネルに飲料水や雨水などをかけないでください。変色や漏電の原因になります。
- リヤマルチオペレーションパネルの上に乗ったり、ものを上に置かないでください。故障の原因になります。
- リヤマルチオペレーションパネルを強く押したり、先のとがったもので操作したりしないでください。破損の原因になります。

## フロントオートエアコン

“AUTO”スイッチをONにすることで、設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

### エアコン操作スイッチについて



CTP52BW027

5

## ■ 温度を調整する

設定温度を上げるときは温度調整スイッチを上に、下げるときは下に操作します。

“A/C”（冷房・除湿）スイッチが押されていない場合は、送風または暖房で使用できます。

## ■ 風量を切りかえる

風量を増やすときは風量調整スイッチを上に、減らすときは下に操作します。

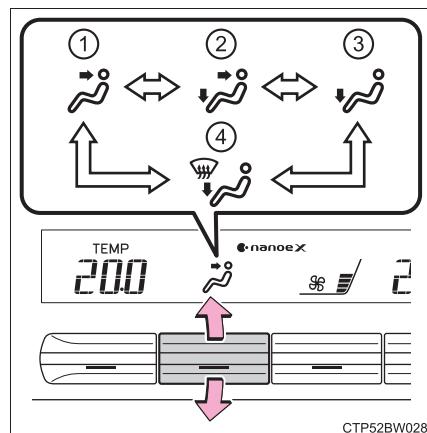
“OFF”スイッチを押すと、ファンが止まります。

## ■ 吹き出し口を切りかえる

吹き出し口切りかえスイッチを上下に操作します。

スイッチを操作するたびに吹き出し口が切りかわります。

- ① 上半身に送風
- ② 上半身と足元に送風
- ③ 足元に送風
- ④ 足元に送風／ガラスの曇りを取り



## ■ 内気循環／外気導入を切りかえる

内外気切りかえスイッチを押します。

スイッチを押すたびに内気循環／外気導入が切りかわります。内気循環を選択しているときは表示灯が点灯します。

## ■ エアコン（冷房・除湿機能）を切りかえるには

“A/C”（冷房・除湿）スイッチを押します。

“A/C”（冷房・除湿）機能がONのときは、作動表示灯が点灯します。

## ■ フロントウインドウガラスの曇りを取る

フロントデフロスタースイッチを押します。

除湿機能が作動し、風量が増えます。内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。(自動的に外気導入に切りかわることがあります)

風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。曇りが取れたら再度フロントデフロスタースイッチを押すと前のモードにもどります。

フロントデフロスタースイッチが ON のときは、作動表示灯が点灯します。

外気温が低いときは、フロントウインドウガラスの霜を取るのに時間がかかる場合があります。

## ■ リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒーター

リヤウインドウガラスの曇りを取るときや、ドアミラーから雨滴や霜を取るときに使用してください。

リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒータースイッチを押します。

リヤウインドウデフォッガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取ることができます。

リヤウインドウデフォッガーとミラーヒーターは、しばらくすると自動的に OFF になります。

## ■ ウィンドシールドデアイサー★

フロントウインドウガラスとワイパークリアードの凍結を防ぐために使用してください。

**1** エアコンオプション画面表示スイッチを選択します (→ P. 405)

**2** “デアイサー” スイッチを選択します

ウィンドシールドデアイサーは、しばらくすると自動的に OFF になります。

## ■ 花粉除去機能を使用するには

**1** エアコンオプション画面表示スイッチを選択します (→ P. 405)

**2** “花粉除去” スイッチを選択します

内気循環に切りかわり、上半身に送風して花粉を除去します。

外気温が低いときは、フロントウインドウガラスの曇りを防止するために除湿機能が作動する場合があります。

花粉除去モードが OFF のときも花粉はフィルターで取り除かれています。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

 知識

## ■ ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、“A/C”（冷房・除湿）スイッチをONにすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
- “A/C”（冷房・除湿）スイッチをONからOFFにすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

## ■ 外気導入・内気循環について

- トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。
- 設定温度や室内温度などにより、自動的に切りかわる場合があります。

## ■ 外気温度が0°C近くまで下がったとき

“A/C”（冷房・除湿）スイッチを押しても除湿機能が働かない場合があります。

## ■ エコドライブモードのエアコン作動について

- エコドライブモードは燃費性能を優先させるため、空調システムが次のように制御されます。
  - ・ エンジン回転数やコンプレッサーの作動を制御し、暖房／冷房の能力を抑制します。
  - ・ オート設定での使用時、ファンの風量を抑制します。
- 空調の効きをより良くしたいときは、次の操作を行ってください。
  - ・ 風量を調整する。
  - ・ エコドライブモードを解除する。

## ■ ナノイー X<sup>※1, 2</sup>について

エアコンにはナノイーX 発生装置が搭載されています。この装置はフロント席中央の吹き出し口（助手席側）からナノイーX を放出し、車室内を快適な空気環境に導きます。<sup>※3</sup>

- ナノイーX が ON のとき、ファンが作動すると、自動的にナノイーX 発生装置が作動します。（→ P. 406）
- ナノイーX 発生装置が作動中、次の条件で効果を発揮します。
  - ・ 吹き出し口が上半身に送風、上半身と足元に送風、足元に送風のとき
- ナノイーX 発生装置作動時は、微量のオゾンが発生し、かすかに臭うことがあります。森林など、自然界に存在する程度の量なので、人体に影響はありません。
- ナノイーX 発生装置作動中、かすかに作動音が聞こえることがあります。故障ではありません。
  - ・ ナノイーX 発生装置が作動するまでに多少時間がかかることがあります。
  - ・ 作動直後は作動音が大きい場合があります。

<sup>※1</sup> nanoe、ナノイーおよび nanoe マークは、パナソニック ホールディングス 株式会社の商標です。

<sup>※2</sup> ナノイーX はナノイーに比べて、効果の元である OH ラジカルをより多く含む微粒子イオンです。

<sup>※3</sup> 湿湿度環境、風量・風向きによってはナノイーの効果が十分に得られない場合があります。

## ■ 換気とエアコンの臭いについて

- 車室外の空気を車室内に取り入れたいときは、外気導入にしてください。
- エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。
- エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために：
  - ・ 駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。
  - ・ オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。
- 駐車時に自動的に外気導入に切りかえることにより駐車中の換気をうながし、始動時に発生する臭いを緩和します。

## ■ 音声対話サービスについて

音声対話サービスを使用して、エアコンを操作することができます。詳しくは、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

## ■ エアコンフィルターについて

→ P. 489

### ■エアコン操作パネルのスイッチのタッチ感度を変更するには

次の操作により、スイッチのタッチ感度を変更できます。

操作中のエアコンの操作はできません。

- ① ON モードにしてから5秒以内に、“A/C”スイッチを押しながら<sup>REAR</sup>を6回押す。

モニター内の助手席側温度部に「01」～「04」が表示されます。

- ② <sup>REAR</sup>にタッチするたびに、タッチ感度が「01」(低い)～「04」(高い)の4段階で切りかわります。

お好みの設定を表示した状態のまま、画面が切りかわるまでの約5秒間タッチ操作を行わないと設定が完了します。

画面が切りかわる前にパワースイッチを OFF にすると、設定は保存されません。

### ■エアコン操作パネルのスイッチの反応を変更するには

次の操作により、スイッチにタッチしてからの反応するまでの時間を変更できます。

操作中のエアコンの操作はできません。

- ① ON モード中に、“AUTO”スイッチと<sup>REAR</sup>を約3秒間タッチする

モニター内の助手席側温度部に「01」～「05」が表示されます。

- ② <sup>REAR</sup>にタッチするたびに、反応するまでの時間が「01」(早い)～「05」(遅い)の5段階で切りかわります。

お好みの設定を表示した状態のまま、画面が切りかわるまでの約5秒間タッチ操作を行わないと設定が完了します。

画面が切りかわる前にパワースイッチを OFF にすると、設定は保存されません。

### ■エアコン操作パネルのスイッチ操作音を ON / OFF するには

次の操作により、スイッチにタッチしたときの操作音を ON / OFF できます。

操作中のエアコンの操作はできません。

- ① ON モード中に、“AUTO”スイッチと“A/C”スイッチを約3秒間タッチする。

モニター内の助手席側温度部に「On」または「OFF」と表示されます。

- ② <sup>REAR</sup>にタッチするたびに、ON / OFF が切りかわります。

「On」または「OFF」を表示した状態のまま、画面が切りかわるまでの約5秒間タッチ操作を行わないと設定が完了します。

画面が切りかわる前にパワースイッチを OFF にすると、設定は保存されません。

## ■カスタマイズ機能

機能の一部は設定を変更することができます。(→ P. 586)



### 警告

#### ■フロントウインドウガラスの曇りを防止するために

外気の湿度が非常に高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、フロントデフロスター・スイッチを押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

#### ■リヤウインドウデフォッガー＆ミラーヒーターが作動しているとき

ドアミラーの表面が非常に熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

#### ■ウインドシールドデアイサーが作動しているとき

フロントウインドウガラス下部およびフロントピラー横の表面が熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

#### ■ナノイーX発生装置について

高電圧の部品を含むため、分解・修理はしないでください。修理が必要な場合は、トヨタ販売店にお問い合わせください。



### 注意

#### ■補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステム停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

#### ■ナノイーX発生装置の損傷を防ぐために

フロント席中央の吹き出し口（助手席側）の近くでスプレーを使用したり、吹き出し口にものをはめ込んだり貼ったりしないでください。正常に働かなくなるおそれがあります。

## オート設定で使用する

次のように操作して、風向きの調整や吹き出し口の開閉をします。

① エアコン操作スイッチの “AUTO” スイッチを押します

② 温度を設定します

③ ファンを止めたいときは、“OFF” スイッチを押します

風量や吹き出し口を切りかえると、“AUTO” スイッチの作動表示灯が消灯しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。



## 知識

### ■ オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されるため、“AUTO” を ON にした直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。

日射の影響により、暖房時でも上半身付近に冷風が出る場合があります。

## 各席の設定温度を連動して設定する (SYNC モード)

SYNC モードを ON にするには、“SYNC” スイッチを押します。

運転席側温度調整スイッチで運転席・助手席・リヤ席の設定温度を調整できます。

運転席・助手席・リヤ席の設定温度を別々に設定するには、助手席側温度調整スイッチまたはリヤ席温度調整スイッチを操作するか、“SYNC” スイッチを押してください。

SYNC モードが ON のときは、“SYNC” スイッチの作動表示灯が点灯します。

## 運転席と助手席およびリヤ席の設定温度を別々に設定する (独立モード)

次のいずれかの操作をすると、独立モードが ON になります。

● SYNC が ON の時に、エアコン操作スイッチの “SYNC” スイッチを押します。

● 助手席およびリヤ席の設定温度を変更します。

独立モードになり “SYNC” スイッチの作動表示灯が消灯します。

## エアコン操作画面について

マルチメディアディスプレイの操作方法については、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

### ■ 表示のしかた

- ① マルチメディアディスプレイのメインメニューから  を選択します
- ② サブメニューの “エアコン” を選択します
- ③ 各画面を選択します

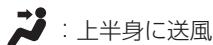
- ① フロントエアコン操作画面を表示する
- ② リヤエアコン操作画面を表示する
- ③ オプション操作画面を表示する



## ■ フロントエアコン操作画面

### ① 吹き出し口を切りかえる

選択するたびに、吹き出し口が切りかわります。



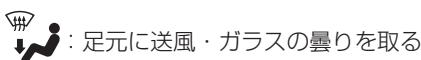
：上半身に送風



：上半身と足元に送風



：足元に送風



：足元に送風・ガラスの曇りを取る

状況によっては、選択した吹き出し口以外からも送風する場合があります。

### ② 各機能の ON / OFF を切りかえる

選択するたびに、機能の ON / OFF が切りかわります。

機能が ON のとき、表示灯が点灯します。

“A/C”：冷房・除湿機能 (→ P. 398)

“SYNC”：SYNC モード (→ P. 404)

### ③ 風量表示

現在の風量が表示されます。

## ■ リヤエアコン操作画面

→ P. 408

## ■ オプション操作画面

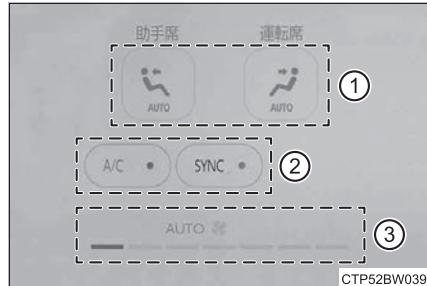
各機能の (作動) ・ (非作動) を選択します。

### ① エコ空調モードを作動させる (→ P. 400)

### ② フロントウインドウガラスと ワイパークリアの凍結を防ぐ (ウインドシールドデアイ サー装着車) (→ P. 399)

### ③ ナノイーXを作動させる (→ P. 401)

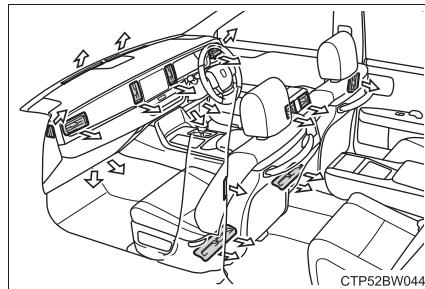
### ④ 花粉除去を作動させる (→ P. 399)



## 吹き出し口について

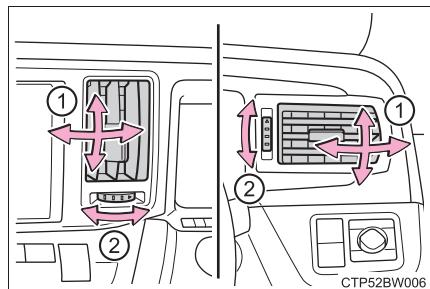
### ■ 吹き出し口の位置

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変化します。( $\rightarrow$  P. 398)



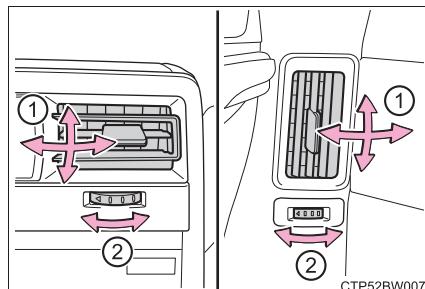
### ■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉

▶ フロントセンター／サイド



① 風向きの調整

▶ リヤセンター／サイド



② 吹き出し口の開閉

## リヤオートエアコン

設定温度に合わせて吹き出し口と風量を自動で調整します。

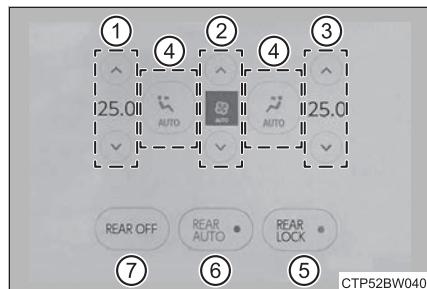
マルチメディアディスプレイ、またはリヤマルチオペレーションパネルで操作することができます。

### リヤエアコン操作画面について

#### ■ マルチメディアディスプレイ

エアコン操作画面（→ P. 405）で、「リヤエアコン」を選択する

- ① 助手席側リヤ席の温度を調整する
- ② リヤ席の風量を切りかえる
- ③ 運転席側リヤ席の温度を調整する
- ④ リヤ席の吹き出し口を切りかえる



: 上半身に送風

: 上半身と足元に送風

: 足元に送風

状況によっては、選択した吹き出し口以外からも送風する場合があります。

- ⑤ リヤ席操作禁止機能の ON/OFF を切りかえる
- ⑥ リヤ席の吹き出し口と風量が自動的に調整される（→ P. 410）
- ⑦ リヤ席のファンを停止する

## ■ リヤマルチオペレーションパネル

### ▶ エアコン操作画面

HOME 画面（→ P. 392）で「エアコン」を選択する

リヤ席操作禁止機能が ON のときは、リヤマルチオペレーションパネルでは操作できません。

- ① リヤ席の吹き出し口と風量が自動的に調整される  
（→ P. 410）
- ② 助手席側リヤ席の温度を調整する
- ③ 助手席側リヤ席の吹き出し口を切りかえる



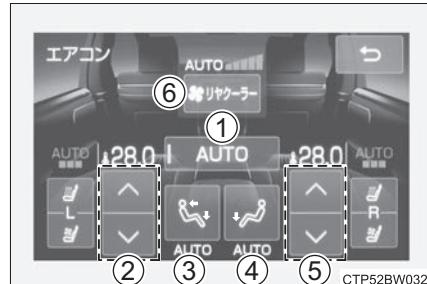
: 上半身に送風



: 上半身と足元に送風



: 足元に送風



状況によっては、選択した吹き出し口以外からも送風する場合があります。

- ④ 運転席側リヤ席の吹き出し口を切りかえる

状況によっては、選択した吹き出し口以外からも送風する場合があります。

- ⑤ 運転席側リヤ席の温度を調整する
- ⑥ リヤクーラー調整画面を表示する（→ P. 409）

### ▶ リヤクーラー調整画面

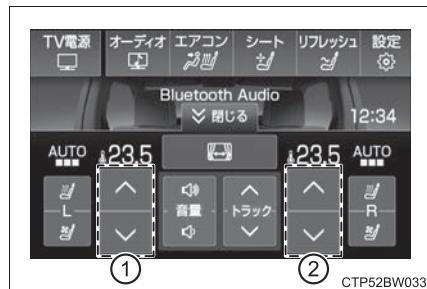
エアコン操作画面で「リヤクーラー」を選択する

- ① ルーフサイド吹き出し口からの風量を切りかえる
- ② ルーフサイド吹き出し口からの送風を停止する



▶ ショートカット画面

- ① 助手席側リヤ席の温度を調整する
- ② 運転席側リヤ席の温度を調整する



### オート設定で使用する

#### ■ マルチメディアディスプレイ

- ① リヤエアコン操作画面（→ P. 408）で「REAR AUTO」を選択する
- ② 温度を設定する
- ③ ファンをとめたいときは「REAR OFF」を選択する

#### ■ リヤマルチオペレーションパネル

- ① エアコン操作画面（→ P. 409）で「AUTO」を選択する
- ② 温度を設定する
- ③ ルーフサイド吹き出し口からの送風をとめたいときは「リヤクーラー」を選択し、「OFF」を選択する

#### ■ オート設定時の作動表示灯について

風量や吹き出し口を切りかえると、REAR AUTO スイッチの表示色は反転しますが、操作した機能以外のオート設定は継続します。

#### ■ 各席の温度を設定する

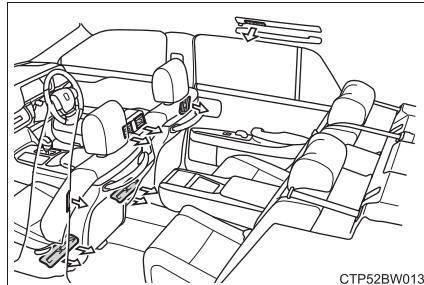
次のいずれかの操作をすることで、リヤ席の温度を設定できます。

- 独立モード（→ P. 404）が OFF のとき運転席の温度を設定する  
リヤ席の温度が運転席と同じ温度に設定されます。
- マルチメディアディスプレイのリヤエアコン操作画面もしくはリヤマルチオペレーションパネルでリヤ席の温度を設定する  
操作した席の温度のみ設定されます。（独立モード）

## 吹き出し口について

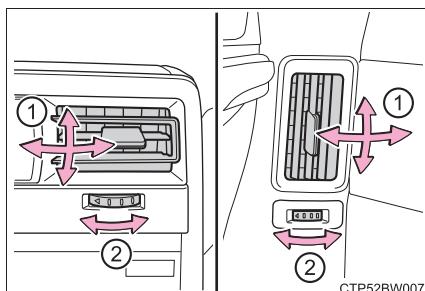
### ■ 吹き出し口について

吹き出し口の切りかえ設定により、風が出る位置や風量が変化します。( $\rightarrow$  P. 408)



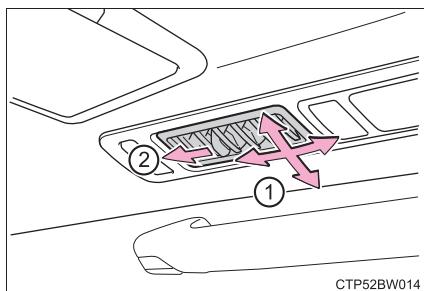
### ■ 風向きの調整と吹き出し口の開閉

▶ リヤセンター／サイド



① 風向きの調整

▶ ルーフサイド



② 吹き出し口の開閉

## □ 知識

### ■ オート設定の作動について

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されるため、「Rear AUTO」、またはリヤマルチオペレーションパネルで「AUTO」スイッチを選択した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。日射の影響により、暖房時でも上半身付近に冷風が出る場合があります。

## ⚠ 注意

### ■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステム停止中は、エアコンを必要以上に使用しないでください。

## ステアリングヒーター／シートヒーター／シートベンチレーター★

ハンドル左右のグリップ部やシートを温めたり、シートから風を出して通気をよくできます。操作スイッチやマルチメディアディスプレイ、リヤマルチオペレーションパネルで操作することができます。

### ⚠ 警告

- 低温やけどを負うおそれがあるため、以下のかたがステアリングヒーター／シートヒーターに触れないようにご注意ください。
  - ・ 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由なかた
  - ・ 皮膚の弱いかた
  - ・ 疲労の激しいかた
  - ・ 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、風邪薬など）を服用されたかた
- 異常加熱や低温やけどの原因になるおそれがあるため、シートヒーターを使用するときは次のことをお守りください。
  - ・ 長時間連続使用しないでください。
  - ・ 毛布・クッションなどを使用しないでください。

### ⚠ 注意

- シートヒーター／シートベンチレーターの損傷を防ぐため、凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き刺したりしないでください。
- 補機バッテリーあがりを防ぐため、ハイブリッドシステムが停止した状態で使用しないでください。

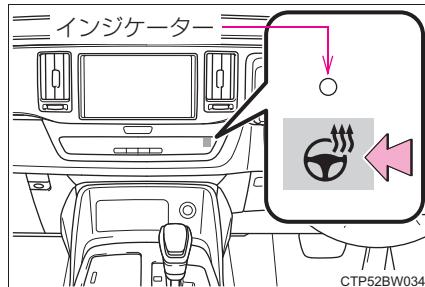
★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 操作スイッチについて

### ■ ステアリングヒーター

システムの ON / OFF を切り替えます。

ステアリングヒーターが ON のとき、スイッチのインジケーターが点灯します。



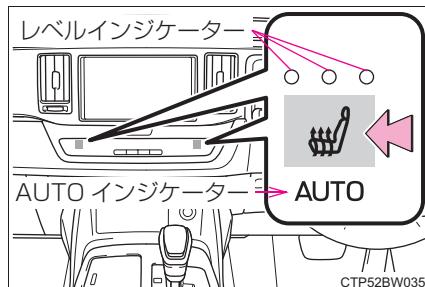
### ■ フロントシートヒーター

システムの ON / OFF を切り替えます。

スイッチを押すたびに、作動状態が次のように切りかわります。

AUTO → 強(3個点灯) → 中(2個点灯) → 弱(1個点灯) → OFF

作動中は AUTO インジケーター、またはレベルインジケーターのいずれか、または両方が点灯します。



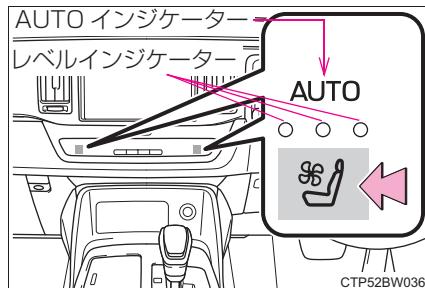
### ■ フロントシートベンチレーター★

システムの ON / OFF を切り替えます。

スイッチを押すたびに、作動状態が次のように切りかわります。

AUTO → 強(3個点灯) → 中(2個点灯) → 弱(1個点灯) → OFF

作動中は AUTO インジケーター、またはレベルインジケーターのいずれか、または両方が点灯します。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 操作画面について

### ■ マルチメディアディスプレイ

▶ フロントシートヒーター／フロントシートベンチレーター操作画面  
マルチメディアディスプレイの操作方法については、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

**1** マルチメディアディスプレイのメインメニューから  を選択します

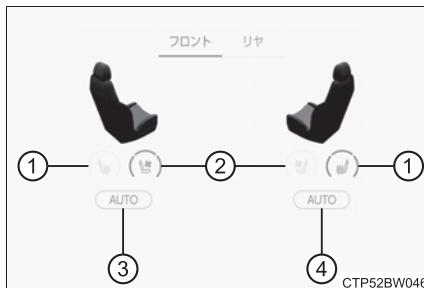
**2** サブメニューの “シート空調” を選択します

**①** シートヒーターの温度を調整する

スイッチを選択するたびに、作動状態が次のように切りかわります。

AUTO → 強（3個点灯）→ 中（2個点灯）→ 弱（1個点灯）→ OFF

作動中は、スイッチのまわりにあるレベルインジケーター（赤）が点灯します。



**②** シートベンチレーター★の風量を切りかえる

スイッチを選択するたびに、作動状態が次のように切りかわります。

AUTO → 強（3個点灯）→ 中（2個点灯）→ 弱（1個点灯）→ OFF

作動中は、スイッチのまわりにあるレベルインジケーター（青）が点灯します。

**③** 助手席側シートヒーター／シートベンチレーター★のAUTOモードのON/OFFを切りかえる

“AUTO”を選択すると AUTO 作動に切りかわります。AUTO 作動中は、シートヒーター／シートベンチレーターの作動状況に応じてシートヒーター／シートベンチレータースイッチのまわりにあるレベルインジケーターが点灯します。

**④** 運転席側シートヒーター／シートベンチレーター★のAUTOモードのON/OFFを切りかえる

“AUTO”を選択すると AUTO 作動に切りかわります。AUTO 作動中は、シートヒーター／シートベンチレーターの作動状況に応じてシートヒーター／シートベンチレータースイッチのまわりにあるレベルインジケーターが点灯します。

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▶ リヤシートヒーター／リヤシートベンチレーター操作画面

マルチメディアディスプレイの操作方法については、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

**1** マルチメディアディスプレイのメインメニューから  を選択します

**2** サブメニューの “シート空調” を選択します

**3** “リヤ” を選択します

**①** シートヒーターの温度を調整する

スイッチを選択するたびに、作動状態が次のように切りかわります。

AUTO → 強（3 個点灯）→ 中（2 個点灯）→ 弱（1 個点灯）→ OFF

作動中は、スイッチのまわりにあるレベルインジケーター（赤）が点灯します。

**②** シートベンチレーター★の風量を切りかえる

スイッチを選択するたびに、作動状態が次のように切りかわります。

AUTO → 強（3 個点灯）→ 中（2 個点灯）→ 弱（1 個点灯）→ OFF

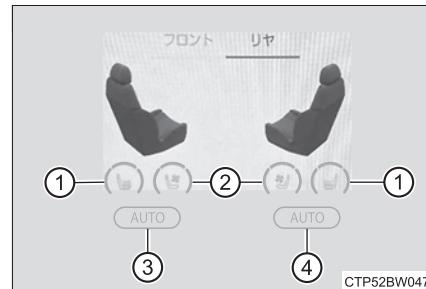
作動中は、スイッチのまわりにあるレベルインジケーター（赤）が点灯します。

**③** リヤ席左側シートヒーター／シートベンチレーター★の AUTO モードの ON/OFF を切りかえる

“AUTO” を選択すると AUTO 作動に切りかわります。AUTO 作動中は、シートヒーター／シートベンチレーターの作動状況に応じてシートヒーター／シートベンチレータースイッチのまわりにあるレベルインジケーターが点灯します。

**④** リヤ席右側シートヒーター／シートベンチレーター★の AUTO モードの ON/OFF を切りかえる

“AUTO” を選択すると AUTO 作動に切りかわります。AUTO 作動中は、シートヒーター／シートベンチレーターの作動状況に応じてシートヒーター／シートベンチレータースイッチのまわりにあるレベルインジケーターが点灯します。



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■ リヤマルチオペレーションパネル

### ▶ エアコン操作画面

HOME 画面（→ P. 392）で「エアコン」を選択する

リヤ席操作禁止機能が ON のときは、リヤマルチオペレーションパネルでは操作できません。

- ① リヤシートヒーターの温度を調整する

スイッチを選択するたびに、作動状態とレベルインジケーター（橙）が次のように切りかわります。

AUTO → 強（3 個点灯）→ 中（2 個点灯）→ 弱（1 個点灯）→ OFF

- ② リヤシートベンチレーター★の風量を切りかえる

スイッチを選択するたびに、作動状態とレベルインジケーター（青）が次のように切りかわります。

AUTO → 強（3 個点灯）→ 中（2 個点灯）→ 弱（1 個点灯）→ OFF

### ▶ ショートカット画面

- ① リヤシートヒーターの温度を調整する

スイッチを選択するたびに、作動状態とレベルインジケーター（橙）が次のように切りかわります。

AUTO → 強（3 個点灯）→ 中（2 個点灯）→ 弱（1 個点灯）→ OFF

- ② リヤシートベンチレーター★の風量を切りかえる

スイッチを選択するたびに、作動状態とレベルインジケーター（青）が次のように切りかわります。

AUTO → 強（3 個点灯）→ 中（2 個点灯）→ 弱（1 個点灯）→ OFF



CTP52BW037



CTP52BW038

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。



## 知識

### ■作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

### ■AUTO 作動を選択したとき

エアコンの設定温度、外気温などに応じて、ステアリングヒーター／シートヒーター／シートベンチレーターの機能が OFF になることがあります。

### ■エアコン連動制御モードについて（シートベンチレーター装着車）

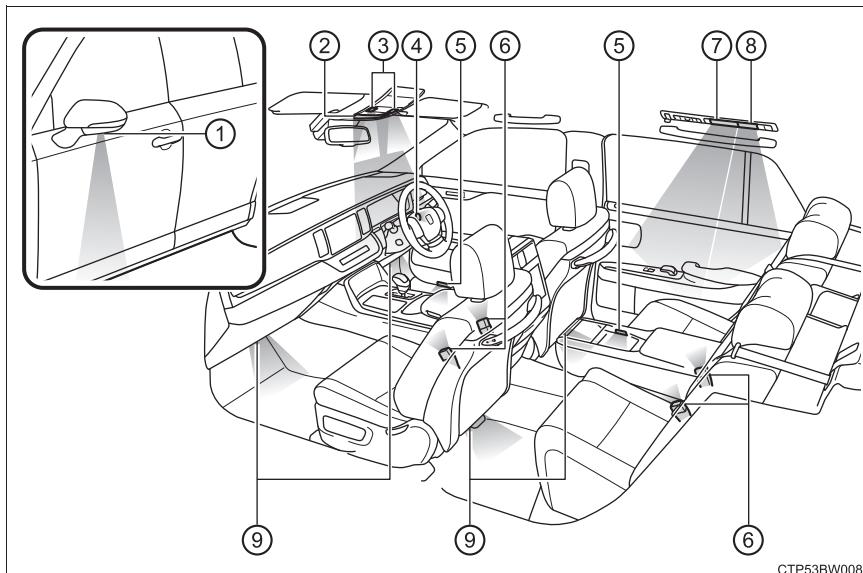
フロントシートベンチレーターが強のとき、エアコンの風量に応じてフロントシートベンチレーターの風量が強くなります。

### ■カスタマイズ機能

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。

(→ P. 586)

## 室内灯一覧



CTP53BW008

- |                              |                            |
|------------------------------|----------------------------|
| ① ドアミラー照明                    | ⑤ ドアカーテシランプ                |
| ② フロントインテリアランプ<br>(→ P. 419) | ⑥ シートベルトバックル照明             |
| ③ パーソナルランプ<br>(→ P. 420)     | ⑦ リヤインテリアランプ<br>(→ P. 419) |
| ④ パワースイッチ照明                  | ⑧ 読書灯<br>(→ P. 420)        |
|                              | ⑨ 足元照明                     |

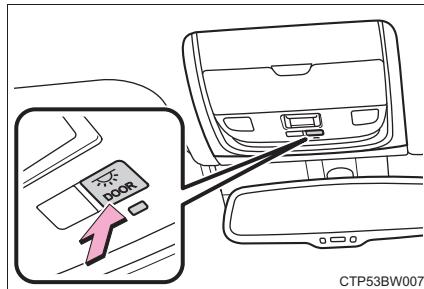
## インテリアランプ

### ■ ドアポジション（ドア連動）を ON にする

ドア連動スイッチを押す

ドアの開閉に連動してランプの点灯・消灯が切りかわります。

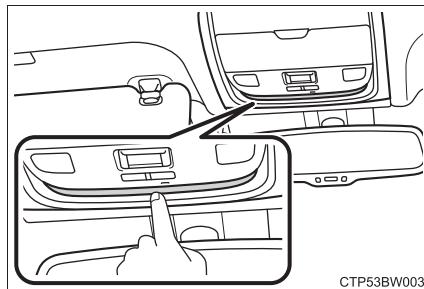
ON のときはインジケーターが点灯します。



### ■ ランプを点灯・消灯する

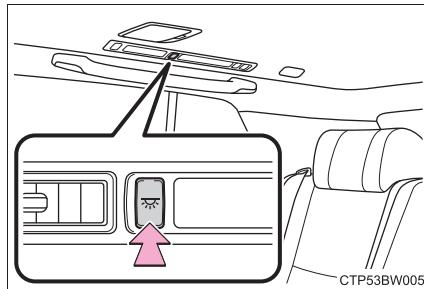
#### ▶ フロント

ランプを点灯・消灯する（ランプにタッチする）



#### ▶ リヤ

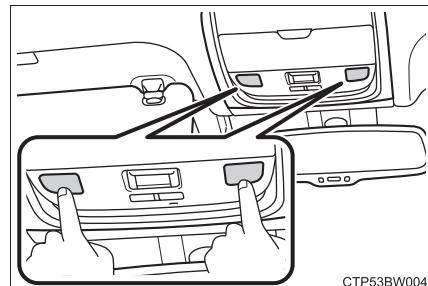
ランプを点灯・消灯する



## ■ パーソナルランプ

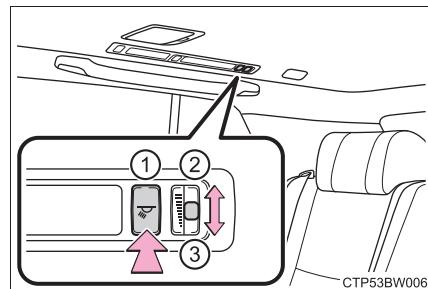
ランプを点灯・消灯する（ランプにタッチする）

ドアポジション（ドア運動）が ON のときは、ドアが開くとランプが点灯します。



## ■ 読書灯

- ① 点灯／消灯
- ② 明るくする
- ③ 暗くする



## ■ 知識

### ■ イルミネーテッドエントリーシステム

電子キーの検知・ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・パワースイッチのモードにより、各部の照明が自動的に点灯・消灯します。

### ■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

パワースイッチが OFF の場合、室内灯が点灯したままのときは、約 20 分後に自動消灯します。

### ■ 室内灯の自動点灯について

SRS エアバッグの作動時または後方から強い衝撃を受けたときは、室内灯が約 20 分間自動で点灯します。

手動操作で消灯することもできますが、二次災害を防ぐため、安全が確保できるまでは消灯しないことをおすすめします。（衝撃の度合いや事故の状況によっては点灯しないことがあります。）

### ■ カスタマイズ機能

お車に装備されている機能の一部は、設定を変更することができます。  
（→ P. 586）

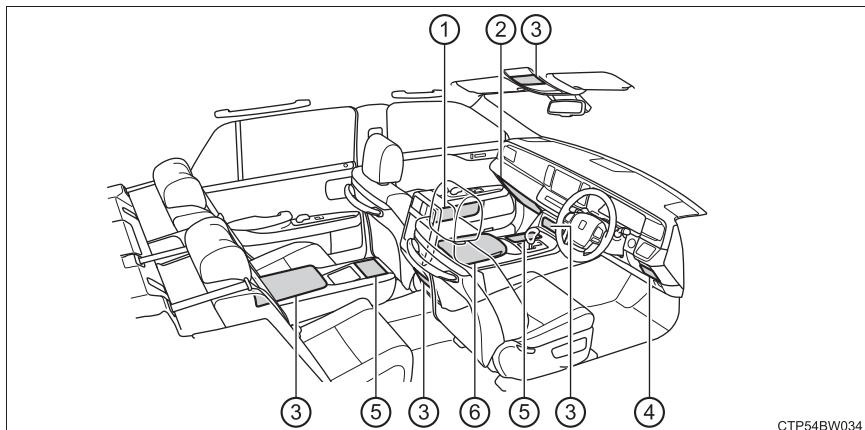
 **注意****■補機バッテリーあがり防止するため**

ハイブリッドシステムが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

**■ランプのレンズの取りはずしについて**

フロントインテリアランプとフロントパーソナルランプのレンズを絶対に取りはずさないでください。ランプが故障する原因となります。レンズを取りはずす必要がある場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

## 収納装備一覧



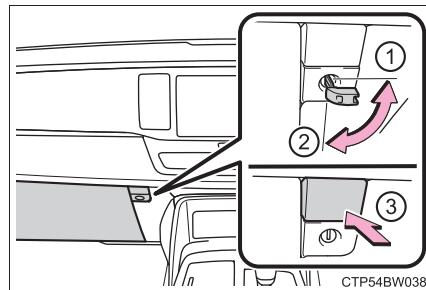
- |                               |                           |
|-------------------------------|---------------------------|
| ① ドアポケット（フロント席）<br>（→ P. 425） | ④ コインホルダー（→ P. 423）       |
| ② グローブボックス（→ P. 423）          | ⑤ カップホルダー（→ P. 426）       |
| ③ 小物入れ<br>（→ P. 427）          | ⑥ コンソールボックス<br>（→ P. 424） |

### ⚠ 警告

- メガネ・ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。  
放置したままでいると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
  - ・室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
  - ・室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる
- 収納装備を使わないときは、フタを必ず閉じてください。  
急ブレーキや急旋回時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## グローブボックス

- ① メカニカルキーで解錠
- ② メカニカルキーで施錠
- ③ 開ける（ボタンを押す）

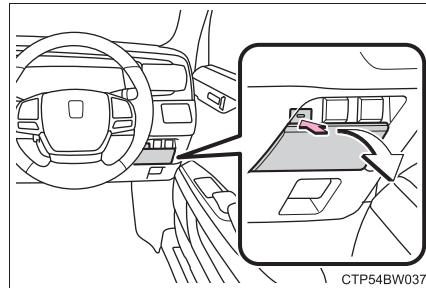


### 知識

車幅灯点灯時は、グローブボックス内のランプが点灯します。

## コインホルダー

ボタンを押す

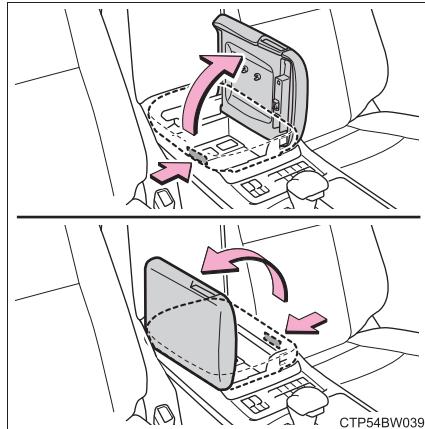


### 知識

車幅灯点灯時は、コインホルダー内のランプが点灯します。

## ■ コンソールボックス

ボタンを押してフタを開ける  
両側から開けることができます。



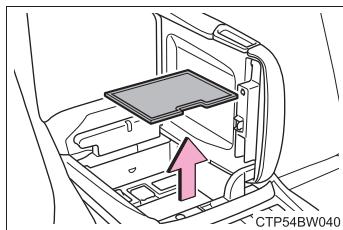
## ■ 知識

### ■ コンソールボックス内のランプについて

車幅灯点灯時はコンソールボックス内のランプが点灯します。

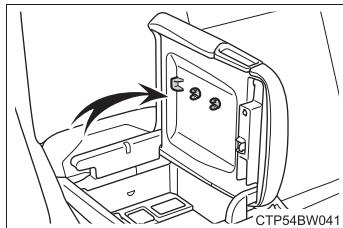
### ■ コンソールボックス内のトレイについて

トレイは取りはずすことができます。



### ■ ペンホールダー

フタの裏側にペンを取り付けることができます。



## ⚠ 警告

### ■ 走行中の警告

コンソールボックスを必ず閉じてください。

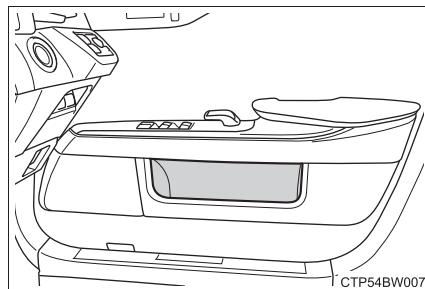
急ブレーキ時などに、開いたフタが体に当たったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## ⚠ 注意

### ■ トレイについて

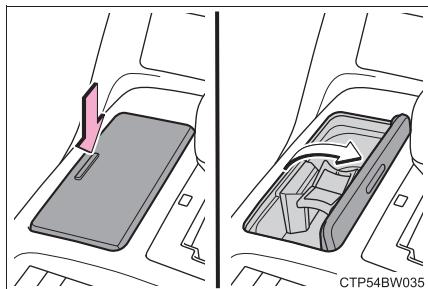
トレイの高さ以上にものを入れないでください。フタの開閉の妨げになるおそれがあります。

## ドアポケット（フロント席）



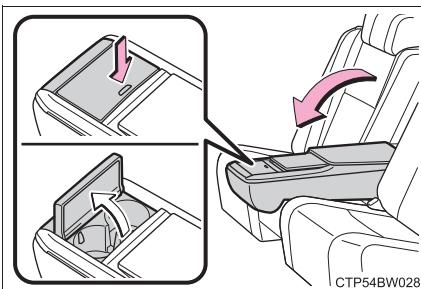
## カップホルダー

▶ フロント



フタを押して開ける

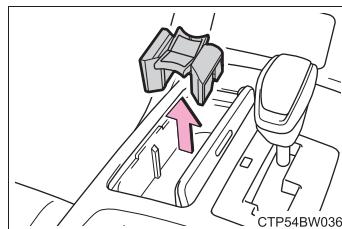
▶ リヤ



アームレストを手前に倒し、フタを押して開ける

## 知識

フロントカップホルダー内を清掃するため、仕切りを取りはずすことができます。



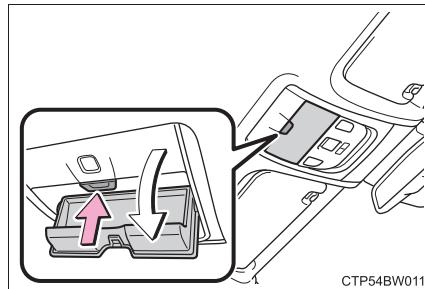
## 警告

- カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。  
急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。
- やけどを防ぐために、カップホルダーに温かい飲み物を置くときはフタを閉めてください。

## 小物入れ

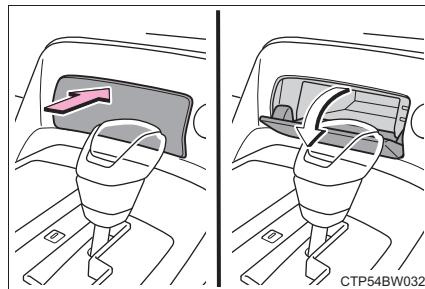
### ▶ 天井

ボタンを押す



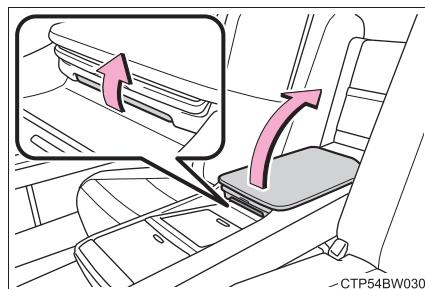
### ▶ インストルメントパネル中央

フタを押す



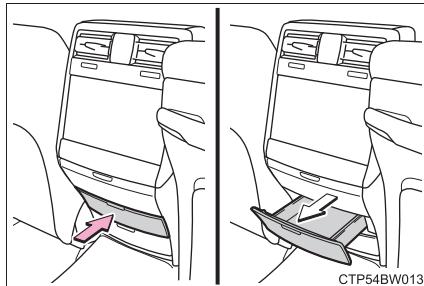
### ▶ リヤアームレスト

レバーを引き上げてロックを解除し、フタを持ち上げる



▶ コンソール背面

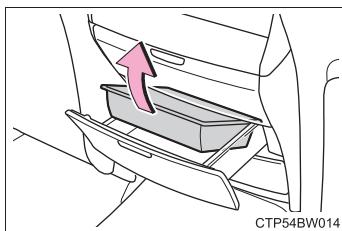
フタを押す



■ 知識

■ コンソール内のトレイについて

トレイは取りはずすことができます。



■ リヤアームレスト、コンソール内のランプについて

車幅灯点灯時はリヤアームレスト、コンソール内のランプが点灯します。

**警告**

■ 収納してはいけないもの（天井）

200g 以上のものを入れないでください。200g 以上のものを入れると、ふたが開き収納されているものが飛び出したりして思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

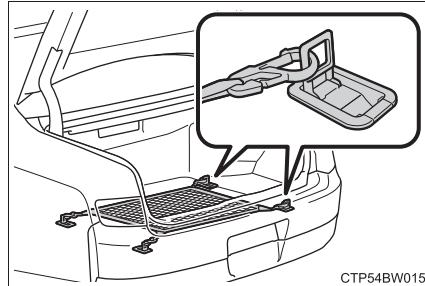
## トランク内装備

### ラゲージネット

荷物を固定したり、トランク内を前後に仕切ることができます。

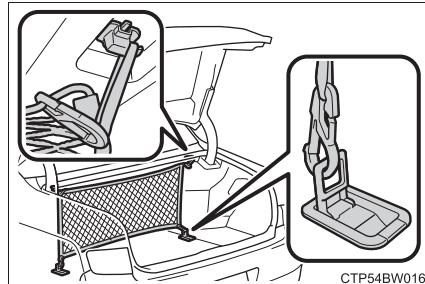
#### ■ 荷物を固定するには

床上の固定用フックを引き上げ、ネットを固定用フックにかける



#### ■ トランク内を仕切るには

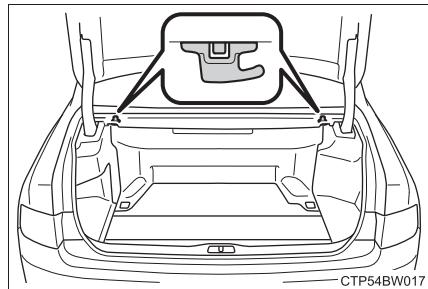
床上の固定用フックを引き上げ、ネットを固定用フックにかけてから、買い物フックにかける



### 注意

- ラゲージネットで、先の尖ったものや重いものを固定しないでください。ラゲージネットがやぶれるおそれがあります。
- ラゲージネットを使用しないときは、必ず固定用フックをもとの位置にもどしておいてください。トランク内の荷物または固定用フックが破損するおそれがあります。
- トランク内に荷物を置くときは、駆動用電池冷却用吸入口をふさがないでください。 (→ P. 78)

## 買い物フック

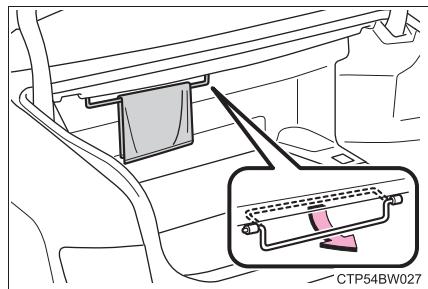


### 注意

破損を防ぐために、買い物フックに過度の負荷をかけないでください。

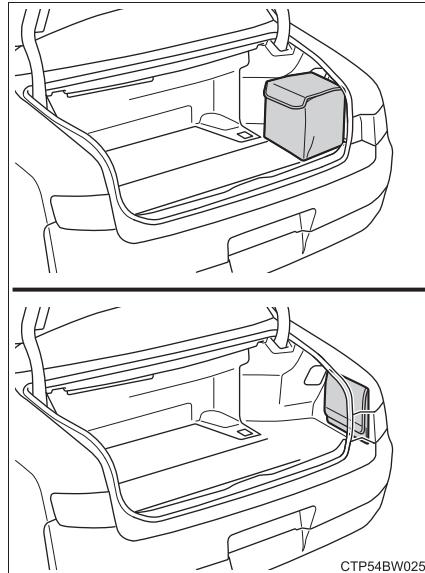
## タオルハンガー

ハンガーをクリップからはずし、手前におろす



## 小物入れ

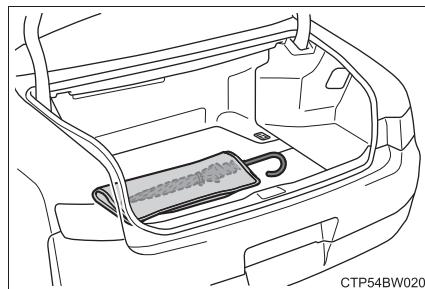
使用しないときは折りたたむことができます。



CTP54BW025

## 傘・毛バタキ入れ

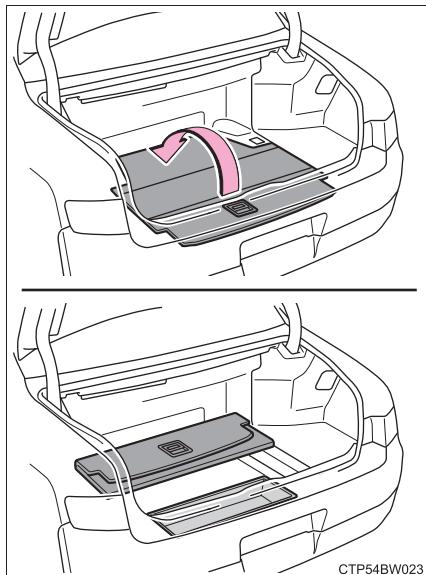
傘や毛バタキを収納できます。



CTP54BW020

### ラゲージマット下収納スペース（タイヤパンク応急修理キット装着車）

レバーを持ってラゲージマットを折りたたむ



CTP54BW023

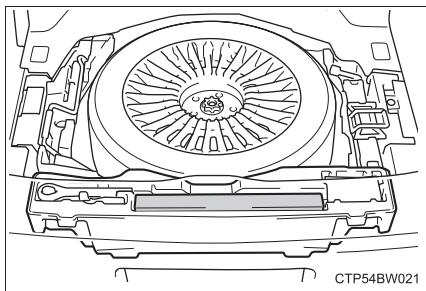
### 三角表示板収納スペース

- 1 ラゲージマットを取りはずす（→ P. 554）
- 2 タイヤパンク応急修理キット装着車：デッキボードを取りはずす（→ P. 540）
- 3 三角表示板を収納することができます。

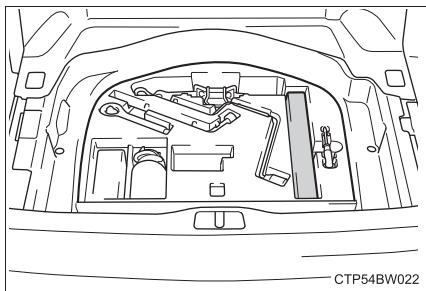
大きさや形状によっては、収納できない場合があります。

▶ スペアタイヤ装着車

▶ タイヤパンク応急修理キット装着車



CTP54BW021

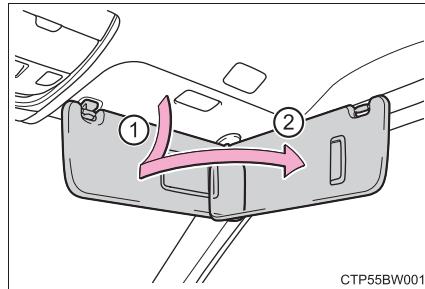


CTP54BW022

## その他の室内装備

### サンバイザー

- ① 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす
- ② 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす

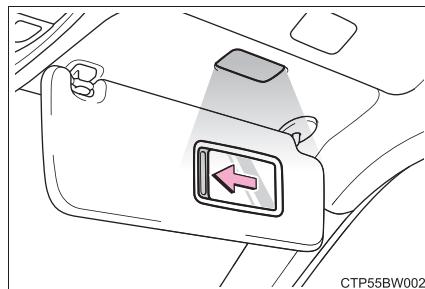


### バニティミラー

#### ▶ フロント

カバーをスライドして開ける

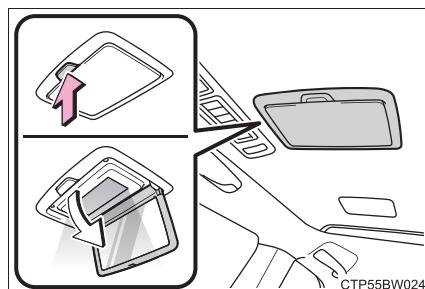
カバーを開けるとランプが点灯します。



#### ▶ リヤ

ボタンを押して開ける

ランプが点灯します。



### □ 知識

ハイブリッドシステムが停止した状態でランプが点灯したままの場合、約 20 分後に自動消灯します。

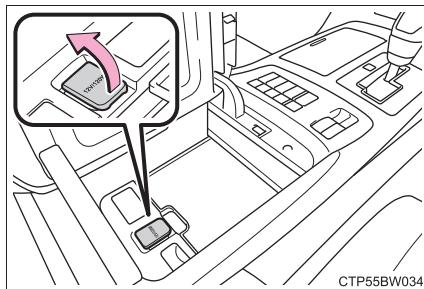
### 注意

- 使用しないときは、バニティミラーを必ず閉じてください。
- 補機バッテリーあがりを防止するために、ハイブリッドシステムが停止した状態で長時間ランプを点灯しないでください。

### アクセサリーソケット

DC12V/10A（消費電力 120W）未満の電気製品を使用するときの電源としてお使いください。

フタを開けて使用する



### 知識

#### ■ アクセサリーソケットを使用するとき

作動条件：パワースイッチがアクセサリーモード、ON モードまたはマルチメディアシステムの電源が ON のとき

#### ■ ハイブリッドシステムを停止するとき

モバイルバッテリーなどの、充電機能を備えた電気製品をはずしてください。接続したままにしておくと、ハイブリッドシステムが正常に停止しなくなる場合があります。

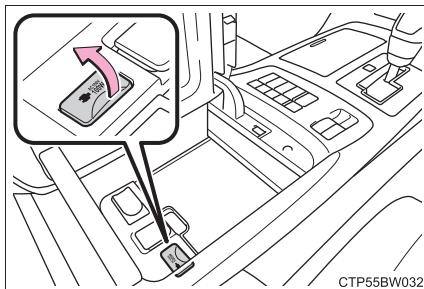
### 注意

- 異物が入ったり、飲料水などがかかったりしないように、使用しないときはフタを閉めておいてください。
- 補機バッテリーあがりを防止するために、ハイブリッドシステムが停止した状態で、アクセサリーソケットを長時間使用しないでください。

## アクセサリーコンセント

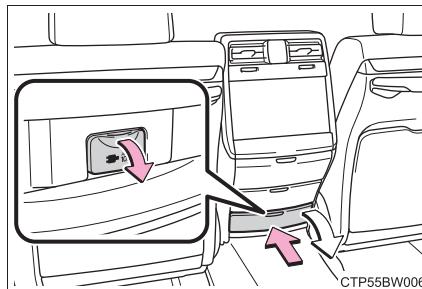
AC100Vで最大消費電力100W以下の電気製品を使うときの電源としてお使いください。

### ▶ コンソールボックス



フタを開けて使用する

### ▶ コンソール背面



フタを開けて使用する

## □ 知識

作動条件：パワースイッチがONモードのとき

### ⚠ 注意

- アクセサリーコンセントに異物が入ったり、飲料水などがかかったりしないように、使用しないときは、フタを閉めておいてください。
- ヒューズが切れるのを防ぐために、AC100Vで最大消費電力100W以上の電気製品を使用しないでください。消費電力が100Wを超える電気製品を使用すると、保護回路が作動して電源を遮断します。
- 補機バッテリーあがりを防止するために、ハイブリッドシステムが停止した状態で、アクセサリーコンセントを長時間使用しないでください。
- 次のようなAC100Vの電気製品は、消費電力が100W以下の場合でも正常に作動しないことがあります。
  - ・起動時のピーク電力が高い電気製品
  - ・精密なデータを処理する計測機器
  - ・電源周波数の切りかえ(50/60Hz)のある機器
  - ・極めて安定した電力供給を必要とするその他の電気製品

## 充電用 USB 端子

- ▶ フロント席用（インストルメントパネル中央）

最大 45W までの出力が可能です。

充電用 USB 端子は、使用する機器によって複数の電圧（V）および複数の出力（W）にて使用できます。

- ▶ フロント席用（コンソールボックス）

DC5V/3A（消費電力 15W）の電源としてお使いください。

- ▶ リヤ席用（リヤアームレスト）

DC5V/2.1A（消費電力 10.5W）の電源としてお使いください。

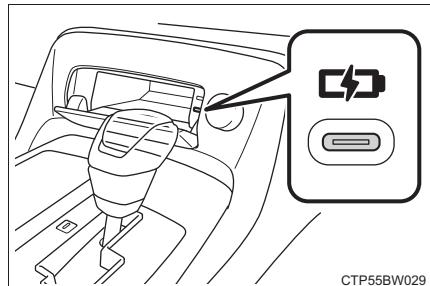
これらの USB 端子は充電専用でありデータ転送などは行えません。

また、使用する機器によっては、正常に充電できない場合があります。

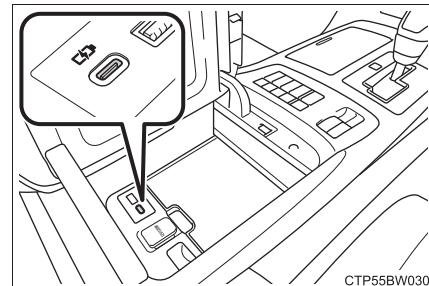
ご使用になる機器に付属の取扱説明書もお読みください。

### ■ 充電用 USB 端子を使用するには

- ▶ フロント席用（インストルメントパネル中央）
- ▶ フロント席用（コンソールボックス）

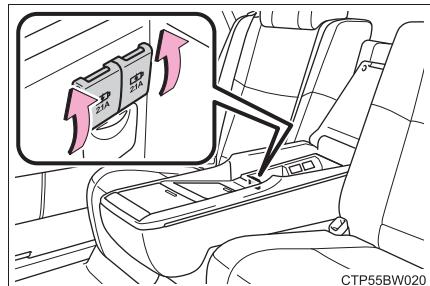


フタを開けて使用する



フタを開けて使用する

- ▶ リヤ席用（リヤアームレスト）



フタを開けて使用する

 知識

### ■充電用 USB 端子の作動条件

パワースイッチがアクセサリーモード、ON モードまたはマルチメディアシステムの電源が ON のとき

### ■充電用 USB 端子が正常に働かないおそれのある状況

- 以下の容量をこえる電力を要求する機器を接続したとき

- ・フロント席用(インストルメントパネル中央):DC15V/3A またはDC20V/2.25A (消費電力 45W)
- ・フロント席用(コンソールボックス):DC5V/3A (消費電力 15W)
- ・リヤ席用:DC5V/2.1A (消費電力 10.5W)

- パソコンと通信を行う機器を接続したとき

- 接続機器の電源が OFF のとき(機器により異なります)

- 炎天下に駐車したあとなど、車室内の温度が高いとき

### ■使用する外部機器について

一部の機器では、充電中に充電がいったん停止後、再充電を開始する場合がありますが、故障ではありません。

 注意

#### ■充電用 USB 端子の損傷を防ぐために

- 端子部に異物を入れないでください。
- 水や液体をかけないでください。
- 充電用 USB 端子を使わないときはフタを必ず閉じてください。端子部に異物や液体が入ると故障やショートの原因になります。
- 強い力や衝撃を加えないでください。
- 分解や改造、取りはずしをしないでください。

#### ■外部機器の損傷を防ぐために

- 機器を車室内に放置しないでください。車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 機器が接続されているときに、外部機器や外部機器のケーブルを押し下げたり、不要な力を加えたりしないでください。

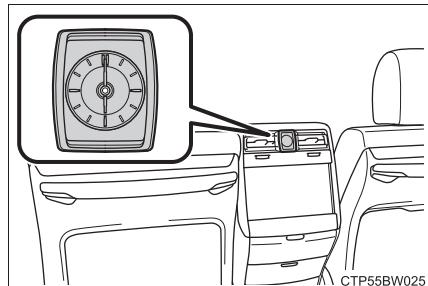
#### ■補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステムが停止した状態で、充電用 USB 端子を長時間使用しないでください。

## 時計

GPS の時刻情報を利用して、時刻を自動で調整します。

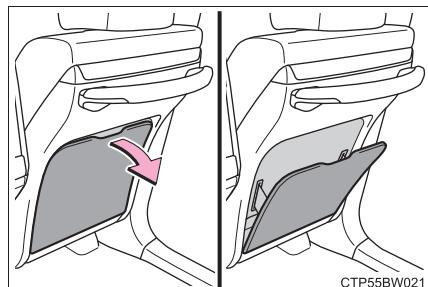
詳しくは、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。



## シートバックポケット（運転席側のみ）

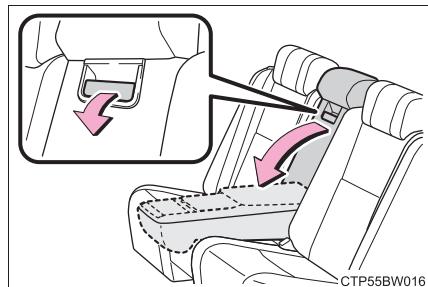
雑誌や新聞、タブレットなどを収納することができます。

大きさ・形状によっては収納できないことがあります。



## リヤアームレスト

レバーを引いて手前に倒す

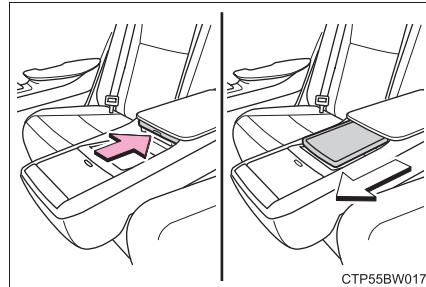


### ⚠ 注意

リヤアームレストの破損を防ぐために過度の負荷をかけないでください。

## ライティングテーブル

使用するときは、ライティングテーブルのふちを押す



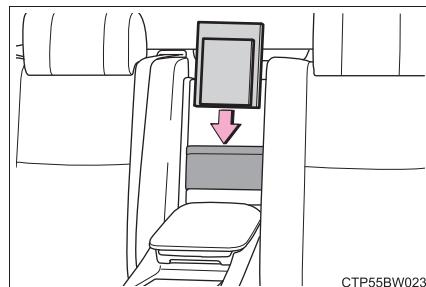
### 注意

- ライティングテーブルの破損を防ぐため、過度の負荷をかけないでください。
- 先のとがったペンなどを使用した場合、表面に傷がつくことがあります。

## マガジンラック

本や新聞などを収納することができます。

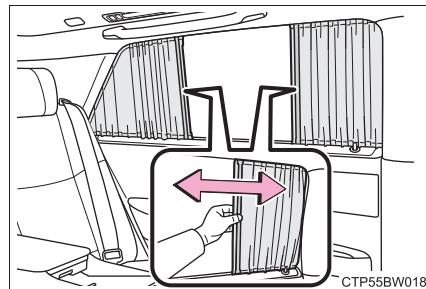
大きさ・形状によっては収納できないことがあります。



## リヤドアカーテン★

使用するときは、カーテンの端を持ってスライドさせる

右図を参考に、中央を持ってスライドさせてください。



## □ 知識

### ■ リヤドアカーテンのお手入れについて

→ P. 452

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## 電動リヤカーテン★

リヤマルチオペレーションパネルやスイッチの操作でリヤウインドウガラスのカーテンを開閉できます。

### ■ フロント席からの操作

#### ① スイッチを押す

- ・押し続けているあいだ、カーテンが開きます。
- ・自動全閉作動中に押すと作動が停止します。

#### ② スイッチを約1秒長押しする

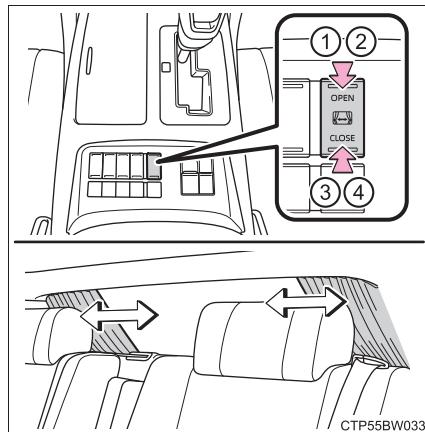
全開位置まで作動します。(自動全閉作動)

#### ③ スイッチを押す

- ・押し続けているあいだ、カーテンが閉じます。
- ・自動全閉作動中に押すと作動が停止します。

#### ④ スイッチを約1秒長押しする

- ・カーテンが全開位置の場合、半開位置まで作動します。
- ・カーテンが全開位置以外の場合、全閉位置まで作動します。(自動全閉作動)



★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

## ■ リヤ席からの操作

### 操作スイッチをタッチする

電動リヤカーテンが全開／全閉します。

作動中に再度タッチすると逆方向に動きます。



## □ 知識

### ■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

### ■ カーテンの作動について

- 開閉作動後、反対側に少し作動することがありますが、異常ではありません。
- 自動全開／自動全閉作動直後、一定時間スイッチ操作を受け付けない場合がありますが、異常ではありません。

### ■ ハイブリッドシステム停止後の作動

パワースイッチをアクセサリーモードまたは OFF にしたあとでも、約 1 分間は操作できます。

### ■ リバース連動機能

シフトレバーを R にすると、後方を見やすくするために電動リヤカーテンが開きます。

- シフトレバーが R にあるときは、リヤマルチオペレーションパネルやスイッチで操作しても電動リヤカーテンを閉じることはできません。
- ハイブリッドシステムを停止するか、シフトレバーを P に入れる、または R 以外にして約 15km/h で走行すると、半開位置にもどります。  
(作動前に全閉していた場合は全閉位置にもどります)

### ■ リヤカーテンのお手入れについて

→ P. 452

## ⚠ 警告

### ■ 電動リヤカーテン作動中は

カーテンレール溝部に指などを入れないでください。  
挟まれてけがをするおそれがあります。

## ⚠ 注意

### ■ 補機バッテリーあがりをふせぐために

ハイブリッドシステムが停止しているときは電動リヤカーテンを操作しないでください。

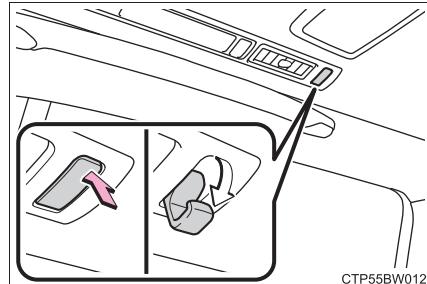
### ■ 正常に作動させるために

次のことをお守りください。

- モーター や他の部分に過度の負荷をかけない
- 開閉の妨げになる部分にものを置かない
- カーテンレールにものをかけたり取り付けたりしない
- 手でカーテンを動かさない  
もしも動かしてしまったときは、フロント席のスイッチを押し続け、全開または全閉にしてください。
- カーテンレール溝部をきれいに保つ
- 長時間操作を続けない

## コートフック

使用するときは、コートフックを押す



## 警告

ハンガーや他の硬いもの、鋭利なものをかけないでください。  
SRS カーテンシールドエアバッグがふくらんだときにそれらのものが飛び、重大な傷害または死亡につながるおそれがあります。

## 靴べら差し

靴べらを収納することができます。

大きさ・形状によっては収納できないことがあります。



## お手入れのしかた

# 6

### 6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ.....	446
内装の手入れ.....	451

### 6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット .....	461
ガレージジャッキ .....	464
エンジンルームカバー .....	465
ウォッシュシャー液の補充 .....	467
タイヤについて .....	468
タイヤ空気圧について .....	487
エアコンフィルターの 交換 .....	489
電子キーの電池交換 .....	492
ヒューズの点検・交換 .....	495
電球（バルブ）の交換 .....	499

## 外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックス掛けを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボデーコート・ホイルコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。  
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

### 知識

#### ■セルフリストアリングコートについて

お車のボデーには、洗車などによる小さなすり傷を自然に復元する、傷付きにくい塗装を使用しています。

- 新車時から5～8年のあいだ、効果が持続します。
- 傷が復元するまでの時間は、傷の深さや周囲の温度により変化します。  
なお、お湯をかけて塗装を暖めると、復元するまでの時間が短くなる場合があります。
- 鍵や硬貨などによる深い傷は復元できません。
- 成分にコンパウンド（磨き粉）が含まれるワックス類は使用しないでください。

## ■自動洗車機を使うとき

### ●お車を洗う前に：

- ・ドアミラーを格納する
- ・パワートランクリッドを停止する
- 走行前は必ずドアミラーを復帰状態にもどしてください

### ●ブラシで車体などに傷が付き、塗装を損なうことがあります。

## ■高圧洗浄機を使うとき

室内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアやガラスの開閉部に近付けすぎたり、同じ場所に連続してあてたりしないでください。

## ■洗車などで車に水をかけたとき

キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠／解錠動作をくり返すことがあります。その場合は次のような処置をして、洗車などをしてください。

- 電子キーを車両から2m以上離れた場所に保管する(電子キーの盗難に注意してください)
- 電子キーを節電モードに設定し、スマートエントリー＆スタートシステムの作動を停止する(→P. 141)

## ■ホイール・ホイールキャップについて

- 中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。
- 洗剤を使用したあとは放置せずに水で十分洗い流してください。
- 塗装の損傷を防ぐため、次のことを必ずお守りください。
  - ・酸性・アルカリ性および研磨剤の入った洗剤を使用しない
  - ・硬いブラシを使用しない
  - ・夏場の走行後や駐車後でホイールが熱いときは、洗剤を使用しない

## ■ブレーキパッドやディスクローターについて

水に濡れた状態のまま駐車しておくと、錆びて貼り付くことがあります。洗車後は低速で走行し、ブレーキを数回かけて乾燥させてから駐車してください。

## ■バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

## ■フロントドアガラスの撥水コーティングについて

撥水効果を長持ちさせるため、次のことに注意してください。

- フロントドアガラス表面の泥などの汚れを落とす
- 汚れは早めにやわらかい湿った布などで清掃する
- コンパウンド（磨き粉）が入ったガラスクリーナーやワックスを使用しない
- 金属製の道具で霜取りをしない

### ■ メッキ部品のお手入れについて

メッキ部品の汚れが落ちにくい場合は、次の方法でお手入れをしてください。

- 中性洗剤を水で約5%に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取る
- 油分を含んだ汚れはアルコール系ウェットティッシュなどで油を浮かせてからふき取る

### **⚠ 警告**

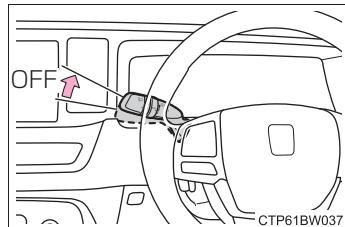
#### ■ 洗車をするとき

エンジンルーム内に水をかけないでください。

電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

#### ■ フロントウインドウガラスを清掃するときは

ワイパー・スイッチをOFFにしてください。AUTOモードになっていると、次のようなときにワイパーが不意に作動し、指などを挟み重大な傷害を受けたり、ワイパーブレードなどを損傷するおそれがあります。



- 雨滴センサー上部のフロントウインドウガラスに手でふれたとき
- 水分を含んだ布などを雨滴センサーに近付けたとき
- フロントウインドウガラスに衝撃を与えたとき
- 車内から雨滴センサー本体にふれるなどして衝撃を与えたとき

#### ■ 排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

#### ■ リヤバンパーについて

リヤバンパーの塗装に傷が付くと、次のシステムが正常に作動しなくなるおそれがあります。トヨタ販売店にご相談ください。

- BSM
- RCTA
- 後方車両への接近警報
- 安心降車アシスト

## 注意

### ■塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために

- 次のような場合は、ただちに洗車してください。
  - ・ 海岸地帯を走行したあと
  - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
  - ・ コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
  - ・ ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
  - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
  - ・ 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

### ■ランプの清掃

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。  
ランプを損傷させるおそれがあります。
- ランプにワックス掛けを行わないでください。  
レンズを損傷するおそれがあります。

### ■高圧洗浄機を使用するときは

- 洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ノズルの先端を、下記部品の結合部やブース類（ゴムまたは樹脂製のカバー）、コネクタ類に近付けすぎないでください。  
高い水圧がかかることにより、部品が損傷するおそれがあります。
  - ・ 駆動系部品
  - ・ ステアリング部品
  - ・ サスペンション部品
  - ・ ブレーキ部品
- モール、バンパーなど樹脂部分は変形、損傷するおそれがあるため、洗浄ノズルと車体との距離を30cm以上離してください。また、同じ場所へ連続して水をあてないでください。
- フロントウインドウガラス下部へ連続して水をあてないでください。エアコンの空気取り入れ口があり、エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 高圧洗浄機で車両の下まわりを洗浄しないでください。

 **注意****■自動洗車機を使用するときは**

ワイパースイッチを OFF にしてください。( $\rightarrow$  P. 232)

AUTO モードになっていると、不意にワイパーが作動してワイパークリーナーなどを損傷するおそれがあります。

## 内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

### 室内の手入れ

- 掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る
- 汚れが落ちない場合は、中性洗剤を水で約 1%に薄めてやわらかい布に含ませふき取る  
水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

### サテン仕上げ金属コーティング部分の手入れ

- 重曹（炭酸水素ナトリウム）溶液をやわらかい布または合成セーム皮に含ませ、汚れをふき取る  
真水に重曹を 10:1 の割合で溶かした溶液を使用してください。
- 乾いたやわらかい布で表面に残った水分を完全にふき取る

### 本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- 薄めた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る  
ウール用の中性洗剤を水で約 5% に薄めて使用してください。
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

## 合成皮革部分の手入れ

- 掃除機などではこりを取り除く
- 中性洗剤を水で約1%に薄めてやわらかい布に含ませふき取る
- 水を浸した布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る

## カーテンのお手入れ

カーテンは取りはずして清掃することができます。

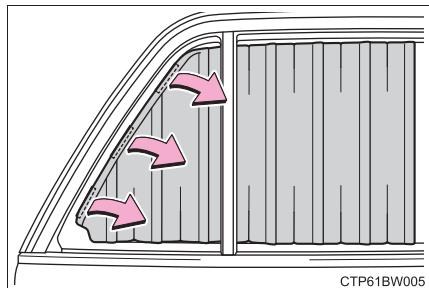
### ⚠ 注意

- 取りはずす際にランナーやフックに無理な力をかけないでください。破損の原因になります。
- カーテンに強い力を加えて引っ張らないでください。

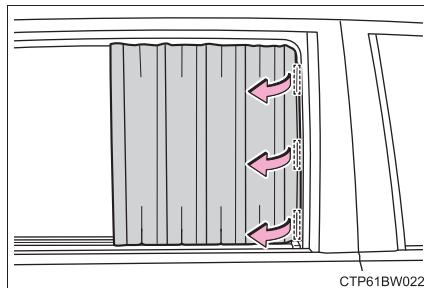
### ■ リヤドアカーテンの取りはずし方

- 1 ドアを開ける
- 2 ドアガラスを全開にする (→ P. 177)
- 3 マジックテープを取りはずす (3箇所)

▶ 車両後方側

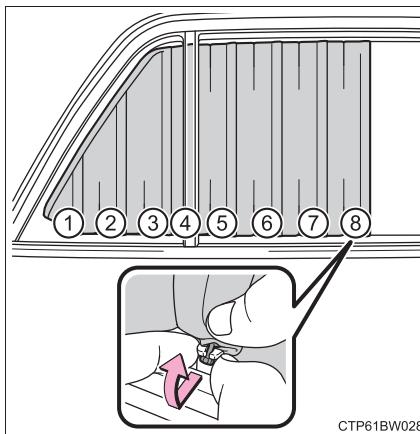


▶ 車両前方側

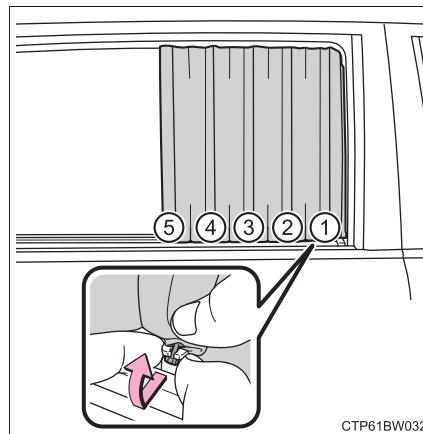


**4 番号順に下側ランナーからフックを押して取りはずす**

▶ 車両後方側

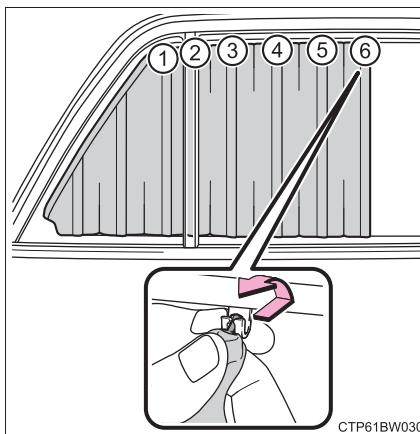


▶ 車両前方側

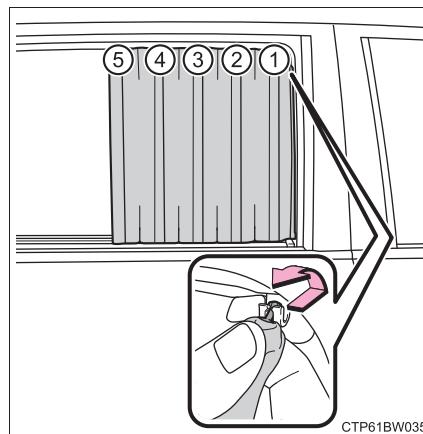


**5 番号順に上側ランナーからフックを押して取りはずす**

▶ 車両後方側

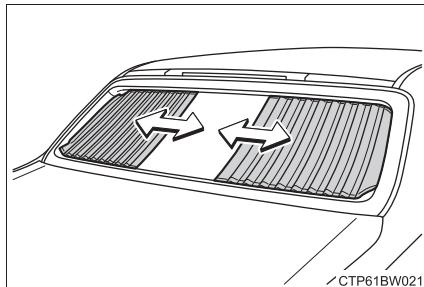


▶ 車両前方側

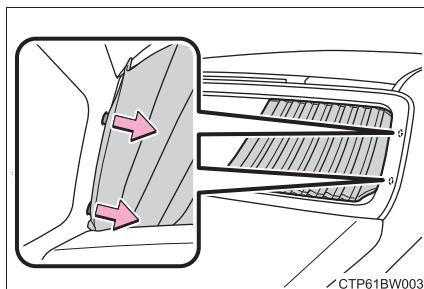


### ■ リヤカーテンの取りはずし方

- 1 アームレストを倒す (→ P. 438)
- 2 ヘッドレストを下方に移動させる (→ P. 168)
- 3 リヤカーテンを半開位置に移動させる (→ P. 442)



- 4 スナップを取りはずす (2箇所)

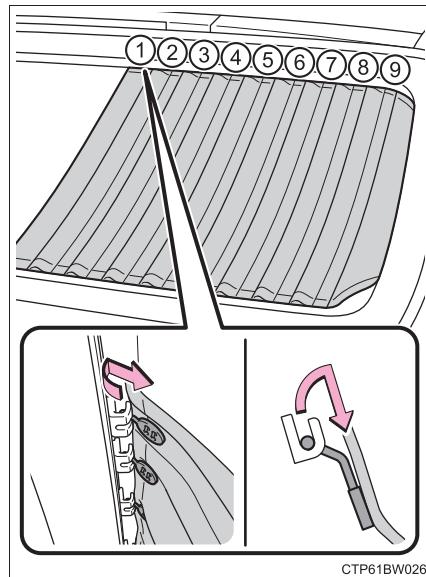


- 5 番号順に下側ランナーからフックを取りはずす

車両外側に押すように取りはずしてください。



- 6 番号順に上側ランナーからフックを取りはずす  
車両外側に押すように取りはずしてください。



### ■ カーテンの洗濯について

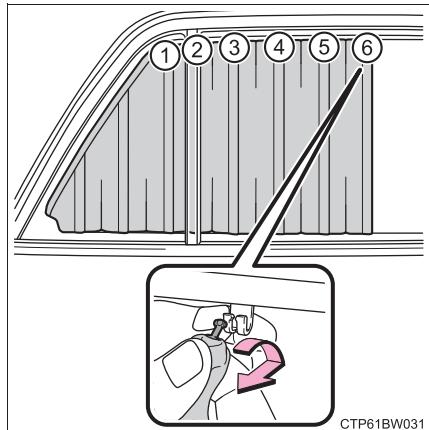
カーテンの洗濯をするときは、カーテンに取り付いているタグの洗濯表示を参照してください。

### ■ リヤドアカーテンの取り付け方

- 1 ドアを開ける
- 2 ドアガラスを全開にする (→ P. 177)
- 3 番号順に上側ランナーにフックを取り付ける

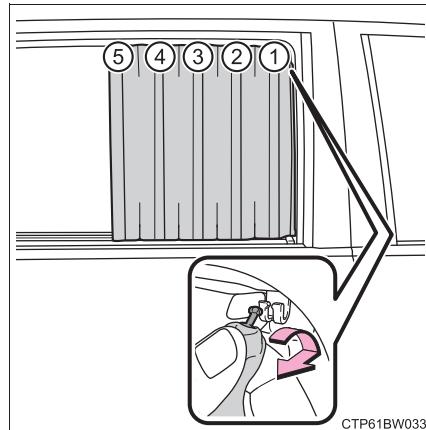
車両前方側のカーテンはマジックテープが車両内側になるように取り付けてください

▶ 車両後方側



CTP61BW031

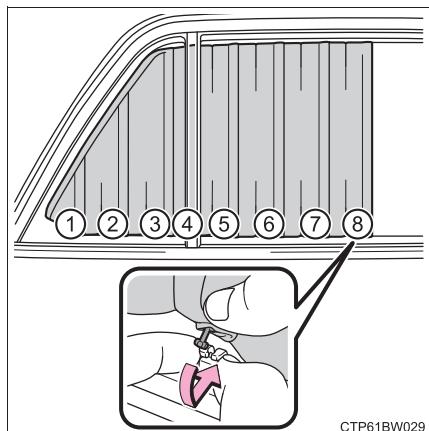
▶ 車両前方側



CTP61BW033

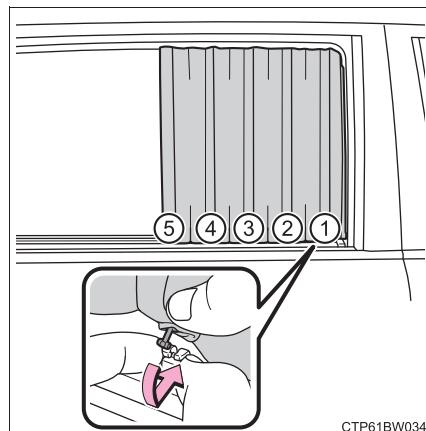
- 4 番号順に下側ランナーにフックを取り付ける

▶ 車両後方側



CTP61BW029

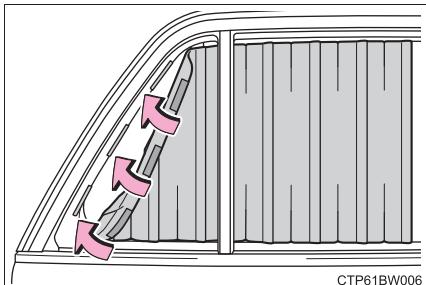
▶ 車両前方側



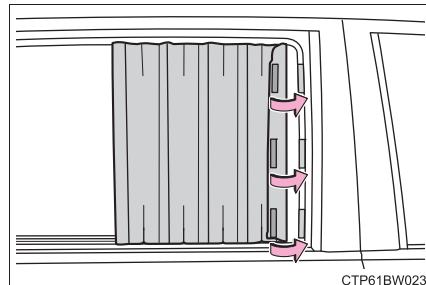
CTP61BW034

**5 マジックテープを取り付ける（3箇所）**

▶ 車両後方側



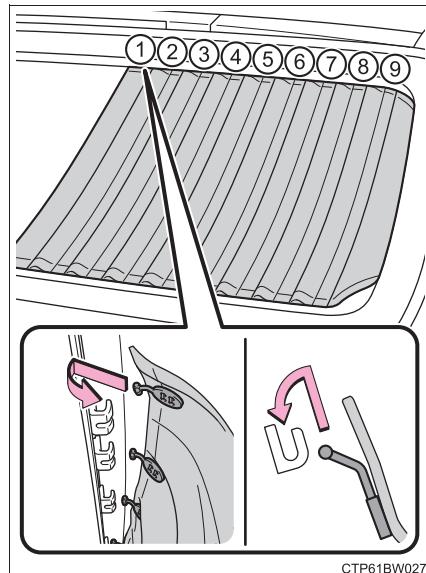
▶ 車両前方側



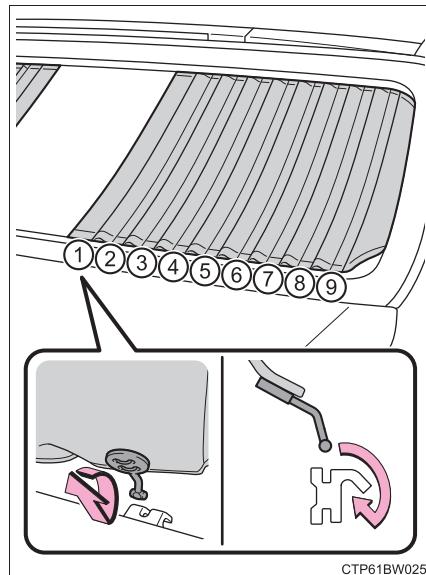
**■ リヤカーテンの取り付け方**

- 1 アームレストを倒す（→ P. 438）
- 2 ヘッドレストを下方に移動させる（→ P. 168）
- 3 番号順に上側ランナーにフックを取り付ける

スナップが車両内側になるように取り付けてください

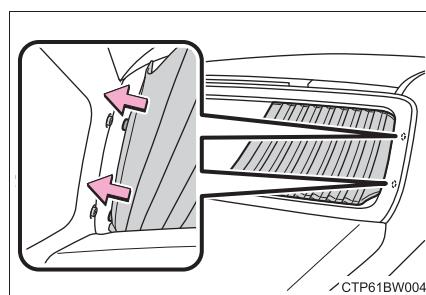


- 4 番号順に下側ランナーにフックを取り付ける



CTP61BW025

- 5 スナップを取り付ける（2箇所）



CTP61BW004

 知識

### ■本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

### ■カーペットの洗浄

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーをご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

### ■シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。

シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

 警告

#### ■車両への水の浸入

- 床・トランク内・駆動用電池冷却用吸入口など、車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。(→ P. 78)

駆動用電池や電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。

- SRSエアバッグの構成部品や電気配線をぬらさないでください。(→ P. 39)  
電気の不具合により、SRSエアバッグが作動したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウインドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

### ■清掃するとき使用する溶剤について

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
  - ・ シート・ハンドル以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
  - ・ シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤
  - ・ ハンドル：シンナーなどの有機溶剤、アルコール類を含むクリーナー
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。  
インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

### ■革の傷みを避けるために

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために、次のことをお守りください。

- 革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く
- 直射日光に長時間さらさないようにする  
特に夏場は日陰で車を保管する
- ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

### ■床に水がかかると

水で洗わないでください。

オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因となったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

### ■フロントウインドウガラスの内側を掃除するときは

カメラセンサーのレンズに、ガラスクリーナーが付着しないようにしてください。

また、レンズにはふれないでください。 (→ P. 249)

### ■リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

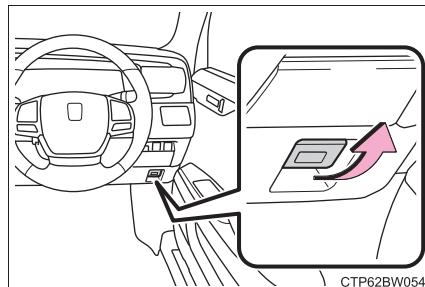
- 热線やアンテナを損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、热線やアンテナにそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。

- 热線やアンテナを引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

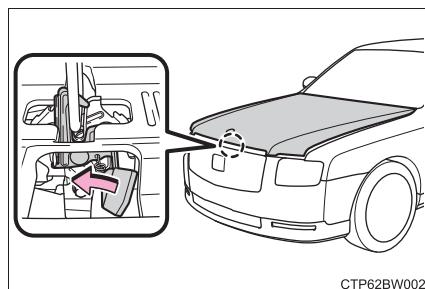
## ボンネット

室内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

- 1 ボンネット解除レバーを引く  
ボンネットが少し浮き上がります。



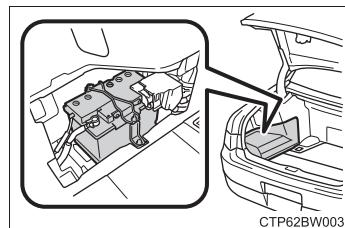
- 2 レバーを左方向に押して、ボンネットを開ける



### □ 知識

#### ■補機バッテリーについて

この車両の補機バッテリーはトランク(助手席側)のカバー内にあり、エンジンルームには搭載されていません。



## ⚠ 警告

### ■走行前の確認

ボンネットがしっかりとロックされていることを確認してください。

ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■修理・車検・整備点検をする場合は

整備モードに切りかえる必要がありますので、必ずトヨタ販売店にご相談ください。高電圧システムを使用しているため、取り扱いを誤ると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■エンジンルーム点検後の確認

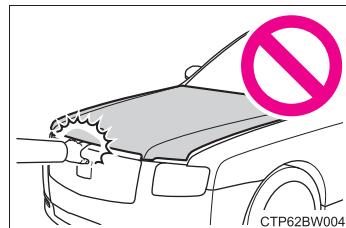
エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。

点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れていると、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

### ■ボンネットを閉めるとき

手などを挟まないように注意してください。

重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



### ■補機バッテリーの取り扱いについて

→ P. 570

 **注意****■ボンネットやダンパーステーへの損傷を防ぐために**

- ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。
- ボンネットには、ボンネットを支えるためのダンパーステーが取り付けられています。ダンパーステーの損傷や作動不良を防ぐため、次のことをお守りください。
  - ・ ビニール片・ステッカー・粘着材などの異物をステーのロッド部（棒部）に付着させない
  - ・ ロッド部を軍手などでふれない
  - ・ ボンネットにトヨタ純正品以外のアクセサリー用品を付けない
  - ・ ステーに手をかけたり、横方向に力をかけたりしない

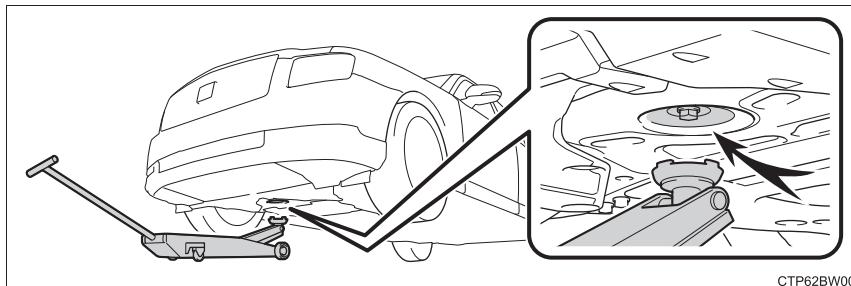
## ガレージジャッキ

ガレージジャッキを使用するときは、ガレージジャッキに付属の取扱説明書に従って、安全に作業してください。

ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

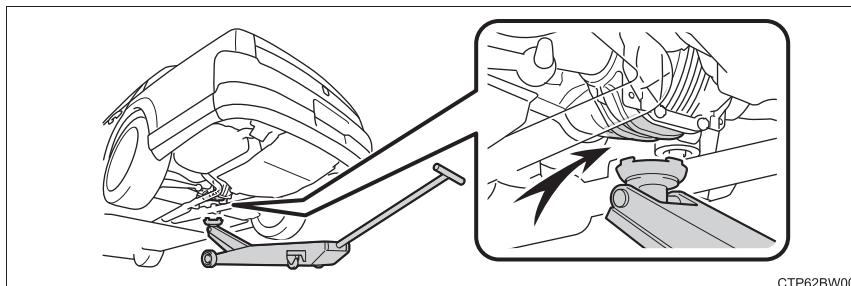
正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあります。

### ◆ フロント側



CTP62BW005

### ◆ リヤ側



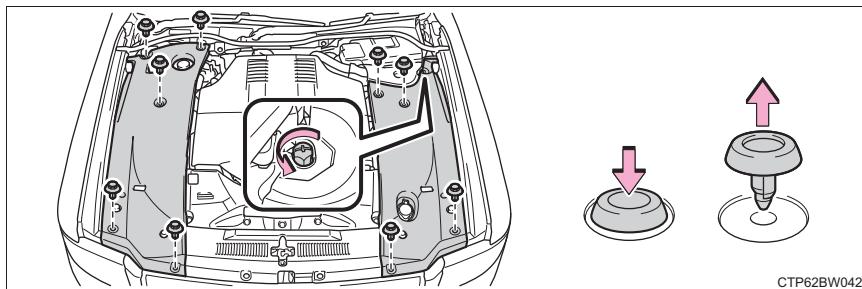
CTP62BW006

## エンジンルームカバー

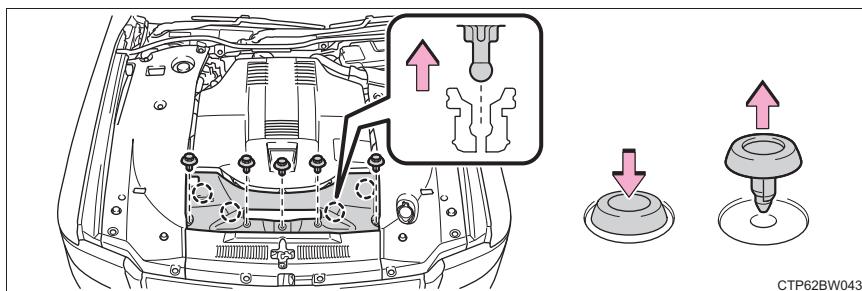
ヒューズの交換・点検などを行うときに取りはずします。

### エンジンルームカバーの取りはずし方

#### ▶ 外側



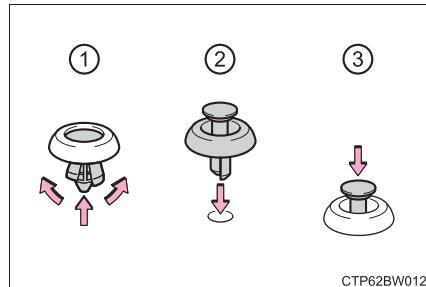
#### ▶ 前側



## クリップの取り付け方

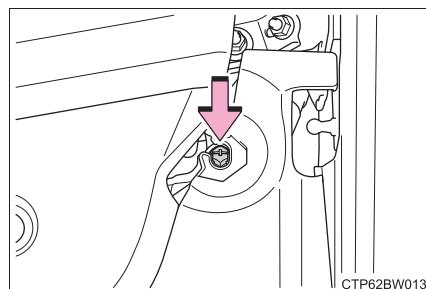
### ▶ タイプ A

- ① クリップの中央部を押し上げる
- ② 挿し込む
- ③ クリップ中央部分を押す



### ▶ タイプ B

クリップを押す



## ⚠ 警告

### ■ けがを防ぐために

エンジンルームカバーを取りはずす前に、パワースイッチを OFFにしてください。熱くなった部品でやけどをしたり、作動中の部品に巻き込まれて重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

## ⚠ 注意

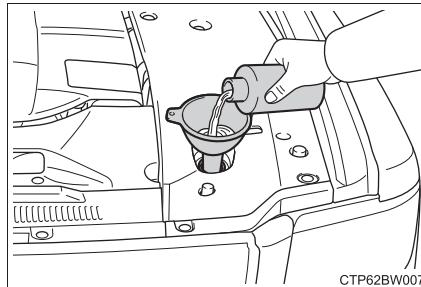
### ■ エンジンルームカバー取り付け後の確認

もとの場所に確実に取り付けられていることを確認してください。

## ウォッシャー液の補充

次の場合、ウォッシャー液を補充してください。

- ウォッシャー液が出ない
- マルチインフォメーションディスプレイに「ウォッシャー液を補充してください」が表示されたとき



CTP62BW007

### !**警告**

#### ■ ウォッシャー液を補充するとき

ハイブリッドシステムが熱いときやハイブリッドシステム作動中は、ウォッシャー液を補充しないでください。

ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、ハイブリッドシステムなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

### !**注意**

#### ■ ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くことや、ポンプが故障してウォッシャー液が出なくなるおそれがあります。

#### ■ ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

## タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション（タイヤ位置交換）を 10,000km ごとに行ってください。

### タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

#### ● タイヤ空気圧

空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

#### ● タイヤの亀裂・損傷の有無

#### ● タイヤの溝の深さ

#### ● タイヤの異常摩耗（極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど）の有無

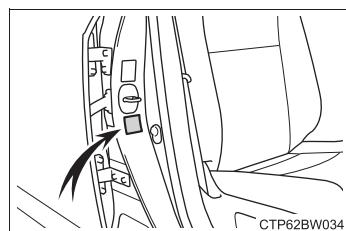
### □ 知識

#### ■ タイヤ空気圧の数値

空気圧 ※ kPa (kg/cm <sup>2</sup> )	
前輪	後輪
230 (2.3)	240 (2.4)

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。

※ タイヤが冷えているときの空気圧



#### ■ タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

## 警告

### ■ 点検・交換時の警告

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない
- 他の車両で使用していたタイヤを使用しない  
以前どのように使用されていたか不明なタイヤは使用しない

### ■ 異常があるタイヤの使用禁止

異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルを取られたり、異常な振動を感じることがあります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

### ■ 異常があるホイールの使用禁止

亀裂や変形などがあるホイールは使用しないでください。

走行中にタイヤの空気が抜けて、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

### ■ タイヤ交換時の注意

ねじ部にオイルやグリースをぬらないでください。

ナットを締めるとときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。

またナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。オイルやグリースがねじ部についている場合はふき取ってください。

 **注意****■悪路走行に対する注意**

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。  
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・  
ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

**■走行中に空氣もれが起こったら**

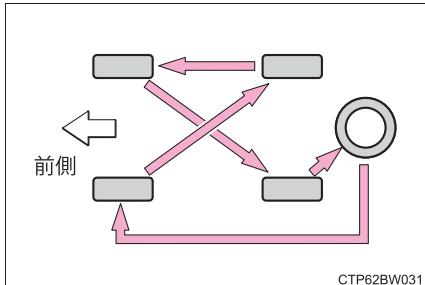
走行を続けないでください。  
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

## タイヤローテーションのしかた

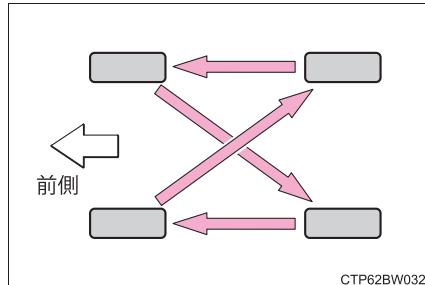
図で示すようにタイヤのローテーションを行います。

タイヤの磨耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタは定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。

### ▶ スペアタイヤ装着車



### ▶ タイヤパンク応急修理キット装着車



タイヤローテーション後は、タイヤ空気圧警報システムの初期化を確実に行ってください。

## タイヤ空気圧警報システム

ディスクホイールに装着された空気圧バルブ、および送信機が一定周期ごとに各輪のタイヤ空気圧を監視し、タイヤの空気圧の低下を早期に知らせるタイヤ空気圧警報システムが付いています。

このシステムは状況に応じてマルチインフォメーションディスプレイで2種類の警報とタイヤ空気圧警告灯、ブザーでお知らせをします。

(→ P. 518)

- マルチインフォメーションディスプレイに“空気圧を調整してください”が表示されたとき

通常の使用によって、タイヤの空気圧が低下した場合に表示されます。

- マルチインフォメーションディスプレイに“すみやかに安全な場所でタイヤ点検”が表示されたとき

急激にタイヤの空気圧が低下した場合に表示されます。

ただし、このシステムはパンク等を検出できない場合があります。

- タイヤ空気圧警報システムが検知した空気圧をマルチインフォメーションディスプレイに表示できます。



## ■ 単位の切りかえかた

- 1 車を安全な場所に駐車し、ハイブリッドシステムを停止する  
車両が動いているときは、単位の切りかえができません。
- 2 ハイブリッドシステムを始動する
- 3 マルチインフォメーションディスプレイの  を選択する
- 4 メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して “車両設定” を選択し、OK スイッチを長押しする
- 5 メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して “TPWS 設定” を選択し、OK スイッチを押す
- 6 メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して “単位設定” を選択し、OK スイッチを押す
- 7 メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押してお好みの単位を選択し、OK スイッチを押す

## 知識

### ■ タイヤ空気圧警報システムについて

タイヤ空気圧警報システムは、日常点検の代用ではありません。

日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの点検方法は、別冊「メンテナンスノート」を参照してください

### ■ タイヤ空気圧表示について

- パワースイッチを ON にしたあと、空気圧が表示されるまで約 2 分かかります。  
また、空気圧が調節された場合も、表示が更新されるまで約 2 分かかります。
- タイヤ空気圧は温度によって変化します。また、表示された空気圧は、空気圧計で測定した数値と異なる場合があります。

**■ タイヤ空気圧警報システムが正常に働かないおそれのある状況**

- 次の場合は、タイヤ空気圧警報システムが正しく作動しない場合があります。

- ・ 純正ホイール以外を使用したとき
- ・ 純正装着タイヤ以外に交換したとき
- ・ 指定サイズ以外のタイヤに交換したとき
- ・ タイヤチェーンなどを装着しているとき
- ・ 電波を遮断するフィルムがウインドウに貼り付けられているとき
- ・ 車両（特にホイール・ホイールハウスの周辺）に多くの雪や氷などが付着しているとき
- ・ タイヤ空気圧が指定空気圧より極端に高いとき
- ・ タイヤ空気圧警報バルブ／送信機を搭載していないホイールを使用しているとき
- ・ タイヤ空気圧警報バルブ／送信機の ID がタイヤ空気圧警報コンピューターに登録されていないとき

- 次の場合は正しい性能が確保できない場合があります。

- ・ 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港など、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- ・ 無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器が車両付近にあるとき

電波状況によってタイヤ位置情報が正しく表示されない場合は、走行して電波状況がかわることで正しく表示されることがあります。

- 停車時は警報開始・警報解除までの時間が長くなる場合があります。

- タイヤが破裂（バースト）したときなど、空気圧が急激に低下したときは、警報できない場合があります。

## ■ 空気圧バルブ／送信機の装着について

タイヤやホイールを交換するときは、付けかえたホイールにも空気圧バルブ／送信機を装着してください。

バルブ／送信機を装着する場合は、専用の ID コードをコンピューターに登録する必要があります。 (→ P. 482)

### □ 知識

#### ■ ホイールごとタイヤを交換するとき

タイヤ空気圧バルブ／送信機の ID コードが登録されていないと、タイヤ空気圧警報システムは正しく作動しません。その場合、約 10 分間走行したあとシステム異常となり、タイヤ空気圧警告灯が約 1 分間点滅、その後点灯します。

### ⚠ 注意

#### ■ タイヤ・ホイール・空気圧バルブ／送信機・バルブキャップの修理・交換

- タイヤをホイールから脱着する際は、空気圧バルブ／送信機が損傷しないよう注意してください。脱着手順の詳細は、トヨタ販売店へご相談ください。
- トヨタ指定の純正ホイールを使用してください。  
トヨタ指定の純正ホイール以外を使用すると、空気圧警報システムが正しく作動しないおそれがあります。
- ホイールを交換したときは、空気圧バルブ／送信機を装着してください。空気圧バルブ／送信機が装着されていないと、タイヤ空気圧警告灯が消灯しません。
- バルブキャップを必ず取り付けてください。バルブキャップをはずしていると、水が浸入してバルブが腐食し、固着やエラー漏れの原因となります。
- バルブキャップを交換するときは、指定以外のバルブキャップを使用しないでください。バルブキャップが固着するおそれがあります。

#### ■ パンク補修液を使用したとき

空気圧が正確に計測できなくなることがあります。できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、空気圧バルブ／送信機を交換してください。

## タイヤ位置を登録するには

### ■ タイヤ位置の登録が必要なとき

タイヤローテーションを行ったときは、タイヤの位置を登録する必要があります。

お客様自身でタイヤ位置を登録することができます。適度に右左折もしながら、直進走行をすることでタイヤ位置は登録されますが、走行条件や走行環境によっては、登録が完了するまでに時間がかかる場合があります。

### ■ タイヤ位置の登録のしかた

- 1 車を安全な場所に駐車し、15分以上ハイブリッドシステムを停止する
- 2 ハイブリッドシステムを始動する  
車両が動いているときは、タイヤ位置の登録操作はできません。
- 3 マルチインフォメーションディスプレイのを選択する
- 4 メーター操作スイッチの▲または▼を押して“車両設定”を選択し、OKスイッチを長押しする
- 5 メーター操作スイッチの▲または▼を押して“TPWS設定”を選択し、OKスイッチを押す
- 6 メーター操作スイッチの▲または▼を押して“タイヤローテーション”を選択し、OKスイッチを押す
- 7 メーター操作スイッチの▲または▼を押して“はい”を選択し、OKスイッチを押す  
マルチインフォメーションディスプレイにタイヤ位置登録中のメッセージが表示されます。タイヤ空気圧表示が“---”になり、タイヤの位置判定を開始します。
- 8 約40km/h以上で適度に右左折や直進をしながら約10～30分走行する  
タイヤの位置判定が完了するとマルチインフォメーションディスプレイに各タイヤの空気圧の表示と登録完了のメッセージが表示され、タイヤ位置の登録が完了します。  
約40km/h以上を維持できない場合でも長時間運転すると登録は完了しますが、1時間以上走行しても登録ができない場合は、パワースイッチはONのまま、安全な場所に約15分以上停車したあと、再度走行し直して下さい。



## 知識

### ■ タイヤ位置を登録するとき

- 通常は約 30 分以内の走行で登録が完了します。
- 車速が約 40km/h 以上とのときに行われます。

### ■ タイヤ位置登録の操作について

- タイヤ位置登録中にパワースイッチをOFFにしてしまった場合は、次回ONにしたとき、自動的にタイヤ位置判定処理が再開されるため、あらためて登録し直す必要はありません。
- タイヤ位置判定中にタイヤ空気圧が表示されない場合でも、空気圧低下時はタイヤ空気圧警告灯が点灯します。

### ■ タイヤ位置登録がうまくいかないとき

- 次の場合は、タイヤ位置の登録に時間がかかる場合や、登録ができない場合があります。
  - ・ 約 40km/h 以上で走行していない
  - ・ 未舗装の場所を走行した
- 1 時間以上走行しても登録が完了できない場合は、安全な場所に約 15 分以上停車したあと、再度走行し直してください。
- タイヤ位置登録中に車を後退させると、それまでのデータがリセットされるため、再度走行し直してください。

## タイヤの空気圧を設定するには

### ■ タイヤ空気圧の設定が必要なとき

次のような場合は、タイヤの空気圧をタイヤ空気圧警報システムに設定する必要があります。

- 指定空気圧が複数ある場合に、タイヤの指定空気圧を変更したとき
- タイヤのサイズを変更するなどして、タイヤの設定空気圧を変更したとき

タイヤ空気圧を指定空気圧に調整している場合は、指定空気圧の値を選択して設定します。( $\rightarrow$  P. 478)

指定サイズ以外のタイヤの使用などにより、タイヤ空気圧が指定空気圧以外の場合は、現在の空気圧で設定します。必ず空気圧を適切な値に調整してから設定操作をしてください。タイヤ空気圧警報システムは、この空気圧を基準として作動します。( $\rightarrow$  P. 479)

### ■ 指定空気圧での設定のしかた

#### ① ハイブリッドシステムを始動する

車両が動いているときは、空気圧は設定できません。

#### ② マルチインフォメーションディスプレイのを選択する

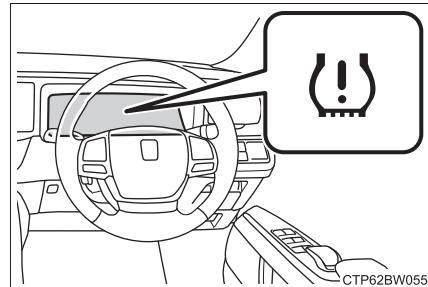
#### ③ メーター操作スイッチの▲または▼を押して“車両設定”を選択し、OKスイッチを長押しする

#### ④ メーター操作スイッチの▲または▼を押して“TPWS設定”を選択し、OKスイッチを押す

#### ⑤ メーター操作スイッチの▲または▼を押して“タイヤ空気圧設定”を選択し、OKスイッチを押す

#### ⑥ メーター操作スイッチの▲または▼を押して“指定空気圧設定”を選択し、OKスイッチを押す

- 7** フロントタイヤとリヤタイヤの空気圧を選択して“はい”を選択し、OKスイッチを押す  
タイヤ空気圧警告灯がゆっくり3回点滅します。  
空気圧の設定が完了するとマルチインフォメーションディスプレイに設定完了のメッセージが表示されます。



CTP62BW055

## ■ 現在の空気圧での設定のしかた

- 1** タイヤの空気圧を適切な値に調整する

タイヤ空気圧の調整はタイヤが冷えた状態で行ってください。

- 2** ハイブリッドシステムを始動する

車両が動いているときは、空気圧は設定できません。

- 3** マルチインフォメーションディスプレイの を選択する

- 4** メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して “車両設定” を選択し、OKスイッチを長押しする

- 5** メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して “TPWS設定” を選択し、OKスイッチを押す

- 6** メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して “ タイヤ空気圧設定 ” を選択し、OKスイッチを押す

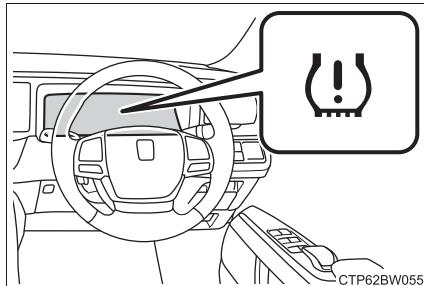
- 7** メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して “ 現在空気圧で設定 ” を選択し、OKスイッチを押す

**8 メーター操作スイッチの**

▲または▼を押して“はい”を選択し、OKスイッチを押す

タイヤ空気圧警告灯がゆっくり3回点滅し、マルチインフォメーションディスプレイに設定中のメッセージが表示されます。

空気圧の設定が完了するとマルチインフォメーションディスプレイに設定完了のメッセージが表示されます。



CTP62BW055

### 知識

#### ■ タイヤ空気圧警報システムの警報精度について（現在の空気圧で設定するとき）

- 現在の空気圧で設定する場合、タイヤ空気圧警報システムの警報精度は、空気圧設定を実施したときの状況によって異なります。このため、空気圧がわずかに低下している場合や、空気圧設定したときより高い空気圧の場合でも警報することがあります。
- 必ず空気圧を調整した上で、現在の空気圧で設定を実施してください。なお、空気圧の調整および設定操作は、タイヤが冷えた状態で行ってください。

#### ■ 空気圧設定の操作について（現在の空気圧で設定するとき）

- 空気圧設定中にパワースイッチをOFFにしてしまった場合は、次回ONにしたとき、自動的に設定処理が再開されるため、あらためて設定し直す必要はありません。
- 空気圧設定の必要がない状態で誤って現在の空気圧で設定の操作を行ってしまったときは、タイヤが冷えている状態で指定空気圧に調整し、再度指定空気圧で設定もしくは、現在の空気圧で設定で空気圧設定操作を行ってください。

#### ■ タイヤ空気圧の設定がうまくいかないとき

- 現在の空気圧で設定をする場合、通常約2分で終了します。
- 空気圧設定操作時に警告灯が3回点滅しない場合、設定が開始されていないおそれがありますので、設定手順を最初からやり直してください。
- 上記の方法でも空気圧を設定できない場合は、トヨタ販売店にご相談ください。

 **警告****■現在の空気圧で設定するとき**

必ず空気圧を適切な値に調整してから設定操作をしてください。お守りいただかない場合、タイヤ空気圧が低下してもタイヤ空気圧警告灯が点灯しない、または適切な空気圧でもタイヤ空気圧警告灯が点灯してしまうことがあります。

## ID コードを登録するには

### ■ ID コード登録が必要なとき

タイヤ空気圧バルブ／送信機には固有のIDコードが設定されているため、新しいバルブ／送信機を装着したときは、車両のコンピューターにIDコードを登録する必要があります。

### ■ ID コードの登録のしかた

登録操作を行う前に、車両の近くにタイヤ空気圧バルブ／送信機を装着したホイールがないことを確認してください。

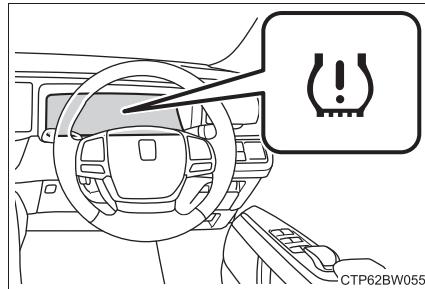
- 1 車を安全な場所に駐車し、15分以上ハイブリッドシステムを停止する
- 2 ハイブリッドシステムを始動する  
車両が動いているときは、IDコードの登録操作ができません。
- 3 マルチインフォメーションディスプレイのを選択する
- 4 メーター操作スイッチの▲または▼を押して“車両設定”を選択し、OKスイッチを長押しする
- 5 メーター操作スイッチの▲または▼を押して“TPWS設定”を選択し、OKスイッチを押す
- 6 メーター操作スイッチの▲または▼を押して“タイヤ交換”を選択し、OKスイッチを押す
- 7 メーター操作スイッチの▲または▼を押して“新規タイヤ登録”を選択し、OKスイッチを押す

**8 メーター操作スイッチの**

▲または▼を押して“タイヤセット1”または“タイヤセット2”を選択し、

OKスイッチを押す

表示されているセットにIDコードを登録します。



CTP62BW055

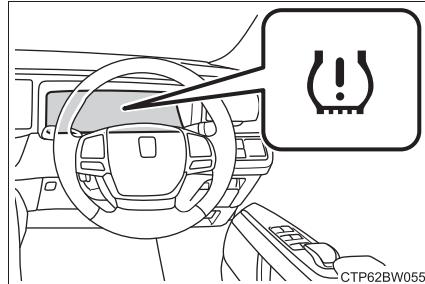
登録するセットを変更したい場合は、表示されているセットを選択し、登録したいセットを選択します。

すでにIDコードが登録されているときは、タイヤ空気圧警告灯がゆっくり3回点滅し、マルチインフォメーションディスプレイに切りかえ中のメッセージが表示されます。

**9 メーター操作スイッチの**

▲または▼を押して“はい”を選択し、OKスイッチを押す

タイヤ空気圧警告灯がゆっくり3回点滅し、マルチインフォメーションディスプレイに登録中のメッセージが表示されます。IDコードの切りかえが中止され、登録を開始します。



CTP62BW055

IDコードの登録が開始すると、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯します。また、登録中はマルチインフォメーションディスプレイのタイヤ空気圧表示が“---”になります。

**10 約40km/h以上で適度に右左折や直進をしながら約10～30分走行する**

登録が完了すると、タイヤ空気圧警告灯が消灯し、マルチインフォメーションディスプレイに登録完了のメッセージが表示されます。

約40km/h以上を維持できない場合でも時間をかけることにより登録は完了しますが、1時間以上走行しても登録できない場合は、最初からやり直してください。

**11 異なる空気圧に調整されているタイヤを取り付けた場合は、タイヤ空気圧警報システムにタイヤ空気圧を設定する（→P.478）**

同じ空気圧に調整されている場合は、空気圧を設定する必要はありません。



## 知識

### ■ ID コードの登録をするとき

- 通常は約 30 分以内の走行で登録が完了します。
- 車速が約 40km/h 以上とのときに行われます。
- ID コードはお客様自身で登録することができます。適度に右左折もしながら、直進走行をすることで登録されますが、走行条件や走行環境によっては、登録が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- すでに ID コードの登録がされているタイヤセットを使用する場合は、ID 切り替えを行うと短い時間で切りかえることができます。（→ P. 485）

### ■ ID コードの登録がうまくいかないとき

- 次の場合は、ID コードの登録に時間がかかる場合や、登録できない場合があります。
  - ・ 走行前に約 15 分以上駐車していない
  - ・ 約 40km/h 以上で走行していない
  - ・ 未舗装の場所を走行した
  - ・ 他車と併走し、自車のセンサーと他車のセンサーが判別できない
  - ・ タイヤ空気圧バルブ／送信機を装着したホイールが車内や車両の近くにある
- 登録中に車を後退させると、それまでのデータがリセットされるため、再度走行し直してください。
- 1 時間以上走行しても登録できない場合は、ID コードの登録手順を最初からやり直してください。
- 登録操作時に警告灯が点滅しない場合、ID コードが登録されていないおそれがありますので、登録手順を最初からやり直してください。
- 上記の方法でも ID コードを登録できない場合は、トヨタ販売店にご依頼ください。

## ID コードの登録を中止するには

ID コードの登録を中止するには、マルチインフォメーションディスプレイの “新規タイヤ登録” を再度選択します。

ID コードの登録を中止すると、タイヤ空気圧警告灯が消灯します。

タイヤ空気圧警告灯が消灯しないときは、ID コードの登録が正常に中止できていません。正しく中止するためには、再度、“新規タイヤ登録”を選択し、警告灯が消灯することを確認してください。

## ID コードを切りかえるには

この車両は 2 セット分の ID コードを登録することができるタイヤ空気圧警報システムが備わっています。通常使用するタイヤと冬用タイヤの 2 セットを登録しておくと便利です。

- この機能は 2 セット目(タイヤセット 2)のタイヤを登録してある場合のみ、切りかえをすることができます。タイヤセット 2 のタイヤが登録されていない場合、“切替未完了 登録し直してください 取扱説明書を確認”と表示され、選択しても切りかえはできません。

ID コードの登録はお客様自身で登録することができます。(→ P. 482)

- ID コードを登録したときのセットでタイヤの交換をしたときのみ切りかえをすることができます。他のセットの ID コードを混在させた場合は作動しません。
- ID コード登録中は、正常に ID コードの切りかえができるないおそれがあります。ID コードの登録を中止してから切りかえを行ってください。

### ID コードの切りかえかた

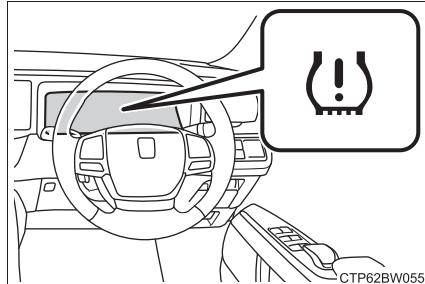
- ① 切りかえをしたいタイヤセットに交換する
- ② マルチインフォメーションディスプレイの  を選択する
- ③ メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して “車両設定” を選択し、OK スイッチを長押しする
- ④ メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して “TPWS 設定” を選択し、OK スイッチを押す
- ⑤ メーター操作スイッチの ▲ または ▼ を押して “タイヤ交換” を選択し、OK スイッチを押す

- 6** メーター操作スイッチの▲または▼を押して“登録済みタイヤ切替”を選択し、OKスイッチを押す

- 7** メーター操作スイッチの▲または▼を押して“タイヤセット1”または“タイヤセット2”を選択し、OKスイッチを押す

- 8** メーター操作スイッチの▲または▼を押して“はい”を選択し、OKスイッチを押す

タイヤ空気圧警告灯がゆっくり3回点滅し、切りかえ中のメッセージが表示され、IDコードの切りかえを開始します。



IDコードの切りかえが開始すると、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅したあと点灯します。また、切りかえ中はマルチインフォメーションディスプレイのタイヤ空気圧表示が“---”になります。

約2分後にIDコードの切りかえが完了し、タイヤ空気圧警告灯が消灯して、マルチインフォメーションに登録完了のメッセージが表示されます。

約4分経過しても切りかえが完了しない場合は、切りかえが完了しないメッセージが表示されます。

装着しているタイヤセットを確認して、切りかえ手順を最初からやり直してください。

- 9** 異なる空気圧に調整されているタイヤを取り付けた場合は、タイヤ空気圧警報システムにタイヤ空気圧を設定する(→P.478)

同じ空気圧に調整されている場合は、空気圧を設定する必要はありません。

- 10** タイヤの位置を登録する(→P.476)

## タイヤ空気圧について

タイヤの空気圧を適正に維持するために、タイヤの空気圧点検を月に1回以上実施してください。（→ P. 585）

### □ 知識

#### ■ タイヤ空気圧が適正でない場合

適切に調整されていないタイヤ空気圧で走行すると、次のようなことが起こる場合があります。

- 燃費の悪化
- 乗り心地や操縦安定性の低下
- 摩耗によるタイヤ寿命の低下
- 安全性の低下

ひんぱんにタイヤ空気圧が低下する場合は、トヨタ販売店でタイヤの点検を受けてください。

#### ■ タイヤ空気圧の点検のしかた

タイヤ空気圧の点検の際は、次のことをお守りください。

- タイヤが冷えているときに点検する
- タイヤ空気圧ゲージを必ず使用する  
　タイヤの外観だけでは空気圧が適正かどうか判断できません。
- 走行後はタイヤの発熱により空気圧が高くなります。異常ではありませんので減圧しないでください。
- 荷物を積んだり、多人数で乗車するときは荷重を不均等にかけないようにする

 **警告****■ タイヤの性能を発揮するために**

適正なタイヤ空気圧を維持してください。

タイヤ空気圧が適正に保たれていないと、次のようなことが起こるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 過度の摩耗
- 偏摩耗
- 操縦安定性の低下
- タイヤの過熱による破裂
- タイヤとホイールのあいだからによる空気漏れ
- ホイールの変形、タイヤの損傷
- 走行時にタイヤが損傷する可能性の増大  
(路上障害物、道路のつなぎ目や段差など)

 **注意****■ タイヤ空気圧の点検・調整をしたあとは**

タイヤのバルブキャップを確実に取り付けてください。

バルブキャップをはずしていると、ほこりや水分がバルブに入り空気が漏れ、タイヤの空気圧が低下するおそれがあります。

## エアコンフィルターの交換

エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に交換してください。

### 交換のしかた

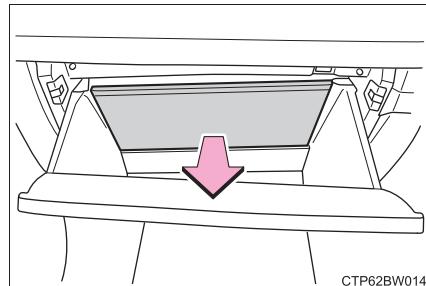
#### ■ フロントエアコンフィルター

- 1 エアコンを内気循環モードに切りかえる（→ P. 398）

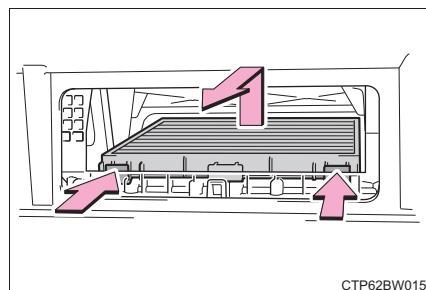
外気導入モードではフィルターケースを取りはずすことができません。

- 2 パワースイッチを OFF にする

- 3 グローブボックスを開け、背面のパネルをはずす

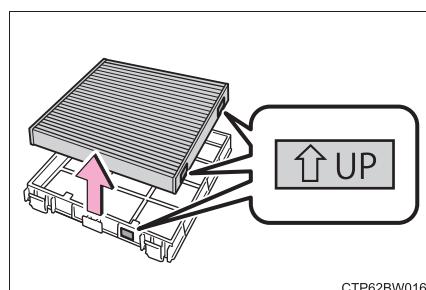


- 4 フィルターケースを取りはずす



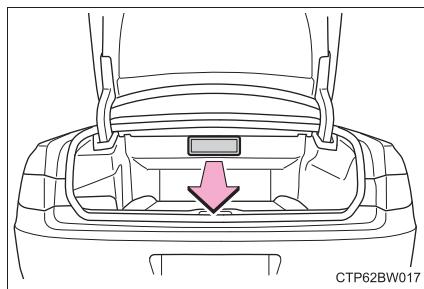
- 5 フィルターケースからフィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する

「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。

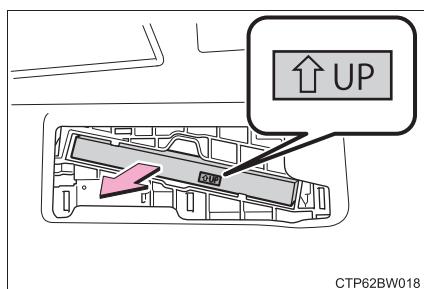


### ■ リヤエアコンフィルター

- 1 パワースイッチを OFF にする
- 2 トランクを開け、フィルターカバーを取りはずす



- 3 フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する  
「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。



### □ 知識

#### ■ エアコンフィルターの交換について

エアコンフィルターは次の時期を目安に交換してください。

15,000km [7,500km<sup>※1</sup>] ごと、ただし 12ヶ月をこえないこと<sup>※2</sup>

<sup>※1</sup> 大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

<sup>※2</sup> 芳香剤などの使用により脱臭寿命が著しく低下する場合があります。エアコンの臭いが気になりだしたらフィルターを交換してください。

#### ■ エアコンの風量が減少したときは

フィルターの目詰まりが考えられますので、フィルターを交換してください。

 **注意****■エアコンを使用するときの注意**

- フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。
- フィルターは交換するタイプです。  
水洗いやエアブローによる清掃はしないでください。

## 電子キーの電池交換

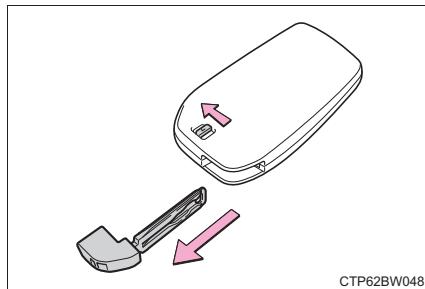
電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

### 用意するもの

- マイナスドライバー
- 小さいマイナスドライバー
- リチウム電池 CR2450

### 電池交換のしかた

- 1** ロックを解除してメカニカルキーを抜く

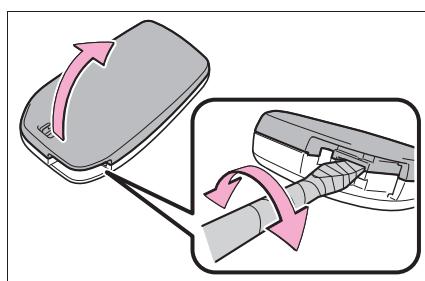


CTP62BW048

- 2** カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

適切なサイズのマイナスドライバーをご使用ください。無理にこじった場合、カバーが変形するおそれがあります。



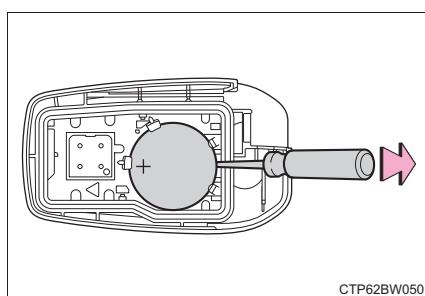
CTP62BW049

- 3** 消耗した電池を取り出す

カバーをはずしたときに、上側のカバーに電子キーのモジュールが貼り付き、電池面が隠れている場合があります。この場合、電子キーのモジュールをひっくり返し、図のように電池が見える状態で作業してください。

電池をはずす際は、適切なサイズのマイナスドライバーをご使用ください。

新しい電池は、+極を上にして取り付けます。



CTP62BW050

- 4** カバーを取り付け、メカニカルキーを差し込む
- 5** ボタン（ または ）を操作して、ドアが施錠または開錠されることを確認する

## 知識

### ■電池を交換するときは

電池などの小さな部品を紛失しないようにしてください。

### ■リチウム電池 CR2450 の入手

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

### ■電子キーの電池が消耗していると

次のような状態になります。

- スマートエントリー＆スタートシステム、ワイヤレス機能が作動しない
- 作動距離が短くなる

## 警告

### ■電子キーの電池について

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 誤って電池を飲み込まないように注意してください。化学熱傷のおそれがあります。
- 電子キーにはコイン電池もしくはボタン電池が使われています。電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の化学熱傷を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 新しい電池および取りはずした電池は、お子さまにさわらせないでください。
- カバーがしっかり閉まらない場合はそのまま使用せず、お子さまの手の届かない場所に保管し、トヨタ販売店で点検を受けてください。
- 誤って電池を飲み込んだ、または体の一部に入れてしまった場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

### ■電池の爆発や可燃性の液体またはガスの漏れを防ぐために

- 同じタイプの電池と交換してください。異なったタイプの電池を使用すると、電池が爆発するおそれがあります。
- 極端に温度の高いところや、高度が高く極端に気圧が低いところに電池を持ち込まないでください。
- 電池を燃やしたり、つぶしたり、切ったりしないでください。

 注意

## ■ 交換後、正常に機能させるために

次のことを必ずお守りください。

- ぬれた手で電池を交換しない  
錆の原因になります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- 電極を曲げない

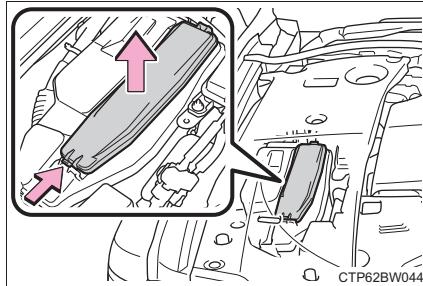
## ヒューズの点検・交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

- 1** パワースイッチを OFF にする

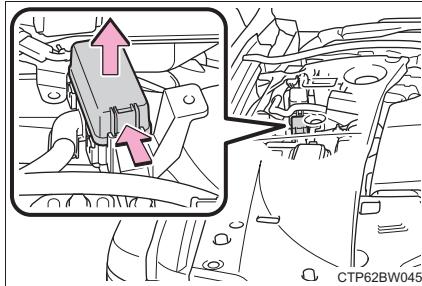
- 2** ヒューズボックスを開ける

▶ エンジンルーム (1)



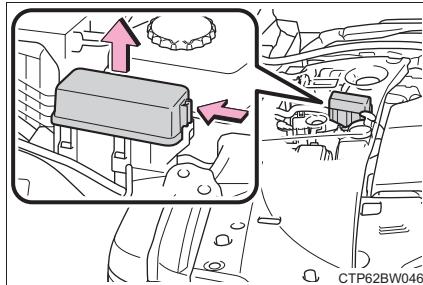
エンジンルームカバーを取りはずし (→ P. 465)、ツメを押しながら、カバーを持ち上げる

▶ エンジンルーム (2)



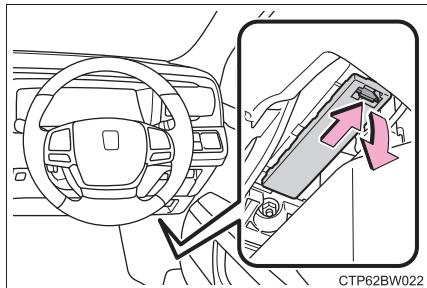
エンジンルームカバーを取りはずし (→ P. 465)、ツメを押しながら、カバーを持ち上げる

▶ エンジンルーム (3)

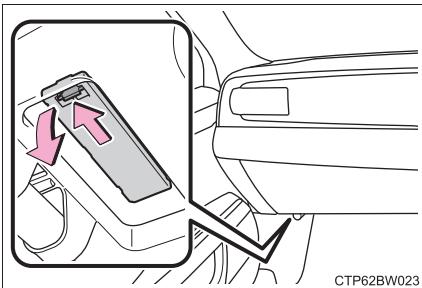


エンジンルームカバーを取りはずし (→ P. 465)、ツメを押ししながら、カバーを持ち上げる

## ▶ 運転席足元



## ▶ 助手席足元

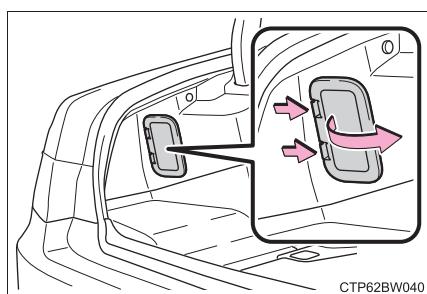


ツメを押しながら、カバーを取りはずす

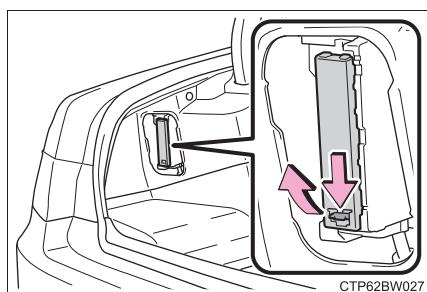
## ▶ トランク内 (1)

ツメを押しながら、カバーを取りはずす

ツメを押しながら、カバーを取りはずす

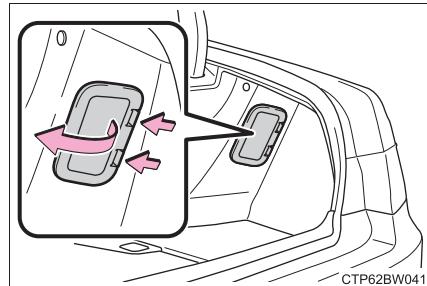


ツメを押しながら、ヒューズボックスのカバーを取りはずす

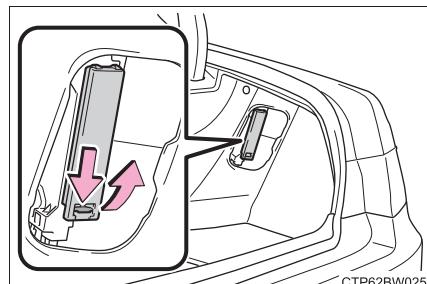


▶ トランク内 (2)

ツメを押しながら、カバーを取りはずす

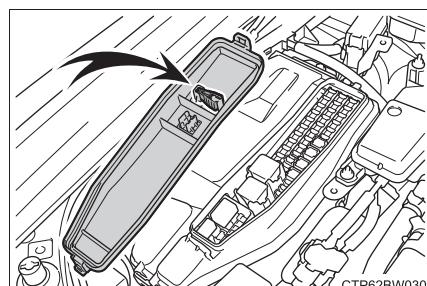


ツメを押しながら、ヒューズボックスのカバーを取りはずす



**3 ヒューズを引き抜く**

ヒューズはずしでヒューズを引き抜くことができます。

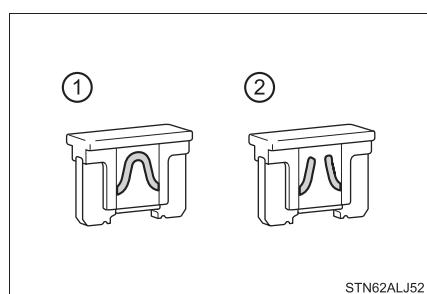


**4 ヒューズが切れていないか点検する**

① 正常

② ヒューズ切れ

ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



 **知識****■ヒューズを交換したあとは**

交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

**■補機バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると**

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

 **警告****■車の故障や、車両火災を防ぐために**

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

 **注意****■ヒューズを交換する前に**

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

## 電球（バルブ）の交換

ランプが切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

### □ 知識

#### ■ LED ランプについて

すべてのランプは、数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。

#### ■ レンズ内の水滴と曇り

レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。ただし、次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている



## 万一の場合には

# 7

### 7-1. まず初めに

故障したときは.....	502
非常点滅灯 (ハザードランプ) .....	503
発炎筒 .....	504
車両を緊急停止するには .....	506
水没・冠水したときは .....	507
車中泊が必要なときは .....	508

### 7-2. 緊急時の対処法

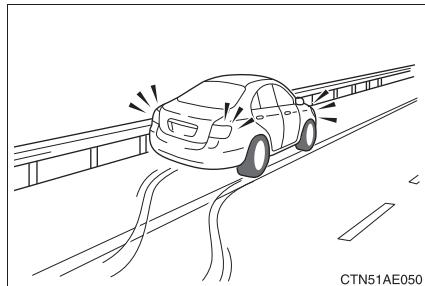
けん引について .....	509
警告灯がついたときは .....	516
警告メッセージが 表示されたときは .....	524
パンクしたときは (タイヤパンク応急 修理キット装着車) .....	536
パンクしたときは (スペアタイヤ装着車) .....	551
ハイブリッドシステムが 始動できないときは .....	561
電子キーが正常に 働かないときは .....	563
補機バッテリーが あがったときは .....	567
オーバーヒートした ときは.....	573
スタックしたときは .....	579

## 故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

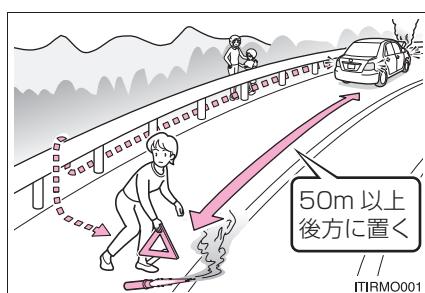
非常点滅灯（→ P. 503）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車する

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



高速道路や自動車専用道路では、次のことについて従う

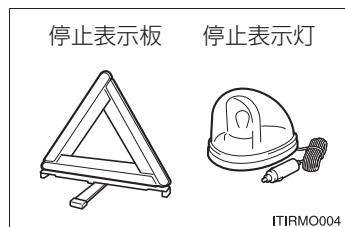
- 同乗者を避難させる
- 車両の 50m 以上後方に発炎筒（→ P. 504）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
  - ・ 見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
  - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する



### □ 知識

#### ■ 停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐停車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板のご購入については、トヨタ販売店にお問い合わせください。

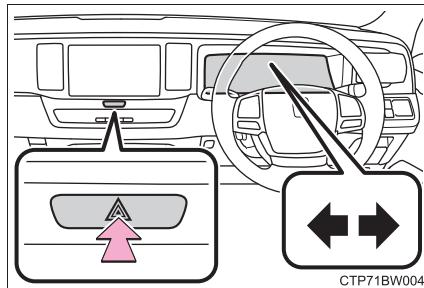


## 非常点滅灯（ハザードランプ）

事故などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。もう一度押すと消灯します。



### □ 知識

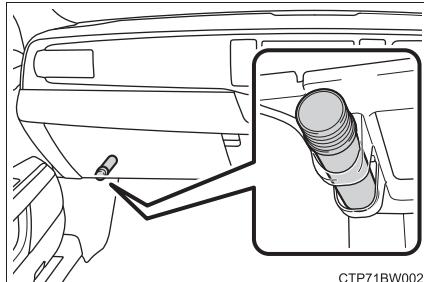
#### ■ 非常点滅灯について

- ハイブリッドシステム停止中 (READY インジケーターが点灯していないとき) に、非常点滅灯を長時間使用すると、補機バッテリーがあがるおそれがあります。
- SRS エアバッグの作動時または後方から強い衝撃を受けたときは、非常点滅灯が自動で点滅します。  
非常点滅灯スイッチを 2 回押すか、約 20 分経過すると消灯します。(衝撃の度合いや事故の状況によっては点滅しないことがあります。)

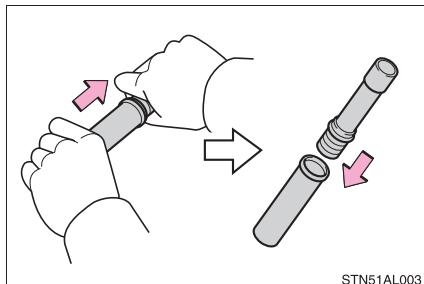
## 発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。  
(トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください)  
発炎時間は約5分です。非常点滅灯と併用してください。

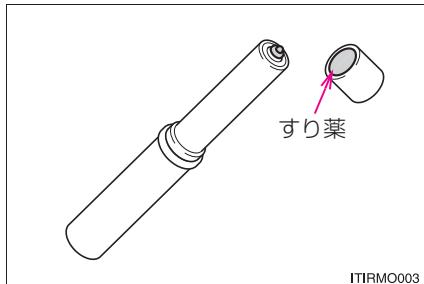
- 1 助手席足元の発炎筒を取り出す



- 2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



- 3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる  
必ず車外で使用してください。  
着火させる際は、筒先を顔や体に向け  
ないでください。



 知識

## ■ 発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店でお求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

 警告

## ■ 発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。  
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

## ■ 発炎筒の取り扱いについて

次のことを必ずお守りください。  
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさわらせない

## 車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

**① ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける**

ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。

**② シフトレバーを N に入れる**

▶ シフトレバーが N に入った場合

**③ 減速後、車を安全な道路脇に停める**

**④ ハイブリッドシステムを停止する**

▶ シフトレバーが N に入らない場合

**⑤ ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる**

**⑥ パワースイッチを 2 秒以上押し**

続けるか、素早く 3 回以上連続で押してハイブリッドシステムを停止する



**⑤ 車を安全な道路脇に停める**

### ⚠️ 警告

**■走行中にやむを得ずハイブリッドシステムを停止するとき**

ハンドル操作が重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。ハイブリッドシステムを停止する前に、十分に減速するようにしてください。

## 水没・冠水したときは

この車両は水深が深い道路を走行できるように設計されていません。冠水路または冠水のおそれがある道路は、走行しないでください。車両が水没や漂流することが予想される場合は、車内に留まると危険です。落ち着いて次のように対処してください。

- ドアを開けることができる場合、ドアを開けて車外に出てください。
- ドアを開けることができない場合、パワーウィンドウスイッチでドアガラスを開けて避難経路を確保してください。
- ドアガラスが開けられる場合、窓から車外に出てください。
- 水没によりドアおよびドアガラスを開けることができない場合、落ち着いて車内外の水圧差がなくなるまで車内が浸水するのを待ってからドアを開けて車外に出てください。

車外の水位がドア高さの半分を超えると、水圧で車内からドアを開けることができなくなります。

### □ 知識

#### ■ 水位がフロアを超えると

水位がフロアを超えて時間が経過すると、電気装置が損傷し、パワーウィンドウが作動しなくなったり、エンジンやモーターが停止し、車が移動できなくなることがあります。

#### ■ 緊急脱出用ハンマー<sup>\*</sup> の使用について

この車両の全てのガラスには合わせガラスが使用されています。  
合わせガラスは、緊急脱出用ハンマー<sup>\*</sup>で割ることができません。

\* 詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

### ⚠ 警告

#### ■ 走行中の警告

冠水路または冠水のおそれがある道路は、走行しないでください。車両が故障して動かなくなり、水没や漂流から死亡につながるおそれがあります。

## 車中泊が必要なときは

### ⚠ 警告

車中泊としてお車をご利用になる場合は、エコノミークラス症候群や熱中症、一酸化炭素中毒などのリスクを伴うため十分注意してください。

- 詳しい注意事項などを以下の URL で確認することができます。

[https://www.toyota.co.jp/jpn/  
sustainability/social\\_contribution/  
tdrs/emergency](https://www.toyota.co.jp/jpn/sustainability/social_contribution/tdrs/emergency)



## けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。

その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめします。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

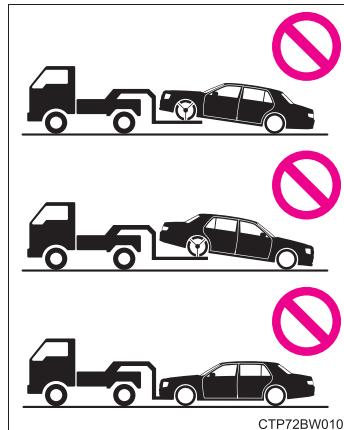
### ⚠ 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかない場合、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

#### ■ レッカー車でけん引するとき

必ず4輪とも持ち上げた状態で運搬してください。タイヤが地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損したり、車の向きがかわり事故につながったりするおそれがあります。また、モーターが回転して発電し、故障や破損の状態によっては火災が発生するおそれがあります。



CTP72BW010

#### ■ 他車にけん引してもらうときの運転について

- けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。

- パワースイッチをOFFにしないでください。  
ハンドルがロックされ、ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

#### ■ けん引フックを車両に取り付けるとき

指定の位置にしっかりと取り付けてください。

指定の位置にしっかりと取り付けていないとけん引時にフックがはずれるおそれがあります。



## 注意

### ■車両の損傷を防ぐために

- 他車にけん引してもらうときは次のことを必ずお守りください。
  - ・ ワイヤーロープは使用しない
  - ・ 速度 30km/h 以下、距離は車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめる
  - ・ 前進方向でけん引する
  - ・ サスペンション部などにロープをかけない
- この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。

### ■長い下り坂でけん引するときは

レッカーカー車で 4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。  
レッカーカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

### ■緊急用フックについて

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、装置の変形や車両の損傷などにつながるおそれがあります。

- やむを得ない場合以外は使用しないでください。
- 緊急用フックで他車をけん引しないでください。

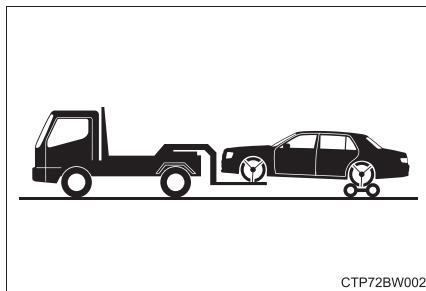
## けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店または専門業者へご連絡ください。

- ハイブリッドシステムの異常を示す警告メッセージが表示され、車が動かない
- 異常な音がする

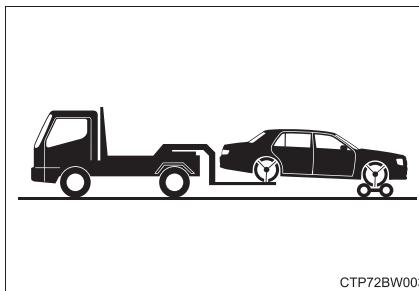
## レッカー車でけん引するとき

▶ 前向きにけん引するときは



CTP72BW002

▶ うしろ向きにけん引するときは



CTP72BW003

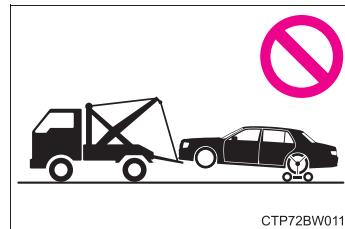
台車を使用して後輪を持ち上げる

台車を使用して前輪を持ち上げる

### ⚠ 注意

#### ■ レッカー車でけん引するとき

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカーカーではけん引しないでください。

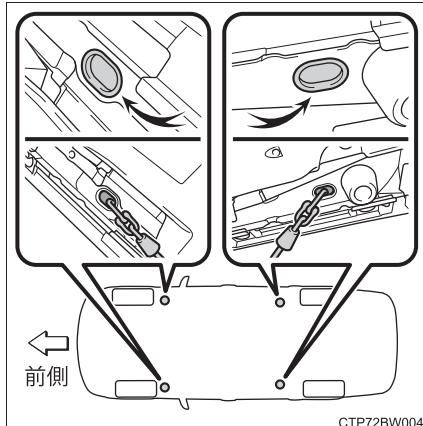


CTP72BW011

### ■車両運搬車を使用するとき

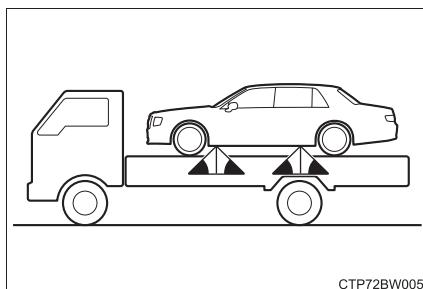
車両運搬車で輸送するときは、図の場所で固縛する

固縛用の穴にはカバーが取り付けられています。輸送後はカバーをもとの位置に取り付けて、穴をふさいでください。



CTP72BW004

鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が45°になるように固縛する



CTP72BW005

#### 注意

##### ■車両運搬車に車を固縛するとき

- ケーブル等を過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。
- 電子制御エアサスペンションの車高調整機能が作動しないように、ハイブリッドシステムを停止してから固縛してください。固縛後に車高が変わると、車両の損傷につながるおそれがあります。

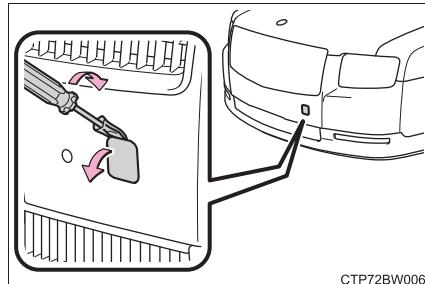
## 他車にけん引してもらうとき

他車にけん引してもらうときは、けん引フックを取り付ける必要があります。手順に従って取り付けてください。

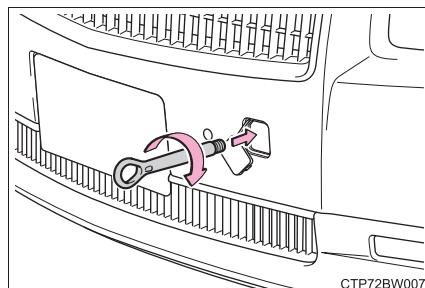
- 1 トランク内のホイールナットレンチ、マイナスドライバー、けん引フックを取り出す (→ P. 538, 552)

- 2 マイナスドライバーを使ってフタをはずす

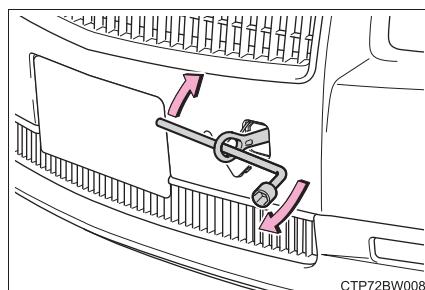
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



- 3 けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める



- 4 ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける



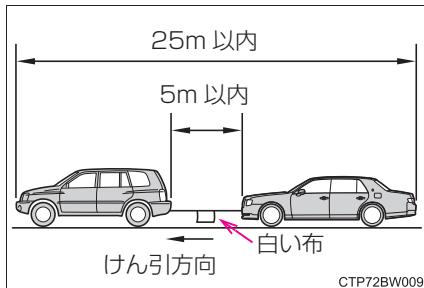
- 5 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける

車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。

**6 ロープの中央に白い布を付ける**

布の大きさ：

0.3m 平方 (30cm×30cm) 以上

**7 運転者はけん引される車両に乗り、ハイブリッドシステムを始動する**

ハイブリッドシステムが始動しないときは、パワースイッチを ON モードにしてください。

**8 けん引される車両のシフトレバーを N にしてから、パーキングブレーキを解除する**

オートモードを OFF にしてください。 (→ P. 211)

けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。

シフトレバーがシフトできないときは：→ P. 207

## 知識

**■けん引フックの使用目的**

けん引フックはけん引してもらうときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

**■他車にけん引してもらうときに**

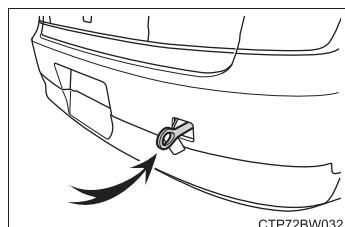
ハイブリッドシステムが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

**■ホイールナットレンチについて**

トランクに搭載されています。 (→ P. 538, 552)

**■緊急用フックについて**

雪の吹きだまりなどでスタックして走行できなくなったとき、やむを得ず他車に引っ張り出してもらうために使用することができます。他車をけん引することはできません。



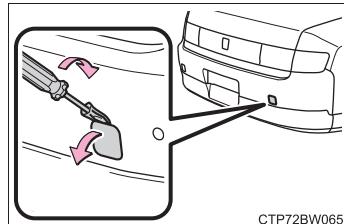
### ■緊急用フックを取り付けるには

緊急用フックを取り付けるときは、手順に従って取り付けてください。

- ① トランク内のホイールナットレンチ、マイナスドライバー、けん引フックを取り出す（→ P. 538, 552）

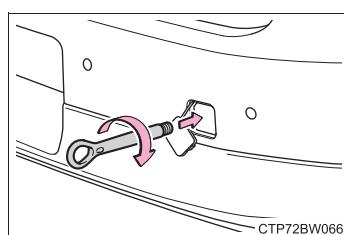
- ② マイナスドライバーを使ってフタを外す

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



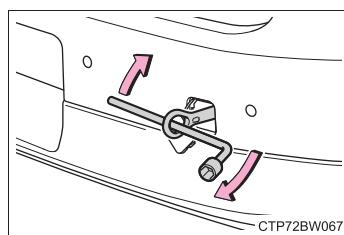
CTP72BW065

- ③ けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める



CTP72BW066

- ④ ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける



CTP72BW067

## 警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

### 警告灯・警告ブザー一覧

警告灯	警告内容・対処方法
(○) (赤色)	<b>ブレーキ警告灯（警告ブザー）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブレーキ液の不足</li> <li>・ ブレーキ系統の異常</li> </ul> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。</p> <p>ブレーキパッドの磨耗 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
(○) (黄色)	<b>ブレーキ警告灯（警告ブザー）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回生ブレーキシステムの異常</li> <li>・ 電子制御ブレーキシステムの異常</li> <li>・ パーキングブレーキシステムの異常</li> </ul> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
	<b>ハイブリッドシステム過熱警告灯※1（警告ブザー）</b> ハイブリッドシステムが過熱 <p>→ 安全な場所に停車し、対処方法（→ P. 575）に従ってください。</p>
	<b>高水温警告灯※1（警告ブザー）</b> エンジン冷却水の高温異常 <p>→ ただちに安全な場所に停車し、対処方法（→ P. 573）に従ってください。</p>
	<b>充電警告灯※1（警告ブザー）</b> 充電系統の異常 <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。</p>
	<b>油圧警告灯※1（警告ブザー）</b> エンジンオイル圧力の異常 <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。</p>

警告灯	警告内容・対処方法
	<p><b>エンジン警告灯（警告ブザー）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイブリッドシステムの異常</li> <li>・エンジン電子制御システムの異常</li> <li>・電子制御スロットルの異常</li> <li>・トランスマッショントロニック電子制御システムの異常</li> </ul> <p>→ ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。</p>
	<p><b>SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯（警告ブザー）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SRS エアバッグシステムの異常</li> <li>・プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常</li> </ul> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
	<p><b>ポップアップフード警告灯（警告ブザー）</b></p> <p>ポップアップフードが作動した</p> <p>→ ポップアップフードは、一度作動すると再使用できません。 トヨタ販売店で交換してください。</p> <p>ポップアップフードの異常</p> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
	<p><b>ABS &amp; ブレーキアシスト警告灯（警告ブザー）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ABS の異常</li> <li>・ブレーキアシストの異常</li> </ul> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>
	<p><b>ペダル誤操作警告灯※1（警告ブザー）</b></p> <p>ブザーが鳴った場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレーキオーバーライドシステムの異常</li> <li>・ドライブスタートコントロールの異常</li> <li>・ドライブスタートコントロール作動時</li> </ul> <p>→ マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p> <p>ブザーが鳴らなかった場合：</p> <p>ブレーキオーバーライドシステム作動時</p> <p>→ アクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。</p>

警告灯	警告内容・対処方法
 (赤色)  (黄色)	<b>パワーステアリング警告灯（警告ブザー）</b> EPS（エレクトリックパワーステアリング）の異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。
	<b>燃料残量警告灯</b> 燃料の残量が約 13L 以下になった → 燃料を補給する
	<b>運転席・助手席シートベルト非着用警告灯（警告ブザー※2）</b> 運転席・助手席シートベルトの非着用 → シートベルトを着用する 助手席乗員がいるときは、助手席乗員もシートベルトを着用して下さい。
	<b>タイヤ空気圧警告灯</b> 警告灯が約 1 分間点滅したあとに点灯した場合： タイヤ空気圧警報システムの異常 → トヨタ販売店で点検を受けてください。  警告灯が点灯した場合： 次のようなタイヤ空気圧の低下を表します。 ・ 自然要因 ・ タイヤのパンク → ただちに安全な場所に停車し、対処方法（→ P.521）に従ってください。
	<b>クリアランスソナー OFF 表示灯（警告ブザー）</b> ブザーが鳴った場合： クリアランスソナーの異常 → ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。  ブザーが鳴らなかった場合： センサー部の汚れなどによりシステムが一時的に使用できない → マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。（→ P. 529）

警告灯	警告内容・対処方法
 (点滅または点灯)	<p><b>PCS 警告灯</b>            PCS（プリクラッシュセーフティ）の異常が考えられます。            →ディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p> <p>プリクラッシュセーフティが OFF、または VSC（ビークルスタビリティコントロール）システムが停止しているときも点灯します。</p>
 (黄色)	<p><b>LTA 表示灯（警告ブザー）</b>            LTA（レントレーシングアシスト）の異常が考えられます。            →ディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p>
 (黄色)	<p><b>LDA 表示灯（警告ブザー）</b>            LDA（レーンディバーチャーアラート）の異常が考えられます。            →ディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p>
 (黄色)	<p><b>レーダークルーズコントロール表示灯（警告ブザー）</b>            レーダークルーズコントロールの異常が考えられます            →ディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p>
 (黄色)	<p><b>クルーズコントロール表示灯（警告ブザー）</b>            クルーズコントロールの異常が考えられます            →ディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p>
 (黄色)	<p><b>PDA 表示灯（警告ブザー）</b>            PDA（プロアクティブドライビングアシスト）の異常が考えられます。            →ディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p>

警告灯	警告内容・対処方法
	<p><b>運転支援情報表示灯</b></p> <p>次のシステムに異常が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PCS (プリクラッシュセーフティ)</li> <li>LDA (レーンディバーチャーアラート)</li> <li>後方車両への接近警報</li> </ul> <p>→ マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p> <p>次のシステムのいずれかが異常、停止、または設定が OFF になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PKSB (パーキングサポートブレーキ)</li> <li>BSM (ブラインドスポットモニター)</li> <li>RCTA (リヤクロストラフィックアラート)</li> <li>安心降車アシスト</li> </ul> <p>→ マルチインフォメーションディスプレイに表示されているメッセージの指示に従ってください。</p>
	<p><b>スリップ表示灯</b></p> <p>警告灯が点灯した場合 :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>VSC (ビークルスタビリティコントロール) システムの異常</li> <li>TRC (トラクションコントロール) システムの異常</li> <li>ABS (アンチロックブレーキシステム) の異常</li> <li>ヒルスタートアシストコントロールシステムの異常</li> </ul> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p> <p>警告灯が点滅した場合 :</p> <p>ABS・VSC・TRC システムが作動していることを表します。</p>
 (点滅)	<p><b>パーキングブレーキ表示灯 (警告ブザー)<sup>※3</sup></b></p> <p>パーキングブレーキが完全にかかるっていない、または解除されていない可能性がある</p> <p>→ パーキングブレーキスイッチを再度操作してください。</p> <p>パーキングブレーキが解除されていないときは点灯します。解除後、消灯すれば正常です。</p>
 (点滅)	<p><b>ブレーキホールド作動表示灯 (警告ブザー)</b></p> <p>ブレーキホールドシステムの異常</p> <p>→ ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>

<sup>※1</sup> マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

<sup>※2</sup> 運転席・助手席シートベルト非着用警告ブザー :

運転席・助手席シートベルト非着用のまま車速が一定以上になると、警告ブザーが一定時間断続的に鳴ります。

<sup>※3</sup> パーキングブレーキをかけたまま車速が 5km/h をこえると、警告ブザーが鳴ります。



## 知識

### ■警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

### ■シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- 助手席に乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。
- 助手席に座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

### ■パワーステアリング警告灯／警告ブザーについて

補機バッテリーの充電が不十分な場合、または一時的に電圧が下がった場合に警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがあります。

### ■タイヤ空気圧警告灯が点灯した場合

タイヤがパンクしていないか確認してください。

パンクしているときは : → P. 536, 551

パンクしていないときは :

パワースイッチを OFF にしたあとで再度 ON モードにして、タイヤ空気圧警告灯が点灯しているか点滅しているかを確認してください。

▶ タイヤ空気圧警告灯が 1 分間点滅したあとに点灯した場合

タイヤ空気圧警報システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

▶ タイヤ空気圧警告灯が点灯した場合

タイヤが十分に冷えてから空気圧を確認し、適切な値に調整してください。

数分たっても警告灯が消灯しない場合は、タイヤ空気圧が適切な値であることを確認し、タイヤ空気圧警報システムの空気圧設定を行ってください。(→ P. 478)

空気圧設定を行ってから数分たっても警告灯が消灯しない場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■自然要因によるタイヤ空気圧警報について

自然な空氣もれ、外気温による空気圧の変化など、自然要因によりタイヤ空気圧警告灯が点灯することがあります。この場合、タイヤ空気圧を適切な値に調整してください。数分後に警告灯が消灯します。

### ■スペアタイヤ★に交換した場合

スペアタイヤにも空気圧バルブ／送信機が装備されています。スペアタイヤの空気圧が低下している場合、空気圧警告灯が点灯します。タイヤがパンクした場合、スペアタイヤに交換しても空気圧警告灯は消灯しません。

★ : グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

**■ タイヤ空気圧警報システムが正常に働かないおそれがある状況**

→ P. 474

**■ ABS 警告灯とブレーキ警告灯が同時に点灯したときは**

ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店にご連絡ください。

ABS またはブレーキアシストシステムに異常が発生しているだけでなく、強めのブレーキの際に車両が不安定になるおそれがあり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**■ パワーステアリング警告灯が点灯したときは**

黄色に点灯したときは操作力補助が制限され、赤色に点灯したときは操作力補助がなくなるため、ハンドル操作が非常に重くなることがあります。

ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

**■ タイヤ空気圧警告灯が点灯した場合**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- できる限り速やかに安全な場所に停車し、タイヤ空気圧を調整してください。
- タイヤ空気圧を調整したあとも警告灯が点灯する場合はタイヤがパンクしている可能性があります。タイヤを確認し、パンクしている場合はスペアタイヤに交換するかタイヤパンク応急修理キットで応急修理し、最寄りのトヨタ販売店でタイヤを修理してください。
- 急ハンドル・急ブレーキを避けてください。  
タイヤの状態が悪化すると、ハンドル操作やブレーキが効かなくなるおそれがあります。

**■ タイヤの破裂、突然の空氣もれが発生した場合**

急激にタイヤ空気圧が低下した場合は、タイヤ空気圧警報システムによる警報ができない場合があります。

 **注意****■ タイヤ空気圧警報システムについての注意**

- 純正ホイール以外を使用した場合、バルブ／送信機から発信する電波の飛び方がかわり、システムが正常に作動しないことがあります。
- 構造・メーカー・銘柄・トレッドパターンが異なるタイヤを使用しないでください。タイヤ空気圧警報システムが正常に作動しないことがあります。
- タイヤ空気圧警告灯の点灯および点滅は、空気圧設定では解除できません。

## 警告メッセージが表示されたときは

マルチインフォメーションディスプレイには、システムの故障や誤った操作をしたときの警告、メンテナンスが必要であることをお知らせするメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

処置後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

また、メッセージと同時に専用警告灯が点灯・点滅する場合があります。その際は、各警告灯が点灯・点滅したときの対処方法（→ P.516）に従ってください。

### 知識

#### ■ 警告メッセージについて

文中の警告メッセージの表示は、使用状況や車両の仕様により実際の表示と異なる場合があります。

#### ■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

## メッセージと警告作動

- “エンジンオイル量不足 補充するか、交換してください” が表示されたときは

原因	対処方法
エンジンオイルが不足しているときにメッセージが表示されます。	エンジンオイル量を点検し、オイルを補給してください。 また、傾斜路などに停車したときに表示される場合があります。水平な路面に移動し、メッセージが表示されるか確認してください。

- “ハイブリッドシステム 停止のため ハンドルが重くなります” が表示されたときは

原因	対処方法
走行中にハイブリッドシステムが停止したときにメッセージが表示されます。	ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

- “バッテリー保護のため 自動で電源を OFF しました” が表示されたときは

原因	対処方法
自動電源 OFF 機能が作動したときにメッセージが表示されます。	次回ハイブリッドシステム始動時に、約5分間ハイブリッドシステムが作動した状態を保持し、補機バッテリーを充電してください。

- “N レンジです アクセルを緩めて 希望レンジに 切りかえてください” が表示されたときは

原因	対処方法
シフトポジションが N で、アクセルペダルを踏んだときにメッセージが表示されます。	アクセルペダルから足を離し、シフトポジションを D または R にしてください。

- “補機バッテリー充電 システム異常 安全な場所に停車し 取扱書を確認” が表示されたときは

原因	対処方法
故障している可能性があります。	ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。

- “駆動用電池保護が必要 P レンジにして 再始動してください” が表示されたときは

原因	対処方法
一定時間シフトポジションが N になっていると、駆動用電池の残量が低下し、メッセージが表示されます。	車両を動かす場合は、シフトポジションを P にして、ハイブリッドシステムを再始動してください。

- “駆動用電池保護が必要 Nレンジの使用を控えてください” が表示されたときは

原因	対処方法
シフトポジションが N のときにメッセージが表示されることがあります。	シフトポジションが N では充電できないため、停車するときはシフトポジションを P にしてください。

- “ハイブリッドシステム 高温出力制限中です” が表示されたときは

原因	対処方法
負荷の高い走行状況（例えば、長い上り坂を走行）のときにメッセージが表示される場合があります。	→ P.573

■ “切替未完了 登録しなおしてください 取扱書を確認” が表示されたときは

原因	対処方法
タイヤ空気圧警報システムの ID 切りかえができません。	装着しているタイヤセットを確認して、切りかえ手順を最初からやり直してください。

■ “ヘッドランプシステム故障 販売店で点検してください” が表示されたときは

原因	対処方法
次のシステムに異常があるおそれがあります。 · LED ヘッドランプ · ヘッドランプオートレベリングシステム · AHB (オートマチックハイビーム) · AHS (アダプティブハイビームシステム)	ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ “エンジン冷却水高温 安全な場所に停車して 取扱書を確認してください” が表示されたときは

対処方法
→ P.573

■ “スマートエントリー& スタートシステム故障 取扱書を確認” が表示されたときは

原因	対処方法
故障している可能性があります。	ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- “故障のためブレーキ力が低下 安全な場所に停車して 取扱書を確認” が表示されたときは

原因	対処方法
故障している可能性があります。	ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。

- “エンジン油圧不足 安全な場所に停車して 取扱書を確認してください” が表示されたときは

原因	対処方法
故障している可能性があります。	ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。走行を続けると危険です。

- 販売店での点検を促すメッセージが表示されたときは

原因	対処方法
警告メッセージで名称が表示されたシステム、または部位などに問題が発生しています。	すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- “補機バッテリー(始動用) 充電不足 取扱書確認ください” が表示されたときは

対処方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>数秒後に表示が消えたときは、ハイブリッドシステムが作動した状態を約15分以上保持し、補機バッテリーを充電してください。</li> <li>表示が消えないときは、「補機バッテリーがあがったときは」(→P.567) の手順でハイブリッドシステムを始動してください。</li> </ul>

■ “機能故障 販売店で点検” が表示されたときは

原因	対処方法
<p>次のいずれかのシステムが停止しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>·  PCS (プリクラッシュセーフティ)</li> <li>·  LDA (レーンディバーチャラート)</li> <li>·  LTA (レントレーシングアシスト)</li> <li>·  AHB (オートマチックハイビーム)</li> <li>·  AHS (アダプティブハイビームシステム)</li> <li>·  レーダークルーズコントロール</li> <li>·  RSA (ロードサインアシスト)</li> <li>·  発進遅れ告知</li> <li>·  PDA (プロアクティブドライビングアシスト)</li> <li>·  BSM (ブライアンドスポットモニター)</li> <li>·  RCTA (リヤクロストラフィックアラート)</li> <li>·  後方車両への接近警報</li> <li>·  安心降車アシスト</li> <li>·  クリアランスソナー</li> <li>·  PKSB (パーキングサポートブレーキ)</li> </ul>	<p>すみやかにトヨタ販売店で点検を受けてください。</p>

■ “機能停止 取扱書を確認” が表示されたときは

原因	対処方法
<p>次のいずれかのシステムが停止しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>·  PCS (プリクラッシュセーフティ)</li> <li>·  LDA (レーンディバーチャラート)</li> <li>·  LTA (レントレーシングアシスト)</li> <li>·  AHB (オートマチックハイビーム)</li> <li>·  AHS (アダプティブハイビームシステム)</li> <li>·  レーダークルーズコントロール</li> <li>·  RSA (ロードサインアシスト)</li> <li>·  発進遅れ告知</li> <li>·  PDA (プロアクティブドライビングアシスト)</li> <li>·  BSM (ブライアンドスポットモニター)</li> <li>·  RCTA (リヤクロストラフィックアラート)</li> <li>·  後方車両への接近警報</li> <li>·  安心降車アシスト</li> <li>·  クリアランスソナー</li> <li>·  PKSB (パーキングサポートブレーキ)</li> </ul>	<p>次の対処法に従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補機バッテリー電圧を確認する</li> <li>・ Toyota Safety Sense で使用するセンサーに付着物がないか確認し、あった場合には取り除いてください。 (→ P. 249)</li> </ul>

原因	対処方法
センサーが正しく作動しなくなる状況を確認し、該当する場合は改善してください。 → P.253, 305, 325, 328, 333, 339, 349, 360, 362)	<ul style="list-style-type: none"> <li>センサー周辺のリヤバンパーに付着物がないか確認し、ある場合は取り除いてください。 → P.321)</li> <li>クリアランスソナー、PKSBで使用するセンサーとカメラに付着物がないか確認し、あった場合には取り除いてください。 → P.335)</li> <li>センサーが正しく作動しなくなる状況が解決すると、表示が消える場合があります。</li> </ul>

■ “機能停止 前方カメラ視界不良 取扱書を確認” が表示されたときは

原因	対処方法
<p>次のいずれかのシステムが停止しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> PCS (プリクラッシュセーフティ)</li> <li> LDA (レーンディパーチャー アラート)</li> <li> LTA (レントレーシングアシスト)</li> <li> AHB (オートマチックハイビーム)</li> <li> AHS (アダプティブハイビームシステム)</li> <li> レーダークルーズコントロール</li> <li> RSA (ロードサインアシスト)</li> <li> 発進遅れ告知</li> <li> PDA (プロアクティブドライビングアシスト)</li> </ul>	<p>次の対処法に従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワイパー機能を使って、フロントウインドウガラスの汚れや付着物を取り除く。</li> <li>エアコン機能を使って、フロントウインドウガラスの曇りを取り除く。</li> <li>ボンネットを閉じる、またはステッカーを剥がすなど、カメラの視界を遮らないようにする。</li> </ul>

■ “機能停止 前方カメラ作動温度範囲外 常温までお待ちください”が表示されたときは

原因	対処方法
<p>次のいずれかのシステムが停止しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・  PCS (プリクラッシュセーフティ)</li> <li>・  LDA (レーンディパーザーラート)</li> <li>・  LTA (レントレーシングアシスト)</li> <li>・  AHB (オートマチックハイビーム)</li> <li>・  AHS (アダプティブハイビームシステム)</li> <li>・  レーダークルーズコントロール</li> <li>・  RSA (ロードサインアシスト)</li> <li>・  発進遅れ告知</li> <li>・  PDA (プロアクティブドライビングアシスト)</li> </ul>	<p>次の対処法に従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 炎天下での駐車時など、前方カメラが高温のときは、エアコンでカメラ周辺の温度を下げる</li> <li>・ 特に駐車時に太陽光を反射するサンシェードなどをフロントウインドウガラスに使用すると前方カメラが高温になりやすくなります</li> <li>・ 極寒での駐車時など、前方カメラが低温の時は、エアコンで前方カメラ周辺の温度を上げる</li> </ul>

■ “機能停止 前方レーダー汚れ 汚れを除去してください” が表示されたときは

原因	対処方法
<p>次のいずれかのシステムが停止しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> PCS (プリクラッシュセーフティ)</li> <li> LTA (レントレーシングアシスト)</li> <li> レーダークルーズコントロール</li> <li> 発進遅れ告知</li> <li> PDA (プロアクティブドライビングアシスト)</li> </ul>	<p>次の対処法に従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レーダーおよびレーダー専用カバーに付着物がないか確認し、あった場合には取り除いてください。 (→ P.250)</li> <li>砂漠・草原・郊外などの、周辺車両や構造物が少ない広々とした地域を走行すると表示される場合があります。</li> </ul> <p>車両周辺に構造物や車両などが存在する場所まで走行すると、表示が消える場合があります。</p>

■ “機能停止 前方レーダー作動温度範囲外 常温までお待ちください” が表示されたときは

原因	対処方法
<p>次のいずれかのシステムが停止しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> PCS (プリクラッシュセーフティ)</li> <li> LTA (レントレーシングアシスト)</li> <li> レーダークルーズコントロール</li> <li> 発進遅れ告知</li> <li> PDA (プロアクティブドライビングアシスト)</li> </ul>	<p>レーダー周辺の温度が作動条件外です。適切な温度になるまでお待ちください。</p>

■ “機能停止 前方レーダー向き調整中 取扱書を確認” が表示されたときは

原因	対処方法
次のいずれかのシステムが停止しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・  PCS (プリクラッシュセーフティ)</li> <li>・  LTA (レントレーシングアシスト)</li> <li>・  レーダークルーズコントロール</li> <li>・  発進遅れ告知</li> <li>・  PDA (プロアクティブドライビングアシスト)</li> </ul>	次の対処法に従ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レーダーおよびレーダー専用カバーに付着物がないか確認し、あった場合には取り除いてください。 (→ P.250)</li> <li>・ レーダの向きがずれている可能性があり、レーダーが走行中に自動で再調整しています。しばらく走行を続けてください。</li> </ul>

■ “クルーズコントロール 使用できません 取扱書を確認してください” が表示されたときは

原因	対処方法
次のいずれかのシステムが停止しています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レーダークルーズコントロール</li> <li>・ クルーズコントロール</li> </ul> 走行支援スイッチを短時間に繰り返し操作したときにメッセージが表示されることがあります。	走行支援スイッチを短く確実に押してください。

■ “エンジン系故障” が表示されたときは

原因	対処方法
故障している可能性があります。	ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ “ハイブリッドシステム 故障” が表示されたときは

原因	対処方法
故障している可能性があります。	ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ “アクセル系故障” が表示されたときは

原因	対処方法
故障している可能性があります。	ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ “バッテリー系故障” が表示されたときは

原因	対処方法
故障している可能性があります。	ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ “ハイブリッドシステム停止” が表示されたときは

原因	対処方法
ガス欠になっている可能性があります。	ただちに安全な場所に停車し、燃料残量が少ない場合は給油してください。

■ “燃料残量不足 エンジン停止” が表示されたときは

原因	対処方法
ガス欠になっている可能性があります。	ただちに安全な場所に停車し、燃料残量が少ない場合は給油してください。

 **注意**

■ 「電力消費が大きいため一部の空調・ヒータ作動を制限中です」がひんぱんに表示されるとき

充電系の異常や補機バッテリーが劣化している可能性があります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 「補機バッテリー（始動用）充電不足 取扱書を確認してください」がひんぱんに表示されるとき

補機バッテリーが劣化している可能性があります。その状態で放置しておくと、補機バッテリーのバッテリーあがりを起こすおそれがあるため、トヨタ販売店で補機バッテリーの点検を受けてください。

## パンクしたときは（タイヤパンク応急修理キット装着車）

タイヤパンク応急修理キット装着車には、スペアタイヤが搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。釘やネジなどが刺さった程度の軽度なパンクを応急修理できます。（パンク補修液 1 本につき、応急修理できるタイヤは 1 本です）パンクしたタイヤの損傷状況により、応急修理キットでは応急修理できない場合があります。（→ P. 537）

タイヤパンク応急修理キットで応急修理したタイヤの修理・交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

### ⚠ 警告

#### ■ タイヤがパンクしたときは

パンクしたまま走行しないでください。

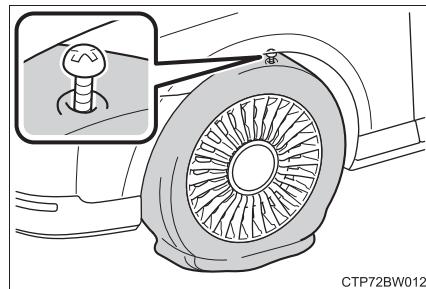
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

## 応急修理する前に

- 地面が固く平らで安全な場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーをPにする
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる
- タイヤの損傷程度を確認する

釘やネジなどが刺さっている場合のみ、タイヤを応急修理してください。

- ・ タイヤに刺さっている釘やネジなどは抜かないでください。  
抜いてしまうと穴が大きくなりすぎ、応急修理ができなくなることがあります。



CTP72BW012

- ・ パンク補修液がもれないようにするために、パンク箇所が分かっている場合は、パンク箇所が上になるように車両を移動してください。

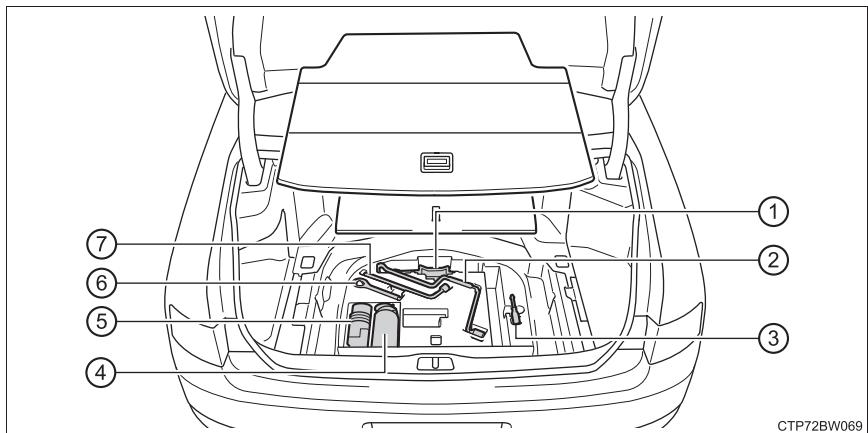
## □ 知識

### ■ 応急修理キットで修理できないパンク

次の場合は、応急修理キットでは応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

- タイヤ空気圧が不十分な状態で走行してタイヤが損傷しているとき
- タイヤ側面など、接地面以外に穴や損傷があるとき
- タイヤがホイールから明らかにはずれているとき
- タイヤに4mm以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ホイールが破損しているとき
- 2本以上のタイヤがパンクしているとき
- 1本のタイヤに2箇所以上の切り傷や刺し傷があるとき

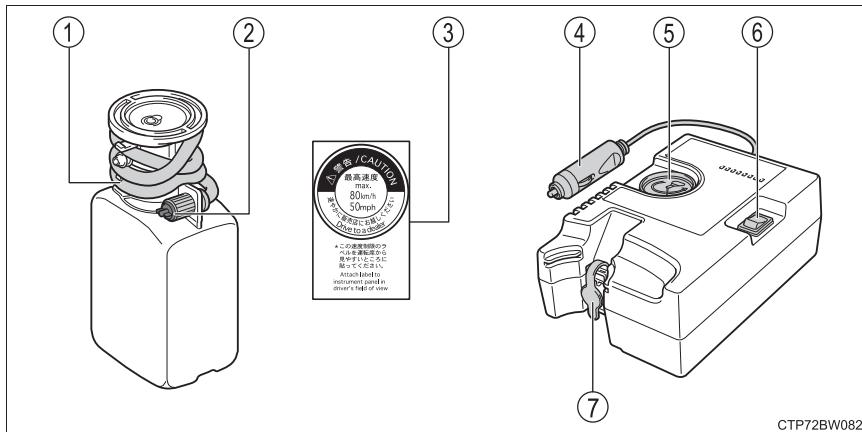
### タイヤパンク応急修理キット・工具の搭載位置



- ① ジャッキ\*
- ② ジャッキハンドル
- ③ ドライバー
- ④ タイヤパンク応急修理キット  
(ボトル)
- ⑤ タイヤパンク応急修理キット  
(コンプレッサー)
- ⑥ けん引フック
- ⑦ ホイールナットレンチ

\* ジャッキの使い方 (→ P. 556)

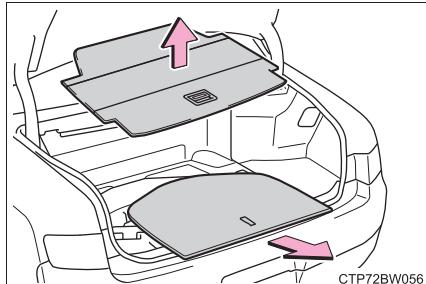
## タイヤパンク応急修理キットの内容／各部の名称



- ① ホース
- ② 空気逃がしキャップ
- ③ ラベル
- ④ 電源プラグ
- ⑤ 空気圧計
- ⑥ 電源スイッチ
- ⑦ ゴム栓

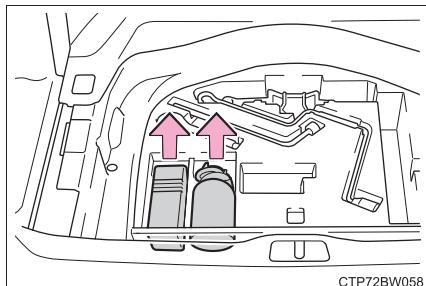
### タイヤパンク応急修理キットの取り出し方

- ① ラゲージマットとデッキボードを取りはずす



CTP72BW056

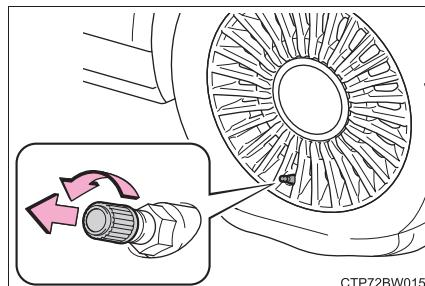
- ② 応急修理キットを取り出す



CTP72BW058

## 応急修理するときは

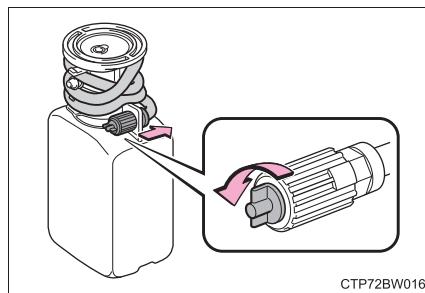
- 1 応急修理キットを取り出す
- 2 パンクしたタイヤのバルブから  
バルブキャップを取りはずす



CTP72BW015

- 3 ホースをのばし、ホースから空気  
逃がしキャップを取りはずす

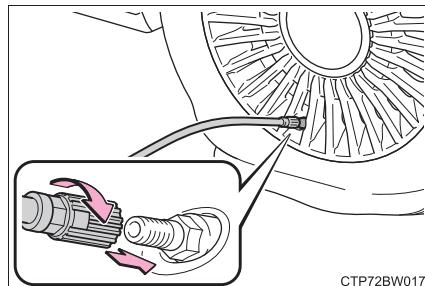
空気逃がしキャップは再度使用するため、なくさないように保管してください。



CTP72BW016

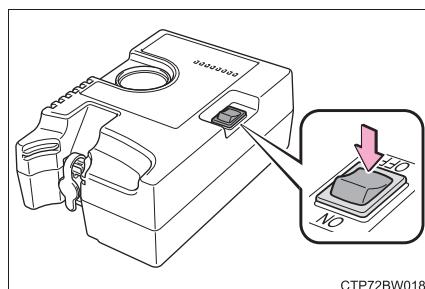
- 4 ボトルのホースをパンクしたタ  
イヤのバルブに接続する

ホース先端を時計まわりにまわして  
しっかりと最後までねじ込みます。



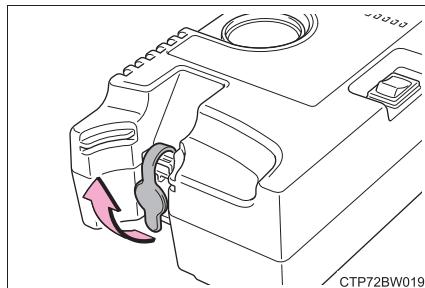
CTP72BW017

- 5 コンプレッサーのスイッチが  
OFFであることを確認する

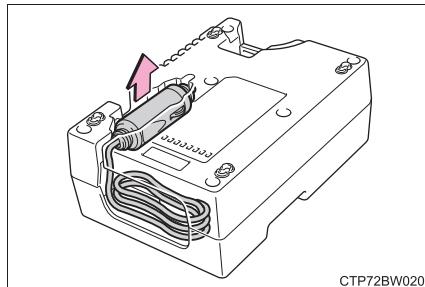


CTP72BW018

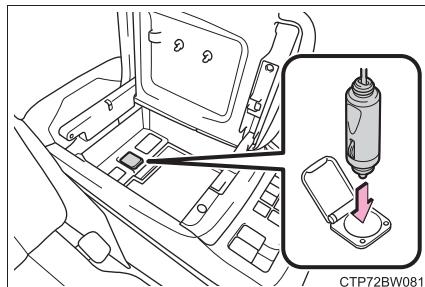
- 6 コンプレッサーのゴム栓をはずす



- 7 コンプレッサーの電源プラグを取りはずす

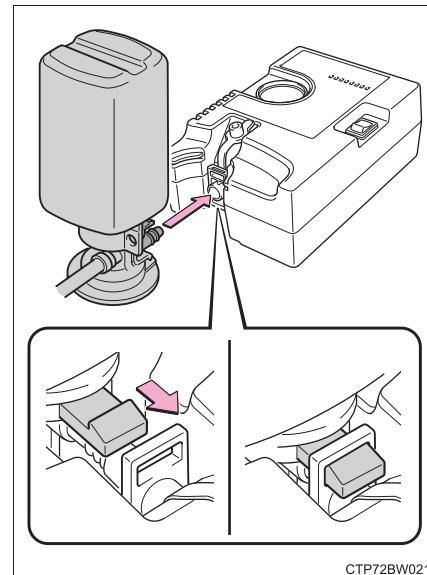


- 8 コンプレッサーの電源プラグをアクセサリーソケットに挿し込む（→ P. 434）



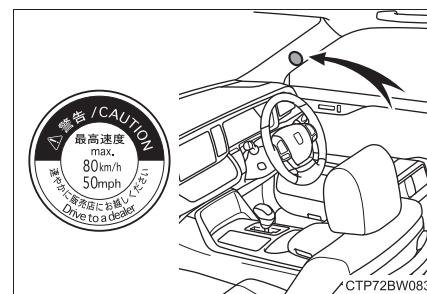
**9** コンプレッサーにボトルを接続する

しっかりと接続されているか確認してください。



CTP72BW021

**10** 運転席から見やすい位置に、付属のラベルを貼り付ける



CTP72BW083

**11** タイヤの指定空気圧を確認する

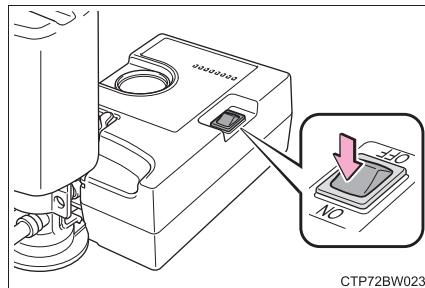
運転席側の空気圧ラベルで確認することができます。( $\rightarrow$  P.468, 585)



CTP72BW043

**[12]** ハイブリッドシステムを始動する (→ P. 195)

**[13]** コンプレッサーのスイッチをONにし、パンク補修液と空気を充填する



CTP72BW023

**[14]** 空気圧が指定空気圧になるまで空気を充填する

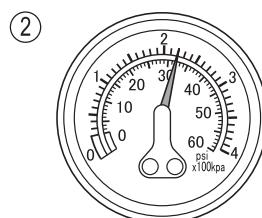
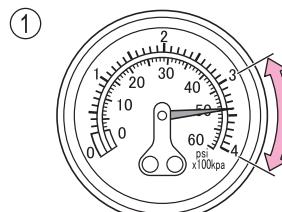
① 一時的に空気圧計が 300 ~ 400kPa (3.0 ~ 4.0kg/cm<sup>2</sup>) まで上昇し、徐々に減少します。

② スイッチを ON にしてから 1 分程度(低温の場合は 15 分程度)で実際の空気圧になります。

空気圧を確認するときは、コンプレッサーのスイッチを OFF にしてください。空気の入れすぎに注意して、指定空気圧になるまで充填・確認をくり返してください。

10 分以上(低温の場合は 35 分以上)充填しても指定空気圧にならない場合は、応急修理できません。コンプレッサーのスイッチを OFF にしてトヨタ販売店にご連絡ください。

空気を入れすぎたときは、指定空気圧になるまで空気を抜いてください。  
(→ P.468, 585)



CTP72BW024

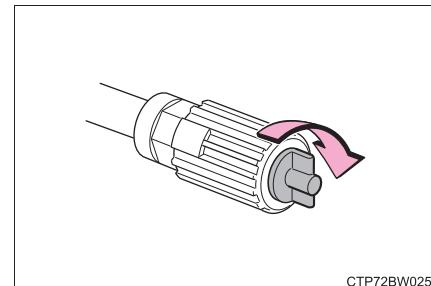
- [15]** コンプレッサーのスイッチが OFF であることを確認した上で、アクセサリーソケットから電源プラグを抜き、タイヤのバルブからボトルのホースを取りはずす

ホースを取りはずすときにパンク補修液がもれる可能性があります。

- [16]** バルブキャップを応急修理したタイヤのバルブに取り付ける

- [17]** ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液がもれ、車や衣服などが汚れる可能性があります。

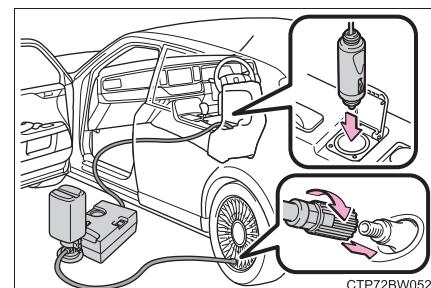


- [18]** いったん、ボトルとコンプレッサーを接続したままトランクに収納する

- [19]** タイヤ内のパンク補修液を均等に広げるために、ただちに約 5 km、速度 80km/h 以下で安全に走行する

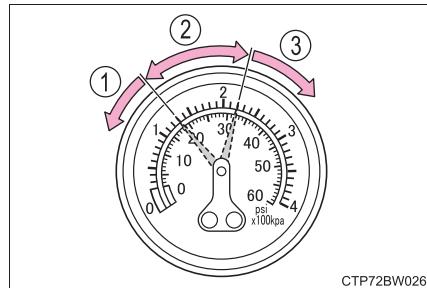
- [20]** 走行後、平坦な場所に停車して再度、応急修理キットを接続する

ボトルのホースを接続する前に、空気逃がしキャップを取りはずしてください



- [21]** コンプレッサーのスイッチを数秒間 ON にしてから再度 OFF し、空気圧を確認する

- ① 空気圧が 130kPa (1.3kg/cm<sup>2</sup>) 未満の場合：応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。
- ② 空気圧が 130kPa (1.3kg/cm<sup>2</sup>) 以上、指定空気圧未満の場合：手順 **[22]** へ
- ③ 空気圧が 指定空気圧 (→ P.468, 585) の場合：手順 **[23]** へ

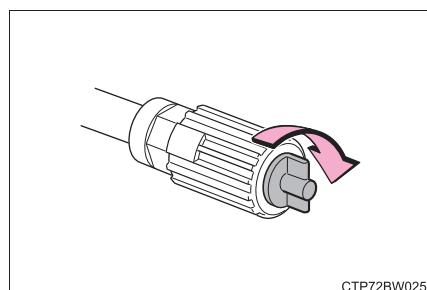


CTP72BW026

- [22]** コンプレッサーのスイッチをONにして指定空気圧まで空気を充填し、再度約5 km 走行後にあらためて手順 **[20]** から実施する

- [23]** ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液がもれ、車や衣服などが汚れる可能性があります。



CTP72BW025

- [24]** ボトルとコンプレッサーを接続したままトランクに収納する

- [25]** 急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け、走行距離が約 100km 以内、80km/h 以下の速度で、トヨタ販売店まで慎重に運転する

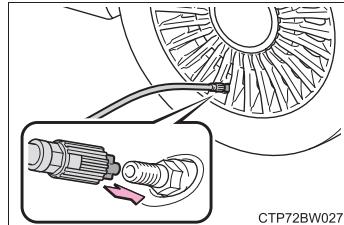
タイヤの修理・交換、応急修理キットの処理についてはトヨタ販売店にご相談ください。

トヨタ販売店でタイヤを修理・交換するときに、パンク補修液注入済みであることを必ずお伝えください。

## 知識

### ■空気を入れすぎてしまったとき

- ① タイヤからボトルのホースを取りはずす
- ② ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付け、キャップの突起部をタイヤのバルブに押しあて、空気を抜く



- ③ ホースから空気逃がしキャップを取りはずし、ホースを再接続する
- ④ コンプレッサーのスイッチを数秒間 ON にし、OFF にしてから空気圧計を確認する  
指定空気圧より低いときは、再度、コンプレッサーのスイッチを ON にし、指定空気圧になるまで空気を充填してください。

### ■応急（パンク）修理キットを使用したとき

- 空気圧が正確に計測できなくなることがあります。できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、空気圧バルブ／送信機を交換してください。
- タイヤの指定空気圧に達していても、タイヤ空気圧警告灯が点灯する可能性があります。

### ■応急修理キットの点検について

- パンク補修液の有効期限の確認は定期的に行ってください。有効期限はボトルに表示されています。
- 有効期限が切れたパンク補修液は使用しないでください。応急修理キットによる修理が正常にできない場合があります。
- 有効期限が切れる前に交換してください。交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

### ■補修液を廃棄するときは

補修液には環境に有害な物質が含まれています。補修液のボトル、および補修液の廃棄が必要な際は、トヨタ販売店、または都道府県知事の許可を受けた、専門の廃棄物処理業者に処理をご依頼ください。

### ■応急修理キットについて

- パンク補修液ボトル1本でタイヤ1本を1回応急修理できます。使用したパンク補修液の交換は、トヨタ販売店にご相談ください。コンプレッサーは、くり返し使用できます。
- 外気温度が-40℃～60℃のときに使用できます。
- 応急修理キット搭載車両の装着タイヤ専用です。指定タイヤサイズ以外のタイヤや、他の用途には使用しないでください。
- パンク補修液が衣服に付着すると、シミになる場合があります。
- パンク補修液がホイールやボルトに付着した場合、放置すると取れなくなるおそれがあります。ぬれた布などですみやかにふき取ってください。
- 応急修理キット作動中は、大きな音がしますが故障ではありません。
- タイヤ空気圧の点検や調整には使用しないでください。

### ▲警告

#### ■タイヤがパンクしているときは

タイヤがパンクした状態で走行を続けないでください。

短い距離でもパンクしたタイヤで走行すると、タイヤおよびホイールが損傷し修理できなくなります。パンクした状態で走行を続けると、タイヤ側面に円周状の溝ができる場合があります。この状態で応急修理キットを使用すると、タイヤが破裂する危険があります。

#### ■応急修理キットについて

- 応急修理キットは指定の位置に収納してください。  
急ブレーキ時などに応急修理キットが飛び出したりして破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 応急修理キットはお客様の車専用です。他の車には使わないでください。他の車に使うと思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 指定タイヤサイズ以外のタイヤや他の用途には使用しないでください。パンク修理が完全に行われず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

#### ■パンク補修液について

- 誤って飲み込むと健康に害があります。その場合はできるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり、皮膚に付着したりした場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

## 警告

### ■パンクしたタイヤを応急修理するとき

- 車両を安全で平坦な場所に停止させてください。
- 走行直後、ホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。  
走行直後のホイールやブレーキまわりは高温になっている可能性があるため手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- タイヤを車両に取り付けた状態で、バルブとボトルのホースをしっかりと接続してください。ホースの接続が不十分な場合、空気がもれたり、パンク補修液が飛散したりするおそれがあります。
- 空気充填中にボトルのホースがはずれると、圧力でホースが暴れ大変危険です。
- 空気充填後は、ボトルのホースを取りはずすときや空気を抜くときにパンク補修液が飛散する場合があります。
- 作業手順に従って応急修理を行ってください。  
手順どおりに行わないとパンク補修液が噴出する場合があります。
- 破裂の危険があるので、応急修理キットの作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにコンプレッサーのスイッチをOFFにし、修理を中止してください。
- 応急修理キットは、長時間作動させるとオーバーヒートする可能性があります。40分以上連続で作動させないでください。
- 応急修理キットが作動すると部分的に熱くなります。使用中または使用後の取り扱いには注意してください。ボトルとコンプレッサー接続箇所付近の金属部分は特に熱くなるのでふれないでください。
- 速度制限シールは指定位置以外に貼らないでください。ハンドルのパッド部分などのSRSエアバッグ展開部に貼ると、SRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

### ■補修液を均等に広げるための運転について

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- 低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。
- 車がまっすぐ走行しなかったり、ハンドルをとられたりする場合は、運転を中止し、次のことを確認してください。
  - ・タイヤを確認してください。タイヤがホイールからはずれている可能性があります。
  - ・空気圧を確認してください。130kPa (1.3kg/cm<sup>2</sup>) 未満の場合は、タイヤが大きなダメージを受けている可能性があります。

## ⚠ 注意

### ■ 応急修理をするとき

- タイヤに刺さった釘やネジを取り除かずに応急修理を行ってください。  
取り除いてしまうと、応急修理キットでは応急修理ができなくなる場合があります。
- 応急修理キットに防水機能はありません。降雨時などは、水がかからないようにして使用してください。
- 砂地などの砂ぼこりの多い場所に直接置いて使用しないでください。砂ぼこりなどを吸い込むと、故障の原因になります。
- 応急修理キットは倒れた状態では正常に作動しません。必ず立ててご使用ください。

### ■ 応急修理キットについて

- 応急修理キットは DC12V 専用です。他の電源での使用はできません。
- 応急修理キットにガソリンがかかると、劣化するおそれがあります。ガソリンがかからないようにしてください。
- 応急修理キットはビニール袋に入れて砂ぼこりや水を避けて収納してください。
- 応急修理キットは指定の位置に収納し、お子さまが誤って手をふれないようご注意ください。
- 分解・改造などは絶対にしないでください。また、空気圧計などに衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

## パンクしたときは（スペアタイヤ装着車）

パンクしたタイヤを、備え付けのスペアタイヤと交換してください。  
(タイヤについての詳しい説明は P. 468 を参照してください)

### ⚠ 警告

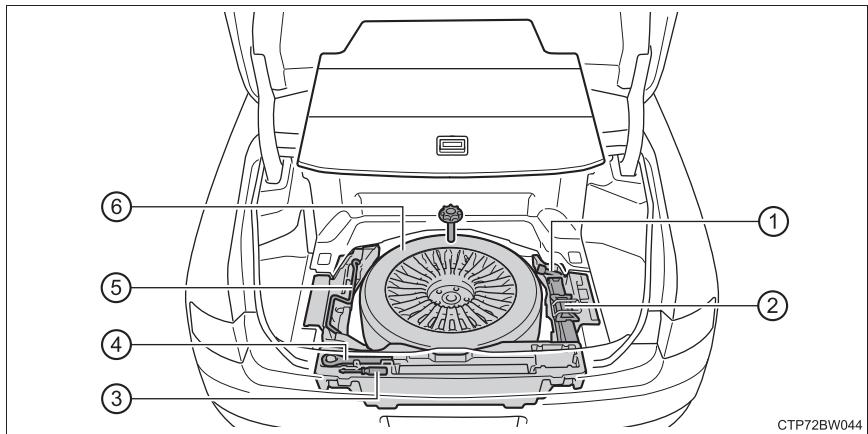
#### ■ タイヤがパンクしたときは

パンクしたまま走行しないでください。  
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

#### ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らで安全な場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーを P に入れる
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

### 工具とジャッキの位置



- ① ホイールナットレンチ
- ② ジャッキ
- ③ ドライバー

- ④ けん引フック
- ⑤ ジャッキハンドル
- ⑥ スペアタイヤ

## ⚠ 警告

### ■ ジャッキの使用について

次のことをお守りください。

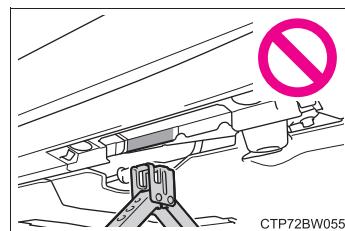
ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキはジャッキセット位置に正しくかける
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- 車がジャッキで支えられている状態で、ハイブリッドシステムを始動したり車を走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- 車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をかけてから下げる
- 電子制御アサスペンションの車高調整機能が作動しないように、ジャッキアップ時は必ずハイブリッドシステムを停止する

## ⚠ 注意

### ■ ジャッキを使用するときに車体の損傷を防ぐために

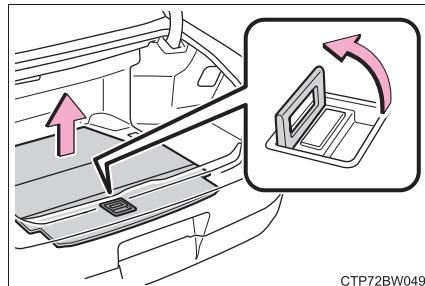
車両うしろ側のジャッキポイント付近にある金具（図で示す位置）にジャッキをかけないでください。車体が損傷するおそれがあります。



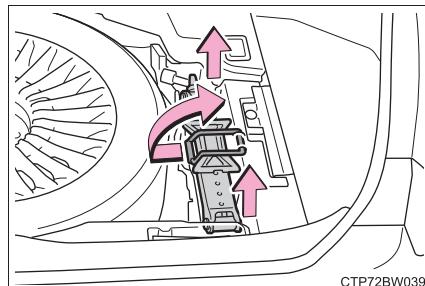
CTP72BW055

## ジャッキの取り出し方

- 1 ラゲージマットを取りはずす

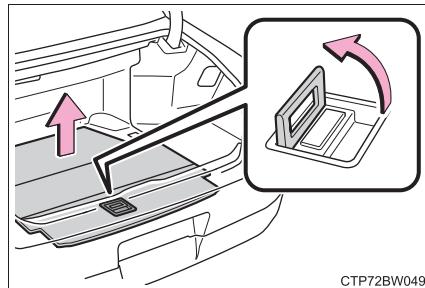


- 2 留め具をはずしてジャッキを取り出す

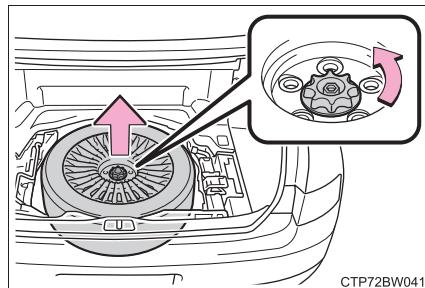


## スペアタイヤの取り出し方

- 1 ラゲージマットを取りはずす



- 2 留め具をはずしてスペアタイヤを取り出す



### 警告

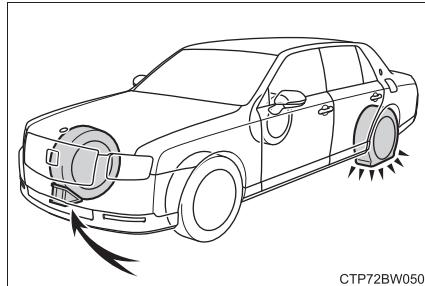
#### ■スペアタイヤを収納するとき

ボデーとスペアタイヤとのあいだに、指などを挟まないように注意してください。

## パンクしたタイヤの交換

### 1 輪止め<sup>\*</sup>をする

<sup>\*</sup> 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

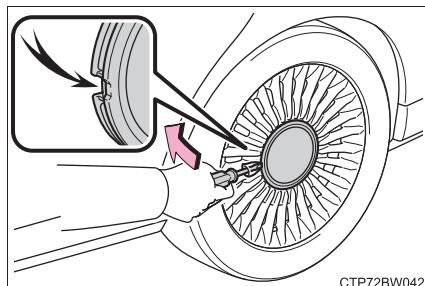


CTP72BW050

パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪うしろ
	右側	左側後輪うしろ
後輪	左側	右側前輪前
	右側	左側前輪前

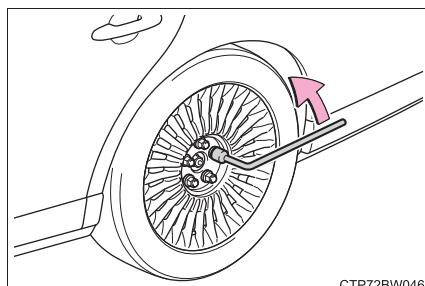
### 2 マイナスドライバーを溝に差込み、センターオーナメントをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



CTP72BW042

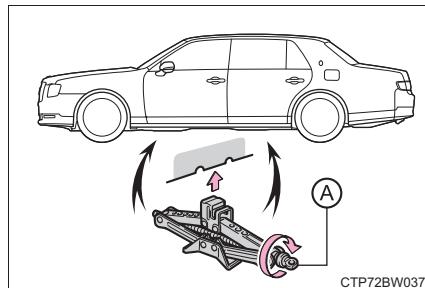
### 3 ナットを少し（約 1 回転）ゆるめる



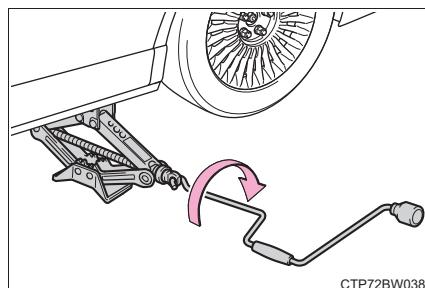
CTP72BW046

- 4** ジャッキのA部を手でまわして、ジャッキ溝をジャッキセット位置にしっかりとかける

車両の損傷を防ぐために、正しい位置にジャッキをかけてください。  
(→ P. 553)

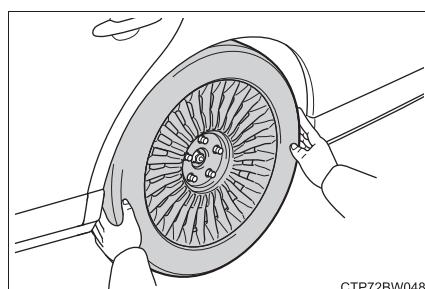


- 5** タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる



- 6** ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの意匠面に傷が付かないよう意匠面を上にします。





## 警告

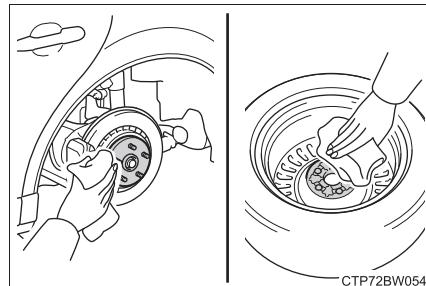
### ■ タイヤ交換について

- 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください。  
走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- 次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
  - ・ ねじ部にオイルやグリースを塗らない  
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。ナットを取り付けるときに、オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。
  - ・ タイヤを交換したあとは、速やかに締め付けトルクを確認してください。  
締め付けトルク：140N·m (1429kgf·cm)
  - ・ タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
  - ・ ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける

## スペアタイヤの取り付け

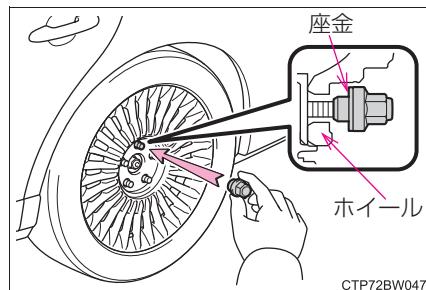
- ① ホイール接触面の汚れをふき取る

ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずるおそれがあります。

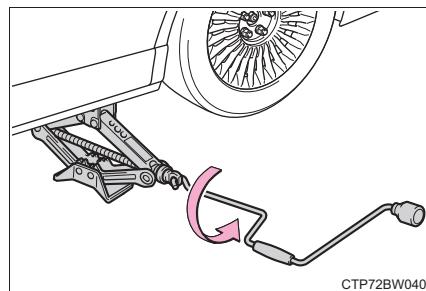


- ② スペアタイヤを取り付け、タイヤがたつかない程度まで手でナットを仮締めする

ナットの座金がホイールに軽くあたるまでまわす



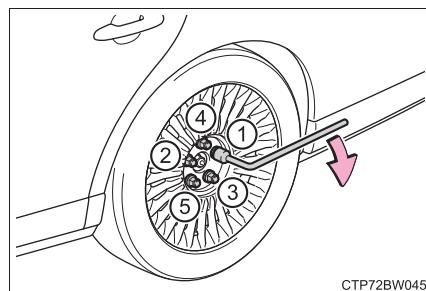
- ③ 車体を下げる



- ④ ホイールナットレンチを使用し、図の番号順でナットを2、3度しっかり締め付ける

締め付けトルク：

140N・m (1429kgf・cm)



- 5** センターオーナメントを取り付ける
- 6** すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを収納する

### 警告

#### ■ ジャッキや工具を使用したあとは

走行前に正しい位置に格納されているか確認してください。正しく格納されていないと、事故や急ブレーキの際、重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

## ハイブリッドシステムが始動できないときは

ハイブリッドシステムが始動できない原因は状況によって異なります。次のことをご確認いただき、適切に対処してください。

### 正しいハイブリッドシステムの始動方法（→ P. 195）に従っても始動できない

次の原因が考えられます。

- 電子キーが正常に働いていない可能性があります。（→ P. 565）
- 燃料が入っていない可能性があります。  
給油してください。
- イモビライザーシステムに異常がある可能性があります。（→ P. 83）
- 電子キーの電池切れやヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。異常の種類によっては、ハイブリッドシステムを一時的な処置で始動することができます。（→ P. 562）

### 室内灯・ヘッドライトが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 567）
- 補機バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。  
(→ P. 461)

### 室内灯・ヘッドライトが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーあがりの可能性があります。（→ P. 567）
- 補機バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。  
(→ P. 461)

対処の方法がわからないときは、あるいは対処をしてもハイブリッドシステムが始動できないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

## 緊急始動機能

通常のハイブリッドシステム始動操作でハイブリッドシステムが始動しないときは、次の手順でハイブリッドシステムが始動する場合があります。

緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- ② シフトレバーが P の位置にあることを確認する。
- ③ パワースイッチをアクセサリーモード<sup>\*1</sup>にする<sup>\*2</sup>
- ④ ブレーキペダルをしっかりと踏んでパワースイッチを約 15 秒以上押し続ける

上記の方法でハイブリッドシステムが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

<sup>\*1</sup> カスタマイズメニューで ON / OFF を切りかえることができます。  
(→ P.586)

<sup>\*2</sup> アクセサリーモードがない場合は、パワースイッチを ON モードにしたあとにパワースイッチを OFF にして、5 秒以内に P. 565 の方法でハイブリッドシステムを始動してください。

## 電子キーが正常に動かないときは

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり（→ P. 142）、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー＆スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアやトランクを開けたり、ハイブリッドシステムを始動したりすることができます。

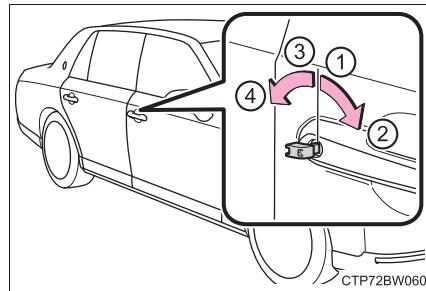
### ドアの施錠・解錠、トランクの解錠とキー連動操作

#### ■ ドア

メカニカルキー（→ P. 117）を使って次の操作ができます。（運転席ドアのみ）

- ① 全ドア施錠
- ② ドアガラスが閉まる（まわし続ける）※
- ③ 全ドア解錠
- ④ ドアガラスが開く（まわし続ける）※

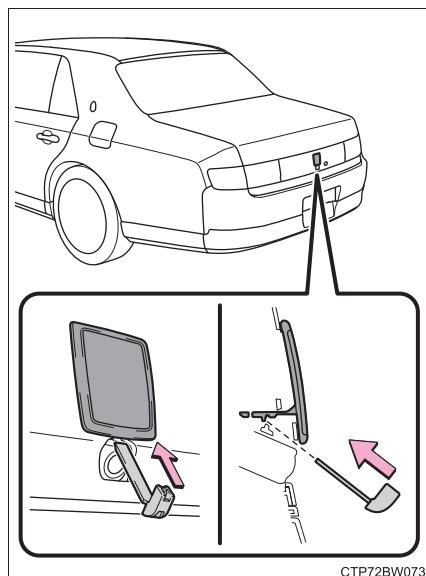
※ トヨタ販売店での設定変更が必要です。（→ P. 586）



## ■ トランク

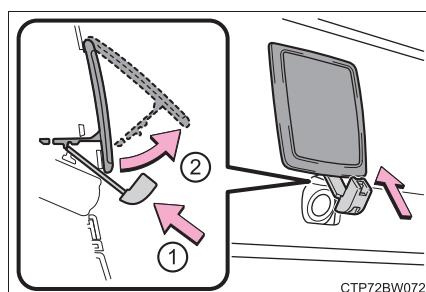
メカニカルキーを使ってトランクを開けることができます。(→P. 117)

- 1** メカニカルキーを、エンブレムとバックガイドモニターのカメラのあいだに挿し込む



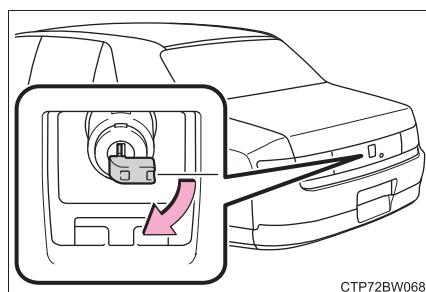
CTP72BW073

- 2** メカニカルキーで爪部を強く押し込みながら、エンブレムを下側から取りはずす



CTP72BW072

- 3** メカニカルキーを時計まわりにまわして開ける



CTP72BW068

- 4** エンブレムを取り付ける

取り付けたあとは、エンブレムがしっかりと固定されていることを確認してください。

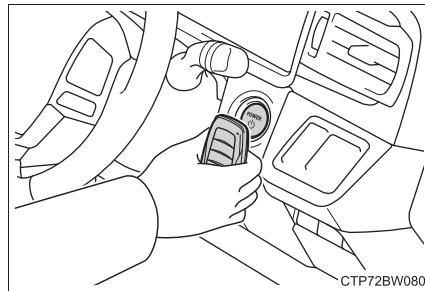
## ハイブリッドシステム始動の方法

① シフトレバーが P の状態でブレーキペダルを踏む

② 電子キーのエンブレム面で、パワースイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、ON モードへ切りかわります。

車両カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムの設定が非作動になっている、かつ ACC カスタマイズが ON のときは、アクセサリーモードへ切りかわります。



③ ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、マルチインフォメーションディスプレイに が表示されていることを確認する

④ 短く確実にパワースイッチを押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

### □ 知識

#### ■ハイブリッドシステムの停止方法

通常のハイブリッドシステムの停止方法と同様に、シフトレバーを P にしてパワースイッチを押します。

#### ■電池交換について

ここで説明しているハイブリッドシステムの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→ P. 492)

#### ■パワースイッチのモードの切りかえ

ハイブリッドシステム始動方法の手順 ③ で、ブレーキペダルから足を離してパワースイッチを押すと、ハイブリッドシステムが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。(→ P. 196)

#### ■電子キーが正常に働かない場合について

- 車両カスタマイズ機能でスマートエントリー＆スタートシステムの設定を確認し、非作動になっている場合には、作動可能に設定変更してください。  
(→ P. 586)

- 電子キーが節電モードに設定されていないことを確認してください。  
設定されている場合は解除してください。(→ P. 141)

- 電子キーの機能が停止している可能性があります。(→ P. 118)

### ■ トランクエンブレムの取り扱いについて

誤った取り扱いをすると、トランクエンブレムが破損する場合があります。ご自身での作業に不安がある場合は、トヨタ販売店にご相談ください。



#### 警告

##### ■ メカニカルキーを使ってドアガラスを操作するとき

ドアガラスに人が挟まるおそれがないことを確認してから操作してください。またお子さまには、メカニカルキーによる操作をさせないでください。お子さまや他の人がドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

##### ■ エンブレムの取り付けについて

エンブレムを取り付けるときは、エンブレムで指などを挟まないよう十分注意してください。



#### 注意

##### ■ トランクを開けるとき

- カメラ部を押したり、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。
- バックガイドモニターのカメラ部に、メカニカルキーが当たらないようにしてください。カメラレンズが傷つくと、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。

##### ■ スマートエントリー＆スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくとき

車両に付属しているすべての電子キーをお持ちください。

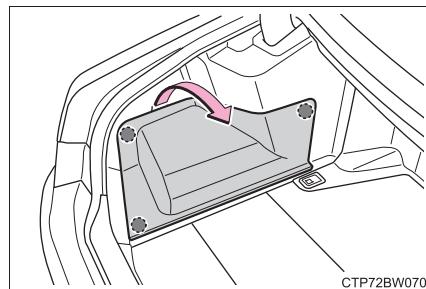
## 補機バッテリーがあがったときは

補機バッテリーがあがった場合、次の手順でハイブリッドシステムを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、ハイブリッドシステムを始動させることができます。

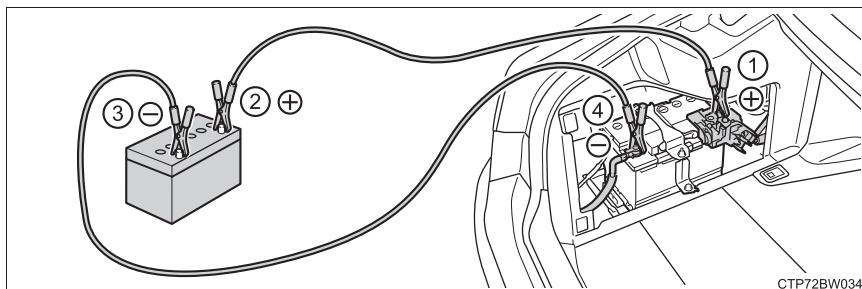
- 1** トランクを開け、バッテリーカバーをはずす

トランクオープナースイッチで開かない場合は、メカニカルキーで開けます。  
(→ P. 564)



- 2** 補機バッテリーの+端子のカバーをはずし、ブースターケーブルを次の順につなぐ

ブースターケーブルは、指定の端子に届くものを使用してください。



- ① 赤色のブースターケーブルを自車の補機バッテリーの+端子につなぐ
  - ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの+端子につなぐ
  - ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの-端子につなぐ
  - ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端を、自車の補機バッテリーの-端子につなぐ
- 3** 救援車のエンジンをかけ、回転を少し高めにして、約5分間自車の補機バッテリーを充電する

- 4** パワースイッチが OFF の状態でいずれかのドアを開閉する
- 5** 救援車のエンジン回転を維持したまま、パワースイッチをいったん ON モードにしてからハイブリッドシステムを始動する。
- 6** READY インジケーターが点灯することを確認する  
点灯しない場合はトヨタ販売店にご連絡ください。
- 7** ハイブリッドシステムが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順では必ず
- 8** バッテリーカバーを取り付ける  
ハイブリッドシステムが始動しても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

## □ 知識

### ■補機バッテリーあがり時の始動について

この車両は、押しがけによる始動はできません。

### ■補機バッテリーあがりを防ぐために

- ハイブリッドシステムが停止しているときは、ランプやオーディオの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要的電装品の電源を切ってください。
- ACCカスタマイズがOFFのときは、パワースイッチがOFFの状態でもマルチメディアシステムに電源が供給されます。  
マルチメディアシステムの電源をOFFにしてください。詳しくは、別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

### ■補機バッテリーについて

→ P. 461

### ■補機バッテリーがあがってしまったときは

コンピューターに記憶されている情報が消去されます。補機バッテリーがあがったときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

### ■補機バッテリー端子をはずすときは

補機バッテリー端子をはずすと、コンピューターに記憶されている情報が消去されます。補機バッテリー端子をはずすときは、トヨタ販売店にご相談ください。

### ■補機バッテリーの充電について

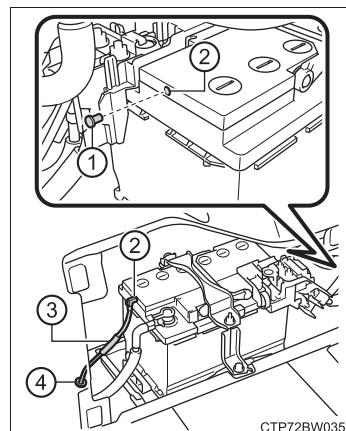
補機バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、補機バッテリーがあがってハイブリッドシステムを始動できなくなるおそれがあります。(補機バッテリーはハイブリッドシステムの作動中に自動で充電されます)

### ■補機バッテリーあがり時や取りはずし時など

- 補機バッテリー脱着直後はスマートエントリー＆スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合は、ワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠を実施してください。
- 補機バッテリー脱着後、最初の始動操作ではハイブリッドシステムが始動できないことがあります(異常ではありません)。再度始動操作を行ってください。
- 車両は常にパワースイッチの状態を記憶しています。補機バッテリーあがり時、補機バッテリー脱着後は、バッテリーをはずす前の状態に復帰します。補機バッテリーを脱着する際は、パワースイッチをOFFにしてから行ってください。  
補機バッテリーがあがる前の状態が不明の場合、補機バッテリー接続時は特に注意してください。

### ■補機バッテリーを交換するときは

- 一括排気タイプの補機バッテリー（欧州規格）を使用してください。
  - 交換前と同一のケースサイズ (LN3)、20 時間率容量 (20HR) が同等 (70Ah) 以上、かつ性能基準値 (CCA) が同等 (600A) 以上の補機バッテリーを使用してください。
    - ・大きさが異なると、補機バッテリーが正しく固定されません。
    - ・20 時間率容量が小さいと、車両を使用していない時期が短い期間であっても補機バッテリーがあがって、ハイブリッドシステムの始動ができなくなるおそれがあります。
  - 取っ手の付いている補機バッテリーを使用してください。  
取っ手が付いていない補機バッテリーを使用すると、補機バッテリーを取り出しづらくなります。
  - 交換後は、補機バッテリーの排気穴に次のものを確実に取り付けてください。
    - ・排気ホースは、交換前の補機バッテリーに取り付けられているものを使用してください。
    - ・排気穴栓は、交換した補機バッテリーに付属のもの、または交換前の補機バッテリーに取り付けられているものを使用してください。(交換する補機バッテリーによっては、排気穴がふさがれたものもあります。)
- ① 排気穴栓  
② 排気穴  
③ 排気ホース  
④ 車両穴部



詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。



## 警告

### ■補機バッテリー端子をはずすときは

必ずー端子を先にはずしてください。+端子を先にはずすと、+端子が周辺の金属部分にふれた場合、火花が発生し火災につながるおそれがある他、感電し重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

### ■補機バッテリーの引火または爆発を防ぐために

補機バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子または接続箇所以外に接続しない
- +端子に接続したブースターケーブルの先を付近のブラケットや未塗装の金属部に接触させない
- ブースターケーブルは+側とー側の端子を絶対に接触させない
- 補機バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

### ■補機バッテリーの取り扱いについて

補機バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- 補機バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、バッテリー液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上、顔や頭などを補機バッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける  
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- 補機バッテリーや周辺部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまを補機バッテリーに近付けない

### ■補機バッテリーあがりの処置をしたあとは

早めにトヨタ販売店で補機バッテリーの点検を受けてください。

補機バッテリーが劣化している場合、そのまま使い続けると補機バッテリーから異臭ガスが発生し、乗員に健康障害をおよぼすおそれがあり危険です。

**⚠ 警告****■補機バッテリーを交換するときは**

交換後は、交換した補機バッテリーの排気穴に排気ホースと排気穴栓を確実に取り付けてください。正しく取り付けられていないと、ガス（水素）が車内に侵入したり、引火して爆発するおそれがあり危険です。

**■補機バッテリーの一端子について**

ボデー側に接続された補機バッテリーの一端子をはずさないでください。誤ってはずすと+端子と接触し、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

**⚠ 注意****■ブースターケーブルの取扱いについて**

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

**■ブースターケーブルを接続するときは**

指定の端子以外にブースターケーブルを接続しないでください。電子機器に悪影響をおよぼしたり、破損につながったりするおそれがあります。

## オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

- 高水温警告灯と「エンジン冷却水高温 安全な場所に停車して取扱書を確認してください」がマルチインフォメーションディスプレイに表示されたり、ハイブリッドシステムの出力が低下する（スピードが出ないなど）
- マルチインフォメーションディスプレイに「ハイブリッドシステム 高温 出力制限中です」が表示される
- エンジンルームから蒸気が出る

### 対処方法

■ 高水温警告灯と「エンジン冷却水高温 安全な場所に停車して取扱書を確認してください」がマルチインフォメーションディスプレイに表示されたとき

**1** 安全な場所に停車し、エアコンを OFF にしてから、ハイブリッドシステムを停止する

**2** 蒸気が出ている場合：

蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してボンネットを開ける

蒸気が出ていない場合：

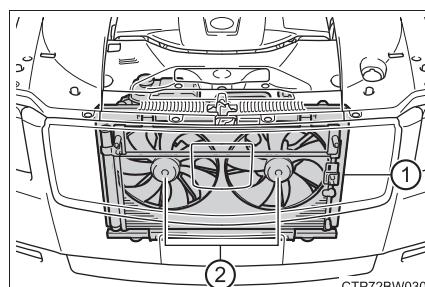
注意してボンネットを開ける

**3** ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

① ラジエーター

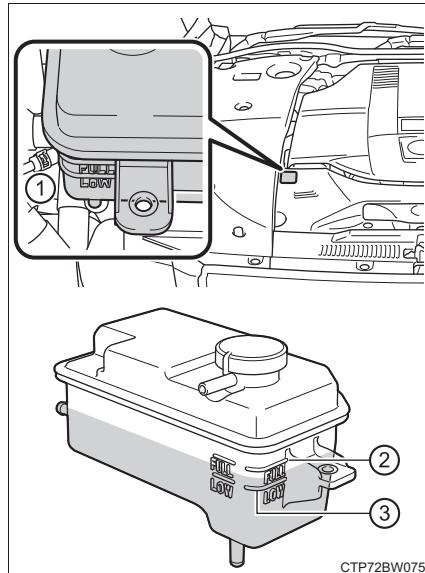
② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。



- ④ 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する

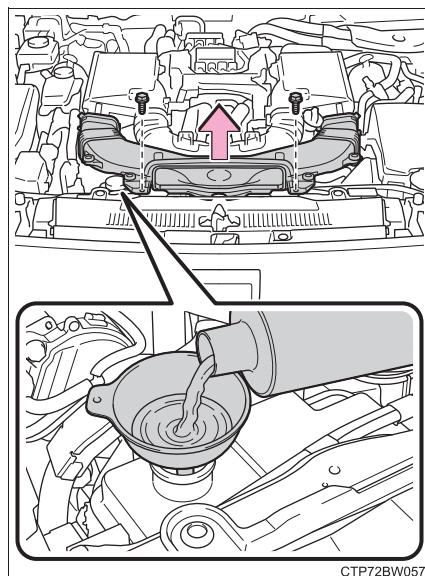
- ① リザーバータンク
- ② “FULL”（上限）
- ③ “LOW”（下限）



CTP72BW075

- ⑤ 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する(→P. 577)

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



CTP72BW057

- 6** ハイブリッドシステムを始動し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する

ハイブリッドシステムが冷えた状態での始動直後は、エアコンを ON にすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンの ON/OFF をくり返してください。

(ただし、氷点下となる寒冷時はファンが作動しないことがあります)

- 7** ファンが作動していない場合：

すぐにハイブリッドシステムを停止し、トヨタ販売店に連絡する

ファンが作動している場合：

最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

■ マルチインフォメーションディスプレイに「ハイブリッドシステム高温 出力制限中です」が表示されたとき

- 1** 安全な場所に停車する

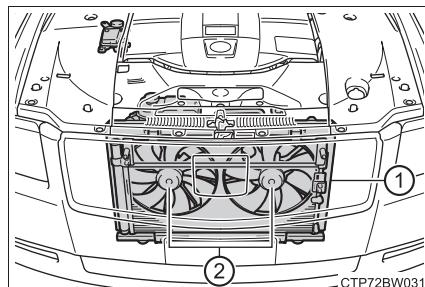
- 2** ハイブリッドシステムを停止し、注意してボンネットを開ける

- 3** ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

① ラジエーター

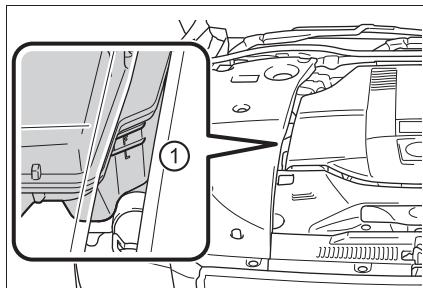
② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。



- 4** 冷却水の量がリザーバータンクの“F”（上限）と“L”（下限）のあいだにあるかを点検する

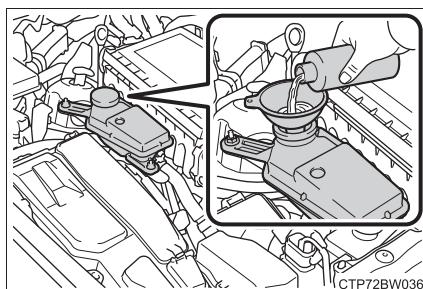
- ① リザーバータンク
- ② “F”（上限）
- ③ “L”（下限）



CTP72BW076

- 5** 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する(→P. 465)

冷却水がない場合は、応急措置として水を補給してください。



CTP72BW036

- 6** ハイブリッドシステムを停止してから5分以上経過したあとで、ハイブリッドシステムを始動し、マルチインフォメーションディスプレイを確認する

表示が消えない場合：

ハイブリッドシステムを停止してトヨタ販売店に連絡する

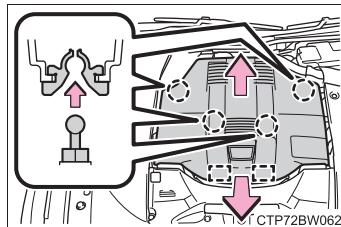
表示が消えている場合：

ハイブリッドシステムの温度が低下したため、通常走行が可能ですがただし、そのあともひんぱんに表示される場合は、トヨタ販売店に連絡してください。

## 知識

### ■ エンジン冷却水を補給する前に

エンジン冷却水を補充するときはエンジンカバーを取りはずす必要があります。



## 警告

### ■ エンジンルームを点検しているとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

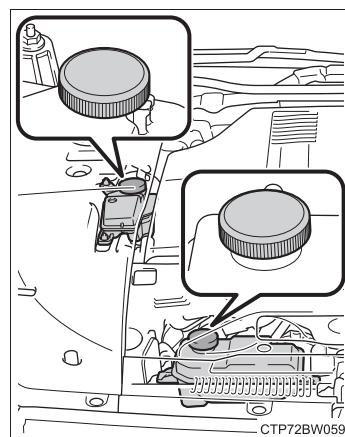
- エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっています。

- ハイブリッドシステムの停止後は、READY インジケーターが消灯していることを確認してください。

ハイブリッドシステムが作動していると、ガソリンエンジンが自動的に動き出したり、ガソリンエンジンが停止していても、冷却ファンが急にまわり出すことがあります。ファンなどの回転部分にふれたり、近付いたりすると、手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）が巻き込まれたりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ハイブリッドシステムおよびラジエーターが熱い場合は、冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。

高温の蒸気や冷却水が噴き出すおそれがあります。



 注意

## ■ 冷却水を入れるとき

ハイブリッドシステムが十分に冷えてからゆっくり入れてください。

ハイブリッドシステムが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、ハイブリッドシステムが損傷するおそれがあります。

## ■ 冷却系統の故障を防ぐために

次のことをお守りください。

- 異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない
- 冷却水用添加剤を使用しない

## スタックしたときは

ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなったときは次の方法を試みてください。

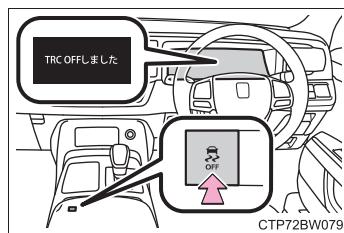
- 1** パーキングブレーキをかけシフトレバーを P にして、ハイブリッドシステムを停止する
- 2** 後輪周辺の土や雪などを取り除く
- 3** 後輪の下に木や石などをあてがう
- 4** ハイブリッドシステムを再始動する
- 5** シフトレバーを D または R に入れ、パーキングブレーキを解除して注意しながらアクセルペダルを踏む

### □ 知識

#### ■ 脱出しにくいとき



を押してTRCをOFFにしてください。



7

### ⚠️ 警告

#### ■ 脱出するとき

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人の衝突を避けるため周囲に何もないことを確認してください。

スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

#### ■ シフトレバーを操作するとき

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 注意

## ■ トランスマッisionやその他の部品への損傷を避けるために

- 後輪が空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

**車両情報****8****8-1. 仕様一覧**

メンテナンスデータ  
(指定燃料・  
オイル量など) ..... 582

**8-2. カスタマイズ機能**

ユーザーカスタマイズ機能  
一覧 ..... 586

**8-3. 初期設定**

初期設定が必要な項目 ..... 600

**8-4. フリー／オープンソース**

ソフトウェア

フリー／オープンソース  
ソフトウェア情報 ..... 601

## メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルや液類の品質により、お車の寿命は著しく左右されます。お車には、最も適した弊社純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

### 燃料

指定燃料	容量 [L] (参考値)
・ 無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）※1	82
・ バイオ混合ガソリン（プレミアム）※2	

※1 無鉛レギュラーガソリンを使用することもできます。その場合、エンジン性能を十分に発揮できません。

※2 エタノールの混合率 10%以下または、ETBE の混合率 22%以下のガソリン（酸素含有率 3.7%以下）を使用することができます。

### エンジンオイル

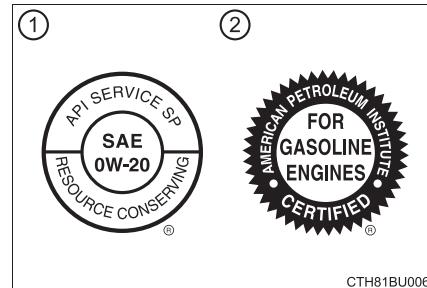
指定銘柄	容量 [L] (参考値 *)	
	オイルのみ 交換	オイルと オイル フィルター 交換
推奨： トヨタ純正モーターオイル SP OW-20 —API SP/RC, ILSAC GF-6A, SAE OW-20	8.8	9.4
適合： トヨタ純正モーターオイル SN 5W-30 —API SP/RC, ILSAC GF-6A, SAE 5W-30		

\* エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンの暖機後にハイブリッドシステムを停止し、5 分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

## ■ 指定エンジンオイル

API 規格 SP/RC、SN PLUS/RC、SN/RC か、ILSAC 規格に合致したオイルをご使用ください。OW-20 は、新車時に工場充填されている推奨オイルであり、優れた省燃費性能を発揮できます。OW-20 が入手困難な場合は、5W-30 もご使用いただけます。なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION (イルサックサーティフィケーション) マークがついています。

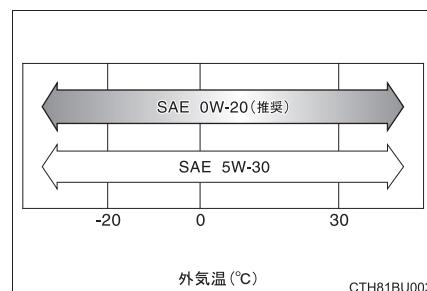
- ① API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATIONマーク



CTH81BU006

## ■ エンジンオイル推奨粘度

下記図に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



外気温 (°C)

CTH81BU003

オイル粘度について（例として OW-20 で説明します）：

- ・ OW-20 の OW は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ OW-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。

## ラジエーター

指定銘柄	容量 [L] (参考値)	
	ガソリン エンジン	パワー コントロール ユニット
トヨタ純正スーパーロングライフクラント 凍結保証温度 濃度 50% – 35°C	11.1	2.5

## トランスミッション

指定銘柄	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正オートフルード WS*	5.5

\* 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください



### 注意

#### ■ トランスミッションフルードについて

指定銘柄以外のフルードを使用すると、振動・異音の発生や、故障などの原因になるおそれがあります。

## ディファレンシャル

オイルタイプ・推奨粘度	容量 [L] (参考値)
トヨタ純正ディファレンシャルギヤオイル LT (API GL-5 SAE 75W-85)	1.35

## ブレーキ

#### ■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

## ■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	1 ~ 6
踏み込んだときの床板とのすき間 ※	135

\* ハイブリッドシステムが作動している状態で、300N (30.6kgf) の踏力をかけたときの床板とのすき間の最小値

## ■ ブレーキパッド

項目	使用限度値 [mm]
ブレーキパッドの厚み	1

## ■ ウォッシャータンク

容量 [L] (参考値)
4.8

## ■ タイヤ・ホイール

### ■ サイズ・空気圧

タイヤサイズ	ホイールサイズ	タイヤが冷えているときの空気圧 kPa (kg/cm <sup>2</sup> )	
		前輪	後輪
225/55R18 98H	18 × 7 1/2J	230 (2.3)	240 (2.4)

### ■ ホイールナット締め付けトルク

トルク [N·m (kgf·cm)]
140 (1429)

## ■ 電球 (バルブ) \*

電球	W (ワット) 数
フロントバニティミラーランプ	8

\* 表に記載のないランプは LED を採用しています。

## ■ 車両仕様

型式	エンジン	電動機型式	駆動方式
UWG60	2UR-FSE (5.0L ガソリン)	1KM	FR (後輪駆動)

## ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車に装備されている各種の機能は、ご希望に合わせてトヨタ販売店で作動内容を変更することができます。

また、マルチメディア・マルチインフォメーションディスプレイの操作により、設定を変更することができる機能もあります。

### 設定変更のしかた

安全に操作することができる場所に停車し、シフトレバーを P にして、パーキングブレーキをかけます。

#### ■ マルチメディアディスプレイで設定するには

- 1 マルチメディアディスプレイの  を選択する
- 2 “車両カスタマイズ” を選択する
- 3 一覧表示された中から設定を変更する項目を選択する

作動・非作動を変更できる機能では、 (作動)・ (非作動) を選択します。

音量やセンサーの感度などを変更できる機能では、バー上のアイコンをスライドしてレベルを調整します。

#### ■ リヤマルチオペレーションパネルで設定するには

- 1 リヤマルチオペレーションパネルの HOME 画面で「シート」をタッチする
- 2 「左席」または「右席」をタッチする
- 3  をタッチする
- 4 操作スイッチをタッチして設定を変更する

#### ■ マルチインフォメーションディスプレイで設定するには

- 1 マルチインフォメーションディスプレイの  を選択する
- 2 ▲または▼を押して設定変更したい項目にカーソルを合わせる
- 3 OK スイッチを短押しまたは長押しする

OK スイッチの短押し・長押しで設定できる内容が異なります。

画面に表示されている内容に従って操作してください。

## 車両カスタマイズ設定一覧

機能によっては、他の機能と連動して設定がかわるものもあります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

- ① マルチメディアディスプレイの画面操作で設定変更可能
- ② マルチインフォメーションディスプレイで設定変更可能
- ③ トヨタ販売店で設定変更可能

### ■ メーター、マルチインフォメーションディスプレイ (→ P. 86, 93, 101)

機能の内容 <sup>※1</sup>	カスタマイズ設定	①	②	③
言語	・ 日本語 ・ 英語	—	○	—
単位	・ km/L ・ L/100km	—	○	—
メーター表示タイプ	・ タイプ1 <sup>※2</sup> ・ タイプ2 <sup>※2</sup> ・ タイプ3	—	○	—
メーターデザインタイプ	・ スマート ・ カジュアル ・ タフ ・ スポーティー	—	○	—
アナログメーター切りかえ	・ ハイブリッドシステムインジケーター ・ タコメーター ・ スピードメーター <sup>※3</sup>	—	○	—
EV インジケーター	・ あり ・ なし	—	○	—
燃費グラフ	・ リセット間平均燃費 ・ 始動後平均燃費	—	○	—
ドライブインフォ項目選択(上段)	・ 走行距離 ・ 平均車速 ・ 走行時間	—	○	—
ドライブインフォ項目選択(下段)	・ 走行距離 ・ 平均車速 ・ 走行時間	—	○	—

機能の内容 <sup>*1</sup>	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
TRIP A 項目選択（上段）	・ 走行距離 ・ 平均車速 ・ 走行時間	—	○	—
TRIP A 項目選択（下段）	・ 走行距離 ・ 平均車速 ・ 走行時間	—	○	—
TRIP B 項目選択（上段）	・ 走行距離 ・ 平均車速 ・ 走行時間	—	○	—
TRIP B 項目選択（下段）	・ 走行距離 ・ 平均車速 ・ 走行時間	—	○	—
割込表示	・ あり ・ なし	—	○	—
提案サービス	・ あり ・ あり（停車中のみ） ・ なし	○	—	○

\*1 機能についての詳しい説明は P. 101 を参照してください。

\*2 ウィジェット表示の表示／非表示も選択できます。

\*3 メーター表示タイプによっては、設定項目が表示されないことがあります。

### ■ ワイヤレスドアロック（→P. 116, 120, 131）

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
解錠時の操作	・ 1 回で全ドア解錠 ・ 1 回で運転席ドア解錠、連続 2 回で全ドア解錠	○	—	○
トランク解錠時の操作	・ 1 回押し ・ 2 回押し ・ 1 回押し続ける（短） ・ 1 回押し続ける（長） ・ 非作動	—	—	○

## ■ ドアロック (→ P. 120, 563)

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
メカニカルキーによる解錠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1回で全ドア解錠</li> <li>・ 1回で運転席ドア解錠、連続2回で全ドア解錠</li> </ul>	—	—	○
車速感応オートドアロック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	○	—	○
シフトポジションを P 以外にしたときの全ドア施錠 (シフト操作連動ドアロック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	○	—	○
シフトポジションを P にしたときの全ドア解錠 (シフト操作連動アンロック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	○	—	○
運転席ドアを開けたときの全ドア解錠 (運転席ドア開連動アンロック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	○	—	○
全ドア解錠したときトランク解錠、全ドア施錠したときトランク施錠 (ドアロック連動トランク)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	—	—	○

## ■ スマートエントリー＆スタートシステム、ワイヤレスドアロック共通 (→ P. 120, 139)

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
作動の合図 (ブザー音量調整)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 任意の音量</li> </ul>	○	—	○
作動の合図 (非常点滅灯)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	○	—	○
解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠までの時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30秒</li> <li>・ 60秒</li> <li>・ 120秒</li> </ul>	—	—	○
半ドア警告ブザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	—	—	○

## ■ スマートエントリー&amp;スタートシステム（→ P. 120, 139）

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
スマートエントリー&スタートシステム	・あり ・なし	○	—	○
連続ロック操作の有効回数	・2回 ・無制限	—	—	○
全席解錠までのドアハンドル保持時間	・非作動 ・1.5秒 ・2.0秒 ・2.5秒	—	—	○
降車オートロック機能	・あり ・なし	—	—	○
接近時オートアンロック機能	・あり ・なし	—	—	○
パワースイッチ文字照明	・あり ・なし	—	—	○

## ■ リヤシート（→ P. 123, 160）

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
リヤシートリマインダー	・あり ・なし	—	○	○
ドア連動シートリターン機能※	・あり ・なし	—	—	○

\* リヤマルチオペレーションパネルでも設定を変更することができます。  
 (→ P. 160)

## ■ ドアミラー（→ P. 174）

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
オート電動格納作動	・OFF ・ドアの施錠・解錠と連動 ・パワースイッチと連動	—	—	○

## ■ パワーウィンドウ (→ P. 177)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
メカニカルキー連動開機能	・あり ・なし	—	—	○
メカニカルキー連動閉機能	・あり ・なし	—	—	○
ワイヤレスリモコン連動開機能	・あり ・なし	—	—	○
ワイヤレスリモコン連動閉機能	・あり ・なし	—	—	○
ワイヤレスリモコン連動開閉作動の合図 (ブザー)	・あり ・なし	—	—	○

## ■ パワーイージーアクセスシステム (→ P. 161)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
降車時の運転席シート前後移動量	・OFF ・少なめ ・標準	○	—	○
ハンドルの操作	・なし ・チルトのみ ・テレスコピックのみ ・チルト&テレスコピック	○	—	—

## ■ ドライブスタートコントロール (→ P. 206)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
後退速度の抑制制御	・あり ・なし*	—	○	—

\* 「なし」に変更しても、パワースイッチを ON にするたびに「あり」に戻ります。

## ■ パワースイッチ (→ P. 196)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
ACC カスタマイズ ACC の ON / OFF を切りかえる	・ON ・OFF	○	—	○

## ■ ランプ自動点灯・消灯システム (→ P. 218)

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
ライトセンサーの感度調整 (コンライト点灯照度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より暗い</li> <li>・ 暗い</li> <li>・ 標準</li> <li>・ 明るい</li> <li>・ より明るい</li> </ul>	○	—	○
ランプ消し忘れ防止機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パワースイッチを OFF にして運転席ドアを開ける</li> <li>・ パワースイッチを OFF にする</li> </ul>	—	—	○

## ■ ランプ (→ P. 218)

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
LED デイタイムランニングランプ (LED デイライト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	—	—	○

## ■ アダプティブハイビームシステム (→ P. 222)

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
アダプティブハイビームシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ON</li> <li>・ OFF*</li> </ul>	—	—	○
車速に応じた、ハイビームの明るさと照らす範囲の調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 15km/h</li> <li>・ 30km/h</li> <li>・ 40km/h</li> </ul>	—	—	○
カーブを走行しているとき、進行方向側のハイビームを明るく照らす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ON</li> <li>・ OFF</li> </ul>	—	—	○
先行車との距離に応じた、ロー ビームの照らす範囲の調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ON</li> <li>・ OFF</li> </ul>	—	—	○
発進時のコーナーリングランプ点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ON</li> <li>・ OFF</li> </ul>	—	—	○
雨天時用のハイビーム配光制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ON</li> <li>・ OFF</li> </ul>	—	—	○
市街地用の配光制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ON</li> <li>・ OFF</li> </ul>	—	—	○

\* オートマチックハイビームとして作動します。 (→ P. 226)

## ■ プリクラッシュセーフティ (→ P. 256)

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
プリクラッシュセーフティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ON</li> <li>・ OFF</li> </ul>	—	○	—
警報タイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遅い</li> <li>・ 標準</li> <li>・ 早い</li> </ul>	—	○	—

## ■ レーンディパーチャーアラート (LDA) (→ P. 276)

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
レーンディパーチャーアラート (LDA)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ON</li> <li>・ OFF</li> </ul>	—	○	—
警報タイミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準</li> <li>・ 早い</li> </ul>	—	○	—
警報手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハンドル振動</li> <li>・ ブザー</li> </ul>	—	○	—
低車速支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ON</li> <li>・ OFF</li> </ul>	—	○	—

## ■ 休憩提案 (→ P. 280)

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
休憩提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ON</li> <li>・ OFF</li> </ul>	—	○	—

## ■ レーダークルーズコントロール (DRCC) (→ P. 297)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
加速度設定	・ 弱 ・ 中 ・ 強	—	○	—
速度設定 (短押し)	・ 1km/h ・ 5km/h ・ 10km/h	—	○	—
速度設定 (長押し)	・ 1km/h ・ 5km/h ・ 10km/h	—	○	—
ガイド文言表示	・ ON ・ OFF	—	○	—
カーブ速度抑制	・ OFF ・ 弱 ・ 中 ・ 強	—	○	—

## ■ プロアクティブドライビングアシスト (→ P. 283)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
プロアクティブドライビングアシスト (PDA)	・ ON ・ OFF	—	○	—
支援感度	・ 低い ・ 中間 ・ 高い	—	○	—
操舵アシスト (SA)	・ ON ・ OFF	—	○	—
減速アシスト (DA)	・ ON ・ OFF	—	○	—
障害物先読みアシスト (OAA)	・ ON ・ OFF	—	○	—

## ■ 発進遅れ告知 (→ P. 290)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
先行車	・ ON ・ OFF	—	○	—
信号	・ ON ・ OFF	—	○	—
告知タイミング	・ 遅い ・ 標準 ・ 早い	—	○	—

## ■ ロードサインアシスト (→ P. 292)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
ロードサインアシスト	・ ON ・ OFF	—	○	—
速度標識超過告知方法	・ 無 ・ 表示 ・ 表示とブザー	—	○	—
その他告知方法	・ 無 ・ 表示 ・ 表示とブザー	—	○	—
速度超過告知車速	・ 2km/h ・ 5km/h ・ 10km/h	—	○	—

## ■ BSM (ブラインドスポットモニター) (→ P. 319)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
ブラインドスポットモニター機能	・ あり ・ なし	—	○	—
ドアミラーインジケーターの明るさ	・ 暗い ・ 明るい	—	○	—
接近車両を知らせるタイミング (感度)	・ 遅い ・ 標準 ・ 早い	—	○	—

### ■ 安心降車アシスト (→ P. 329)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
安心降車アシスト機能	・ ON ・ OFF	—	○	—
ドアミラーインジケーター表示	・ あり ・ なし	—	○	—
接近車両検知の感度	・ 低い ・ 中間 ・ 高い	—	○	—

### ■ クリアランスソナー (→ P. 335)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
クリアランスソナー機能	・ あり ・ なし	—	○	—
ブザー音量 *	・ 小 ・ 中 ・ 大	—	○	—

\* クリアランスソナー、RCTA (リヤクロストラフィックアラート) の音量調整は連動しています。

### ■ RCTA (リヤクロストラフィックアラート) (→ P. 344)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
リヤクロストラフィックアラート機能	・ あり ・ なし	—	○	—
リヤクロストラフィックアラート作動時のブザー音量 *	・ 小 ・ 中 ・ 大	—	○	—

\* クリアランスソナー、リヤクロストラフィックアラートの音量調整は連動しています。

### ■ PKSB (パーキングサポートブレーキ) (→ P. 352)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
PKSB (パーキングサポートブレーキ) 機能	・ ON ・ OFF	—	○	—

## ■ エアコン (→ P. 397)

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
AUTOスイッチがONのとき、連動して外気導入と内気循環を自動的に切りかえる	・ する ・ しない	<input type="radio"/>	—	<input checked="" type="radio"/>
AUTOスイッチをONにしたとき、“A/C”(冷房・除湿)スイッチが連動してONになる	・ する ・ しない	<input type="radio"/>	—	<input checked="" type="radio"/>
排ガスセンサー感度調節	・ -3 ~ +3 ・ OFF	<input type="radio"/>	—	<input checked="" type="radio"/>

ヒーターコントロールパネル操作の設定変更項目は、P. 402 を参照してください。

## ■ シートヒーター／シートベンチレーター (→ P. 412)

機能の内容	カスタマイズ設定	(1)	(2)	(3)
運転席自動シートヒーター／ベンチレーター AUTO 作動時の温度調整	・ -2 (涼しめ) ~ +2 (暖かめ)	<input type="radio"/>	—	<input checked="" type="radio"/>
助手席自動シートヒーター／ベンチレーター AUTO 作動時の温度調整	・ -2 (涼しめ) ~ +2 (暖かめ)	<input type="radio"/>	—	<input checked="" type="radio"/>
左側リヤシートヒーター／ベンチレーター AUTO モード時の温度または風量調整	・ -2 (涼しめ) ~ +2 (暖かめ)	<input type="radio"/>	—	<input checked="" type="radio"/>
右側リヤシートヒーター／ベンチレーター AUTO モード時の温度または風量調整	・ -2 (涼しめ) ~ +2 (暖かめ)	<input type="radio"/>	—	<input checked="" type="radio"/>
パワースイッチをONにしたときの、左側リヤシートヒーターの自動起動	・ あり ・ なし	<input type="radio"/>	—	<input checked="" type="radio"/>
パワースイッチをONにしたときの、右側リヤシートヒーターの自動起動	・ あり ・ なし	<input type="radio"/>	—	<input checked="" type="radio"/>

## ■ イルミネーション (→ P. 418)

機能の内容	カスタマイズ設定	①	②	③
室内灯の消灯までの時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OFF</li> <li>・ 7.5 秒</li> <li>・ 15 秒</li> <li>・ 30 秒</li> </ul>	<input type="radio"/>	—	<input type="radio"/>
パワースイッチ OFF 後の室内灯自動点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	—	—	<input type="radio"/>
接近時の照明の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	—	—	<input type="radio"/>
解錠時の照明の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	—	—	<input type="radio"/>
室外足元照明の消灯までの時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OFF</li> <li>・ 7.5 秒</li> <li>・ 15 秒</li> <li>・ 30 秒</li> </ul>	<input type="radio"/>	—	<input type="radio"/>
接近時の室外足元照明の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	—	—	<input type="radio"/>
解錠時の室外足元照明の点灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あり</li> <li>・ なし</li> </ul>	—	—	<input type="radio"/>
輝度の調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OFF</li> <li>・ 1 ~ 9</li> </ul>	<input type="radio"/>	—	<input type="radio"/>



## 知識

### ■ カスタマイズ設定を行うとき

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションを P にしてください。また、補機バッテリーあがりを防ぐため、ハイブリッドシステムが作動している状態で操作を行ってください。



## 警告

### ■ カスタマイズ設定を行うとき

ハイブリッドシステムが作動した状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素 (CO) により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



## 注意

### ■ カスタマイズを行うときは

補機バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にハイブリッドシステムが作動している状態で実施してください。

## 初期設定が必要な項目

次の項目はメンテナンスを行ったあとなどに、システムを正しく作動させるために初期設定が必要です。

項目	初期設定が必要なとき	参照先
タイヤ空気圧警報システム	<ul style="list-style-type: none"><li>・ タイヤサイズの変更などにより、タイヤの指定空気圧が変更になったとき</li><li>・ 指定空気圧が複数ある場合に、タイヤの指定空気圧を変更したとき</li></ul>	P. 478

## フリー／オープンソースソフトウェア情報

### 計器類

本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。このようなフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方またはどちらか片方は以下のURLで入手することができます。

<https://www.denso.com/global/enopensource/meter/toyota/>



## さくいん

こんなときは (症状別さくいん).....	604
車から音が鳴ったときは (音さくいん) .....	607
アルファベット順さくいん.....	609
五十音順さくいん.....	612

次の装備は、別冊「マルチメディア取扱説明書」をお読みください。

- ・ナビゲーション
- ・オーディオ&ビジュアル
- ・音声操作システム
- ・バックガイドモニター
- ・ETCシステム／ETC2.0システム
- ・ハンズフリー
- ・T-Connect

## こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

### 施錠／解錠／ドアの開閉ができない



#### キーをなくした

- メカニカルキーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいメカニカルキーを作ることができます。（→ P. 117）
- 電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。（→ P. 119）



#### 施錠・解錠できない

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？（→ P. 492）
- パワースイッチがONモードになっていませんか？  
施錠するときは、パワースイッチをOFFにしてください。（→ P. 196）
- 電子キーを車内に置き忘れていませんか？  
施錠するときは、電子キーを携帯していることを確認してください。
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。  
(→ P. 142)



#### リヤドアが開かない

- チャイルドプロテクターがかかっていますか？  
チャイルドプロテクターがかかっていると車内からは開きません。いったん車外から開けて、チャイルドプロテクターを解除してください。（→ P. 126）



#### 誤ってトランク内にキーを閉じ込めた

- キー閉じ込み防止機能が働き、通常通りトランクを開けることができます。キーを取り出してください。（→ P. 133）

## 故障かな？と思ったら



### ハイブリッドシステムが始動できない

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながらパワースイッチを押していますか？（→ P. 195）
- シフトレバーはPになっていますか？（→ P. 198）
- キーが車内の検知される場所にありますか？（→ P. 140）
- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？  
このときは、一時的な方法でハイブリッドシステムを始動することができます。（→ P. 565）
- 補機バッテリーがあがっていませんか？（→ P. 567）



### ブレーキペダルを踏んでいてもシフトレバーがPから動かない

- パワースイッチはONモードになっていますか？  
パワースイッチがONモードでブレーキを踏んでも解除できないとき  
(→ P. 207)



### パワーウィンドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

- ウィンドウロックスイッチが押されていませんか？  
ウィンドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウィンドウは操作できなくなります。（→ P. 178）



### パワースイッチが自動的にOFFになった

- 一定時間アクセサリーモードまたはONモード（ハイブリッドシステムが作動していない状態）にしておくと、自動電源OFF機能が作動します。（→ P. 198）



### 警告音が鳴りだした

- 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」（→ P. 607）をご確認ください。



### 警告灯や警告メッセージが表示されたとき

- 警告灯や警告メッセージが表示されたときは、P. 516、524をご確認ください。

## トラブルが発生した



### タイヤがパンクした

- タイヤパンク応急修理キット装着車  
車を安全な場所に停め、タイヤパンク応急修理キットでパンクしたタイヤを応急修理してください。（→ P. 536）
- スペアタイヤ装着車  
車を安全な場所に停め、パンクしたタイヤをスペアタイヤに交換してください。（→ P. 551）



### 立ち往生した

- ぬかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→ P. 579）

## 車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状態や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

### 車に乗るとき／降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	電子キーを車内に置き忘れている	P. 524
	シフトレバーが P 以外になっている	P. 524
	窓が開いている（ハイブリッドシステム停止中のみ）	P. 179
トランクを閉めたとき	電子キーをトランク内に置き忘れている	P. 133
ハイブリッドシステムを停止したとき	電子キーの電池残量が少なくなっている	P. 492
施錠しようとしたとき (施錠できないとき)	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 140
	電子キーを車内に置き忘れている	P. 524

## 走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 122
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 213
	運転席・助手席のシートベルトを着用していない※	P. 520
シフトダウンしたとき	シフトダウン制限をこえて操作した	P. 206
先行車に接近したとき	レーダークルーズコントロールを使用している	P. 306
前方の障害物と衝突しそうになったとき	PCS (プリクラッシュセーフティ) が作動した	P. 256
車線から逸脱しそうになったとき	LTA (レーントレーシングアシスト) を使用している	P. 270
	LDA (レーンディバーチャーアラート) を使用している	P. 276
前の車が発進または信号が青に替わっても停車し続けたとき	発進遅れ告知機能が作動した	P. 290
制限速度より一定の速度を超過したとき	RSA (ロードサインアシスト) が作動した	P. 292
進入禁止区域に進入したとき		
障害物との距離が近付いたとき	クリアランスソナーが作動した	P. 335
後退時に左右からの車を検知したとき	RCTA (リヤクロストラフィックアラート) が作動した	P. 344

\* 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

# アルファベット順さくいん

## A/C

(エアコン) ..... 397, 408

## ABS

(アンチロックブレーキシステム) ..... 367

## AHB

(オートマチックハイビーム) ..... 226

## AHS

(アダプティブハイビームシステム) ..... 222

## AI-AVS

(アーティフィカルインテリジェンスアダプティブバリアブル  
サスペンションシステム) ..... 368

## AVS

(アダプティブバリアブルサスペンションシステム) ..... 368

## BSM

(ブラインドスポットモニター) ..... 319

## ECB

(エレクトロニカリコントロールブレーキシステム) ..... 367

## EDR

(イベントデータレコーダー) ..... 10

## EPS

(エレクトリックパワーステアリング) ..... 368

## EV

(エレクトリックビークル) ..... 201

## FR

(フロントエンジンリヤドライブ) ..... 585

## ILSAC CERTIFICATION

(イルサックサーティフィケーション) ..... 583

## ISOFIX

(アイソフィックス／イソフィックス) ..... 53

## LDA

(レーンディバーチャーアラート  
[ステアリング制御機能付き]) ..... 276

## LED

(ライトエミッティングダイオード) ..... 218

## LTA

(レントレーシングアシスト) ..... 270

<b>PCS</b>	256
(プリクラッシュセーフティ)	256
<b>PDA</b>	283
(プロアクティブドライビングアシスト)	283
<b>PKSB</b>	352
(パーキングサポートブレーキ)	352
<b>RCTA</b>	344
(リヤクロストラフィックアラート)	344
<b>RF</b>	11
(ラジオフリクエンシー)	11
<b>RSA</b>	292
(ロードサインアシスト)	292
<b>S-FLOW</b>	404
フロント席集中送風モード	404
<b>S-VSC</b>	367
(ステアリングアシスティッドビークルスタビリティ コントロール)	367
<b>SRS</b>	39
(サブリメンタルレストレイントシステム)	39
<b>SYNC スイッチ</b>	397
(シンクロスイッチ)	397
<b>Toyota Safety Sense</b>	
AHB (オートマチックハイビーム)	226
AHS (アダプティブハイビームシステム)	222
LDA (レーンディパーチャーアラート)	276
LTA (レントレーシングアシスト)	270
PCS (プリクラッシュセーティ)	256
PDA (プロアクティブドライビングアシスト)	283
RSA (ロードサインアシスト)	292
クルーズコントロール	309
ドライバー異常時対応システム	315
発進遅れ告知機能	290
レーダークルーズコントロール	297

<b>TRC</b>	
(トラクションコントロール) . . . . .	368
<b>VDIM</b>	
(ビーカルダイナミクスインテグレイテッドマネージメント) . . . . .	368
<b>VSC</b>	
(ビーカルスタビリティコントロール) . . . . .	367

# 五十音順さくいん

## あ

アースポイント	
(バッテリーあがりの処置) .....	567
アームレスト	
(リヤアームレスト) .....	438
アウターミラー (ドアミラー) ...	174
RCTA (リヤクロス	
トライフィックアラート) .....	344
格納のしかた .....	174
操作 .....	174
ブラインドスポットモニター	
(BSM) .....	319
ミラーヒーター .....	399
リバース連動機能 .....	175
アクセサリー	
コンセント .....	435
アクセサリーソケット .....	434
アクセサリーモード .....	196
足元照明 .....	418
アダプティブハイビーム	
システム .....	222
アダプティブバリアル	
サスペンションシステム	
(AVS) .....	368
アナログ時計 <sup>※</sup> .....	438
アンチロックブレーキシステム	
(ABS) .....	367
ABS & ブレーキアシスト	
警告灯 .....	517
アンテナ (スマートエントリー&	
スタートシステム) .....	139

## い

ECB	
(電子制御ブレーキシステム) ...	367
イージークローザー	
トランク .....	133
ドア .....	129
EV ドライブモード .....	201
イグニッションスイッチ	
(パワースイッチ) .....	195
位置交換	
(タイヤローテーション) .....	471
イベントデータレコーダー	
(EDR) .....	10
イモビライザーシステム .....	83
イルミネーテッドエントリー	
システム .....	420
インジケーター (表示灯)	
ハイブリッドシステム	
インジケーター .....	96
表示灯 .....	90
READY .....	195
インストルメントパネル	
照度調整スイッチ .....	100
インテリアランプ .....	418
インナーミラー .....	172

## う

ウインカー（方向指示灯）	
電球（バルブ）の交換	499
方向指示レバー	209
ウインドウ	
ウォッシャー	232
パワーウィンドウ	177
フロントワイパー	
デアイサー	399
リヤウィンドウ	
デフォッガー	399
ウィンドウロックスイッチ	178
ウォーニングメッセージ	524
ウォーニングランプ	
（警告灯）	88, 516
ウォッシャー	
液の補充	467
スイッチ	232
タンク容量	585
冬の前の準備・点検	386
動けなくなったときは	
（スタック）	579
雨滴感知式ワイパー	232
運転	
雨の日の運転	185
運転を補助する装置	367
寒冷時の運転	386
正しい運転姿勢	32
手順	184
ハイブリッド車運転の	
アドバイス	384
運転支援機能情報表示	103
運転席シートベルト	
非着用警告灯	518

## え

エアコン	
花粉除去機能	399
曇り取り	
（フロントガラス）	399
ナノイーX	401
フィルターの交換	489
フロントオートエアコン	397
リヤオートエアコン	408
エアサスペンション	365
エアバッグ	39
SRS エアバッグ警告灯	517
お子さまのための注意	44
改造・廃棄	47
作動条件	41
正しい姿勢	32
配置	39
HDMI 端子	※
エコドライブモード	363
エネルギーモニター	110
LED デイライト	220
電球（バルブ）の交換	499
エレクトリック	
パワーステアリング（EPS）	368
パワーステアリング警告灯	518

<p><b>エンジン</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イモビライザーシステム ..... 83</li> <li>エンジン警告灯 ..... 517</li> <li>エンジンスイッチ ..... 195</li> <li>オーバーヒート ..... 573</li> <li>ハイブリッドシステムが 始動できない ..... 561</li> <li>ハイブリッドシステムの 始動方法 ..... 195</li> <li>パワースイッチ (イグニッションスイッチ/ エンジンスイッチ) ..... 195</li> <li>ボンネット ..... 461</li> </ul> <p><b>エンジンオイル</b> ..... 582</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>警告メッセージ ..... 525</li> <li>冬の前の準備・点検 ..... 386</li> <li>メンテナンスデータ ..... 582</li> <li>容量 ..... 582</li> </ul> <p><b>エンジンスイッチ</b> (パワースイッチ) ..... 195</p> <p><b>エンジンフード(ボンネット)</b> ... 461</p> <p><b>エンジンルーム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンルームから 蒸気が出ている ..... 573</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>お</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オートエアコン ..... 397, 408</li> <li>オーディオ<sup>*</sup></li> <li>オーディオシステム連携表示 ..... 106</li> <li>オートドアロック・ アンロック機能 ..... 127</li> <li>オートマチックハイビーム ..... 226</li> <li>オートレベリングシステム (ヘッドライト) ..... 221</li> <li>オーバーヒート ..... 573</li> <li>オープナー</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>給油扉 ..... 239</li> <li>トランク ..... 131</li> <li>ボンネット ..... 461</li> </ul> <li>オイル(エンジンオイル) ..... 582</li> <li>お子さまを乗せるとき ..... 52</li> <li>ウインドウロックスイッチ .... 178</li> <li>お子さまの安全のために ..... 52</li> <li>シートベルトの着用 ..... 36</li> <li>チャイルドシート ..... 53</li> <li>チャイルドシートの取り付け ... 53</li> <li>チャイルドプロテクター ..... 126</li> </ul> <p><b>オットマン</b> ..... 152</p> <p><b>オドメーター</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ODO/TRIPスイッチ ..... 99</li> <li>機能 ..... 93</li> </ul>
---	---

## か

カーテシランプ	
装着位置	418
カーテン	
お手入れ	452
リヤガラス	441
リヤドア	440
カーテンシールドエアバッグ	39
カーペット	
洗浄	459
フロアマットの取り付け方	30
外気温度表示	93
回生ブレーキ	75
外装の電球（バルブ）	
交換要領	499
買い物フック	430
ガス欠になったとき	79
給油	239
カスタマイズ機能	586
型式	585
カップホルダー	426
ガラスの曇り取り	
(リヤウインドウ デフォッガー)	399
ガレージジャッキ	464
冠水路走行	193
寒冷時の運転	386

## き

キー	116
キーナンバープレート	116
キーの構成	116
キーレスエントリー	120, 131
キーをなくした	117, 119
正常に動かない	563
施錠・解錠ができない	563
電子キー	116
電池が切れた	492, 563
ハイブリッドシステムが	
始動できない	565
メカニカルキー	117, 563
ワイヤレスリモコン	120, 131
キーレスエントリー	139
スマートエントリー&	
スタートシステム	139
ワイヤレス	
ドアロック	120, 131
給油	
給油口が開けられない	242
給油のしかた	239
メンテナンスデータ	582
緊急時シートベルト固定機構	36
緊急始動機能	
(ハイブリッドシステム)	562

## 緊急時の対処

- オーバーヒートした ..... 573
- キーの電池が切れた .... 492, 563
- 警告灯がついた ..... 516
- 警告メッセージが  
表示された ..... 524
- けん引 ..... 509
- 故障したときは ..... 502
- 車両を緊急停止する ..... 506
- 水没・冠水したときは..... 507
- スタックした ..... 579
- 電子キーが正常に働かない.... 563
- ハイブリッドシステムが  
始動できない ..... 561
- 発炎筒 ..... 504
- パンクした ..... 536, 551
- 補機バッテリーがあがった.... 567
- 緊急停止システム ..... 78
- 緊急ブレーキシグナル ..... 369

## &lt;

- 空気圧 (タイヤ) ..... 585
- クーラー ..... 397, 408
- 区間距離計 (トリップメーター)  
ODO/TRIP スイッチ ..... 99
- 機能 ..... 93
- 靴べら差し ..... 444
- 駆動用電池 ..... 77
- 警告メッセージ ..... 524
- 充電について ..... 75
- 搭載位置 ..... 77
- 冷却用吸入口 ..... 78
- 駆動用電池冷却用吸入口 ..... 78
- 曇り取り
- フロントガラス ..... 399
- ミラーヒーター ..... 399
- リヤウインドウ  
デフォッガー ..... 399
- クラクション (ホーン) ..... 170
- クリアランスソナー ..... 335
- クリアランスランプ (車幅灯) .... 218  
スイッチ ..... 218
- 電球 (バルブ) の交換 ..... 499
- クリップ  
フロアマット ..... 30
- クルーズコントロール ..... 297
- クロック ..... 438
- グローブボックス ..... 423
- グローブボックスランプ ..... 423

## け

警音器（ホーン）	170
計器類（メーター）	93
照度調整	100
設定	108
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	101
警告灯	88, 516
運転支援情報表示灯	520
ABS & ブレーキアシスト	517
SRS エアバッグ	517
LTA 表示灯	519
LDA 表示灯	519
エンジン	517
クリアランスソナー OFF	
表示灯	518
クルーズコントロール	
表示灯	519
高水温	516
シートベルト非着用	518
充電	516
スリップ表示灯	520
タイヤ空気圧	518
電子制御ブレーキ	516

燃料残量	518
パーキングブレーキ表示灯	520
ハイブリッドシステム過熱	516
パワーステアリング	518
PCS	519
PDA 表示灯	519
プリテンショナー	518
ブレーキ	516
ブレーキホールド	
作動表示灯	520
ペダル誤操作	517
ポップアップフード	517
油圧	516
レーダークルーズ	
コントロール表示灯	519
警告ブザー	
RCTA（リヤクロス	
トラフィックアラート	345
クリアランスソナー	343
高水温	516
シートベルト非着用	520
シフトダウン制限	206
車線逸脱警報（LDA）	276
充電	516
衝突警報（PCS）	256
接近警報（レーダークルーズ	
コントロール）	306

電子制御ブレーキ .....	516
ドライブスタート	
コントロール .....	517
トランク開 .....	134
パーキングブレーキ	
未解除走行時 .....	213
ハイブリッドシステム .....	73
パワーステアリング .....	521
半ドア .....	122, 140
半ドア走行時 .....	129
ブレーキ .....	516
ブレーキオーバーライド	
システム .....	517
ブレーキホールド .....	520
ポップアップフード .....	517
ふらつき警報 (LDA) .....	277
窓開 .....	179
油圧 .....	516
ランプ消し忘れ .....	221
リバース .....	206
警告メッセージ .....	524
化粧用ミラー	
(バニティミラー) .....	433
けん引	
けん引されるとき .....	509
フック .....	513

## こ

コインホルダー .....	423
交換	
エアコンフィルターの交換 ....	489
キーの電池 .....	492
タイヤ .....	551
電球 (バルブ) .....	499
ヒューズ .....	495
工具 (ツール) .....	538, 552
後席ディスプレイ *	
後席ブルーレイディスク	
TM(BD)/DVD プレイヤー *	
航続可能距離 .....	113
後退速度の抑制制御 (ドライブ	
スタートコントロール) .....	206
後退灯 (バックアップランプ)	
電球 (バルブ) の交換 .....	499
高電圧部位 .....	77
後方車両への接近警報 .....	326
コートフック .....	444
コーナリングランプ .....	220
電球 (バルブ) の交換 .....	499
子供専用シート .....	53
選択方法 .....	54
取り付け方 .....	66
小物入れ .....	427
コンソールボックス .....	424
コンライト	
(自動点灯・消灯装置) .....	220

## さ

サービスプラグ	77, 80
サイドエアバッグ	39
サイドカーテン	440
カーテンのお手入れ	452
サイド方向指示灯	
電球（バルブ）の交換	499
方向指示レバー	209
サイドミラー（ドアミラー）	
RCTA（リヤクロス	
トラフィックアラート	344
安心降車アシスト	329
格納のしかた	174
操作	174
ブラインドスポットモニター	
（BSM）	319
ポジションメモリー	161
ミラーヒーター	399
リバース連動機能	175
三角表示板収納スペース	432
サンバイザー	433

## し

シート	147, 155
オットマン	152
正しい運転姿勢	32
チャイルドシート	53
調整	147
手入れ	451
パワーイージーアクセス	
システム	161
フットレスト	153
ヘッドレスト	168
ポジションメモリー	161, 166
メモリーコール機能	164
リヤシートリフレッシュ	
システム	158
シートバックポケット	438
シートヒーター	412
シートベルト	34
お子さまの着用	36, 37
緊急時シートベルト固定機構	36
シートベルト非着用警告灯	518
高さ調整	35
正しく着用するには	34
着け方・はずし方	34
手入れ	459
妊娠中のの方の着用	37

シートベルト非着用警告灯 .....	518	車高調整 電子制御 エアサスペンション .....	365	
シートベルトプリテンショナー			508	
機能 .....	35		車中泊が必要なときは.....	
プリテンショナー警告灯.....	517		ジャッキ	
シートベンチレーター .....	412		ガレージジャッキ .....	464
事故が発生したとき			車載ジャッキ .....	538, 552
(ハイブリッドシステムの			ジャッキハンドル .....	538, 552
注意) .....	81		車幅灯.....	218
室内灯 (インテリアランプ) .....	418		LED デイライト .....	220
始動のしかた .....	195		電球 (バルブ) の交換.....	499
シフトポジション .....	204	ランプスイッチ .....	218	
シフトレバー		車両型式.....	585	
シフトポジションの		車両仕様 (スペック) .....	582	
切りかえ .....	204	車両接近通報装置 .....	74	
シフトレンジの切りかえ .....	205	車両データの記録 .....	7	
シフトロックシステム		車両を緊急停止するには.....	506	
(解除ボタン) .....	206	充電用 USB 端子 .....	436	
操作 .....	204	収納装備.....	422	
リバース警告ブザー .....	206	仕様 (車両仕様) .....	582	
シフトレバーが		衝撃感知ドアロック		
シフトできないときは .....	207	解除システム .....	128	
シフトロックシステム .....	206	初期設定.....	600	
締め付けトルク (ホイール) .....	559	助手席シートベルト		
		非着用警告灯 .....	518	

## す

## スイッチ

- アダプティブハイビーム ..... 222
- システム ..... 222
- EV ドライブモード ..... 201
- イグニッション ..... 195
- インストルメントパネル
  - 照度調整 ..... 100
- ウインドウロック ..... 178
- ウォッシャー ..... 232
- LTA ..... 274
- オーディオ ※
  - ODO/TRIP ..... 99
  - 給油扉オーブナー ..... 241
  - クルーズコントロール ..... 310
  - シート調整 ..... 147
  - シートヒーター ..... 412
  - シートベルト ..... 35
  - シートベンチレーター ..... 412
  - シートポジション
    - メモリー ..... 161, 166
  - 車高選択 ..... 365
  - 車間距離切りかえ
    - (レーダークルーズ  
コントロール) ..... 300
  - 助手席パワーシート ..... 148
  - ステアリング ..... 102
  - ステアリングヒーター ..... 412
  - 電動リヤカーテン ..... 441
  - 電話 ※

- ドアミラー ..... 174
- ドアロック ..... 124
- トーク ※
- ドライブモードセレクト ..... 363
- トランクオープナー ..... 131
- トランクオープナー
  - メイン ..... 133
- パーキングブレーキ ..... 210
- パワーウィンドウ ..... 177
- パワースイッチ ..... 195
- ハンドル位置調整 ..... 170
- 非常点滅灯
  - (ハザードランプ) ..... 503
- VSC OFF ..... 370, 371
- フォグランプ ..... 230
- ブレーキホールド ..... 215
- フロントワイパー
  - デアイサー ..... 399
- ヘッドラップクリーナー ..... 238
- ヘルプネットスイッチ
  - パネル ※
- 方向指示レバー ..... 209
- ホーン (警音器) ..... 170
- ポジションメモリー ..... 162
- メーター操作 ..... 102
- ランプ ..... 218
- リヤウインドウ
  - デフォッガー ..... 399
- レーダークルーズ
  - コントロール ..... 300
- LTA (レーントレーシング  
アシスト) ..... 274
- ワイパー ..... 232

スタック .....	579
ステアリングアシstedド	
ビーカルスタビリティ	
コントロール (S-VSC) .....	367
ステアリングヒーター .....	412
ステアリングホイール	
(ハンドル).....	170
位置調整.....	170
ステアリングスイッチ.....	102
ステアリングヒーター.....	412
パワーイージーアクセス	
システム.....	161
ポジションメモリー .....	161
ストップランプ (制動灯)	
緊急ブレーキシグナル.....	369
電球 (バルブ) の交換.....	499
スノータイヤ (冬用タイヤ) .....	386
スピードメーター .....	93
スペアタイヤ .....	551
空気圧.....	585
交換方法.....	551
スペック (車両仕様) .....	582
スポーツモード.....	363

スマートエントリー&	
スタートシステム.....	139
アンテナの位置.....	139
カスタマイズ設定.....	586
警告ブザー .....	140
警告メッセージ .....	140
作動範囲 .....	140
正常に働かないとき .....	563
節電機能 .....	141
電波がおよぼす	
影響について.....	146
ドアの解錠・施錠.....	120
トランクの解錠.....	131
ハイブリッドシステムの	
始動 .....	195
スマモールランプ	
電球 (バルブ) の交換.....	499
ランプスイッチ .....	218

**せ**

清掃 .....	446, 451
外装 .....	446
シートベルト .....	459
内装 .....	451
ホイール ·	
ホイールキャップ .....	447
レーダーセンサー .....	249

制動灯	
緊急ブレーキシグナル	369
電球（バルブ）の交換	499
セカンダリーコリジョン	
ブレーキ	369
積算距離計（オドメーター）	
ODO/TRIPスイッチ	99
機能	93
セキュリティインジケーター	83
接近警報（レーダークルーズ	
コントロール	306
センサー	
インナーミラー	173
雨滴感知センサー	234
カメラセンサー	249
ライトセンサー	220
レーダーセンサー	249
洗車	446
前照灯（ヘッドライト）	
オートレベリングシステム	221
電球（バルブ）の交換	499
ライトセンサー	220
ランプ消し忘れ警告	
ブザー	221
ランプ消し忘れ防止機能	220
ランプスイッチ	218
前方センサー	249

そ	
走行モード	
（ドライブモード）	363
送信機（タイヤ空気圧警報	
システム）	472
速度計（スピードメーター）	93
た	
ターンシグナルランプ	
（方向指示灯）	
電球（バルブ）の	
交換	499
方向指示レバー	209
タイヤ	468
空気圧	487, 585
空気圧警告灯	518
交換	551
締め付けトルク	559
スペアタイヤ	551
チーン	387
点検	468
パンク応急修理キット	536
パンクしたときは	536, 551
冬用タイヤ	388
ホイールサイズ	585
ローテーション	
（位置交換）	471
タイヤが空まわりする	
（スタックした）	579

タイヤ空気圧警報システム .....	472
ID コードの切りかえ .....	485
ID コードの登録 .....	482
機能について .....	472
空気圧バルブ／ 送信機について .....	475
空気圧表示画面 .....	472
タイヤ位置の登録 .....	476
タイヤ空気圧警告灯 .....	518
タイヤ空気圧の設定 .....	478
タイヤチェーン .....	386

**ち**

チェーン（タイヤチェーン） .....	386
チャイルドシート .....	53
ISOFIX ロアアンカレッジでの 取り付け .....	69
シートベルトでの固定 .....	67
選択方法 .....	54
チャイルドプロテクター .....	126
駐車ブレーキ	
(パーキングブレーキ) .....	210
警告灯 .....	516
警告メッセージ .....	213
操作 .....	210
表示灯 .....	520
未解除走行時 警告ブザー .....	213

**つ**

ツール（工具） .....	538, 552
---------------	----------

**て**

提案サービス機能 .....	109
手入れ .....	446, 451
外装 .....	446
シートベルト .....	459
内装 .....	451
ホイール · ホイールキャップ .....	447
レーダーセンサー .....	249
ディスプレイ .....	101
エネルギーモニター .....	110
警告メッセージ .....	524
設定 .....	108
ディファレンシャル .....	584
テーブル .....	439
テールランプ（尾灯）	
電球（バルブ）の交換 .....	499
ランプスイッチ .....	218
デフォッガー	
(リヤウインドウ デフォッガー) .....	399
電気モーター .....	77

電球 (バルブ)	
交換要領 (外装バルブ) .....	499
ワット数 .....	585
点検基準値	
(メンテナンスデータ) .....	582
電子キー .....	116
作動範囲 .....	140
正常に働かないとき .....	563
節電機能 .....	141
電池が切れた .....	563
電池交換 .....	492
電子制御ブレーキシステム	
(ECB) .....	367
電池交換 (キー) .....	492
電動パーキングブレーキ .....	210
操作 .....	210
パーキングブレーキ	
表示灯 .....	520
警告灯 .....	516
冬季の注意 .....	386
未解除走行時	
警告ブザー .....	213
電動リヤカーテン .....	441
カーテンのお手入れ .....	452
電話スイッチ <sup>※</sup>	

## と

ドア .....	120
イージークローザー .....	129
オートドアロック ·	
アンロック機能 .....	127
衝撃感知ドアロック解除	
システム .....	128
スマートエントリー&	
スタートシステム .....	139
チャイルドプロテクター .....	126
ドアガラス .....	177
ドアロックスイッチ .....	124
半ドア走行時警告ブザー .....	129
ロックボタン .....	124
ワイヤレスリモコン .....	120
ドアカーテシランプ .....	418
位置 .....	418
ドアポケット .....	425
ドアミラー .....	174
RCTA (リヤクロス	
トラフィックアラート) .....	344
安心降車アシスト .....	329
格納のしかた .....	174
操作 .....	174
ブラインドスポットモニター	
(BSM) .....	319
ミラーヒーター .....	399
リバース連動機能 .....	175

<b>盗難防止装置</b>	
イモビライザーシステム	83
<b>トーカスイッチ</b> *	
読書灯	420
時計	438
トップテザーアンカレッジ	71
Toyota Safety Sense	246
LDA	276
PCS	256
レーダークルーズ	
コントロール	297
<b>ドライビングポジション</b>	
メモリー	
ポジションメモリー	161
メモリーコール機能	164
<b>ドライブスタートコントロール</b>	
急発進の抑制制御	206
後退速度の抑制制御	206
<b>ドライブモードセレクト</b>	363
<b>トラクションコントロール</b>	
(TRC)	368
<b>トランク</b>	131
イージークローザー	133
オープナー	131
キー閉じ込み防止機能	133
クローザースイッチ	132
警告ブザー	134
電子キーが正常に	
働かないとき	563
トランク内の装備	429
挟み込み防止機能	134
パワートランクリッド	131
メインスイッチ	133
ワイヤレスリモコン	131
<b>トランクランプ</b>	133
<b>トランスマッision</b>	204
S モード	205
シフトダウン	
制限警告ブザー	206
シフトレバー	204
シフトレバーが	
シフトできない	207
ドライブモードセレクト	363
メンテナンスデータ	584
<b>トリップメーター</b>	93
ODO/TRIP スイッチ	99
機能	93

	<b>な</b>		<b>は</b>	
内装	収納装備 .....	422	パーキングブレーキ .....	210
	手入れ .....	451	パーキングブレーキ .....	520
	ナノイーX .....	401	表示灯 .....	516
	<b>に</b>		警告灯 .....	386
荷物	ニーエアバッグ .....	39	冬季の注意 .....	386
	積むときの注意 .....	194	未解除走行時 .....	213
	トランク .....	131, 429	警告ブザー .....	213
ぬ	ラゲージネット .....	429	パーソナルランプ .....	420
	ぬかるみにはまった (スタック) .....	579	排気ガス .....	51
		<b>ね</b>		ハイビーム (ヘッドライト) アダプティブハイビーム .....
燃費	エネルギー モニター .....	110	システム .....	226
	燃費情報 .....	113	オートマチックハイビーム .....	499
	燃費画面 .....	113	電球 (バルブ) の交換 .....	499
	燃料 .....	582	ランプスイッチ .....	219
	給油 .....	239	ハイブリッドシステム .....	73
	種類 .....	582	EV ドライブモード .....	201
	燃料残量警告灯 .....	518	運転のアドバイス .....	384
	容量 .....	582	エネルギー モニター .....	110
	燃料計 .....	93	オーバーヒート .....	573
			回生ブレーキ .....	75

\* : 別冊「マルチメディア取扱説明書」を参照してください。

特徴 .....	73	パワーウィンドウ .....	177
特有の音と振動 .....	76	ウインドウロックスイッチ ....	178
パワー (イグニッショ n)		警告ブザー .....	179
スイッチ .....	195	閉めることが できないときは .....	179
補機バッテリーがあがった....	567	操作 .....	177
メンテナンス · 修理 · 廃車するとき .....	76	挟み込み防止機能 .....	178
ハイブリッドシステム		パワーコントロールユニット .....	77
インジケーター .....	96	パワー (イグニッショ n)	
ハイマウントストップランプ		スイッチ .....	195
電球 (バルブ) の交換.....	499	自動電源 OFF 機能 .....	198
ハザードランプ (非常点滅灯)		ハイブリッドシステム	
スイッチ .....	503	始動のしかた .....	195
電球 (バルブ) の交換.....	499	モードの切りかえ .....	196
挟み込み防止機能		パワーステアリング .....	368
パワーウィンドウ .....	178	パワーステアリング	
パワートランクリッド .....	131	警告灯 .....	518
発炎筒 .....	504	パワートランクリッド .....	131
バックアップランプ (後退灯)		パワーリヤシート .....	155
電球 (バルブ) の交換.....	499	パンクした	
バッテリー (駆動用電池) .....	77	スペアタイヤ装着車 .....	551
充電について .....	75	タイヤパンク応急修理キット	
搭載位置 .....	77	装着車 .....	536
冷却用吸入口 .....	78	番号灯	
バッテリー (補機バッテリー)		(ライセンスプレートランプ) ...	218
搭載位置 .....	461	電球 (バルブ) の交換 .....	499
補機バッテリーがあがった....	567	ランプスイッチ .....	218
補機バッテリーを 交換するとき .....	570	ハンズフリー *	
バニティ (化粧用) ミラー .....	433	ハンドル	
バニティミラーランプ .....	433	(ステアリングホイール) .....	170
ワット数 .....	585	位置調整 .....	170
バルブ (電球)		ステアリングヒーター .....	412
交換要領 (外装のバルブ) .....	499	パワーイージーアクセス	
ワット数 .....	585	システム .....	161

## ひ

ビーカルスタビリティ	
コントロール (VSC) .....	367
ヒーター	
オートエアコン .....	397, 408
ステアリングヒーター.....	412
ミラーヒーター .....	399
リヤウインドウ	
デフォッガー .....	399
シートヒーター .....	412
非常点滅灯 (ハザードランプ) ...	503
スイッチ .....	503
電球 (バルブ) の交換.....	499
尾灯 (テールランプ) .....	218
電球 (バルブ) の交換.....	499
ランプスイッチ .....	218
ヒューズ .....	495
表示灯 .....	90
日よけ (サンバイザー) .....	433
ヒルスタートアシスト	
コントロール.....	368

## ふ

VSC (ビーカルスタビリティ	
コントロール) .....	367
ブースターケーブルの	
つなぎ方 .....	567
フォグラント .....	230
スイッチ .....	230
電球 (バルブ) の交換.....	499
ブザー	
クリアランスソナー .....	343
シートベルト非着用警告 .....	520
シフトダウン制限 .....	206
車線逸脱警報 (LDA) .....	276
衝突警報 (PCS) .....	256
接近警報	
(レーダークルーズ	
コントロール) .....	306
手放し運転警告 (LDA) .....	273
手放し運転警告 (LTA) .....	279
手放し運転警告 (PDA) .....	289
トランク開警告 .....	134
パーキングブレーキ未解除	
走行時警告 .....	213
パワーステアリング .....	521
半ドア .....	122, 140
半ドア走行時警告 .....	129
ぶらつき警報 (LDA) .....	277
窓開警告 .....	179
ランプ消し忘れ警告 .....	221
リバース警告 .....	206

フック	ブレーキオーバーライド
買い物フック .....	システム ..... 186
けん引フック .....	ブレーキフルード ..... 584
コートフック .....	ブレーキホールド ..... 215
フロアマット固定フック .....	フロアマット ..... 30
フットレスト .....	PDA (プロアクティブ
フューエルメーター (燃料計) .....	ドライビングアシスト) ..... 283
フューエルリッド (給油口)	フロントオートエアコン ..... 397
給油口が開けられない.....	フロントシート ..... 147
給油のしかた .....	オットマン ..... 152
冬の前の準備 (寒冷時の運転) ...	シートヒーター ..... 412
冬用タイヤ .....	シートベンチレーター ..... 412
ブラインドスポットモニター	正しい運転姿勢 ..... 32
(BSM) .....	調整 ..... 147
プリクラッシュセーフティ	手入れ ..... 451
(PCS) .....	パワーイージーアクセス
PCS 警告灯 .....	システム ..... 161
ブレーキ	フットレスト ..... 153
回生ブレーキ .....	ヘッドライト ..... 168
緊急ブレーキシグナル .....	ポジションメモリー ..... 161
パーキングブレーキ .....	メモリーコール機能 ..... 164
パーキングブレーキ	フロントパーソナルランプ ..... 420
表示灯 .....	フロントフォグランプ
ブレーキ警告灯 .....	スイッチ ..... 230
ブレーキホールド .....	電球 (バルブ) の交換 ..... 499
メンテナンスデータ .....	フロント方向指示灯
ブレーキアシスト .....	電球 (バルブ) の交換 ..... 499
ABS & ブレーキアシスト	方向指示レバー ..... 209
警告灯 .....	フロントワイパー
	デアイサー ..... 399

## へ

平均車速 .....	107, 113
平均燃費 .....	106, 113
ヘッドフォンジャック *	
ヘッドランプ	
オートレベルリングシステム ....	221
電球（バルブ）の交換.....	499
ライトセンサー .....	220
ランプ消し忘れ	
警告ブザー .....	221
ランプ消し忘れ防止機能.....	220
ランプスイッチ .....	218
ヘッドランプオートレベルリング	
システム .....	221
ヘッドラスト .....	168
ヘルプネットスイッチパネル *	
ベンチレーター（シートベンチ レーター).....	412

## ほ

ホイール	
交換（タイヤ).....	551
メンテナンスデータ .....	585
ホイールナットレンチ.....	538, 552
方向指示灯	
電球（バルブ）の交換.....	499
方向指示レバー .....	209
ホーン（警音器) .....	170
補機バッテリー .....	461
交換するとき .....	570
搭載位置 .....	461
補機バッテリーがあがった ...	567
ポジションメモリー .....	161
保証 .....	11
ポップアップフード .....	48
ボンネット .....	461
ポップアップフード .....	48

## ま

マイコンプリセットドライビング	
ポジションシステム	161
マガジンラック	439
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	101
運転支援機能情報表示	103
エネルギーモニター	110
オーディオシステム連携	106
警告メッセージ	524
設定	108
タイヤ空気圧	472
提案サービス機能	109
ドライブ	
インフォメーション	107
燃費グラフ	106
メーター操作スイッチ	102
レーダークルーズ	
コントロール	297
マルチメディア	※

## み

ミラー	
インナーミラー	172
ドアミラー	174
バニティミラー	433
ミラーヒーター	399

## め

メーター（計器類）	93
警告灯	88, 516
警告メッセージ	524
照度調整	100
設定	108
ハイブリッドシステム	
インジケーター	96
表示灯	90
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	101
メーター操作スイッチ	102
メカニカルキー	117
メモリーコール機能	164
メンテナンスデータ	582

**も**

モーター（電気モーター）	73
モーターでの走行	
(EV ドライブモード)	201

**ゆ**

ユーザーカスタマイズ機能	586
雪道ですべて動けない	
(スタッカした)	579
油脂類	582

**ら**

ライセンスプレートランプ (番号灯)	
電球（バルブ）の交換	499
ランプスイッチ	218
ライティングテーブル	439
ラゲージマット	432
ラゲージルーム (トランク)	131, 429
ラジエーター	
オーバーヒート	573
メンテナンスデータ	584

**ランプ**

アダプティブハイビーム	
システム	222
インテリアランプ	419
コナーリングランプ	220
室内灯	418
電球（バルブ）の交換	499
トランクランプ	133
パーソナルランプ	420
バニティミラーランプ	433
非常点滅灯 (ハザードランプ)	503
フロントフォグランプ	230
ヘッドライト（前照灯）	218
方向指示灯 (ターンシグナルランプ／ ウインカー)	209
ライトセンサー	220
ランプ消し忘れ警告ブザー	221
ランプ消し忘れ防止機能	220
リヤフォグランプ	230
ワット数	585
ランプ消し忘れ警告ブザー	221
ランプ消し忘れ防止機能	220

## り

リバース連動機能	175, 442
リヤアームレスト	438
リヤウインドウ デフォッガースイッチ	399
リヤオートエアコン	408
リヤカーテン	441
カーテンのお手入れ	452
リヤドアカーテン	440
カーテンのお手入れ	452
リヤクロストラフィック アラート	344
リヤシート	155
シートヒーター	412
シートベンチレーター	412
操作	155
ヘッドレスト	168
ポジションメモリー	166
リフレッシュシステム	158
リヤフォグランプ スイッチ	230
電球（バルブ）の交換	499
リヤ方向指示灯 電球（バルブ）の交換	499
方向指示レバー	209
リヤマルチオペレーション パネル	392

## る

ルームミラー (インナーミラー)	172
ルームランプ（室内灯）	418
れ	
レーダークルーズ コントロール	297
接近警報	306
レーダーセンサー	249
レーンディバーチャーアラート (LDA)	276
車線逸脱警報機能	276
ステアリング制御機能	277
ふらつき警報機能	277
メーター表示	282
レントレーシング アシスト（LTA）	270
冷却水	584
冬の前の準備	386
メンテナンスデータ	584
冷却装置（ラジエーター）	584
オーバーヒート	573
メンテナンスデータ	584
レバー シフト	204
方向指示	209
ボンネット解除	461
ワイパー	232

**ろ**

- ロードサインアシスト (RSA) .... 292  
ロック  
  ウインドウロック ..... 178  
  スマートエントリー&  
  スタートシステム ..... 139  
チャイルドプロテクター ..... 126  
ドア ..... 120  
ワイヤレスリモコン .... 120, 132

**わ**

- ワイパー & ウオッシャー ..... 232  
フロントワイパー  
  デアイサー ..... 399  
液の補充 ..... 467  
ワイパー・ブレード (寒冷地用) ... 387  
ワイヤレス  
  リモコン ..... 116, 120, 132  
  作動の合図 ..... 122  
  操作 ..... 116, 120, 132  
  電池の交換 ..... 492  
  半ドア警告ブザー ..... 122  
ワックス ..... 446  
ワット数 ..... 585

### ガソリンスタンドでの情報

給油や交換などの際に必要になる項目をまとめてあります。

ボンネットフック

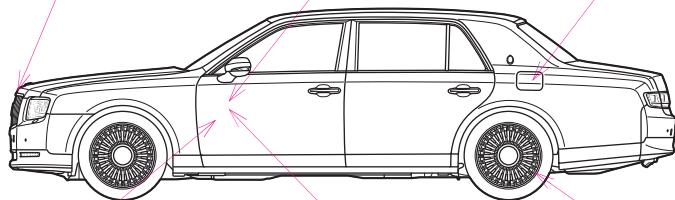
P. 461

トランクオープナー

P. 131

給油口

P. 241



CTPPIBW011

ボンネット解除レバー

P. 461

給油扉オープナー

P. 241

タイヤ空気圧

P. 585

燃料の容量（参考値）

82L

・ 無鉛プレミアムガソリン（無鉛ハイオク）※1

・ バイオ混合ガソリン（プレミアム）※2

※1 無鉛レギュラーガソリンを使用することもできます。その場合、エンジン性能を十分に発揮できません。

※2 エタノールの混合率 10% 以下または、ETBE の混合率 22% 以下のガソリン(酸素含有率 3.7% 以下) を使用することができます。

P. 582

燃料の種類

タイヤが冷えているときの空気圧

前輪：230kPa (2.3kg/cm<sup>2</sup>)

後輪：240kPa (2.4kg/cm<sup>2</sup>)

エンジンオイル容量（参考値）

オイルのみ交換時：8.8L

オイルとフィルター交換時：9.4L

エンジンオイルの種類

トヨタ純正モーター油

P. 582



お車の取り扱い方法、故障、修理に関するご相談については、お買い上げ  
いただきましたトヨタ販売店、または最寄りのトヨタ販売店へお問合せください。  
また、リコール情報については、右記の QR コードからご確認ください。

販店検索

リコール等情報



#### トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター

所在地 〒450-8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号



お電話によるお問い合わせ



WEBページからのお問い合わせ



全国共通・フリーコール  
**0800-700-7700**



インターネットフォーム  
によるお問い合わせ



チャットによる  
お問い合わせ



手話通訳サービス  
によるお問い合わせ

各お問い合わせサービスのご利用・受付時間など詳細につきましては右記の QR コードからご確認ください。

「個人情報保護方針」については、[https://toyota.jp/privacy\\_statement/](https://toyota.jp/privacy_statement/) にて掲載しております。



●ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）をご用意いただくと、スムーズな対応が可能です。

●QR コードは（株）デンソーウエーブの登録商標です。

**トヨタ自動車株式会社**  
<https://toyota.jp>

Publication No. M40495

Part No. 01999-40495

Printed in Japan 01-2512 O

センチュリー

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。